一般社団法人 薬学教育評価機構

(調書)

薬学教育評価 基礎資料

(平成28年5月1日現在)

北海道薬科大学薬学部

薬学教育評価 基礎資料

(目次)

	資料概要	ページ
基礎資料 1	学年別授業科目	1 ~ 8
基礎資料2	修学状況 2-1 在籍状況、 2-2 学生受入状況 2-3 学籍異動状況、2-4 学士課程修了状況	9 ~ 12
基礎資料3	薬学教育モデル・コアカリキュラム等のSBOs に該当する科目	13 ~ 100
基礎資料 4	カリキュラム・マップ	101 ~ 112
基礎資料 5	語学教育の要素	113
基礎資料 6	4 年次の実務実習事前学習のスケジュール	114~ 126
基礎資料7	学生受入状況について(入学試験種類別)	127 ~ 128
基礎資料8	教員・職員の数	129
基礎資料9	専任教員の構成	130
基礎資料10	教員の教育担当状況(担当する授業科目と担当時間)	131 ~ 145
基礎資料11	卒業研究の配属状況および研究室の広さ	146
基礎資料12	講義室等の数と面積	147 ~ 149
基礎資料13	学生閲覧室等の規模	150
基礎資料14	図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況	151
基礎資料15	専任教員の教育および研究活動の業績	152 ~ 282

-			1 年	次					1
	科目名	前期・後期	1クラスあたり の人数	開講クラス数	履修者数		授業方法		単位数
Ü	日本語表現法	前期	109~110	2	219	コ・エ			1.
	英語!	前期	54~55	6	219	コ・エ			2.
	英語=	後期	54~55	4	219	コ・エ			2.
	(択) 基礎数学	前期	96	1	96	コ・エ			1.
	(択) 基礎物理学	前期	52	1	52	コ・エ			1
	(択) 基礎統計学	前期	8	1	8	コ・エ			1.
	(択) 自然科学概論	前期	60	1	60	7	S		1.
食教育,語学教育	(択) 社会と経済	前期	64	1	64	7	6 4		1
	(択)健康と運動	前期	107	1	107	7	1		1
	(択) 災害史	前期	43	1	43	2			1
	(択) 体育実技	後期	34	1	34	実技			1
	(択) 国際と平和	後期	13	1	13	7	1 1		1
	(択) 心理と行動	後期	116	1	116	_			1
	(択) 自然科学概論	後期	50	1	50	_	s		1
	(択) 日本国憲法と法律	後期	65	1	65	_			1
1	(択)文学と人間	後期	46	,	46	J.I			
	(択) 民族と宗教	後期	57	1	57				1
	(択) リーダーシップ論	後期	45	,	45		S		1
_	薬学生入門	前期	109~110	2	219	J.I	S		1
	薬学概論	前期	109~110	1	15.64		3		2
	薬学計算Ⅰ	前期	100000000000000000000000000000000000000	2	219	□.I			0
		7.0.2	109~110	2	219	J.I			1
	無機化学	前期	109~110	2	219	J.I			
	基礎化学	前期	109~110	2	219	コ・エ	1		2
	薬学計算	前班	109~110	2	219	コ・エ			1
	基礎有機化学	前期	109~110	2	219	コ・エ			1
30	立体構造化学	前期	109~110	2	219	コ・エ			1
学	生物学	前期	109~110	2	219	3.I			1
専	薬学概論	後期	109~110	2	219	コ・エ	S		1
教	物理化学	後期	109~110	2	219	コ・エ			1
	熱力学	後期	109~110	2	219	コ・エ			1
育・語学教育 薬学専門教育 習 習 習 のの	生体有機化学	後期	109~110	2	219	コ・エ			- 0
	機能形態学	後期	109~110	2	219	コ・エ			1
	生化学!	後期	109~110	2	219	コ・エ			1
	反応速度論	後期	109~110	2	219	コ・エ			1
	化学平衡論	後期	109~110	2	219	コ・エ			1
- 1	有機化学	後期	109~110	2	219	コ・エ			1
	機能形態学川	後期	109~110	2	219	コ・エ			1
	生化学Ⅱ	後期	109~110	2	219	コ・エ			1
	防災・救急対応実習	前期	5~20	10~40	219	実	S		0
P.RR	早期体験実習	前期	3~4	55	219	実	S		1
大百	薬剤師実務体験実習	後期	17~18	12	219	実	S	SP	0
	薬学基礎実習	後期	3~4	54~66	219	実	S	150	1
東明	情報リテラシー	前期	109~110	2	219	I			1
RA	14								
14.WA							(必須科目)		29. 0
位数の 合計							(選択科目)		15. 0
2.0					- 1		合計		

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について 記入してください。2 下記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を 付してください。

「科目の識別」

ヒューマニズム教育・医療倫理教育
教養教育科目
語学教育科目
医療安全教育科目
生涯学習の意欲醸成科目
コミュニケーション能力および自己表現能力 を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(択)」と記してください。
- 4 実習は1組 (実習グループ) の人数を記入してください。
- 5 表には下の「授業方法」の表記にそって、主な方法を最大3種類まで 記入してください。下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して 作成してください。

「授業方法」の表記:講義=コ、 PBL/SGD=S

		2 年 次						
	科目名	前期·後期	1クラスあたり の人数	開講クラス数	履修者数		授業方法	単位記
教	英語川	前期	54~55	4	219	3.1		2
養教	英語Ⅳ	後期	54~55	4	219	コ・エ		1
育	(択) 実用英会話	前加	21	1	21	コ・エ		1 19
語	(択) 実用中国語	前加	24	1	24	コ・エ		
学教								111
育								
	医療倫理学	前加	109~110	2	219	コ・エ		
	定量分析化学	前期	109~110	2	219	コ・エ		
	薬品分析化学	前期	109~110	2	219	コ・エ		
	放射化学	前期	109~110	2	219	コ・エ		
	有機化学Ⅱ	前期	109~110	2	219	コ・エ		
	有機化学Ⅲ	前期	109~110	2	219	コ・エ		
	生薬学I	前加	109~110	2	219	コ・エ		
	機能形態学Ⅲ	前期	109~110	2	219	コ・エ		
	機能形態学IV	前期	109~110	2	219	コ・エ		
	生化学皿	前期	109~110	2	219	コ・エ		11 3
	生化学IV	前期	109~110	2	219	コ・エ		
	微生物学	前期	109~110	2	219	コ・エ		
	(択)地球環境学	前期	66	1	66	コ		
薬	(択)薬用植物学	前前月	131	1	131	コ・エ		
楽 学 専門	(択)医療色彩	前期	112	1	112	コ・エ		
教	(択)言語聴覚概論	前期	82	1	82	コ		
育	機器分析学 I	後期	109~110	2	219	コ・エ		
	機器分析学Ⅱ	後期	109~110	2	219	コ・エ		
	構造解析学	後期	109~110	2	219	コ・エ		
	有機化学Ⅳ	後期	109~110	2	219	コ・エ		
	生体有機化学Ⅱ	後期	109~110	2	219	コ・エ		
	生薬学Ⅱ	後期	109~110	2	219	コ・エ		
	生化学V	後期	109~110	2	219	コ・エ		1 1
- 1	分子生物学·遺伝子工学	後期	109~110	2	219	コ・エ		
	免疫学	後期	109~110	2	219	コ・エ		
	食品衞生学	後期	109~110	2	219	コ・エ		
- 1	生物薬剤学 I	後期	109~110	2	219	コ・エ		
	生物薬剤学Ⅱ	後期	109~110	2	219	コ・エ		
	物理薬剤学	後期	109~110	2	219	コ・エ		
	介護福祉体験実習	前期	4~5	49~51	219	実	S	
管習	薬学基礎実習 II	後期	3~53	4~51	219	実		
克智								
立数の							(必須科目)	3
合計							(選択科目)	

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について 記入してください。2 下記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を 付してください。

「科目の職別」
ヒューマニズム教育・医療倫理教育
教養教育科目
語学教育科目
医療安全教育科目
生涯学習の意欲醸成科目
コミュニケーション能力および自己表現能力 を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(択)」と記してください。
 - 4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。
 - 5 表には下の「授業方法」の表記にそって、主な方法を最大3種類まで 記入してください。下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して 作成してください。

「授業方法」の表記:講義=コ、 PBL/SGD=S

			3 年	次				
	科目名	前期・後期	1クラスあたり の人数	開講クラス数	履修者数		授業方法	単位数
20.	英語V	前期	212	1	212	コ・エ		1.
教養教育・語	英語 VI	後期	212	1	212	コ・エ		1
教育	(択) 実用英会話	後期	25	1	25	コ・エ		1
語 学 教育								
	看護学概論	前期	212	1	212	-		1
	医薬化学!	前期	212	1	212	J.I		2
	病態生化学!	前加	212	1	212	3		1
	病態生理学	前期	212	1	212	コ・エ		2
	ゲノム薬学	前期	212	1	212	J.I		1
	薬理学	前期	212	1	212	J.I		
	物理薬剤学	前期	212	1	212	3		1
_	化学療法学	前加	212	1	212	3		1
楽学	生物薬剤学	前期	212	1	212	3 · I		
專	公衆・環境衛生学	前期	212	1	212	J.I		
薬学専門教育	ヒューマニズム論川	後期	212	1	212	J.I		
育	医療心理学	後期	212	1	212	_		
	医薬化学=	後期	212	1	212	3 · I		- 1
	病態生化学=	後期	212	1	212	J.I		
	薬理学Ⅲ	後期	212	1	212	コ・エ		
	薬物動態学	後期	212	1	212	J.I		
	輸液・栄養管理学	後期	212	1	212	3		
	製剤学	後期	212	1	212	コ・エ		
	薬物治療学Ⅰ	後期	212	1	212	J.I		
	(択) 医薬品開発論	後期	17	1	17	コ・エ		
	(択)香粧品学	後期	33	1	33		Ś	
	(択) 薬用植物学	後期	68	1	68		1.3	
	(択)薬局管理学	後期	58	1	58	3		
	実習Ⅳ	前期	5~6	36	212	実	S	
	実習Ⅴ	後期	2~10	20~68	212	実	S	
実習								
	演習V		210		212			
	演習Ⅵ	前期後期	212 212		212	I	S	
武習		A3.59						
立数の							(必須科目)	3
合計							(選択科目)	
							合計	4

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について 記入してください。2 下記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を 付してください。
 - 「科目の識別」

ヒューマニズム教育・医療倫理教育
教養教育科目
語学教育科目
医療安全教育科目
生涯学習の意欲醸成科目
コミュニケーション能力および自己表現能力 を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(択)」と記してください。
- 4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。
- 5 表には下の「授業方法」の表記にそって、主な方法を最大3種類まで 記入してください。下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して 作成してください。

「授業方法」の表記:講義=コ、 PBL/SGD=S

大田名	1					
地域医療学 前期	1					
実習VI 前期 14~16 実習VI 後期 10~32		191 191 191 191 191 191 191 191 191 191		S S		1. 1. 1. 2. 2. 1. 2. 1. 2. 1. 2. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.
演習VI 前期 191 実務実習事前学習 後期 18~19	12 6~18	13 191 191 191 191	二 実 実		SP	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

[注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について 記入してください。2 下記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を 付してください。

「科目の識別」

ヒューマニズム教育・医療倫理教育
教養教育科目
語学教育科目
医療安全教育科目
生涯学習の意欲醸成科目
コミュニケーション能力および自己表現能力 を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(択)」と記してください。
- 4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。
- 5 表には下の「授業方法」の表記にそって、主な方法を最大3種類まで 記入してください。下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して 作成してください。

「授業方法」の表記:講義=コ、 PBL/SGD= S

			5 年	次						
	科目名	前期・後期	1クラスあたり の人数	開講クラス数	履修者数		授業方法		単位数	
教養教育・語学教育										
薬学専門教育	ヒューマニズム論 V 臨床薬物動態学 II 臨床薬学総論 処方解析学 薬歴管理学 薬剤疫学 薬剤経済学 悪性腫瘍学 緩和薬物療法学	前期 前期 前期 前期 前期 前期 前期 前期 前期	179 179 179 179 179 179 179 179 179	1 1 1 1 1 1 1 1 1	195 195 195 195 195 195 195 195	3 3 . I 3 .			0. 5 1. 0 3. 0 0. 5 0. 5 1. 0 1. 0	
実習	臨床藥学実習 病院実習(5年後期~6年前期) 薬局実習(5年後期~6年前期)	前期後期後期	19 ~ 20 195 195	10	195 195 195	異異			2. 0 (10. 0) (10. 0)	
演習	臨床コミュニケーション演習 演習VII (薬剤師実務演習) 卒業研究 (5年前期~6年前期)	前期 前期 前期 ・後期	195 195 195		195 195 195	I	s	SP	1. 0 1. 5 (20. 0)	
単位数の 合計							(必須科目) (選択科目)		14. 0	

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について 記入してください。2 下記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を 付してください。

「科目の識別」

「十十日 ひつまれかり」
ヒューマニズム教育・医療倫理教育
教養教育科目
語学教育科目
医療安全教育科目
生涯学習の意欲醸成科目
コミュニケーション能力および自己表現能力 を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(択)」と記してください。
 - 4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。
- 5 表には下の「授業方法」の表記にそって、主な方法を最大3種類まで 記入してください。下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して 作成してください。

「授業方法」の表記:講義=コ、 PBL/SGD=S

			6 年	次						
	科目名	前期・後期	1クラスあたり の人数	開講クラス数	履修者数		授業方法	単位	立数	
教養教育・語学教育										
薬学専門教育										
実習	病院実習 (5年後期~6年前期) 薬局実習 (5年後期~6年前期)	育为 共 身 有力 共 身	179 179		179 179	実実			10.	
演習	卒業研究(5年前期~6年前期) 演習 IX 総合演習 II	前期 後期 後期	179 179 179	1 1	179 179 179	I I			20. (
単位数の合計							(必須科目)		48.	
四部							合計		48. (

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について 記入してください。
 - 2 下記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を 付してください。

「科目の識別」

ヒューマニズム教育・医療倫理教育
教養教育科目
語学教育科目
医療安全教育科目
生涯学習の意欲釀成科目
コミュニケーション能力および自己表現能力 を身につけるための科目

- 3 選択科目については、頭に「(択)」と記してください。
 - 4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。
- 5 表には下の「授業方法」の表記にそって、主な方法を最大3種類まで 記入してください。下記の2つ以外は、大学独自で凡例を設定して 作成してください。

「授業方法」の表記:講義=コ、 PBL/SGD=S

(基礎資料1-7) 学年別授業科目 *旧カリキュラム

(基礎資料1-1)から(基礎資料1-6)までの結果から下記の(1)および(2)を記入してください。

(1) 下表の「合計科目数」および「単位数」を記入してください。

科目の識別	合計科目数	合計単位数
ヒューマニズム教育・医療倫理教育	15	12. 5
教養教育科目	15	19. 0
語学教育科目	10	15. 0
医療安全教育科目	13	12. 5
生涯学習の意欲醸成科目	7	47. 0
コミュニケーション能力および自己表現能力を 身につけるための科目	9	14. 5

(2) 学年別授業科目の表から前期と後期の単位数を合算して記入してください。

学 年		単位数	
学 年	必須科目	選択科目	合計
1 年 次	30. 0	10. 0	40. 0
2 年 次	34. 0	0. 0	34. 0
3 年 次	35. 0	5. 0	40. 0
4 年 次	31. 0	4. 0	35. 0
5 年 次	62. 0	0. 0	62. 0
6 年 次	02. U	0. 0	0. 0
合計	192. 0	19. 0	211. 0

(基礎資料1-7) 学年別授業科目 * 改訂カリキュラム

(基礎資料1-1)から(基礎資料1-6)までの結果から下記の(1)および(2)を記入してください。

(1) 下表の「合計科目数」および「単位数」を記入してください。

科目の識別	合計科目数	合計単位数
ヒューマニズム教育・医療倫理教育	12	12. 0
教養教育科目	18	20. 0
語学教育科目	9	13. 0
医療安全教育科目	15	14. 5
生涯学習の意欲醸成科目	5	43. 5
コミュニケーション能力および自己表現能力を 身につけるための科目	13	16. 5

(2) 学年別授業科目の表から前期と後期の単位数を合算して記入してください。

学 年		単位数	
7 4	必須科目	選択科目	合計
1 年 次	30. 0	15. 0	45. 0
2 年 次	32. 0	6. 0	38. 0
3 年 次	35. 0	6. 0	41. 0
4 年 次	30. 0	0. 0	30. 0
5 年 次	21. 0	0. 0	21. 0
6 年 次	30. 0	0. 0	30. 0
合計	178. 0	27. 0	205. 0

(基礎資料2-1) 評価実施年度における学年別在籍状況

入学年度の入学定員 入学時の学生数 ²⁾	字年 入学定員 ¹⁾ +数 ²⁾ A	1年 210 210	2年 210 226	3年 210 232	4年 210 229	5年 210 228	W 0 m
在籍学生数 3)	В	223	221	215	191	195	5
4 July 44 W. 4 July 45 4 5	留年による者 C	6	22	24	19	27	
過年度仕精有数	休学による者 D	4	-	9	3	3	
編入学などによる在籍者数	5在籍者数 E	0	0	0	0	0	
ストレート在籍者数が	数 5) F	210	198	185	169	165	
ストレート在籍率 6)	6) F/A	1.00	0.88	0.80	0.74	0.72	12
過年度在籍率 7)	(C+D)/B	90'0	0.10	0.14	0.12	0.15	

1)各学年が入学した年度の入学者選抜で設定されていた入学定員を記載してください。

2)当該学年が入学した時点での実入学者数を記載してください。

3)評価実施年度の5月1日現在における各学年の在籍学生数を記載してください。

4)過年度在籍者数を「留年による者」と「休学による者」に分けて記載してください。 休学と留年が重複する学生は留年者に算入してください。

5)(在籍学生数)—{(過年度在籍者数)+(編入学などによる在籍者数)}を記載してください。 ストレート在籍者数 {B-(C+D+E)}

6) (ストレート在籍者数)/(入学時の学生数)の値を小数点以下第2位まで記載してください。

7) (過年度在籍者数)/(在籍学生数)の値を小数点以下第2位まで記載してください。

(基礎資料2-2) 直近6年間の学生受入状況

	縮く子フバナ中 四の内数 4)		編入学者数 3)	編入学定員	入学定員充足率	実入学者数 1)	入学定員	入学年度
4年次 E	3年次 D	2年次 C	C+D+E		2) B/A	В	Þ	
0	0	0	0	0	1.07	224	210	23年度
0	0	0	0	0	1.09	228	210	24年度
0	0	0	0	0	1.09	229	210	25年度
0	0	0	0	0	1.10	232	210	26年度
0	0	0	0	0	1.08	226	210	27年度
0	0	0	0	0	1.05	210	210	28年度
0	0	0	0	\	1.08	225	\	平均值 5)

- 1)各年度の実入学者数として、当該年の5月1日に在籍していた新入生数を記載してください。
- 2)各年度の実入学者数をその年度の入学定員で除した数値(小数点以下第2位まで)を記載してください。
- 3)その年度に受け入れた編入学者(転学部、転学科などを含む)の合計数を記載してください。
- 4)編入学者数の編入学受け入れ学年別の内数を記入してください。
- 5)6年間の平均値を人数については整数で、充足率については小数点以下第2位まで記入してください。

(基礎資料2-3)評価実施年度の直近5年間における学年別の学籍異動状況

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	在籍者数 1)	258	249	255	238	224
	休学者数 2)	7	8	0	6	- 2
1年次	退学者数 2)	22	22	24	19	15
	留年者数 2)	13	15	12	8	13
	進級率 3)	0.84	0.82	0.86	0.86	0.86
	在籍者数 1)	236	243	228	234	221
	休学者数 2)	1	5	2	2	2
2年次	退学者数 2)	13	19	22	17	9
	留年者数 2)	26	19	13	14	10
	進級率 3)	0.83	0.82	0.84	0.86	0.90
	在籍者数 1)	207	214	226	214	215
	休学者数 2)	2	5	2	2	7
3年次	退学者数 2)	5	7	6	12	6
	留年者数 2)	16	21	21	12	14
	進級率 3)	0.89	0.85	0.87	0.88	0.87
	在籍者数 1)	221	196	185	201	191
	休学者数 2)	1	0	0	1	1
4年次	退学者数 2)	2	2	2		1
	留年者数 2)	-11	4	4	2	5
	進級率 3)	0.94	0.97	0.97	0.97	0.96
	在籍者数 1)	194	207	190	179	195
	休学者数 2)	0	0	0	0	C
5年次	退学者数 2)	0	0	0	0	1
	留年者数 2)	0	0	0	0	C
	進級率 3)	1.00	1.00	1.00	1.00	0.99

¹⁾ 在籍者数は、当該年度当初(4月1日)における1年次から5年次に在籍していた学生数を記載してください。

なお、前期に休学して後期から復学した学生については、進級できなかった場合は休学として算入し、進級した場合は算入しないでください。

3) 進級率は、次式で計算した結果を、小数点以下第2位まで記入してください。 [(在籍者数)ー(休学者数+退学者数+留年者数)]/(在籍者数)

²⁾ 休学者数、退学者数、留年者数については、各年度の年度末に、それぞれの学年から次の学年に進級できなかった学生数を、その理由となった事象に分けて記載してください。ただし、同一学生に複数の事象が発生した場合は、後の事象だけに算入してください。

(基礎資料2-4) 評価実施年度の直近5年間における学士課程修了(卒業)状況の実態

			平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
卒業判定時(年度末)	末)の在籍学生数 1)	>	197	196	222	191
学士課程修了(卒業)者数	業)者数	В	194	170	196	151
卒業率 ²⁾		B/A	0.98	0.87	0.88	0.79
	6年 0		156	141	161	129
卒業までに要した	7年		38	19	24	14
内訳 3)	8年		0	10	8	7
	9年以上		0	0	3	1
入学時の学生数	((実入学者数) 4)	D	252	227	243	227
ストレート卒業率5)		C/D	0.62	0.62	0.66	0.57

- 1)9月卒業などの卒業延期生、休退学者を除いた数字を記載してください。
- 2)卒業率=(学士課程修了者数)/(6年次の在籍者数)の値(B/A)を小数点以下第2位まで記載してください。
- 3)「編入学者を除いた卒業者数」の内訳を卒業までに要した期間別に記載してください。
- 4) それぞれの年度の6年次学生(C)が入学した年度の実入学者数(編入学者を除く)を記載してください。
- 5)ストレート卒業率=(卒業までに要した在学期間が6年間の学生数)/(入学時の学生数)の値(C/D)を、小数点以下第2位まで 記載してください。

0, 11			数	田林県		
楽字教育七ナル・コノカリキュフム(3BOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【医薬品の創製と供給に関わるこころ構え】						
1)医薬品の創製と供給が社会に及ぼす影響に常に目を向ける。(態度)	後期 ヒューマニズム論 1					
2) 医薬品の使用に関わる事故回避の重要性を自らの言葉で表現する。(態度)				後期 ヒューマニズム論Ⅳ		
【自己学習・生涯学習】						
1)医療に関わる諸問題から、自ら課題を見出し、それを解決する能力を確成する。 (知識・技能・態度)					5年後期または6年前期 卒業研究	
2) 医療の担い手として、生涯にわたって自ら学習する大切さを認識する。(態度)	前期 薬学概論					
(3) 信頼関係の確立を目指して						
[コミュニケーション]						
1) 言語的および非言語的コミュニケーションの方法を概説できる。	前期 ラーニングスキル				前期 臨床コミュニケーション 演習	
2) 意思、情報の伝達に必要な要素を列挙できる。	前期 ラーニングスキル				前期 臨床コミュニケーション 演習	
3) 相手の立場、文化、習慣などによって、コミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。	前期 ラーニングスキル				前期 臨床コミュニケーション 演習	
[相手の気持ちに配慮する]						
1)対人関係に影響を及ぼす心理的要因を概説できる。	前期 ラーニングスキル				前期 臨床コミュニケーション 演習	
2) 相手の心理状態とその変化に配慮し、適切に対応する。 (知識・態度)	前期 ラーニングスキル				前期 臨床コミュニケーション 演習	
3) 対立意見を尊重し、協力してよりよい解決法を見出すことができる。(技能)	前期 ラーニングスキル				前期 臨床コミュニケーション 演習	
【患者の気持ちに配慮する】						
1)病気が患者に及ぼす心理的影響について説明できる。			後期 医療心理学		前期 臨床コミュニケーション 演習	
2) 患者の心理状態を把握し、配慮する。 (知識・態度)			後期 医療心理学		前期 鑑床コミュニケーション 演習	
3) 患者の家族の心理状態を把握し、配慮する。(知識・態度)			後期 医療心理学		前期 臨床コミュニケーション 演習	
4) 患者やその家族の持つ価値制が多様であることを認識し、柔軟に対応できるよう努力する。 (態度)			後期 医療心理学		前期 臨床コミュニケーション 演習	
5)不自由体験などの体験学習を通して、患者の気持ちについて討議する。(知識・態度)					前期 臨床コミュニケーション 演習	
[7-40-9]						
1) チームワークの重要性を例示して説明できる。	前期 ラーニングスキル				前期 臨床コミュニケーション 演習	
2) チームに参加し、協調的態度で役割を果たす。(態度)	前期 ラーニングスキル				前期 臨床コミュニケーション 演習	
3) 自己の能力の限界を認識し、必要に応じて他者に援助を求める。 (態度)	前期 ラーニングスキル				前期 臨床コミュニケーション 演習	
【地域社会の人々との信頼関係】						
1)薬の専門家と地域社会の関わりを列挙できる。	前期 薬学概論 後期 ヒューマニズム論 I					
2) 薬の専門家に対する地域社会のニーズを収集し、討議する。(態度)			後期 実習V			
B イントロダクション						
(1) 瀬学への招待						

(基礎資料3-1)薬学教育モデル・コアカリキュラムのSBOsに該当する科目

- [注] 1 薬学教育モデル・コアカリキュラムのSBOsに該当する科目名を実施学年の欄に記入してください。2 同じ科目名が連続する場合はセルを結合して記入することもできます。

			麥	日本品		
楽学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs)	1年	2年	3年	4年	5年	年 9
A 全学年を通して:ヒューマニズムについて学ぶ						
(1) 生と死						
【生命の尊敬】						
1)人の誕生、成長、加齢、死の意味を考験し、討議する。 (知識・態度)		前期 ヒューマニズム論エ				
2) 誕生に関わる倫理的問題(生殖技術、クローン技術、出生前診断など)の概略と問題点を説明できる。		前期 ヒューマニズム論エ				
3) 医療に関わる倫理的問題を列挙し、その概略と問題点を説明できる。		前期 ヒューマニズム論 I 前期 医学概論				
4) 死に関わる倫理的問題(安楽死、尊厳死、脳死など)の概略と問題点を説明できる。		前期 ヒューマニズム論Ⅱ				
5) 自らの体験を通して、生命の尊さと医療の関わりについて討議する。(態度)		前期 ヒューマニズム論エ				
【医療の目的】						
1)予防、治療、延命、QOLについて説明できる。			後期 ヒューマニズム論皿			
【先進医療と生命倫理】						
 医療の進歩(遺伝子診断、遺伝子治療、移植・再生医療、難病治療など)に伴う生命観の変遷を概認できる。 			後期 医薬品開発論	前期 臨床薬理学		
(2) 医療の担い手としてのこころ構え						
【社会の期待】						
1) 医療の担い手として、社会のニーズに常に目を向ける。 (態度)	前期 アーリー・エクスポージャー (薬剤師実務見学)	後期 実習皿				
2) 医療の担い手として、社会のニーズに対応する方法を提案する。 (知識・態度)	前期 アーリー・エクスホージャー (薬剤師実務見学)					
3) 医療の担い手にふさわしい態度を示す。 (態度)	前期 アーリー・エクスポージャー (薬剤師実務見学)	後期 実習皿				
【医療行為に関わるこころ構え】						
1) ヘルシンキ宣言の内容を概説できる。		前期 医学概論				
2) 医療の担い手が守るべき倫理規範を説明できる。		前期 医学概論			前期 ヒューマニズム論V	
3) インフォームド・コンセントの定義と必要性を説明できる。		前期 医学概論				
4) 患者の基本的権利と自己決定権を尊重する。(態度)			前期 実習IV			
5) 医療事故回避の重要性を自らの言葉で表現する。(態度)				後期 ヒューマニズム論IV		
【研究活動に求められるこころ構え】						
1)研究に必要な独創的考え方、能力を醸成する。					5年後期または6年前期 卒業研究	
2) 研究者に求められる自立した態度を身につける。 (態度)					5年後期または6年前期 卒業研究	
3)他の研究者の意見を理解し、討論する能力を身につける。(態度)					5年後期または6年前期 卒業研究	

			盔	目性景		
楽字教育七ナル・コアカリキュフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【薬学の歴史】						
1)薬学の歴史的な流れと医療において薬学が果たしてきた役割を概説できる。	前期 薬学概論					
2)薬剤師の誕生と変遷の歴史を概説できる。	前期 薬学概論					
[薬剤師の活動分野]						
1)薬剤師の活動分野(医療機関、製薬企業、衛生行政など)について概説できる。	前期 薬学概論					
2)薬剤師と共に働く医療チームの職種を挙げ、その仕事を概説できる。				前期 地域医療学		
3) 医薬品の適正使用における薬剤師の役割について概説できる。	前期 薬学概論					
4) 医薬品の創製における薬剤師の役割について概説できる。	前期 薬学概論					
5)疾病の予防および健康管理における薬剤師の役割について概説できる。				前期 地域医療学		
[薬について]						
1) 「薬とは何か」を概説できる。	前期 薬学概論					
2)薬の発見の歴史を具体例を挙げて概説できる。	前期 薬学概論					
3) 化学物質が医薬品として治療に使用されるまでの流れを概説できる。	前期 薬学概論					
4)種々の剤形とその使い方について概説できる。			後期 製剤学	前期 調剤学		
5) 一般用医薬品と医療用医薬品の違いを概説できる。				哲雄 セルフメディケーション		
【現代社会と薬学との接点】						
1) 先端医療を支える医薬品開発の現状について概説できる。			後期 医薬品開発論	前期 臨床薬理学		
2) 麻薬、大麻、覚せい剤などを乱用することによる健康への影響を概説できる。		前期 衛生化学1				
3) 薬害について具体例を挙げ、その背景を概説できる。	後期 ヒューマニズム論 I			後期 ヒューマニズム論IV		
[日本薬局方]						
1) 日本薬局方の意義と内容について概説できる。		前期 日本薬局方概論				
【総合演習】						
1)医療と薬剤師の関わりについて考えを述べる。(態度)	前期 アーリー・エクスポージャー (薬剤師実務見学)					
2) 身近な医薬品を日本薬局方などを用いて関べる。(技能)		前期 日本薬局方概論				
(2) 早期体験学習						
1)病院における薬剤師および他の医療スタッフの業務を見聞し、その重要性について自分の意見をまとめ、発表する。	前期 アーリー・エクスポージャー (薬剤師実務見学)					
2) 開局薬剤師の業務を見聞し、その重要性について自分の意見をまとめ、発表する。 (知識・態度)	前期 アーリー・エクスポージャー (薬剤師実務見学)					
3)製薬企業および保健衛生、健康に関わる行政機関の業務を見聞し、社会において果たしている役割について討議する。(知識・態度)			後期 実習V			
4)保健、福祉の重要性を具体的な体験に基づいて発表する。(知識・態度)		後期 実習皿				
〇 薬学専門教育						
[物理系薬学を学ぶ]						
(1) 物質の物理的性質						
(1)物質の構造						
[化学結合]						
1) 化学結合の成り立ちについて説明できる。	西湖 化补I 徐茜 右端化料I					

			蒙当	松田		
薬学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
2) 軌道の混成について説明できる。	声题 6科 I 後期 有機6科 I					
3) 分子軌道の基本概念を説明できる。						
4) 共役や共鳴の概念を説明できる。						
[分子間相互作用]						
1) 静電相互作用について例を挙げて説明できる。	前期 化学 I 後期 物理化学 I		前期 医薬化学 I			
2) ファンデルワールスカについて例を挙げて説明できる。			前期 医薬化学 I			
3) 双極子間相互作用について例を挙げて説明できる。	前期 化学 I 後期 物理化学 I		前期 医薬化学 I			
4)分散力について例を挙げて説明できる。			前期 医薬化学 I			
5) 水素結合について例を挙げて説明できる。			前期 医薬化学 I			
6)電荷移動について例を挙げて説明できる。	後期 物理化学 I		前期 医薬化学 1			
7) 疎水性相互作用について例を挙げて説明できる。	後期 物理化学 I		前期 医薬化学 I			
【原子・分子】						
1)電磁波の性質および物質との相互作用を説明できる。	後期 物理学工					
2) 分子の振動、回転、電子遷移について説明できる。		後期 分析化学工				
		後期 分析化学工				
4) 分子の分極と双極子モーメントについて説明できる。	前期 化学工					
5) 代表的な分光スペクトルを測定し、構造との関連を説明できる。 (知識・技能)		前期 実習工				
6) 偏光および旋光性について説明できる。	後期 物理学工					
7) 散乱および干渉について説明できる。	後期 物理学工					
8)結晶構造と回折現象について説明できる。	後期 物理学工					
[放射線と放射能]						
1)原子の構造と放射壊変について説明できる。		前期 放射化学				
2) 電離放射線の種類を列挙し、それらの物質との相互作用について説明できる。		前期 放射化学				
3) 代表的な放射性核種の物理的性質について説明できる。		前期 放射化学				
4)核反応および放射平衡について説明できる。		前期 放射化学				
5) 放射線の測定原理について説明できる。		前期 放射化学				
(2) 物質の状態						
[轉換]						
1) ファンデルワールスの状態方程式について説明できる。	後期 演習工					
2) 気体の分子運動とエネルギーの関係について説明できる。	後期 物理化学 I 後期 演習 I					
3) エネルギーの量子化とボルツマン分布について説明できる。	後期 物理化学 I 後期 演習 I					
[エネルギー]						
1)系、外界、境界について説明できる。	後期 物理化学 1 条期 清阳口					

			数温	日女		
条字教育セナル・コノガリキュフム(3BOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
2)状態関数の種類と特徴について説明できる。	後期 物理化学1 後期 演習工					
3)仕事および熱の概念を説明できる。	後期 物理化学 I 後期 演習 I					
4)定容熱容量および定圧熱容量について説明できる。	後期 物理化学 I 後期 演習 I					
5)熱力学第一法則について式を用いて説明できる。	後期 物理化学 I 後期 演習 I					
6) 代表的な過程(変化)における熱と仕事を計算できる。(知識、技能)	後期 物理化学 1後期 演習工					
7) エンタルビーについて説明できる。	後期 物理化学 I 後期 演習 I					
8) 代表的な物理変化、化学変化に伴う標準エンタルピー変化を説明し、計算できる。 (知識、技能)	後期 物理化学 I 後期 演習 I					
9) 標準生成エンタルピーについて説明できる。	後期 物理化学 I 後期 演習 I					
[自発的な変化]						
1)エントロピーについて説明できる。	後期 物理化学 I 後期 演習 I					
2) 熱力学第二法則について説明できる。	後期 物理化学 I 後期 演習 I					
3) 代表的な物理変化、化学変化に伴うエントロビー変化を計算できる。(知識、技能)	後期 物理化学 I 後期 演習 I					
4) 熱力学第三法則について説明できる。	後期 物理化学 I 後期 演習 I					
5) 自由エネルギーについて説明できる。	後期 物理化学1 後期 演習I					
6) 熱力学関数の計算結果から、自発的な変化の方向と程度を予測できる。(知識、技能)	後期 物理化学 I 後期 演習 I					
7) 自由エネルギーの圧力と温度による変化を、式を用いて説明できる。	後期 物理化学 I 後期 演習 I					
8) 自由エネルギーと平衡定数の温度依存性 (van't Hoffの式) について説明できる。	後期 物理化学 I 後期 演習 I					
9) 共役反応について例を挙げて説明できる。	後期 物理化学1後期 演習工					
(3)物質の状態						
[物理平衡]						
1) 相変化に伴う熱の移動(Clausius-Clapeyronの式など)について説明できる。	後期 物理化学 I					
2) 相平衡と相律について説明できる。	後期 物理化学 I					
3) 代表的な状態図 (一成分系、二成分系、三成分系相図) について説明できる。	後期 物理化学 I					
4)物質の溶解平衡について説明できる。	後期 物理化学1					
5)溶液の束一的性質(浸透圧、沸点上昇、凝固点降下など)について説明できる。	後期 物理化学1					
6)界面における平衡について説明できる。		前期 物理化学工				
7) 吸着平衡について説明できる。		前期 物理化学工				
8) 代表的な物理平衡を観測し、平衡定数を求めることができる。(技能)	後期 物理化学 1	前期 物理化学亚				
[溶液の化学]						

			数当	型		
薬学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs)	1#	2年	3年	4年	5年	6年
1) 化学ポテンシャルについて説明できる。	後期 物理化学 I					
2) 活量と活量係数について説明できる。	後期 物理化学 I					
3) 平衡と化学ボテンシャルの関係を説明できる。	後期 物理化学 I					
4)電解質のモル伝導度の濃度変化を説明できる。	後期 物理化学 I					
5) イオンの輸率と移動度について説明できる。	後期 物理化学 I					
6) イオン強度について説明できる。	後期 物理化学 I					
7) 電解質の活量係数の濃度依存性 (Debye-Huckel の式) について説明できる。	後期 物理化学 I					
【電気化学】						
1)代表的な化学電池の種類とその構成について説明できる。	前期 化学1					
2) 標準電極電位について説明できる。	前期 化学 I					
3) 起電力と標準自由エネルギー変化の関係を説明できる。	前期 化学 I					
4)Nernstの式が誘導できる。	前期 化学1					
5) 濃淡電池について説明できる。	前期 化学 I					
6) 膜電位と能動輸送について説明できる。		前期 機能形態学工				
(4)物質の変化						
[反応速度]						
1) 反応次数と速度定数について説明できる。	前期 物理化学口 前期 演習口					
2)微分型速度式を積分型速度式に変換できる。(知識・技能)		前期 美習工				
3) 代表的な反応次数の決定法を列挙し、説明できる。	前期 物理化學口 前期 演習日					
4)代表的な(擬)一次反応の反応速度を測定し、速度定数を求めることができる。(技能)	前期 物理化学工 前期 演習田	前期 美習口				
5)代表的な複合反応(可逆反応、平行反応、連続反応など)の特徴について説明できる。	前期 物理化学工 前期 演習工					
6) 反応速度と温度との関係(Arrheniusの式)を説明できる。	前期 物理化学工 前期 演習工					
7)衝突理論について概説できる。	前期 物理化学工 前期 演習工					
8) 遷移状態理論について概説できる。	前期 物理化学工 前期 演習工					
9)代表的な触媒反応(酸・塩基触媒反応など)について説明できる。	前期 物理化学工 前期 演習田					
10) 酵素反応、およびその拮抗阻害と非拮抗阻害の機構について説明できる。	前期 物理化学口 前期 演習日					
【参賀の巻巻】						
1) 拡散および溶解速度について説明できる。		前期 物理化学工				
2) 沈降現象について説明できる。		前期 物理化学工				
3) 流動現象および粘度について説明できる。			後期 製剤学 後期 演習V I			
C2 化学物質の分析						
(1) 化学平衡						

			凝	田林		
楽字教育七テル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
[酸と塩姜]						
1)酸・塩基平衡を説明できる。	後期 化学工後期 演習工					
2) 溶液の水素イオン濃度 (pH) を測定できる。(技能)		前期 実習工				
3) 溶液のphを計算できる。(知識・技能)	後期 化学工後期 演習工					
4) 緩衝作用について具体例を挙げて説明できる。	後期 法智工後期 演習工					
5) 代表的な緩衝液の特徴とその調製法を説明できる。	後期 化学工後期 演習工					
6) 化学物質のHICよる分子形、イオン形の変化を説明できる。			前期 医薬化学1			
[各種の化学平衡]						
1) 舗体・キレート生成平衡について説明できる。	前期 化学工					
2) 沈殿平衡 (溶解度と溶解度積) について説明できる。	後期 化学工後期 演習工					
3) 酸化還元電位について説明できる。	後期 化学工後期 演習工					
4)酸化還元平衡について説明できる。	後期 化学工後期 演習工					
5) 分配平衡について説明できる。		後期 分析化学工				
6) イオン交換について説明できる。		後期 分析化学工				
(2) 化学物質の検出と定量						
[定性試験]						
1) 代表的な無機イオンの定性反応を説明できる。	前期 化学1					
2) 日本薬局方収載の代表的な医薬品の確認試験を列挙し、その内容を説明できる。				後期 日本薬局方各論		後期 総合演習
3) 日本薬局方収載の代表的な医薬品の純度試験を列挙し、その内容を説明できる。				後期 日本薬局方各論		
[定量の基礎]						
1) 実験値を用いた計算および統計処理ができる。(技能)		前期 実習工				
2) 医薬品分析法のバリデーションについて説明できる。		前期 分析化学1				
3) 日本薬局方収載の重量分析法の原理および操作法を説明できる。		前期 分析化学1				
4) 日本薬局方収載の容量分析法について列挙できる。		前期 分析化学 I 前期 演習口				
5) 日本薬局方収載の生物学的定量法の特徴を説明できる。		後期 分析化学工				
[容量分析]						
1) 中和滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。		前期 分析化學 1前期 演習工				
2) 非水滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。		前期 分析化学 I 前期 演習 II				
3) キレート滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。		前期 分析化学 I 前期 演習口				
4) 沈殿滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。		前期 分析化学 1 前期 漢閩田				

			1		
1年	2年	3年		5年	6年
	前期 実習工				
	後期 分析化学工				
	後期 分析化学工				
	後期 分析化学II 後期 演習IV				
	前期 実習工				
後期 生化学	前期 実習!!				
	後期 分析化学工	後期 病態生化学工			
	後期 分析化学工				
	後期 分析化学工				
	後期 分析化学工				
	後期 分析化学工				
	後期 分析化学工				
	後期 分析化学工				
	後期 分析化学工				
	前期 放射化学 後期 分析化学口				
	前期 放射化学 後期 分析化学II				
	後期 衛生化学工				
	後期 衛生化学工				
	後期 衛生化学工				
	後期 分析化学工				
	1年代第1		中	大学 1	

0/ /=			腏	四 在 何		
174	14	2年	3年	4年	5年	6年
3)赤外・ラマン分光スペクトルの原理と、生体分子の解析への応用例について説明できる。		後期 分析化学工後期 演習IV				
4)電子スピン共鳴(ESR)スペクトル測定法の原理と、生体分子の解析への応用例について説明できる。		後期 分析化学工				
5) 旋光度測定法(旋光分散)、円偏光二色性測定法の原理と、生体分子の解析への応用例について 説明できる。				後期 日本薬局方各論		
6) 代表的な生体分子(核酸、タンパク質)の紫外および蛍光スペクトルを測定し、構造上の特徴と関連付けて説明できる。(知識・技能)		後期 分析化学工				
【核磁気共鳴スペクトル】						
1)核磁気共鳴スペクトル測定法の原理を説明できる。		後期 分析化学工後期 演習IV				
2)生体分子の解析への核磁気共鳴スペクトル測定法の応用例について説明できる。						
[演量分析]						
1)質量分析法の原理を説明できる。		後期 分析化学工後期 演習IV				
2)生体分子の解析への質量分析の応用例について説明できる。		後期 分析化学工				
【X線結晶解析】						
1) X線結晶解析の原理を概説できる。				後期 日本薬局方各論		
2)生体分子の解析へのX線結晶解析の応用例について説明できる。				後期 日本薬局方各論		
[相互作用の解析法]						
1) 生体分子間相互作用の解析法を概説できる。						
(2) 生体分子の立体構造と相互作用						
【立体構造】						
1)生体分子(タンパク質、核酸、脂質など)の立体構造を概説できる。		後期 生物有機化学				
2) タンパク質の立体構造の自由度について概説できる。		後期 生物有機化学				
3) タンパク質の立体構造を規定する因子(疎水性相互作用、静電相互作用、水素結合など)について、具体例を用いて説明できる。		後期 生物有機化学				
4) タンパク質の折りたたみ過程について概説できる。		後期 生物有機化学				
5) 核酸の立体構造を規定する相互作用について、具体例を挙げて説明できる。		後期 生物有機化学				
6)生体膜の立体構造を規定する相互作用について、具体例を挙げて説明できる。		後期 生物有機化学				
【相互作用】						
1) 鍵と鍵穴モデルおよび誘導適合モデルについて、具体例を挙げて説明できる。			前期 医薬化学1			
2) 転写・翻訳、シグナル伝達における代表的な生体分子間相互作用について、具体例を挙げて説明 できる。			前期 医薬化学1			
3) 脂質の水中における分子集合構造(膜、ミセル、膜タンパク質など)について説明できる。		後期 生物有機化学				
4)生体高分子と医薬品の相互作用における立体構造的要因の重要性を、具体例を挙げて説明できる。			前期 医薬化学1			
は 化学物質の性質と反応						
(1) 化学物質の基本的性質						
【基本專項】						
1) 基本的な化合物を命名し、ルイス構造式で書くことができる。	前期 有機化学1 後期 演習工					
2)薬学領域で用いられる代表的化合物を慣用名で記述できる。		前期 有機化学工				

選手教育モデル・コブカリキュラム(S B O S) 1年 精緻化合物の性質に及ぼす共鳴の影響について説明できる。 精機反応における結合の問烈と共成の様式について説明できる。				双坐	1		
有機の合物の性質に及ぼす共鳴の影響について説明できる。	S		2年			5年	6年
#	3) 有機化合物の性質に及ぼす共鳴の影響について説明できる。		前期 有機化学工				
京本的な有機反応(個拠、付加、脱離、転位)の特徴を模談できる。	4) 有機反応における結合の開裂と生成の様式について説明できる。	有機化學 演習口					
世報の子を含む反応中間体(カルボカチオン、カルバニオン、ラジカル、カルベン)の構造と性質	基本的な有機反応(置換、付加、脱離、転位)の特徴を概説でき	有機化學 演習口					
世		有機化学 演習II					
反応の進行を、エネルギー図を用いて説明できる。 精緻反応を、電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。 精温変性体と立体異性体について説明できる。 キラリティーと光学活性を視認できる。 キラリティーと光学活性を視認できる。 キラリティーと光学活性を視認できる。 神別 有機化会力 と	炭素原子を含む反応中間体(カルボカチオン、カルバニオン、ラジカル、 を説明できる。	有機化学 演習口					
有機反応を、電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。	反応の進行を、エネルギー図を用いて説明でき	有機化學 漢習口					
#法國性体と立体類性体について説明できる。 # きリリティーと光学活性を概認できる。 # キリリティーと光学活性を概認できる。 # キリリティーと光学活性を概認できる。 # キリリティーと光学活性を概認できる。 # キリリティーと光学活性を概認できる。 # おり配置の表示法を説明できる。 # おり配置の表示法を説明できる。 # おり配置の表示法を説明できる。 # おり配置の表示法を説明できる。 # おり配置の表示法を説明できる。 # おり配置を対象し、その特徴を説明できる。 # 代表的な典型示素を列撃し、その特徴を説明できる。 # 代表的な典型示素を列撃し、その特徴を説明できる。 # 代表的な異型示素を列撃し、その特徴を説明できる。 # 作表的な異性体の名称、構造、性質を列撃できる。 # おりない リン、ハロゲンの酸化物、オキン化合物の名称、構造、性質を列撃できる。 # おりない リン、ハロゲンの酸化物、オキン化合物の名称、構造、性質を列撃できる。 # おりない 日本 に に は は は は は は は は は は は は は は は は は	有機反応を、電子の動きを示す矢印を用いて説明でき	有 被					
#適識性体と立体異性体について説明できる。	[有機化合物の立体構造]						
# キラリティーと光学活性を概認できる。	1)構造異性体と立体異性体について説明できる。		後期 有機化学工 後期 演習N				
エナンチオマーとジアステレオマーについて説明できる。			後期 有機化學II 後期 演習IV				
接頭 絶対配置の表示法を説明できる。 と	エナンチオマーとジアステレオマーについて説明でき		後期 有機化学工 後期 演習N				
後別配置の表示法を説明できる。			後期 有機化学工 後期 演習IV				
Fischer投影式とNewman投影式を用いて有機化合物の構造を書くことができる。			後期 有機化学工 後期 演習IV				
エタンおよびブタンの立体配座と安定性について説明できる。 前期 有機化学 1 快期 化学 1 代表的な典型元素を列挙し、その特徴を説明できる。 前期 化学 1 代表的な建移元素を列挙し、その特徴を説明できる。 前期 化学 1 イオウ、リン、ハロゲンの酸化物、オキソ化合物の名称、構造、性質を列挙できる。 前期 化学 1 代表的な錯体の名称、構造、性質を列挙できる。 前期 化学 1 代表的な錯体の名称、構造、基本的性質を説明できる。 前期 化学 1 代表的な錯体の名称、構造、基本的性質を説明できる。 前期 化学 1 代表的な指令を説明できる。 前期 化学 1 代表的なばかの安定度定数について説明できる。 前期 化学 1 銀体の安定度定数について説明できる。 前期 化学 1 銀体の安定度定数について説明できる。 前期 化学 1 銀体の安定度定数について説明できる。 前期 化学 1 銀体の反応性について説明できる。 前期 化学 1 前期 化学 1 銀体の反応性について説明できる。 前期 化学 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(1)		後期 演習W				
機化合物】 代表的な典型元素を列挙し、その特徴を説明できる。	7) エタンおよびブタンの立体配座と安定性について説明できる。		後期 演習Ⅳ				
代表的な典型元素を列挙し、その特徴を説明できる。 前期 化学 1 前期 化学 1 代表的な遷移元素を列挙し、その特徴を説明できる。 前期 化学 1 前期 化学 1 全素酸化物の名称、構造、性質を列挙できる。 前期 化学 1 代表的な錯体の名称、構造、生質を列挙できる。 前期 化学 1 代表的な錯体の名称、構造、基本的性質を説明できる。 前期 化学 1 代表的な錯体の名称、構造、基本的性質を説明できる。 前期 化学 1 配位結合を説明できる。 前期 化学 1 配位結合を説明できる。 前期 化学 1 代表的な定度定数について説明できる。 前期 化学 1 錯体の安定度定数について説明できる。 前期 化学 1 錯体の安定度定数について説明できる。 前期 化学 1 錯体の安定度定数について説明できる。 前期 化学 1 錯体の安定性に与える配位子の構造的要素(キレート効果)について説明できる。 前期 化学 1 錯体の反応性について説明できる。 前期 化学 1 錯体の反応性について説明できる。 前期 化学 1 錯体の反応性について説明できる。 前期 化学 1 錯体の反応性について説明できる。 前期 化学 1 結婚 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	【無機化合物】						
代表的な遷移元素を列挙し、その特徴を説明できる。 前期 化学 I 前期 化学 I 付表的な無機医薬品を列挙できる。 前期 化学 I 代表的な無機医薬品を列挙できる。 前期 化学 I 代表的な錯体の名称、構造、性質を列挙できる。 前期 化学 I 代表的な錯体の名称、構造、基本的性質を説明できる。 前期 化学 I 配位結合を説明できる。 前期 化学 I 配位結合を説明できる。 前期 化学 I 就有体の安定度定数について説明できる。 前期 化学 I 錯体の安定度定数について説明できる。 前期 化学 I 錯体の反応性について説明できる。 前期 化学 I 前期 化学 I 指導体の反応性について説明できる。 前期 化学 I 計算 化学 I 計算 化学 I 計算 化学 I 前期 化学 I 計算 化学 I 前期 化学 I 計算 化学 I 計算 化学 I 前期 I 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1典型元素を列挙し、						
窒素酸化物の名称、構造、性質を列挙できる。 前期 化学1 イオウ、リン、ハロゲンの酸化物、オキソ化合物の名称、構造、性質を列挙できる。 前期 化学1 代表的な錯体の名称、構造、基本的性質を説明できる。 前期 化学1 代表的な錯体の名称、構造、基本的性質を説明できる。 前期 化学1 配位結合を説明できる。 前期 化学1 代表的なドナー原子、配位基、キレート試薬を列挙できる。 前期 化学1 錯体の安定度定数について説明できる。 前期 化学1 錯体の安定度定数について説明できる。 前期 化学1 錯体の安定性に与える配位子の構造的要素(キレート効果)について説明できる。 前期 化学1 錯体の反応性について説明できる。 前期 化学1 錯体の反応性について説明できる。 前期 化学1 情機の受定性に与える配位子の構造的要素(キレート効果)について説明できる。 前期 化学1 情機の受定性に与える配位子の構造的要素(キレート効果)について記明できる。 前期 化学1 情機化合物の骨格 前期 化学1 レカン1 前期 イ業化学	代表的な遷移元素を列挙し、その特徴を説明でき						
イオウ、リン、ハロゲンの酸化物、オキン化合物の名称、構造、性質を列挙できる。 前期 化学 I 代表的な無機医薬品を列挙できる。 前期 化学 I 代表的な錯体の名称、構造、基本的性質を説明できる。 前期 化学 I 配位結合を説明できる。 前期 化学 I 代表的なドナー原子、配位基、キレート試薬を列挙できる。 前期 化学 I (株表的なドナー原子、配位基、キレート試薬を列挙できる。 前期 化学 I (株表的なドナー原子、配位基、キレート試薬を列挙できる。 前期 化学 I 錯体の安定度定数について説明できる。 前期 化学 I 錯体の安定性に与える配位子の構造的要素(キレート効果)について説明できる。 前期 化学 I 錯体の反応性について説明できる。 前期 化学 I 錯体の反応性について説明できる。 前期 化学 I 6 機能の反応性について説明できる。 前期 化学 I 6 機能の反応性について説明できる。 前期 化学 I 6 機能の 5 機能 2 装束的な 6 機能 2 装束 1	窒素酸化物の名称、構造、性質を列挙でき						
代表的な無機医薬品を列挙できる。 前期 化学1 代表的な錯体の名称、構造、基本的性質を説明できる。 前期 化学1 配位結合を説明できる。 前期 化学1 代表的なドナー原子、配位基、キレート試薬を列挙できる。 前期 化学1 錯体の安定度定数について説明できる。 前期 化学1 錯体の安定性に与える配位子の構造的要素(キレート効果)について説明できる。 前期 化学1 錯体の反応性について説明できる。 前期 化学1 錯体の反応性について説明できる。 前期 化学1 6 葉品として用いられる代表的な錯体を列挙できる。 前期 化学1 6 医薬品として用いられる代表的な錯体を列挙できる。 前期 化学1 6 医薬品として用いられる代表的な錯体を列挙できる。 前期 化学1 6 様据 注意 6 様期 作学1	イオウ、リン、ハロゲンの酸化物、オキソ化合物の名称、構造、						
(大妻的な錯体の名称、構造、基本的性質を説明できる。	5) 代表的な無機医薬品を列挙できる。	前期 化学 I					
代表的な錯体の名称、構造、基本的性質を説明できる。	[編体]						
配位結合を説明できる。	代表的な錯体の名称、構造、						
代表的なドナー原子、配位基、キレート試薬を列挙できる。							
は体の安定度定数について説明できる。	代表的なドナー原子、配位基、キレート試薬を列挙でき						
錯体の安定性に与える配位子の構造的要素(キレート効果)について説明できる。	4) 錯体の安定度定数について説明できる。	前期 化学1					
錯体の反応性について説明できる。	錯体の安定性に与える配位子の構造的要素(キレート効果)	前期 化学1					
医薬品として用いられる代表的な錯体を列挙できる。							
有機化合物の骨格	医薬品として用いられる代表的な錯体を列挙でき						
対象化水素およびアルキル基をIUPACの規則に従って命名することができる。							
基本的な炭化水素およびアルキル基をIUPACの規則に従って命名することができる。 前期 有機化学	【どればり】						
	とができ	前期 有機化学 1 後期 演習 1					

() 「) 「) 「) 「) 「) 「) 「) 「) 「) 「			-	1		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
2) アルカンの基本的な物性について説明できる。	前期 有機化学I 後期 演習工					
3) アルカンの構造異性体を図示し、その数を示すことができる。	前期 有機化学 I 後期 演習 I					
4)シクロアルカンの環の歪みを決定する要因について説明できる。	前期 有機化学I 後期 演習工					
	前期 有機化学1 後期 演習1					
6)シクロヘキサンのいす形配座における水素の結合方向(アキシアル、エクアトリアル)を図示できる。	前期 有機化学1後期 演習工					
7) 置換シクロヘキサンの安定な立体配座を決定する要因について説明できる。	前期 有機化学I 後期 演習工					
「アルケン・アルキンの反応性」						
1) アルケンへの代表的なシン型付加反応を列挙し、反応機構を説明できる。		前期 有機化学工前期 漢習工				
2) アルケンへの臭素の付加反応の機構を図示し、反応の立体特異性(アンチ付加)を説明できる。		的期 有機化学工 前期 演習工				
3) アルケンへのハロゲン化水素の付加反応の位置選択性 (Markovnikov 則) について説明できる。		前期 有機化学II 前期 演習II				
4) カルボカチオンの級数と安定性について説明できる。	前期 有機化学 I					
5) 共役ジェンへのハロゲンの付加反応の特徴について説明できる。	1	前期 有機化學工 前期 減習日				
6) アルケンの酸化的開製反応を列挙し、構造解析への応用について説明できる。		前期 有機化学口 前期 減習日				
7) アルキンの代表的な反応を列挙し、説明できる。		前期 有機化学工 前期 演習工				
[芳香族化合物の反応性]						
1) 代表的な芳香族化合物を列挙し、その物性と反応性を説明できる。		前期 有极化学工 前期 演習日				
2) 芳香族性 (Huckel則) の概念を説明できる。		自想 有機化外II 自想 读图目				
3) 芳香族化合物の求電子置換反応の機構を説明できる。		前期 有機化学II 前期 漢習II				
4) 芳香族化合物の求電子置換反応の反応性および配向性に及ぼす置換基の効果を説明できる。		前期 有機化学II 前期 漢習II				
5) 芳香族化合物の代表的な求核置換反応について説明できる。		前類 有機化学口 前類 漢習日				
(3) 官能基						
[機散]						
1)代表的な官能基を列挙し、個々の官能基を有する化合物を IUPACの規則に従って命名できる。		後期 有機化学皿				
2)複数の官能基を有する化合物をIUPACの規則に従って命名できる。		後期 有機化学皿				
3)生体内高分子と薬物の相互作用における各官能基の役割を説明できる。		後期 有機化学皿				
4) 代表的な官能基の定性試験を実施できる。(技能)		前期 実習工				
5) 官能基の性質を利用した分離精製を実施できる。(技能)		前期 実習工				
6) 日常生活で用いられる化学物質を官能基別に列挙できる。		後期 有機化学皿				

2年 3年				蒙坐	型		
1月ペン化合物) 1個ハロゲン化合物の代表的な性質と反応を列撃し、説明できる。	薬学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs)	1年	2年	年	4	5年	6年
「韓、ログン化子から物の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。	[有機パロゲン化合物]						
特護機反応(3)1および 32反応) の機構について、立体化学を含めて説明できる。	*物の代表的な性質と反応を列挙し、説明でき		有機化學 演習目				
四がソセフルキルの膨入ロゲン化水素の機構を図示し、反応の位置選択性(Sartzeff制)を 制剤できる。	(\$ 1および \$ 2反応) の機構について、立体化学を含めて説明でき		有機化學 漢酯目				
コール・フェノール・デオール] ルコール類の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。	ハロゲン化アルキルの脱ハロゲン化水素の機構を図示し、反応の位置選択性(Saytzeff則) 説明できる。		有機化學 演習日				
7ルコール類の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。	[プルコール・フェノール・チオール]						
第四 フェノール類、チオール類の抗酸化作用について説明できる。 第四 11	アルコール類の代表的な性質と反応を列挙し、説明でき						
72 ノール類、チオール類の抗酸化作用について説明できる。	フェノール類の代表的な性質と反応を列挙し、						
に一テル類の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。	フェノー		201				
に一テル類の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。							
# キシラン類の開環反応における立体特異性と位置選択性を説明できる。			100				
デビド・ケトン・カルボン酸)	2) オキシラン類の開環反応における立体特異性と位置選択性を説明できる。						
7ルデビド類およびケトン類の性質と、代表的な求核付加反応を列挙し、説明できる。 と	【アルデヒド・ケトン・カルボン酸】						
提別	代表的な求核付加反応を列挙し、						
7)1ルボン酸誘導体(酸ハロゲン化物、酸無水物、エステル、アミド、ニトリル)の代表的な性質と 技術を列挙し、説明できる。 **と表的な生体内アミンを列挙し、説明できる。 **と表的な生体内アミンを列挙し、説明できる。 **と表の微性度・塩基性度 **・カル・フェノール、カルボン酸などの酸性度を比較して説明できる。 **・カル・フェノール、カルボン酸などの酸性度を比較して説明できる。 **・カル・フェノール、カルボン酸などの酸性度に影響を及ぼす因子を列挙し、 **・野の質の構造決定 **と事物質の構造決定 **と事物質の構造決定 **と事物質の構造決定 **と事物質の構造決定 **と事物質の構造決定 **と事が質の構造決定に用いられる機器分析法の特徴を説明できる。 **と素においてきる。 **と表においてきる。 **と表においてきる。 **と類は化合物中の代表的水素原子について、おおよその化学シフト値を示すことができる。 **と表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表	カルボン酸の代表的な性質と反応を列挙し、						
7 上	エステル、アミド、						
(表的な生体内アミンを列挙し、開造式を書くことができる。 (表現の微性度・塩基性度) (表現できる。 (本現の構造決定に用いられる機器分析法の特徴を説明できる。 (本現の構造決定に用いられる機器分析法の特徴を説明できる。 (表現の構造決定に用いられる機器分析法の特徴を説明できる。 (表現の構造決定に用いられる機器分析法の特徴を説明できる。 (表現の構造決定に用いられる機器分析法の特徴を説明できる。 (表現の構造分析法の特徴を説明できる。 (表現の構造分値の意味を説明できる。 (表現	[X\\ Z\]						
(表的な生体内アミンを列挙し、構造式を書くことができる。	アミン類の代表的な性質と反応を列挙し、説明でき		200				
後期 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	代表的な生体内アミンを列挙し、構造式を書くことができ						
アルコール、フェノール、カルボン酸などの酸性度を比較して説明できる。 後期できる。 2明できる。 後期できる。 29物質の構造決定 後期できる。 C学物質の構造決定に用いられる機器分析法の特徴を説明できる。 後期できる。 23 (2学物質の構造決定に用いられる機器分析法の特徴を説明できる。 29物質の構造決定に用いられる機器分析法の特徴を説明できる。 後期 後期 後期 後期 後期 (2学シフトに及ぼす構造的要因を説明できる。 2学シフトに及ぼす構造的要因を説明できる。 後期 後期 後期 後期 (2学シストに及ぼす構造的要因を説明できる。 2学シストに及ぼす構造的表面子について、おおよその化学シフト値を示すことができる。 後期 後期 後期 後期 後期 後期 後期 後期 1 NMRの積分値の意味を説明できる。 後期 後期 後期 後期 後期							
7ルコール、フェノール、カルボン酸、およびその誘導体の酸性度に影響を及ぼす因子を列挙し、 後期できる。	チオール、						
	アルコール、フェノール、 説明できる。						
と学物質の構造決定 2							
2学物質の構造決定に用いられる機器分析法の特徴を説明できる。	(4) 化学物質の構造決定	200					
([機線]						
スペクトルの概要と測定法を説明できる。 後期 を対 を対 を対 がフトに及ぼす構造的要因を説明できる。 後期 能化合物中の代表的水素原子について、おおよその化学シフト値を示すことができる。 後期 (添加による重水素置換の方法と原理を説明できる。 (後期 後期 後期	1) 化学物質の構造決定に用いられる機器分析法の特徴を説明できる。		後期 分析化学工 後期 演習N				
MMRスペクトルの概要と測定法を説明できる。 後期 化学シフトに及ぼす構造的要因を説明できる。 後期 有機化合物中の代表的水素原子について、おおよその化学シフト値を示すことができる。 後期 重水添加による重水素置換の方法と原理を説明できる。 後期 *H NMRの積分値の意味を説明できる。 後期 後期 後期	[SWN H,]						
化学シフトに及ぼす構造的要因を説明できる。 後期 分析化学 後期 清智IV							
有機化合物中の代表的水素原子について、おおよその化学シフト値を示すことができる。	2) 化学シフトに及ぼす構造的要因を説明できる。		分析化學 演習N				
重水添加による重水素置換の方法と原理を説明できる。 後期 分析化学 後期 演習V 'H NMRの積分値の意味を説明できる。 後期 次習V	有機化合物中の代表的水素原子について、おおよその化学シフト値を示すことができ		分析化學 演習IV				
'H NMRの積分値の意味を説明できる。 後期 分析化学			分析化学 演習IV				
			後期 分析化学工 後期 演習IV				

(**) ロット サーナニナウト・ディー・神神神神神		酸当	E #		
楽子教育セナル・コノガリナュフム(3DOS)	1年 2年	3年	4年	5年	6年
6) 'H NMRングナルが近接プロトンにより分裂(カップリング)する理由と、分裂様式を説明できる。	後期 分析化学工後期 演習IV				
7) H NARのスピン結合定数から得られる情報を列挙し、その内容を説明できる。	後期 分析化学工 後期 演習IV				
8) 代表的化合物の部分構造を H NMR から決定できる。(技能)	後期 分析化学工後期 演習IV				
["C NWR]					
1) ¹³ C NARの測定により得られる情報の概略を説明できる。	後期 分析化学工 後期 演習IV				
2) 代表的な構造中の炭素について、おおよその化学シフト値を示すことができる。	後期 分析化学工後期 演習Ⅳ				
[ルイクトル]					
1) IRスペクトルの概要と測定法を説明できる。	後期 分析化学工後期 演習IV				
2) IRスペクトル上の基本的な官能基の特性吸収を列挙し、帰属することができる。(知識・技能)	後期 分析化学工後期 清阳V				
[紫外可視吸収スペクトル]					
1) 化学物質の構造決定における紫外可視吸収スペクトルの役割を説明できる。	後期 分析化学工後期 演習IV				
[ヤススペクトル]					
1) マススペクトルの概要と測定法を説明できる。	後期 分析化学工後期 演習IV				
2) イオン化の方法を列挙し、それらの特徴を説明できる。	後期 分析化学工後期 演習IV				
3) ピークの種類 (基準ピーク、分子イオンピーク、同位体ピーク、フラグメントピーク) を説明ができる。	後期 分析化学工後期 演習Ⅳ				
4) 塩素原子や臭素原子を含む化合物のマススペクトルの特徴を説明できる。	後期 分析化学II 後期 演習IV				
5) 代表的なフラグメンテーションについて概能できる。	後期 分析化学 I 後期 演習IV				
6) 高分解能マススペクトルにおける分子式の決定法を説明できる。	後期 分析化学工 後期 演習IV				
7) 基本的な化合物のマススペクトルを解析できる。(技能)	後期 分析化学工後期 演習Ⅳ				
[比旋光度]					
1) 比旋光度測定法の概略を説明できる。			後期 日本薬局方各論		
2) 実測値を用いて比旋光度を計算できる。(技能)			後期 日本薬局方各論		
3) 比旋光度と絶対配置の関係を説明できる。			後期 日本薬局方各論		
4) 旋光分散と円二色性について、原理の概略と用途を説明できる。			後期 日本薬局方各論		
【総合演習】					
1) 代表的な機器分析法を用いて、基本的な化合物の構造決定ができる。(技能)	後期 分析化学工				
C5 ターゲット分子の合成					
(1) 官能基の導入・変換					
1) アルケンの代表的な合成法について説明できる。	前期 有機化学工				
2) アルキンの代表的な合成法について説明できる。	前期 有機化学工				

			奴	## H		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年		- 1	5年	6年
3) 有機ハロゲン化合物の代表的な合成法について説明できる。		前期 有機化学工				
		前期 有機化学工				
5)フェノールの代表的な合成法について説明できる。		前期 有機化学工				
エーテルの代表的な合成法について説明できる		前期 有機化学工				
7) アルデヒドおよびケトンの代表的な合成法について説明できる。		後期 有機化学皿				
8) カルボン酸の代表的な合成法について説明できる。		後期 有機化学皿				
9) カルボン酸誘導体(エステル、アミド、ニトリル、酸ハロゲン化物、酸無水物)の代表的な合成法について説明できる。		後期 有機化学皿				
10) アミンの代表的な合成法について説明できる。		後期 有機化学皿				
11)代表的な官能基選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。		後期 有機化学皿				
12) 代表的な官能基を他の官能基に変換できる。 (技能)		後期 有機化学皿				
(2) 複雑な化合物の合成						
【炭素骨格の構築法】						
1) Diels-Alder反応の特徴を具体例を用いて説明できる。		後期 有機化学皿				
2)転位反応を用いた代表的な炭素骨格の構築法を列挙できる。		後期 有機化学皿				
3)代表的な炭素酸のpKaと反応性の関係を説明できる。		後期 有機化学皿				
4)代表的な炭素-炭素結合生成反応(アルドール反応、マロン酸エステル合成、アセト酢酸エステル合成、Michael付加、Mannich反応、Grignard反応、Wittig反応など)について概説できる。		後期 有機化学皿				
【位置および立体選択性】						
1)代表的な位置選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。		前期 有機化学工				
2) 代表的な立体選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。		前期 有機化学工				
【保護基】						
1) 官能基毎に代表的な保護基を列挙し、その応用例を説明できる。		前期 有機化学工 後期 有機化学工				
【光学活性化合物】						
1) 光学活性化合物を得るための代表的な手法 (光学分割、不斉合成など)を説明できる。		前期 有機化学工				
【総合演習】						
1) 課題として与えられた化合物の合成法を立案できる。 (知識・技能)		後期 有機化学皿				
2) 課題として与えられた医薬品を合成できる。 (技能)		前期 実習工				
3) 反応廃液を適切に処理する。 (技能・態度)		前期 実習工				
06 生体分子・医薬品を化学で理解する						
(1) 生体分子のコアとパーツ						
【生体分子の化学構造】						
 タンパク質の高次構造を規定する結合(アミド基間の水素結合、ジスルフィド結合など)および相互作用について説明できる。 	後期 生化学 I	後期 生物有機化学				
2) 糖類および多糖類の基本構造を概能できる。	後期 生化学 I	後期 生物有機化学				
3) 糖とタンパク質の代表的な結合様式を示すことができる。	後期 生化学 I	後期 生物有機化学				
4)核酸の立体構造を規定する化学結合、相互作用について説明できる。	後期 生化学 I	後期 生物有機化学				
5) 生体膜を構成する脂質の化学構造の特徴を説明できる。	後期 生化学 I	後期 生物有機化学				

3) 1 =			数温	目性		
楽子教育セアル・コノガジキュフム(350%)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【生体内で機能する複素環】						
1)生体内に存在する代表的な複素環化合物を列挙し、構造式を書くことができる。			前期 医薬化学1			
2)核酸塩基の構造を書き、水素結合を形成する位置を示すことができる。			前期 医薬化学1			
3) 複素環を含む代表的な補酵素(フラビン、NAD、チアミン、ピリドキサール、葉酸など)の機能を化学反応性と関連させて説明できる。			前期 医薬化学 I			
[生体内で機能する錯体・無機化合物]						
1)生体内に存在する代表的な金属イオンおよび錯体の機能について説明できる。			前期 医薬化学1			
2)活性酸素の構造、電子配置と性質を説明できる。			前期 医薬化学1			
3)一酸化窒素の電子配置と性質を説明できる。			前期 医薬化学1			
【化学から観る生体ダイナミクス】						
1)代表的な酵素の基質結合部位が有する構造上の特徴を具体例を挙げて説明できる。			前期 医薬化学1			
2) 代表的な酵素(キモトリプシン、リボヌクレアーゼなど)の作用機構を分子レベルで説明できる。			前期 医薬化学 I			
3) タンパク質リン酸化におけるATPの役割を化学的に説明できる。			前期 医薬化学1			
(2) 医薬品のコアとパーツ						
【医薬品のコンポーネント】						
1)代表的な医薬品のコア構造 (ファーマコフォア)を指摘し、分類できる。			前期 医薬化学 I			
2) 医薬品に含まれる代表的な官能基を、その性質によって分類し、医薬品の効果と結びつけて説明 できる。			前期 医薬化学 1			
【医薬品に含まれる複素環】						
1) 医薬品として複素環化合物が繁用される根拠を説明できる。			前期 医薬化学 I			
2) 医薬品に含まれる代表的な複素環化合物を指摘し、分類することができる。			前期 医薬化学 I			
3)代表的な芳香族複素環化合物の性質を芳香族性と関連づけて説明できる。			前期 医薬化学 I			
4)代表的芳香族複素環の求電子試薬に対する反応性および配向性について説明できる。			前期 医薬化学 I			
5)代表的芳香族複素環の求核試薬に対する反応性および配向性について説明できる。			前期 医薬化学1			
【医薬品と生体高分子】						
1)生体高分子と非共有結合的に相互作用しうる官能基を列挙できる。			前期 医薬化学 I			
2)生体高分子と共有結合で相互作用しうる官能基を列挙できる。			前期 医薬化学 I			
3)分子模型、コンピューターソフトなどを用いて化学物質の立体構造をシミュレートできる。 (知識・技能)	後期 有機化学 I	前期 有機化学II 後期 有機化学II				
【生体分子を模倣した医薬品】						
1) カテコールアミンアナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。			前期 医薬化学1			
2) アセチルコリンアナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。			前期 医薬化学1			
3) ステロイドアナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。			後期 医薬化学Ⅱ			
4)核酸アナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。			後期 医薬化学Ⅱ			
5) ペプチドアナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。			後期 医薬化学工			
【生体内分子と反応する医薬品】						
1)アルキル化剤とDNA塩基の反応を説明できる。			前期 医薬化学 I 前期 化学療法学			
2) インターカレーターの作用機序を図示し、説明できる。			前期 医薬化学 I 前期 化学療法学			

1			数当	型		
薬学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
3) β-ラクタムを持つ医薬品の作用機序を化学的に説明できる。			前期 医薬化学 I 前期 化学療法学			
C7 自然が生み出す薬物						
(1) 薬になる動植鉱物						
【生薬とは何か】						
1)代表的な生薬を列挙し、その特徴を説明できる。		前期 生薬学 [
2) 生薬の歴史について概説できる。		前期 生薬学1				
3) 生薬の生産と流通について概能できる。		前期 生薬学1				
[薬用植物]						
1)代表的な薬用植物の形態を観察する。(技能)			後期 薬用植物学			
2) 代表的な薬用植物の学名、薬用部位、薬効などを列挙できる。		後期 生薬学工				
		後期 生薬学工				
4) 代表的な薬用植物を形態が似ている植物と区別できる。(技能)			後期 薬用植物学			
5) 代表的な薬用植物に含有される薬効成分を説明できる。		後期 生薬学工				
[植物以外の医薬資源]						
1)動物、鉱物由来の医薬品について具体例を挙げて説明できる。		後期 生薬学工				
【生薬成分の構造と生合成】						
1) 代表的な生薬成分を化学構造から分類し、それらの生合成経路を概説できる。		後期 生薬学工				
136		後期 生薬学工				
3) 代表的な強心配糖体の構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることができる。		後期 生薬学工				
4)代表的なアルカロイドの構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることができる。		後期 生薬学工				
5)代表的なフラボノイドの構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることができる。		後期 生薬学工				
6)代表的なフェニルプロパノイドの構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることができる。		後期 生薬学工				
7) 代表的なポリケチドの構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることができる。		後期 生薬学工				
【農薬、香粧品としての利用】						
1) 天然物質の農薬、香粧品などの原料としての有用性について、具体例を挙げて説明できる。		前期 生薬学I 後期 生薬学II	後期 香粧品学 後期 薬用植物学			
【生薬の同定と品質評価】						
1) 日本薬局方の生薬総則および生薬試験法について説明できる。		前期 生薬学 I				
2) 代表的な生薬を鑑別できる。(技能)		前期 生薬学1				
3) 代表的な生薬の確認試験を実施できる。(技能)		後期 生薬学口	後期 薬用植物学			
4) 代表的な生薬の純度試験を実施できる。 (技能)		後期 生薬学工	後期 薬用植物学			
5) 生薬の同定と品質評価法について概認できる。		前期 生薬学1				
(2) 薬の宝庫としての天然物						
【シーズの探索】						
1) 医薬品として使われている天然有機化合物およびその誘導体を、具体例を挙げて説明できる。		後期 生薬学工				
2)シーズの探索に貢献してきた伝統医学、民族植物学を例示して概説できる。		後期 生薬学工				

(*)のの) 7 11・半二十八丁・三川 土体を影響			酸温	目は		
後手教育モンバ・コンパッチュング(350%)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
3) 医薬原料としての天然物質の資源確保に関して問題点を列挙できる。	後期	生薬学Ⅱ				
[天然物質の取扱い]						
1) 天然物質の代表的な抽出法、分離精製法を列挙し、実施できる。(技能)	後期	生薬学工	後期 薬用植物学			
2)代表的な天然有機化合物の構造決定法について具体例を挙げて概説できる。	後期	生薬学工	後期 薬用植物学			
【微生物が生み出す医薬品】						
1) 抗生物質とは何かを説明し、化学構造に基づいて分類できる。	桃柳	微生物学	前期 化学療法学 後期 医薬化学II			
【発酵による医薬品の生産】						
1) 微生物による抗生物質 (ペニシリン、ストレプトマイシンなど) 生産の過程を概説できる。	前朔	微生物学	前期 化学療法学			
[発酵による有用物質の生産]						
1) 微生物の生産する代表的な糖質、酵素を列挙し、利用法を説明できる。	前期	微生物学	前期 化学療法学			
(3)現代医療の中の生薬・漢方薬						
[漢方医学の基礎]						
1) 漢方医学の特徴について概説できる。				前期 漢方医薬学		
2) 漢方薬と民間薬、代替医療との相違について説明できる。				前期 漢方医薬学		
3) 漢方薬と西洋薬の基本的な利用法の違いを概説できる。				前期 漢方医薬学		
4) 漢方処方と「証」との関係について概説できる。				前期 漢方医薬学		
5)代表的な漢方処方の適応症と配合生薬を説明できる。				前期 漢方医薬学		
6) 漢方処方に配合されている代表的な生薬を例示し、その有効成分を説明できる。				前期 漢方医薬学		
7) 漢方エキス製剤の特徴を煎液と比較して列挙できる。				前期 漢方医薬学		
[漢方処方の応用]						
1)代表的な疾患に用いられる生薬及び漢方処方の応用、使用上の注意について概説できる。				前期 漢方医薬学		
2) 漢方薬の代表的な副作用や注意事項を説明できる。				前期 漢方医薬学		
[生物系薬学を学ぶ]						
C8 生命体の成り立ち						
(1) ヒトの成り立ち						
[編版]						
1) ヒトの身体を構成する臓器の名称、形態および体内での位置を説明できる。	後期 機能形態学1					
2) ヒトの身体を構成する各臓器の役割分担について概説できる。	後期 機能形態学1					
【神経系】						
1) 中枢神経系の構成と機能の概要を説明できる。	前期 生物学1					
2) 体性神経系の構成と機能の概要を説明できる。	前期 生物学1					
3) 自律神経系の構成と機能の概要を説明できる。	前期 生物学1					
【骨格系·筋肉系】						
1) 主な骨と関節の名称を挙げ、位置を示すことができる。	前期 生物学 I					
2) 主な骨格筋の名称を挙げ、位置を示すことができる。	前期 生物学1					
【皮膚】						
1) 皮膚について機能と構造を関連づけて説明できる。	前期 生物学1					

				蒙世		
188末	A (S	1年	2年	种	4	6年
の際について機能と構造を関連づけて説明できる。	【循環器系】					
直管系について機能と構造を関連づけて説明できる。	1) 心臓について機能と構造を関連づけて説明できる。					
リンパ系について機能と構造を関連づけて説明できる。						
(43系) (433) (4	3) リンパ系について機能と構造を関連づけて説明できる。					
議、気管支について機能と構造を関連づけて説明できる。	[呼吸器系]					
(2番系) (2番系) (3 小線、大腸などの消化管について機能と構造を関連づけて説明できる。	気管支について機能と構造を関連づけて説明でき	生物学				
関、小線、大陽などの消化管について機能と構造を関連づけて説明できる。	[消化器系]					
評解、 即線、 四嚢について機能と構造を関連づけて説明できる。	胃、小腸、大腸などの消化管について機能と構造を関連づけて説明でき	生物学				
(240 英) (240 英) (25 英) (26 英) (27 本) (27 本) (28 英) (28 英) (28 英) (29 本) (2	肝臓、膵臓、	生物学				
解線、膀胱などの泌尿器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。	[张器界]					
経済入 おり、子宮などの生殖器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。	膀胱などの泌尿器系臓器について機能と構造を関連づけて説明でき					
精巣、卵巣、子宮などの生殖器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。	【生殖器系】					
20 20 20 20 20 20 20 20	卵巣、子宮などの生殖器系臓器について機能と構造を関連づけて説明でき					
脳下垂体、甲状腺、副腎などの内分泌系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。	[内分泌系]					
民政系】 取、耳、鼻などの感覚器について機能と構造を関連づけて説明できる。	脳下垂体、甲状腺、副腎などの内分泌系臓器について機能と構造を関連づけて説明でき					
取、耳、鼻などの感覚器について機能と構造を関連づけて説明できる。	【感覚器系】					
・ 適面器系	眼、耳、鼻などの感覚器について機能と構造を関連づけて説明でき	生物学 I 機能形態学				
母脑、脾臓、胸腺などの血液・造血器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。	[血液·造血器系]					
生命体の基本単位としての細胞 2と組織 3	骨髄、脾臓、胸腺などの血液・造血器系臓器について機能と構造を関連づけて説明でき	機能形態学				
上機成する代表的な細胞の種類を列挙し、形態的および機能的特徴を説明できる。 前期 生物学 I をおよび組織を顕微鏡を用いて観察できる。 (技能) を別 生物学 I を別 と物学 I を別 生物学 I を別 と物学 I を別 と						
大名組織構築について説明できる。 前期 生物学 I を持成する代表的な細胞の種類を列挙し、形態的および機能的特徴を説明できる。 前期 生物学 I を期 生物学 I を知 生物学 I を期 生物学 I を期 生物学 I を期 生物学 I を知 生物学 I	【細胞と組織】					
と構成する代表的な細胞の種類を列挙し、形態的および機能的特徴を説明できる。 前期 生物学 I を初まび組織を顕微鏡を用いて観察できる。(技能) 後期 実習 I まと性質について説明できる。 後期 生物学 I 及する代表的な生体分子を列挙し、その機能を説明できる。 歳期 生物学 I 及する代表的な生体分子を列挙し、その機能を説明できる。 前期 生物学 I と説明できる。 前期 生物学 I と説明できる。 前期 生物学 I と説明できる。 前期 生物学 I 会期機について説明できる。 前期 生物学 I を期機について説明できる。 前期 生物学 I を期機について説明できる。 前期 生物学 I を期間の違いを対比して説明できる。 後期 生物学 I	1) 細胞集合による組織構築について説明できる。					
後期 生物学	臓器、組織を構成する代表的な細胞の種類を列挙し、形態的および機能的特徴を説明でき					
市別 生物学 I						
市別 生物学 下別 生物学 下別 生物学 下別 生物学 下別 生物質 を別 生物学 下の機能を説明できる。	【描符編】					
京	1)組胞膜の構造と性質について説明できる。	生物学生				
	細胞膜を構成する代表的な生体分子を列挙し、その機能を説明でき					
宮 (核、ミトコンドリア、小胞体、リソソーム、ゴルジ体、ベルオキシソームなど)の 前期 生物学 I 上説明できる。 前期 生物学 I D機構について説明できる。 前期 生物学 I 会類機構について説明できる。 前期 生物学 I を期 全物学 I 後期 生物学 I 水とネクローシスについて説明できる。 後期 生物学 I 後期 生物学 I 後期 生物学 I	細胞膜を介した物質移動について説明でき	生物学生化学				
官(核、ミトコンドリア、小胞体、リソソーム、ゴルジ体、ベルオキシソームなど)の 前期 生物学 I 上説明できる。 前期 生物学 I 2機構について説明できる。 前期 生物学 I Aとネクローシスについて説明できる。 前期 生物学 I (を期間の違いを対比して説明できる。 後期 生物学 I (を期間の違いを対比して説明できる。 後期 生物学 I	【細胞内小器官】					
投類	(核、ミトコンドリア、小胞体、リソソーム、ゴルジ体、ベルオキシソームなど) 説明できる。	生物学				
D機構について説明できる。 前期 生物学 I 後期 計期 生物学 I 後期 1 前期 生物学 I 後期 2 とネクローシスについて説明できる。 後期 2 とネクローシスについて説明できる。 後期 2 と ネクローシスについて説明できる。 後期 金額 2 と 第	【細胞の分裂と死】					
生殖細胞の分裂機構について説明できる。 前期 生物学 I 後期 アボトーシスとネクローシスについて説明できる。 前期 生物学 I 後期 生物学 I 日本物学 I 日本地学 I 日本学 I 日本地学 I 日本地学 I 日本学 I <t< td=""><td>O機構について説明でき</td><td>生物学</td><td>10.00</td><td></td><td></td><td></td></t<>	O機構について説明でき	生物学	10.00			
アポトーシスとネクローシスについて説明できる。 - 飲期 生物学 I 依期 を対比して説明できる。 - 依期 生物学 I 依期 I 依						
正常細胞とがん細胞の違いを対比して説明できる。		生 生 等 等 等				

「編酌間コミュニケーション] 1年 24 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1		tt es	4年	\$\psi\$	4
主な細胞接着分子の種類と特徴を説明できる。 前期 生物学 前間 前間 中間 中間 中間 中間 中間 中間					
主な細胞接着分子の種類と特徴を説明できる。 前期 生物学 I 1クス分子の種類、分布、性質を説明できる。 前期 生物学 I fの顕前機構を説明できる。 前期 生物学 I fw横を説明できる。 前期 生物学 I fw横を説明できる。 前期 生物学 I fw付できる。 前期 生物学 I fw付できる。 前期 生物学 I fw付できる。 前期 生物学 I fuff を説明できる。 前期 生物学 I fuff を説明できる。 後期 機能形態学 I fuff を説明できる。 後期 機能形態学 I fuff を説明できる。 後期 機能形態学 I fuff できる。 前期 生物学 I fuff できる。 前期 生物学 I fuff できる。 前期 生物学 I fuff を設明できる。 前期 生物学 I fuff を設けてきる。 前期 生物学 I fuff を設けてきる。 前期 生物学 I fuff をある。 前期 生物学 I fuff をおけてきる。 前期 生物学 I					
1クス分子の種類、分布、性質を説明できる。 前期 生物学 I 1の顕節機構を説明できる。 前期 生物学 I 10関節機構を説明できる。 前期 生物学 I 1を表示メオスタシスの調節機構の代表例を列挙し、模説できる。 前期 生物学 I 1説機構および作用機構を説明できる。 前期 生物学 I 1月できる。 前期 生物学 I 1月できる。 前期 生物学 I 1月できる。 検期 機能形態学 I 1日できる。 後期 機能形態学 I 1日できる。 後期 機能形態学 I 1日の関節機構を説明できる。 後期 機能形態学 I 10回りできる。 前期 生物学 I 10回の関節機構を説明できる。 (20回りできる。 10回の対域機構を説明できる。 前期 生物学 I 10回りできる。 前期 生物学 I 10回りできる。 前期 生物学 I 10回りできる。 前期 生物学 I					
10回節機構を説明できる。 前期 生物学 前間 神間できる。 前間 生物学 前間 神間できる。 前間 世間できる。 前間できる。 前面できる。 前面できる。					
「の関節機構を説明できる。					
砂脚節機構を説明できる。 前期 生物学 I 情報者説明できる。 前期 生物学 I するホメオスタシスの調節機構の代表例を列挙し、概説できる。 前期 生物学 I 説明できる。 前期 生物学 I 説明できる。 前期 生物学 I の調節機構を説明できる。 前期 生物学 I の調節機構を説明できる。 後期 機能形態学 I (の調節機構を説明できる。 後期 機能形態学 I (の調節機構を説明できる。 前期 生物学 I (の調節機構を説明できる。 前期 生物学 I (の調節機構を説明できる。 前期 生物学 I 前期 神経の役割について説明できる。 前期 生物学 I 前期					
時間構を説明できる。 前期 生物学 I 前間 生物学 I 前間できる。 前間 生物学 I 前間できる。 前間 生物学 I 前間 手物学 I 前間 手物学 I 前間 手物学 I 前間 手物学 I 前間 手物子 I 前間 I 前間 F 前面 I 前面 F 前面					
でするホメオスタシスの調節機構の代表例を列挙し、概説できる。 前期 生物学 I 説明できる。 前期 生物学 I 別 前期 生物学 I が設機構および作用機構を説明できる。 前期 生物学 I 関係 動類 生物学 I の関連機構を説明できる。 後期 機能形態学 I 関係を説明できる。 後期 機能形態学 I 関係を説明できる。 後期 機能形態学 I 関係を説明できる。 他期 生物学 I 開現の役割について説明できる。 前期 生物学 I					
1					
(明できる。					
6月 前期 生物学 I 8月 前期 生物学 I 8月 徳郎徳徳豊学 I 6月 後期 徳能形態学 I 6月 他期 生物学 I 6月 前期 生物学 I 6月<					
(明できる。 (明できる。 (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4					
(明できる。 (報報 生物学 1) (予ガス交換を説明できる。) (後期 機能形態学 1) (投げできる。) (後期 機能形態学 1) (の関節機構を説明できる。) 前期 生物学 1 (の関節機構を説明できる。) 前期 生物学 1 (の関節機構を説明できる。) 前期 生物学 1					
必須之後を説明できる。 後期 機能形態学1 砂機構を説明できる。 後期 機能形態学1 1明できる。 前期 生物学1 1の調節機構を説明できる。 前期 生物学1 神経の役割について説明できる。 前期					
機構を説明できる。					
(明できる。 (の) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1					
10回節機構を説明できる。 前期 生物学 1 市期 特経の役割について説明できる。 前期					
「の調節機構を説明できる。 前期 神経の役割について説明できる。 前期					
神経の役割について説明できる。	前期 機能形態学工				
既仰					
	前期 機能形態学工				
2) 消化、吸収におけるホルモンの役割について説明できる。	前期 機能形態学工				
[体温の関節機構]					
1) 体温の調節機構を説明できる。	1 本 1				
(4) 小さな生き物たち					
【類雜】					
1)生糖系の中での微生物の役割について説明できる。	前期 微生物学				
2)原核生物と真核生物の違いを説明できる。 前期 後生物学 1					
[細胞]					
1)細菌の構造と増殖機構を説明できる。					
2)細菌の系統的分類について説明でき、主な細菌を列挙できる。	前期 微生物学				
3) グラム陽性菌と陰性菌、好気性菌と嫌気性菌の違いを説明できる。	前期 微生物学	前期 化学療法学			
4)マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア、スピロヘータ、放線菌についてその特性を説明で きる。	前期 微生物学				
5) 腸内細菌の役割について説明できる。	前期 微生物学				
6) 細菌の遺伝子伝達 (接合、形質導入、形質転換) について説明できる。	前期 微生物学				
【推翻樓來】					
1)代表的な細菌毒素の作用を説明できる。					

薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	14	2年	3年	本田4年	5年	6年
[スルトウ]						
1)代表的なウイルスの構造と増殖過程を説明できる。		前期 微生物学				
2) ウイルスの分類法について概説できる。		前期 微生物学				
3) 代表的な動物ウイルスの培養法、定量法について説明できる。		前期 微生物学				
[真菌・原虫・その他の微生物]						
1) 主な真菌の性状について説明できる。		前期 微生物学				
2) 主な原虫、寄生虫の生活史について説明できる。		前期 微生物学				
1) 滅菌、消毒、防腐および殺菌、静菌の概念を説明できる。		前期 微生物学	前期 化学療法学			
2) 主な消毒薬を適切に使用する。 (技能・態度) (OSCEの対象)		前期 微生物学		前期 実習V I 後期 実務実習事前学習	前期 臨床薬学実習	
3) 主な減菌法を実施できる。 (技能) (OSCEの対象)		前期 微生物学		前期 実習VI 後期 実務実習事前学習	前期 臨床薬学実習	
【検出方法】						
1) グラム染色を実施できる。(技能)		前期 実習工				
2) 無菌操作を実施できる。 (技能)		前期 実習工		前期 実習VI 後期 実務実習事前学習	前期 臨床薬学実習	
3) 代表的な細菌または真菌の分離培養、純培養を実施できる。 (技能)		前期 実習工				
_		前期 実習工				
5) 代表的な細菌を同定できる。(技能)		前期 実習工				
(1) 細胞を構成する分子						
[預制]						
1)脂質を分類し、構造の特徴と役割を説明できる。	前期 生物学 I 後期 生化学 I					
2)脂肪酸の種類と役割を説明できる。	前期 生物学 I 後期 生化学 I					
3)脂肪酸の生合成経路を説明できる。		前期 生化学工				
4) コレステロールの生合成経路と代謝を説明できる。		前期 生化学工				
[預報]						
1)グルコースの構造、性質、役割を説明できる。	前期 生物学 I 後期 生化学 I					
2) グルコース以外の代表的な単糖、および二糖の種類、構造、性質、役割を説明できる。	前期 生物学 I					
3) 代表的な多糖の構造と役割を説明できる。	前期 生物学 I 後期 生化学 I					
4) 糖質の定性および定量試験法を実施できる。 (技能)		後期 生物有機化学				
[7ミ/酸]						
1) アミノ酸を列挙し、その構造に基づいて性質を説明できる。	前期 生物学 I 後期 生化学 I					
2) アミノ破分子中の炭素および窒素の代謝について説明できる。	後期 生化学 I	前期 生化学工				
3) アミノ酸の定性および定量試験法を実施できる。 (技能)		後期 生物有機化学				

8年教育モテル・コアカリキュラム (SBOs) 1年 1、各々の構造、基本的性質、補酵素や補欠分子として関与する生体内反応 、各方の構造、基本的性質、補酵素や補欠分子として関与する生体内反応 、よる症状を説明できる。 後期 生化学 1 と分解)を説明できる。 前期 生物学 1 できる。 前期 生物学 1 トラルドグマについて概認できる。 前期 生物学 1 トラルドグマについて概認できる。 後期 生物学 1 (をある。 後期 生物学 1 (政明できる。 後期 生物学 1 (以て説明できる。 後期 生物学 1 (以及過明できる。 後期 生物学 1 (以及過程について説明できる。 後期 生物学 1 (を挙げて説明できる。 後期 生物学 1 (を知 生物学 1 後期 生物学 1 (後期 生物学 1 後期 生物学 1 (後期 生物学 1 後期 生物学 1 (後期 生物学 1 後期 生物学 1 (とびいて説明できる。 後期 生物学 1 (を対けできる。 後期 生物学 1 (を対けで記述 2を分 2 後期 生物学 1 (とび 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2	2年 後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿	前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学	44年	## us	4
 、各々の構造、基本的性質、補酵素や補欠分子として関与する生体内反応 後期 生化学 1 こよる症状を説明できる。 後期 生化学 1 こよる症状を説明できる。 後期 生化学 1 こよる症状を説明できる。 後期 生化学 1 できる。 前期 生物学 1 できる。 前期 生物学 1 を期 生物学 1 を表的 生物学 1 を期 生物学 1<!--</th--><th>後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ</th><th>前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学</th><th></th><th></th><th></th>	後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ	前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学			
い、各々の構造、基本的性質、補酵素や補欠分子として関与する生体内反応 後期 生化学 I よる症状を説明できる。 後期 生化学 I よる症状を説明できる。 後期 生物学 I できる。 前期 生物学 I できる。 前期 生物学 I できる。 前期 生物学 I たりレドグマについて概説できる。 後期 生物学 I とが明 できる。 後期 生物学 I を助明できる。 後期 生物学 I を助明できる。 後期 生物学 I できる。 後期 生物学 I ため明語 (プロモーター、エンハンサー、エキソン、イントロンなど)を 後期 生物学 I 後期 生物学 I して説明できる。 後期 生物学 I 後期 生物学 I して説明できる。 後期 生物学 I 後期 生物学 I して説明できる。 後期 生物学 I 後期 生物学 I は説明の過程について説明できる。 後期 生物学 I 後期 生物学 II は記述について説明できる。 後期 生物学 II 後期 生物学 II は記述について説明できる。 後期 生物学 II 後期 生物学 II はこついて説明できる。 後期 生物学 II 後期 生物学 II	後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ	前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学			
よくの構造、基本的性質と生理機能を説明できる。 後期 生化学 I こと分解)を説明できる。 前期 生物学 I できる。 前期 生物学 I できる。 前期 生物学 I トラルドグマについて機能できる。 後期 生物学 II ・トラルドグマについて機能できる。 後期 生物学 II ・大きる。 後期 生物学 II ・大きる。 後期 生物学 II 後期 生物学 II ・なみ。 後期 生物学 II 後期 生物学 II ・なみ。 後期 生物学 II 後期 生物学 II ・大きる。 後期 生物学 II 後期 生物学 II ・大成明できる。 後期 生物学 II 後期 生物学 II ・大のこれて説明できる。 後期 生物学 II 後期 生物学 II ・大のこれて説明できる。 後期 生物学 II 後期 生物学 II ・大のこれて説明できる。 後期 生物学 II 後期 生物学 II ・大のこれて記明できる。 後期 生物学 II 後期 生物学 II ・大のこれで説明できる。 後期 生物学 II 後期 生物学 II ・大のにつれて説明できる。 後期 生物学 II 後期 生物学 II ・大のこれで説明できる。 後期 生物学 II 後期 生物学 II ・大のにつれて説明できる。 後期 生物学 II 後期 生物学 II ・大のにつれて記述を表現である。 後期 生物学 II 後期 生物学 II </td <td>後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿</td> <td>前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学</td> <td></td> <td></td> <td></td>	後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿	前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学			
よよる症状を説明できる。 後期 生化学 I たと分解)を説明できる。 前期 生物学 I できる。 前期 生物学 I できる。 前期 生物学 I ・トラルドグマについて概説できる。 後期 生物学 II ・トラルドグマについて概説できる。 後期 生物学 II ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿	前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学			
たと分解)を説明できる。 前期 生物学 I できる。 前期 生物学 I できる。 前期 生物学 I できる。 徳期 生物学 I トラルドグマについて概説できる。 徳期 生物学 II ・トラルドグマについて概説できる。 徳期 生物学 II 後期 生物学 II ・説明できる。 徳期 生物学 II 後期 生物学 II ・大きの用語(プロモーター、エンハンサー、エキソン、イントロンなど)を 徳期 生物学 II 後期 生物学 II ・た説明できる。 徳期 生物学 II 後期 日本物学 II 後期 日本物学 II ・して説明できる。 徳期 生物学 II 後期 日本物学 II 後期 日本物学 II ・して説明できる。 徳期 生物学 II 後期 日本物学 II 後期 日本物学 II ・これて説明できる。 徳期 生物学 II 後期 日本物学 II 後期 日本物学 II ・これて説明できる。 徳期 生物学 II 後期 日本物学 II 後期 日本物学 II ・これて説明できる。 徳期 生物学 II 後期 日本物学 II 後期 日本物学 II ・これて説明できる。 徳期 日本物学 II 後期 日本物学 II 後期 日本物学 II 後期 日本物学 II	後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ	前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学			
たと分解)を説明できる。 前期 生物学 I できる。 前期 生物学 I できる。 前期 生物学 I できる。 後期 生物学 I (を表現 生物学 I 後期 生物学 I (を期 生物学 II 後期 生物学 II (を助明できる。 後期 生物学 II 後期 生物学 II (を表の) (を表現 生物学 II 後期 生物学 II 後期 生物学 II 後期 生物学 II (を表して説明できる。 後期 生物学 II 後期 生物学 II 後期 日本物学 II 後期 日本的学 II 日本的学 II 長期 日本的学 II 日本的学 II <	後期 生化学正 後期 生化学正 後期 生化学正 後期 生化学正 後期 生化学正	南翔 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学			
できる。 前期 生物学 I できる。 前期 生物学 I できる。 後期 生物学 I できる。 後期 生物学 I トラルドグマについて概説できる。 後期 生物学 II 銀頭できる。 後期 生物学 II まる。 後期 生物学 II まるの	後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ	前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学			
できる。 前期 生物学 I できる。 前期 生物学 I トラルドグマについて概説できる。 後期 生物学 II 説明できる。 後期 生物学 II ほる。 後期 生物学 II ま本的用語(プロモーター、エンハンサー、エキソン、イントロンなど)を 後期 生物学 II 後期 生物学 II び以び説明できる。 後期 生物学 II 後期 生物学 II 後期 生物学 II いて説明できる。 後期 生物学 II 後期 生物学 II 後期 生物学 II 後期 生物学 II いて説明できる。 後期 生物学 II 後期 生物学 II 後期 生物学 II はいこれて説明できる。 後期 生物学 II 後期 生物学 II 後期 生物学 II ほこいて説明できる。 後期 生物学 II 後期 生物学 II 後期 生物学 II ほこいて説明できる。 後期 生物学 II 後期 生物学 II 後期 生物学 II	後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ 後期 生化学Ⅲ	前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学			
できる。 前期 生物学 I トラルドグマについて概説できる。 後期 生物学 II ・お達点を説明できる。 後期 生物学 II ・おきの用語(プロモーター、エンハンサー、エキソン、イントロンなど)を 後期 生物学 II ・なめ 生物学 II 後期 生物学 II ・ないて説明できる。 後期 生物学 II ・いて説明できる。 後期 生物学 II ・といて説明できる。 後期 生物学 II ・といて説明できる。 後期 生物学 II ・といて説明できる。 後期 生物学 II ・といて説明できる。 後期 生物学 II ・とのよりに記述のできる。 後期 生物学 II ・とのよりに記述のできる。 後期 生物学 II ・とのよりに記述のできる。 後期 生物学 II ・とのよりに記述のできる。 後期 生物学 II ・とのよりによりによいで説明できる。 後期 生物学 II ・とのよりによりによいで説明できる。 後期 生物学 II ・とのよりによりによいで説明できる。 後期 生物学 II ・とのよりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによ	後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿	前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学			
(本) 上がプマについて概説できる。 (本) 生物学目 (本) 株別 (本) 上相違点を説明できる。 (本) 生物学目 (本)	後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿	前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学			
(本) 上がプマについて概説できる。 後期 生物学目 後期 日本物学目 後期 生物学目 後期 生物学目 後期 日本物学目 後期 日本の学目 長期 日本の学門 日本の学 日本の学 日本の学	後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿	前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学			
相違点を説明できる。 後期 生物学目 長期 日本日 日本日 日本日 長期 日本日 日本日 日本日 日本日 <td>後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿</td> <td>前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学</td> <td></td> <td></td> <td></td>	後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿	前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学			
説明できる。 (を期 生物学 後期 年物学 後期 生物学 後期 日の過程について説明できる。	後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿 後期 生化学皿	前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学			
(4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) <td>後期 生化学正 後期 生化学正 後期 生化学正</td> <td>前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学</td> <td></td> <td></td> <td></td>	後期 生化学正 後期 生化学正 後期 生化学正	前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学 前期 ゲノム薬学			
(本的用語(プロモーター、エンハンサー、エキソン、イントロンなど)を で説明できる。 (金期 生物学 後期 後期 とこいて説明できる。	後期 生化学正後期 生化学正	前期 ゲノム薬牛 前期 ゲノム薬牛			
で説明できる。 後期 生物学目 後期 1ん学げて説明できる。 後期 生物学目 後期 いて説明できる。 後期 生物学目 後期 いて説明できる。 後期 生物学目 後期 別の過程について説明できる。 後期 生物学目 後期 ミニンいて説明できる。 後期 生物学目 後期 ミニンいて説明できる。 後期 生物学目 後期	後期 生化学皿	前期 ゲノム薬学			
いて説明できる。 後期 生物学 を挙げて説明できる。 後期 生物学 いて説明できる。 後期 生物学 間肌の過程について説明できる。 後期 生物学 ミについて説明できる。 後期 生物学					
いて説明できる。 後期 生物学 小て説明できる。 後期 生物学 いて説明できる。 後期 生物学 部队の過程について説明できる。 後期 生物学 ミについて説明できる。 後期 生物学			A SECONDARY OF THE PERSON NAMED IN COLUMN TO SECONDARY OF THE PERSON		
4を挙げて説明できる。 後期 生物学 いて説明できる。 後期 生物学 翻訳の過程について説明できる。 後期 生物学 ミについて説明できる。 後期 生物学	後期 生化学皿				
いて説明できる。 後期 生物学 翻訳の過程について説明できる。 後期 生物学 ぎについて説明できる。 後期 生物学	後期 生化学皿				
翻訳の過程について説明できる。 を期 生物学 を	後期 生化学皿				
ミドラいて説明できる。 後期 生物学 後期	後期 生化学皿				
Professional management and the second secon	後期 生化学皿				
「遺伝子の複製・炭鶏・修復」					
1) DNAの複製の過程について説明できる。 後期 生物学!l 後期 生化	後期 生化学皿				
2) 遺伝子の変異 (突然変異) について説明できる。	後期 生化学皿				
3) DNAの修復の過程について説明できる。 後期 生物学!l 後期 生化	後期 生化学皿				
[遺伝子多型]					
1) 一塩基変異 (SNPs) が機能におよぼす影響について概説できる。 後期 生物学 II 後期 生化	後期 生化学皿	前期 ゲノム薬学			
(3) 生命活動を担うタンパク質					
【タンバク質の構造と機能】					
1) タンパク質の主要な機能を列挙できる。 後期 生化学 l					
2) タンパク質の一次、二次、三次、四次構造を説明できる。					
3) タンパク質の機能発現に必要な翻訳後修飾について説明できる。 後期 生化学 後期 生化	後期 生化学皿				
[酵素]					
1) 酵素反応の特性を一般的な化学反応と対比させて説明できる。 後期 生物学 後期 生化学					
2) 酵素を反応様式により分類し、代表的なものについて性質と役割を説明できる。					

			双进	型型		
薬学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs)	1年	2年			5年	6年
3) 酵素反応における補酵素、微量金属の役割を説明できる。	後期 生化学					
4) 酵素反応速度論について説明できる。	後期 生化学					
5) 代表的な酵素活性調節機構を説明できる。	後期 生化学					
6) 代表的な酵素の活性を測定できる。 (技能)		前期 実習工				
【酵素以外の機能タンパク質】						
 細胞内外の物質や情報の授受に必要なタンパク質(受容体、チャネルなど)の構造と機能を概能できる。 		後期 生化学川				
2)物質の輸送を担うタンパク質の構造と機能を概説できる。		後期 生化学川				
3) 血漿リボタンパク質の種類と機能を概説できる。		前期 生化学川				
4) 細胞内で情報を伝達する主要なタンパク質を列挙し、その機能を概認できる。		後期 生化学川				
α	後期 生化学1					
【タンパク質の取扱い】						
1) タンパク質の定性、定量試験法を実施できる。 (技能)		後期 生物有機化学				
2) タンパク質の分離、精製と分子量の測定法を説明し、実施できる。 (知識・技能)	後期 生化学					
3) タンパク質のアミノ酸配列決定法を説明できる。		後期 生物有機化学				
【栄養素の利用】						
1) 食物中の栄養成分の消化・吸収、体内運搬について概能できる。	前期 生物学 I	前期 生化学工				
[ATPの産生]						
1) ATPが高エネルギー化合物であることを、化学構造をもとに説明できる。	前期 生物学 I	前期 生化学工				
2) 解糖系について説明できる。	前期 生物学1	前期 生化学工				
3) クエン酸回路について説明できる。	前期 生物学 I	前期 生化学工				
4)電子伝達系(酸化的リン酸化)について説明できる。	前期 生物学 I	前期 生化学工				
5)脂肪酸のβ酸化反応について説明できる。	前期 生物学 I	前期 生化学工				
6) アセチルCoAのエネルギー代謝における役割を説明できる。		前期 生化学工				
7) エネルギー産生におけるミトコンドリアの役割を説明できる。		前期 生化学工				
8) ATP産生阻害物質を列挙し、その阻害機構を説明できる。		前期 生化学工				
9) ベントースリン酸回路の生理的役割を説明できる。		前期 生化学工				
10) アルコール発酵、乳酸発酵の生理的役割を説明できる。		前期 生化学工				
【創機状態と飽食状態】						
1) グリコーゲンの役割について説明できる。		前期 生化学工				
2) 糖新生について説明できる。		前期 生化学工				
3) 飢餓状態のエネルギー代謝(ケトン体の利用など)について説明できる。		前期 生化学工				
4) 余剰のエネルギーを蓄えるしくみを説明できる。		前期 生化学工				
5) 食餌性の血糖変動について説明できる。		前期 生化学工				
6) インスリンとグルカゴンの役割を説明できる。		前期 生化学工				
7) 糖から脂肪酸への合成経路を説明できる。		前期 生化学工				
8) ケト原性アミノ酸と糖原性アミノ酸について説明できる。		前期 生化学工				
(5) 生理活性分子とシグナル分子						
	The second secon					

4 1 1			双	日本		
楽字教育セナル・コノカリキュフム(3BOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
[ホルモン]						
1) 代表的なペプチド性ホルモンを挙げ、その産生職器、生理作用および分泌調節機構を説明できる。	前期 生物学 I					
2) 代表的なアミノ酸誘導体ホルモンを挙げ、その構造、産生臓器、生理作用および分泌調節機構を 説明できる。	前期 生物学 I					
3) 代表的なステロイドホルモンを挙げ、その構造、産生職器、生理作用および分泌調節機構を説明できる。	前期 生物学1					
4) 代表的なホルモン異常による疾患を挙げ、その病態を説明できる。	前期 生物学1					
[オータコイドなど]						
1) エイコサノイドとはどのようなものか説明できる。		前期 生化学工				
2)代表的なエイコサノイドを挙げ、その生合成経路を説明できる。		前期 生化学工				
3)代表的なエイコサノイドを挙げ、その生理的意義(生理活性)を説明できる。		前期 生化学工				
4) 主な生理活性アミン(セロトニン、ヒスタミンなど)の生合成と役割について説明できる。		前期 生化学工				
5) 主な生理活性ペプチド (アンギオテンシン、ブラジキニンなど) の役割について説明できる。		前期 生化学工				
6) 一酸化窒素の生合成経路と生体内での役割を説明できる。		前期 生化学工				
【神経伝達物質】						
1) モノアミン系神経伝達物質を列挙し、その生合成経路、分解経路、生理活性を説明できる。	後期 機能形態学1					
2) アミノ酸系神経伝達物質を列挙し、その生合成経路、分解経路、生理活性を説明できる。	後期 機能形態学1					
3) ペプチド系神経伝達物質を列挙し、その生合成経路、分解経路、生理活性を説明できる。	後期 機能形態学1					
4) アセチルコリンの生合成経路、分解経路、生理活性を説明できる。	後期 機能形態学1					
【サイトカイン・増殖因子・ケモカイン】						
1)代表的なサイトカインを挙げ、それらの役割を概説できる。		後期 生化学皿				
2) 代表的な増殖因子を挙げ、それらの役割を概説できる。		後期 生化学皿				
3) 代表的なケモカインを挙げ、それらの役割を概説できる。		後期 生化学皿				
【細胞內情報伝達】						
1)細胞内情報伝達に関与するセカンドメッセンジャーおよびカルシウムイオンなどを、具体例を挙げて説明できる。	前期 生物学 I	後期 生化学皿				
2)細胞膜受容体から6タンパク系を介して細胞内へ情報を伝達する主な経路について概説できる。		後期 生化学皿				
3) 細胞膜受容体タンパク質などのリン酸化を介して情報を伝達する主な経路について概説できる。		後期 生化学皿				
4) 代表的な細胞内(核内) 受容体の具体例を挙げて説明できる。		後期 生化学皿				
(6) 遺伝子を操作する						
[遺伝子操作の基本]						
1)組換えDNA技術の概要を説明できる。	後期 生物学工		前期 ゲノム薬学			
2)細胞からDNAを抽出できる。(技能)		後期 生化学川				
3)DNAを制限酵素により切断し、電気泳動法により分離できる。(技能)		後期 生化学川				
4)組換之DNA実験指針を理解し守る。(態度)		後期 生化学川				
5) 遺伝子取扱いに関する安全性と倫理について配慮する。(態度)		後期 生化学川				
【遺伝子のクローニング技術】						
1) 遺伝子クローニング法の概要を説明できる。	後期 生物学工		前期 ゲノム薬学			
2) cDNAとゲノミックDNAの違いについて説明できる。	後期 生物学工		前期 ゲノム薬学			
3) 遺伝子ライブラリーについて説明できる。	後期 生物学工		前期 ゲノム薬学			

						【免疫応答のコントロール】
				後期 免疫学		4) 代表的な免疫不全症候群を挙げ、その特徴と成因を説明できる。
				後期 免疫学		3) 代表的な自己免疫疾患の特徴と成因について説明できる。
				後期 免疫学		2) 炎症の一般的症状、担当細胞および反応機構について説明できる。
				後期 免疫学		1) アレルギーについて分類し、担当細胞および反応機構を説明できる。
						【免疫系が関係する疾患】
						(2) 免疫系の破綻・免疫系の応用
				後期 免疫学		5) 免疫系に関わる主なサイトカイン、ケモカインを挙げ、その作用を説明できる。
				後期 免疫学		4) 抗体分子および「細胞抗原受容体の多様性を生み出す機構(遺伝子再構成)を概説できる。
				後期 免疫学	前期 生物学 I	3)「細胞による抗原の認識について説明できる。
				後期 免疫学		2) MHC抗原の構造と機能および抗原提示経路での役割について説明できる。
				後期 免疫学		1) 抗体分子の種類、構造、役割を説明できる。
						【分子レベルで見た免疫のレベみ】
				後期 免疫学		4) 免疫反応における主な細胞間ネットワークについて説明できる。
				後期 免疫学		3) 食細胞が自然免疫で果たす役割を説明できる。
				後期 免疫学	前期 生物学 I	2) 免疫担当細胞の種類と役割を説明できる。
				後期 免疫学	前期 生物学 1	1) 免疫に関与する組織と細胞を列挙できる。
						【免疫を担当する組織・細胞】
				後期 免疫学	前期 生物学 I	6)体液性免疫と細胞性免疫を比較して説明できる。
				後期 免疫学		5) クローン選択説を説明できる。
				後期 免疫学	前期 生物学 1	4) 免疫反応の特徴(自己と非自己、特異性、記憶)を説明できる。
				後期 免疫学	前期 生物学 I	3)補体について、その活性化経路と機能を説明できる。
				後期 免疫学	前期 生物学 I	2) 異物の侵入に対する物理的、生理的、化学的バリアーについて説明できる。
				後期 免疫学	前期 生物学 I	1) 自然免疫と獲得免疫の特徴とその違いを説明できる。
						[生体防御反応]
						(1) 身体をまもる
						010 生体防御
					後期 生物学工	4) 遺伝子工学の医療分野での応用について例を挙げて説明できる。
					後期 生物学工	3) 特定の遺伝子を導入した動物、あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる。
			前期 ゲノム薬学		後期 生物学工	2) 外来遺伝子を細胞中で発現させる方法を概説できる。
			前期 ゲノム薬学		後期 生物学工	1) 細胞 (組織) における特定のDNAおよびRNAを検出する方法を説明できる。
						【遺伝子機能の解析技術】
						7) コンピューターを用いて特徴的な塩基配列を検索できる。 (技能)
			前期 ゲノム薬学		後期 生物学工	6) DNA塩基配列の決定法を説明できる。
			前期 ゲノム薬学		後期 生物学工	5) RNAの逆転写と逆転写酵素について説明できる。
			前期 ゲノム薬学		後期 生物学工	4)PCR法による遺伝子増幅の原理を説明し、実施できる。(知識・技能)
6年	5年	4年	3年	2年	1年	米十次に「ファーエンジントリノは、こうこう
						後 日本の十十二・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・

		凝	田林		
※十枚百七フル・コノバッチュフム(300%)	1年 2年	3年	4年	5年	6年
2)細菌、ウイルス、寄生虫などの感染症と免疫応答との関わりについて説明できる.	後期 免疫学				
3) 腫瘍排除に関与する免疫反応について説明できる。	後期 免疫学				
4)代表的な免疫賦活療法について概説できる。	後期 免疫学				
[予防接種]					
1)予防接種の原理とワクチンについて説明できる。	後期 免疫学				
2) 主なワクチン (生ワクチン、不活化ワクチン、トキソイド、混合ワクチン) について基本的特徴を 説明できる。	後期 免疫学				
3)予防接種について,その種類と実施状況を説明できる。	後期 免疫学				
[免疫反応の利用]					
1) モノクローナル抗体とポリクローナル抗体の作製方法を説明できる。	後期 免疫学				
2) 抗原抗体反応を利用した代表的な検査方法の原理を説明できる。	後期 免疫学				
3) 沈降、凝集反応を利用して抗原を検出できる。(技能)	後期 免疫学				
4) ELISA法、ウエスタンプロット法などを用いて抗原を検出、判定できる。(技能)	後期 生化学川				
(3) 感染症にかかる					
【代表的な感染症】					
 1) 主なDNAウイルス (△サイトメガロウイルス、△EBウイルス、ヒトヘルペスウイルス、△アデノ ウイルス、△バルボウイルスB19、B型肝炎ウイルス)が引き起こす代表的な疾患について概説できる。 	前期 微生物学				
2) 主なRMかイルス (△ボリオウイルス、△コクサッキーウイルス、△エコーウイルス、△ライノ ウイルス、A型所炎ウイルス、C型所炎ウイルス、インフルエンザウイルス、△麻疹ウイルス、 △ムンプスウイルス)が引き起こす代表的な疾患について概説できる。	前期 微生物学				
3) レトロウイルス (HIV、HTLV) が引き起こす疾患について概訟できる。	前期 微生物学				
4) グラム陽性球菌 (ブドウ球菌、レンサ球菌) の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患に ついて概説できる。	前期 微生物学				
5)グラム除性球菌(淋菌、△酪酸炎菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について 概説できる。	前期 微生物学				
6)グラム陽性桿菌(破傷風菌、△ガス壊疽菌、ボツリヌス菌、△ジフテリア菌、△炭疽菌)の細菌 学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。	前期 微生物学				
7) グラム陰性桿菌(大腸菌、赤角菌、サルモネラ菌、△チフス菌、△ベスト菌、コレラ菌、△百日 咳菌、腸炎ビブリオ菌、緑膿菌、△ブルセラ菌、レジオネラ菌、△インフルエンザ菌)の細菌学的 特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。	前期 微生物学				
8) グラム陰性スピリルム腐病原菌 (ヘリコパクター・ピロリ菌) の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。	前期 微生物学				
9)抗酸菌(結核菌、非定型抗酸菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。	前期 微生物学				
10) スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアの微生物学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。	前期 微生物学				
11) 真菌(アスペルギルス、クリプトコックス、カンジダ、△ムーコル)の微生物学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。	前期 微生物学				
12) 代表的な原虫、寄生虫の代表的な疾患について概説できる。	前期 微生物学				
13) プリオン感染症の病原体の特徴と発症機序について概説できる。	前期 微生物学				
【感染症の予防】					
1)院内感染について、発生要因、感染経路、原因微生物、およびその防止対策を概説できる。	前期 微生物学		後期 感染制御学		
[健康と環境]					
011 震願					

(2) 対象と連載				双当	四		
数量と健康	楽字教育セナル・コケカりキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	
	(1) 栄養と健康						
演奏祭(三大栄養祭、ビタミン、ミネラル)を列塚し、それぞれの役割について説明できる。	[栄養素]						
	ミネラル)を列挙し、	机坝					
原家の科外選案における血漿リポタンパク質の栄養学的意義を説明できる。	2) 各栄養素の消化、吸収、代謝のプロセスを概説できる。	机加					
意思中のランパク質の栄養的な価値(栄養価)を説明できる。	脂質の体内運搬における血漿リボタンパク質の栄養学的意義を説明でき	前期					
正本ルギー代謝に関わる路径代謝重、母歌商、エネルギー所廣重の意味を説明できる。		前期					
宗養素の栄養所需量の意義について説明できる。 前間 株生化学 I		前期					
日本における栄養摂取の現状と問題点について説明できる。		PALCINE.					
#		前期					
20 品質と管理		前期	衛生化学 1				
会品が解放する機構について説明できる。 油脂が変敗する機構について説明できる。 油脂が変敗する機構を発酵し、油脂の変質は較冬実施できる。(知識・技能) 食品の視安を引き起こままた反応とその機構を説明できる。 食品の複数を引き起こままた反応とその機構を説明できる。 食品の複数を引き起こまな反応とその機構を説明できる。 食品の成労自来の弱から治療を影響し、その生成機構を説明できる。 (共能) な自由本の発が心機が良利に列挙し、その生成機等を説明できる。 (共能) な自力の活効物の試験法実施できる。(技能) (共表的な食品添加物の試験法実施できる。(技能) (共表的な食品添加物の試験法実施できる。(技能) (共表のな理解を自)を以、その与機を説明できる。 (技能) (中表の指数を引挙し、その特徴を説明できる。 (技能) (中表の指数を引挙し、その特徴を説明できる。 (技能) (中表のな可となる自然者を列挙し、その特徴を説明できる。 (対能) (中毒の原因となる自然者を列挙し、その特徴を説明できる。 (対定) (中毒の原因となる自然者を列挙し、その原因物質、作用機構、症状の特徴を説明できる。 (対定) (中毒の原因となる自然者を列挙し、その原因物質、作用機構、症状の特徴を説明できる。 (対定) (中毒の原因となら自然者を列挙し、そのに表情患者について説明できる。 (対のできる。 (対のなする) (中毒と疾病の現状を把側できる。 (対の治療と疾病の現状を把側できる。 (対のな者において説明できる。 (対のな者において説明できる。 (対のな者において説明できる。 (対のな者において説明できる。 (対のな者において説明できる。 (対のなる) (と表病をもくる日本の現状) (中期できる。 (中期できる)	【食品の品質と管理】						
議局が変敗する機構を認明し、油局の変質試験を実施できる。 (知識・技能) 快期 塔生化学 I 最后の相談を引き起てする反応とその機構を説明できる。 保護 路生化学 I 最后の必関を防く方法 (保存法)を説明できる。 保護 路生化学 I 最后の必関を防く方法 (保存法)を説明できる。 保護 路生化学 I 食品の添加物の試的規範と同類点について説明できる。 保護 路生化学 I (主義的な食品添加物の試験法を実施できる。 (技能) 快期 毎生化学 I 技術の企業機能食品の別味し、その与微を説明できる。 (知識・態度) 快期 毎生化学 I 技術 海生化学 I 技術のな理解性な品の別味し、その特徴を説明できる。 (知識・態度) 快期 毎生化学 I (主義的な保護機能食品の別味力を別学し、その特徴を説明できる。 (知識・態度) 快期 毎生化学 I (主義的な保護機能食品の現状を影明し、その特徴を説明できる。 (知識・態度) 快期 毎生化学 I (主義的な保護機能食品の現状を影明し、その情報を記明できる。 (知識・態度) 快期 毎生化学 I (主義的な可能的 (財産、アイルス性食中毒を列学し、それらの原因となる強生物の性質、症状、原因食品 食中毒の原因となる自然毒を列学し、その原因物質、作用機構、症状の特徴を説明できる。 (主物質 (重金属、残損無数など) による食品労強の具体例を挙げ、ヒトの健康に及ぼす影響を (主物質 (重金属、残損無数など) による食品労強の具体例を挙げ、ヒトの健康に及ぼす影響を (対象 衛生化学 I (大妻的なマイコトキンンを列挙し、それによる食品労強できる。 (対象 衛生化学 I (対象 衛生化学 I (対の 衛生の自動との現態との自体例を挙げ、ヒトの健康に及ぼす影響を (対象 衛生化学 I (対象 研生化学 I	1) 食品が腐敗する機構について説明できる。	後期	衛生化学				
会員の政策を引き起こす主な反応とその機構を説明できる。	油脂が変敗する機構を説明し、油脂の変質試験を実施できる。(知識・	後期	衛生化学				
食品の変質を防ぐ方法(保存法)を説明できる。 食品成分由来の野が心物質を列挙し、その生成機構を説明できる。 食品成分由来の野が心物質を列挙し、それらの機とを説明できる。 (技能) (表のなが食品添加物を用途別に列挙し、それらの機とを説明できる。 (技能) (表のなが食品添加物を用途別に列撃し、それらの機とを説明できる。 (技能) (本さのな異種機能食品を列挙し、それらの機とを説明できる。 (技能) (本さのな異種機能食品を列挙し、それらの機とと説明できる。 (技能) (本さの体理を説明といるとの状況を説明できる。 (技能) (本さの体理を説明できる。 (技能) (本さの体理を説明できる。 (技能) (本さの体理を説明できる。 (技能) (本の種類を列撃し、その問題点について問題さるが生物の性質、症状、原因食品 (大き的な異など) (大きのなマイコトキシンを列挙し、その原因物質、作用機構、症状の特徴を説明できる。 (大きのなマイコトキシンを列挙し、それによる健康等害について概拠できる。 (表現 衛生化学 I		後期	衛生化学				
食品成分由来の発がん物質を列挙し、その生成機構を説明できる。 (代表的な食品添加物を用途別に列挙し、それらの働きを説明できる。 食品添加物の法的規制と問題点について説明できる。 (技能) 遺伝子組換え食品の現状を説明し、その特徴を説明できる。 (技能) 食中毒の種類を列挙し、それらの関題点について討議する。(知識・態度) (代表的な保軽機能食品を列挙し、その特徴を説明できる。 (技能) 食中毒の種類を列挙し、発生状況を説明できる。 (技能) 食中毒の種類を列挙し、発力特徴を説明できる。 (技能) 食中毒の種類を列挙し、発力特徴を説明できる。 (技能) 食中毒の原因となる自然毒を列挙し、その問題点について制臓できる。 (大き的なマイコトキシンを列挙し、それらの原因となる微生物の性質、症状、原因食品 と作業的なマイコトキシンを列挙し、それによる健康得害について根拠できる。 (技) 保生化学 工 (大きの原因となる自然毒を列挙し、それによる健康得害について根拠できる。 (技) 保生化学 工 (大きの原因となる自然毒を列挙し、それによる食品汚染の具体例を挙げ、とトの健康に及ぼす影響を (重金原、残留農薬など)による食品汚染の具体例を挙げ、とトの健康に及ぼす影響を (重金原、残留農薬など)による食品汚染の具体例を挙げ、とトの健康に及ぼす影響を (重金原、残留農薬など)による食品汚染の具体例を挙げ、とトの健康に及ぼす影響を (重金原、残留農薬など)による食品汚染の具体例を挙げ、とトの健康に及ぼす影響を (重金原、残留農薬など)による食品汚染の具体例を挙げ、とトの健康に及ぼす影響を (表現 衛生化学 工 (表現 衛生化学 工 (表現 衛生化学 工 (表現 一般) 衛生 (表現 一般) 衛生 (表現 一般) 衛生 (表現 衛生の学 工 (表現 一般) 衛生 (表現 一般) 一般) 「「成りのできる」 (表現 一般) 「「成りのでなる」 (表現 一般) 「「成りのでなる」 (表現 一般) 「「成りのでなりでなりでなりでなりでなりでなりでなりでなりでなりではなりでなりではなりでは		後期	衛生化学				
(代表的な食品添加物を用途別に列挙し、それらの働きを説明できる。 全期 報生化学 I 食品添加物の法的規則と問題点について説明できる。 主な食品添加物の試的規則と問題点について説明できる。 (技能) 主な食品添加物の試験法を実施できる。(技能) 建済 報生化学 I (表的な保軽機能食品を列挙し、その特徴を説明できる。 食中毒の種類を列挙し、発生状況を説明できる。 食中毒の種類を列挙し、その問題点について討論する。(知識・態度) 食中毒の原因となる自然毒を列挙し、それらの原因となる微生物の性質、症状、原因食品 および予防方法について説明できる。 食中毒の原因となる自然毒を列挙し、それによる健康得害について概認できる。 (技)のです イコトキシンを列挙し、それによる健康得害について概認できる。 ないずる。 と明 報生化学 I (技)の定め、 (表)	食品成分由来の発がん物質を列挙し、その生成機構を説明でき	後期	衛生化学				
食品添加物の法的規制と問題点について説明できる。 主な食品添加物の試験法を実施できる。 (技能) 主な食品添加物の試験法を実施できる。 (技能) (代表的な保健機能食品を列挙し、その特徴を説明できる。 (知識・態度) (投票 第生化学 II	代表的な食品添加物を用途別に列挙し、	後期	衛生化学				
主な食品添加物の試験法を実施できる。(技能) と現 衛生化学 I 代表的な保健機能食品を列挙し、その特徴を説明できる。 (知識・態度) と現 衛生化学 I 退伍子組換え食品の現状を説明できる。 (知識・態度) と現 衛生化学 I 資中毒の種類を列挙し、その問題点について討議する。 (知識・態度) と現 衛生化学 I 食中毒の種類を列挙し、発生状況を説明できる。 (知識・態度) と現 衛生化学 I 付表的な細菌性・ウイルス性食用を列挙し、それらの原因となる微生物の性質、症状、原因食品 とり 第4年代学 I を		後期	衛生化学				
代表的な保健機能食品を列挙し、その特徴を説明できる。 (知識・態度) 後期 第生化学 工 遺伝子組換え食品の現状を説明し、その問題点について討議する。 (知識・態度) 後期 第生化学 工 食中毒の層類を列挙し、発生状況を説明できる。		後期	衛生化学 五				
遺伝子組換え食品の現状を説明し、その問題点について討議する。(知識・態度) 後期 衛生化学 工食中毒の種類を列挙し、発生状況を説明できる。 後期 衛生化学 工代表的な細菌性・ウイルス性食中毒を列挙し、それらの原因となる微生物の性質、症状、原因食品 後期 衛生化学 工食中毒の原因となる自然毒を列挙し、それらの原因となる微生物の性質、症状、原因食品 後期 衛生化学 工食中毒の原因となる自然毒を列挙し、それによる健康障害について概定できる。 後期 衛生化学 工化学 外質 (重金属、残留農薬など)による食品汚染の具体例を挙げ、ヒトの健康に及ぼす影響を説明できる。 と規 衛生化学 工程 外会・集団と健康 (25 年) による食品汚染の具体例を挙げ、ヒトの健康に及ぼす影響を (26 年) (27 年) (27 年) (28 年)	9) 代表的な保健機能食品を列挙し、その特徴を説明できる。	後期	衛生化学 II				
(世界) 食中毒の種類を列挙し、発生状況を説明できる。 食中毒の種類を列挙し、発生状況を説明できる。 (世界) (大表的な細菌性・ウイルス性食中毒を列挙し、それらの原因となる微生物の性質、症状、原因食品 (表現 衛生化学 I 代表的が原因となる自然毒を列挙し、それらの原因物質、作用機構、症状の特徴を説明できる。 食中毒の原因となる自然毒を列挙し、その原因物質、作用機構、症状の特徴を説明できる。 (世界) (大表的なマイコトキシンを列挙し、それによる健康障害について機能できる。 (世界) (大表的なマイコトキシンを列挙し、それによる健康障害について機能できる。 (世界) (大表) (大会の現代を把握する上での人口統計の意義を模能できる。 (世界) (大会の現状を把握する上での人口統計の意義を模能できる。 (世界) (大会の現状を把握する上での人口統計の意義を模能できる。 (本の) (大会) (大会) (大会) (大会) (大会) (大会) (大会) (大会	(知識・	後期	衛生化学 II				
食中毒の種類を列挙し、発生状況を説明できる。 代表的な細菌性・ウイルス性食中毒を列挙し、それらの原因となる微生物の性質、症状、原因食品 食中毒の原因となる自然毒を列挙し、それらの原因となる微生物の性質、症状、原因食品 食中毒の原因となる自然毒を列挙し、その原因物質、作用機構、症状の特徴を説明できる。 化学物質(重金属、残留農薬など)による食品汚染の具体例を挙げ、ヒトの健康に及ぼす影響を 親明できる。 独会・集団と健康 建註計 人口静態と人口動態について説明できる。 人口の特束予測に必要な指標を別挙し、その意義について説明できる。 人口の行来予測に必要な指標を別挙し、その意義について説明できる。 人口の行来予測に必要な指標を別挙し、その意義について説明できる。 人口の行来予測に必要な指標を別挙し、その意義について説明できる。 人口の行来予測に必要な指標を別挙し、その意義について説明できる。 人口の行来予測に必要な指標を別挙し、その意義について説明できる。 人口の行来予測に必要な指標を別挙し、その意義について説明できる。 前期 を記述者を必ぐる日本の現状 が知	[食中毒]						
代表的な細菌性・ウイルス性食中毒を列挙し、それらの原因となる微生物の性質、症状、原因食品 と現 衛生化学 I および予防方法について説明できる。 と現 衛生化学 I 食中毒の原因となる自然毒を列挙し、その原因物質、作用機構、症状の特徴を説明できる。 と現 衛生化学 I 代表的なマイコトキシンを列挙し、その原因物質、作用機構、症状の特徴を説明できる。 と現 衛生化学 I 記事で育 (重金属、残留農業など)による食品汚染の具体例を挙げ、ヒトの健康に及ぼす影響を 説明できる。 と現 衛生化学 I 財務計計 集団の健康と疾病の現状を把握する上での人口統計の意義を概認できる。	1) 食中毒の種類を列挙し、発生状況を説明できる。	後期	衛生化学				
食中毒の原因となる自然毒を列挙し、その原因物質、作用機構、症状の特徴を説明できる。 後期 衛生化学 I 代表的なマイコトキシンを列挙し、それによる健康障害について概説できる。 後期 衛生化学 I 化学物質(重金原、残留農薬など)による食品汚染の具体例を挙げ、ヒトの健康に及ばす影響を 説明できる。 後期 衛生化学 I 社会・集団と健康 後期 衛生化学 I 集試計】 原理の健康と疾病の現状を把握する上での人口統計の意義を概認できる。 原理の経療と疾病の現状を把握する上での人口統計の意義を概認できる。 前期 人口静態と人口動態について説明できる。 前期 死亡に関する様々な指標を列撃し、その意義について説明できる。 前期 人口の将来予測に必要な指標を列撃し、その意義について説明できる。 前期 を病者めぐる日本の現状】 前期 日本における人口の推移と将来予測について説明できる。 前期 日本における人口の推移と将来予測について説明できる。 前期 日本における人口の指移と将来予測について説明できる。 前期	代表的な細菌性・ウイルス性食中毒を列挙し、それらの原因となる微生物の性質、症状、および予防方法について説明できる。	後期	衛生化学 II				
(代表的なマイコトキシンを列挙し、それによる健康障害について概説できる。 化学物質 (重金属、残留農薬など)による食品汚染の具体例を挙げ、ヒトの健康に及ぼす影響を 説明できる。	食中毒の原因となる自然毒を列挙し、	後期	衛生化学 II				
(化学物質 (重金属、残留農薬など)による食品汚染の具体例を挙げ、ヒトの健康に及ぼす影響を 説明できる。 説明できる。 社会・類団と健康 集団の健康と疾病の現状を把握する上での人口統計の意義を概認できる。 人口静態と人口動態について説明できる。 所知 死亡に関する様々な指標の定義と意義について説明できる。 人口の将来予測に必要な指標を列挙し、その意義について説明できる。 が口の将来予測に必要な指標を列挙し、その意義について説明できる。 が口の将来予測に必要な指標を列挙し、その意義について説明できる。 が知の形でにおける人口の推移と将来予測について説明できる。 前期	代表的なマイコトキシンを列挙し、	後期	衛生化学 II				
社会・集団と健康 社会・集団と健康 前期 集団の健康と疾病の現状を把握する上での人口統計の意義を概認できる。 前期 人口静態と人口動態について説明できる。 前期 死亡に関する様々な指標の定義と意義について説明できる。 前期 人口の将来予測に必要な指標を列撃し、その意義について説明できる。 前期 と疾病をめぐる日本の現状】 前期 死因別死亡率の変遷について説明できる。 前期 財政の日本における人口の推移と将来予測について説明できる。 前期 市場 前期		後期	衛生化学 II				
握する上での人口統計の意義を模談できる。 前期 説明できる。 前期 課と意義について説明できる。 前期 法列挙し、その意義について説明できる。 前期 説明できる。 前期 表予測について説明できる。 前期 専事について説明できる。 前期	社会・						
規する上での人口統計の意義を概説できる。 前期 説明できる。 前期 調と意義について説明できる。 前期 を列挙し、その意義について説明できる。 前期 説明できる。 前期 説明できる。 前期 東予測について説明できる。 前期							
説明できる。 前期 ITできる。 前期 数と意義について説明できる。 前期 を列挙し、その意義について説明できる。 前期 説明できる。 前期 東予測について説明できる。 前期	1)集団の健康と疾病の現状を把握する上での人口統計の意義を概説できる。						
(できる。 前期 (数と意義について説明できる。 前期 (を列挙し、その意義について説明できる。 前期 説明できる。 前期 東予測について説明できる。 前期	2) 人口静態と人口動態について説明できる。			前期 公衆・環境衛生学			
義と意義について説明できる。 前期 iを列挙し、その意義について説明できる。 前期 説明できる。 前期 来予測について説明できる。 前期	3) 国勢調査の目的と意義を説明できる。						
を列挙し、その意義について説明できる。 前期 説明できる。 前期							
説明できる。 前期 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	人口の将来予測に必要な指標を列挙し、その意義について説明でき						
死因別死亡率の変遷について説明できる。 前期 日本における人口の推移と将来予測について説明できる。 前期	【健康と疾病をめぐる日本の現状】						
日本における人口の推移と将来予測について説明できる。	1) 死因別死亡率の変遷について説明できる。			前期 公衆·環境衛生学			
	2) 日本における人口の推移と将来予測について説明できる。			前期 公衆·環境衛生学			

(*)の3) リー・オニエクロ・ニ州工業権条件		数。	村 目		
※十枚■ヒンパ・コンパッチョンな(300%)	1年 2年	3年	44	5年	+9
3) 高齢化と少子化によりもたらされる問題点を列挙し、討議する。(知識・態度)		前期 公衆·環境衛生学			
[夜学]					
1) 疾病の予防における疫学の役割を説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
2) 疫学の三要因 (病因、環境要因、宿主要因) について説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
3)疫学の種類(記述疫学、分析疫学など)とその方法について説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
4) 患者・対照研究の方法の概要を説明し、オッズ比を計算できる。(知識・技能)		前期 公衆·環境衛生学 前期 演習 V			
5)要因・対照研究(コホート研究)の方法の概要を説明し、相対危険度、寄与危険度を計算できる。 (知識・技能)		前期 公衆·環境衛生学 前期 演習 V			
6) 医薬品の作用・副作用の調査における疫学的手法の有用性を概説できる。			102	前期 薬剤疫学	
7) 疫学データを解釈する上での注意点を列挙できる。		前期 公衆·環境衛生学			
(3) 疾病の予防					
(健康とは)					
1)健康と疾病の概念の変遷と、その理由を説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
2)世界保健機構(#H0)の役割について概説できる。		前期 公衆·環境衛生学			
[疾病の予防とは]					
1) 疾病の予防について、一次、二次、三次予防という言葉を用いて説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
2) 疾病の予防における予防接種の意義について説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
3)新生児マススクリーニングの意義について説明し、代表的な検査項目を列挙できる。		前期 公衆·環境衛生学			
4) 疾病の予防における薬剤師の役割について討議する。(態度)		前期 公衆·環境衛生学			
「感染症の現状とその予防】					
1) 現代における感染症(日和見感染、院内感染、国際感染症など)の特徴について説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
2) 新興感染症および再興感染症について代表的な例を挙げて説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
3) 一、二、三類感染症および代表的な四類感染症を列挙し、分類の根拠を説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
4) 母子感染する疾患を列挙し、その予防対策について説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
5)性行為感染症を列挙し、その予防対策と治療について説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
6)予防接種法と結核予防法の定める定期予防接種の種類を挙げ、接種時期などを説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
[生活習慣病とその予防]					
1)生活習慣病の種類とその動向について説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
2) 生活習慣病のリスク要因を列挙できる。		前期 公衆·環境衛生学			
3) 食生活と喫煙などの生活習慣と疾病の関わりについて説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
【職業病とその予防】					
1) 主な職業病を列挙し、その原因と症状を説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
012 環境					
(1) 化学物質の生体への影響					
【化学物質の代謝・代謝的活性化】					
1)代表的な有害化学物質の吸収、分布、代謝、排泄の基本的なプロセスについて説明できる。		THE STATE OF THE S	前期 代謝毒性学		
2)第一相反応が関わる代謝、代謝的活性化について概説できる。		柳	前期 代謝毒性学		
A A AND THE LEGISLA TO A LEGISLA THE AND A SECTION AND ASSESSMENT OF THE PROPERTY OF THE PROPE		福	前加 化樹素体學		

# F				1		
楽字教育セナル・コノガリキュフム(3BOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
[化学物質による発がん]						
1) 発がん性物質などの代謝的活性化の機構を列挙し、その反応機構を説明できる。				前期 代謝毒性学		
2) 変異原性試験 (Ames試験など) の原理を説明し、実施できる。 (知識・技能)				前期 代謝毒性学		
101				前期 代謝毒性学		
4) 代表的ながん遺伝子とがん抑制遺伝子を挙げ、それらの異常とがん化との関連を説明できる。				前期 代謝毒性学		
【化学物質の毒性】						
1) 化学物質の毒性を評価するための主な試験法を列挙し、模説できる。		後期 衛生化学 I				
2) 肝臓、腎臓、神経などに特異的に毒性を示す主な化学物質を列挙できる。		後期 衛生化学 I				
3) 重金属、農薬、PCB、ダイオキシンなどの代表的な有害化学物質の急性毒性、慢性毒性の特徴について説明できる。		後期 衛生化学 II				
4) 重金属や活性酸素による障害を防ぐための生体防御因子について具体例を挙げて説明できる。		後期 衛生化学 I				
5) 碁性試験の結果を評価するのに必要な量-反応関係、閾値、無毒性量(NOAEL)などについて 概説できる。		後期 衛生化学 II				
6) 化学物質の安全摂取量 (1日許容摂取量など) について説明できる。		後期 衛生化学 I				
		後期 衛生化学 I				
8)環境ホルモン(内分泌撹乱化学物質)が人の健康に及ぼす影響を説明し、その予防策を提案する。 (態度)		後期 衛生化学 II				
【化学物質による中毒と処置】						
1)代表的な中毒原因物質の解毒処置法を説明できる。		後期 衛生化学 I		後期 薬物治療学皿		
2) 化学物質の中毒量、作用器官、中毒症状、救急処置法、解毒法を検索することができる。 (技能)		後期 衛生化学 I				
1)人に影響を与える電離放射線の種類を列挙できる。		前期 放射化学 後期 衛生化学 II				
2) 電離放射線被曝における線量と生体損傷の関係を体外被曝と体内被曝に分けて説明できる。		前期 放射化学 後期 衛生化学 II				
3) 電離放射線および放射性核種の標的臓器・組織を挙げ、その感受性の差異を説明できる。		前期 放射化学 後期 衛生化学 II				
4)電離放射線の生体影響に変化を及ぼす因子(酸素効果など)について説明できる。		前期 放射化学 後期 衛生化学 II				
5)電離放射線を防御する方法について概説できる。		前期 放射化学 後期 衛生化学 II				
6) 電離放射線の医療への応用について概訟できる。		前期 放射化学 後期 衛生化学 II				
[非電離放射線の生体への影響]						
1) 非電離放射線の種類を列挙できる。		後期 衛生化学 II				
2) 紫外線の種類を列挙し、その特徴と生体に及ぼす影響について説明できる。		後期 衛生化学 II				
		後期 衛生化学 I				
(2) 生活環境と健康						
【地球環境と生態系】						
1)地球環境の成り立ちについて概説できる。			前期 公衆·環境衛生学			
2) 生態系の構成員を列挙し、その特徴と相互関係を説明できる。			前期 公衆·環境衛生学			
3) 人の健康と環境の関係を人が生態系の一員であることをふまえて討議する。 (態度)			前期 公衆·環境衛生学			

森子教育セブル・コンカウエコンな (3 b C S) 1年 4) 地球規模の環境問題の成因、人に与える影響について説明できる。 5) 食物連鎖を介した化学物質の生物濃縮について具体例を挙げて説明できる。 6) 化学物質の環境内動態と人の健康への影響について例を挙げて説明できる。 7) 環境由にななする主か物動性核薄 (天秋 人工) を挙げ、人の健康への影響について説明できる。	年 2年	3年	4年	5年	6年
地球規模の環境問題の成因、人に与える影響につ食物連鎖を介した化学物質の生物濃縮について具化学物質の環境内動態と人の健康への影響につい環境由した在まるまたが動性技護(天然 人工)					
食物連鎖を介した化学物質の生物濃縮について具化学物質の環境内動態と人の健康への影響につい環倍ロにななまるまかが創生体経緯(下級、人工)		前期 公衆·環境衛生学			
化学物質の環境内動態と人の健康への影響につい 環接由に存在する主か物料株装簿(天然 AT)		前期 公衆·環境衛生学			
7 1 福倍中に方左士ス士か妙卧性抜弾 (天秋: 人工) を挙げ、人の健康への影響について静明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
し、多名十二十十二、シエイ・ロンココンス・コー・ロー・コン・ハン・ロコン・ハー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	後期 衛生化学 II				
[水環境]					
1)原水の種類を挙げ、特徴を説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
2) 水の浄化法について説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
3) 水の塩素処理の原理と問題点について説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
4) 水道水の水質基準の主な項目を列挙し、測定できる。 (知識・技能)		前期 公衆·環境衛生学 前期 演習 V			
5) 下水処理および排水処理の主な方法について説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
6) 水質汚濁の主な指標を水域ごとに列挙し、その意味を説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
7) DO, BOD, CODを測定できる。(技能)		前期 公衆·環境衛生学 前期 演習 V			
8) 富栄養化の原因とそれによってもたらされる問題点を挙げ、対策を説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
[大気環境]					
1)空気の成分を説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
2) 主な大気汚染物質を列挙し、その推移と発生源について説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
3) 主な大気汚染物質の濃度を測定し、健康影響について説明できる。(知識・技能)		前期 公衆·環境衛生学			
4) 大気汚染に影響する気象要因(逆転層など)を概説できる。		前期 公衆·環境衛生学			
【室内環境】					
1)室内環境を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。(知識・技能)		前期 公衆·環境衛生学			
2)室内環境と健康との関係について説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
3)室内環境の保全のために配慮すべき事項について説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
4)シックハウス症候群について概説できる。		前期 公衆·環境衛生学			
【廢棄物】					
1) 廃棄物の種類を列挙できる。		前期 公衆·環境衛生学			
2) 廃棄物処理の問題点を列挙し、その対策を説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
3) 医療廃棄物を安全に廃棄、処理する。(技能・態度)		前期 前期 実習IV			
4) マニフェスト制度について説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
5) PRTR法について概説できる。		前期 公衆・環境衛生学			
【環境保全と法的規制】					
1) 典型七公害とその現状、および四大公害について説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
2)環境基本法の理念を説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
3) 大気汚染を防止するための法規制について説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
4) 水質汚濁を防止するための法規制について説明できる。		前期 公衆·環境衛生学			
[藻と疾病]					
013 薬の効くプロセス					
(1) 薬の作用と生体内運命					

			荻	四本		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年	3年	4年	5年	年3
【薬の作用】						
1)薬物の用量と作用の関係を説明できる。		後期 薬理学 I				
2) アゴニストとアンタゴニストについて説明できる。		後期 薬理学 I				
3) 薬物の作用するしくみについて、受容体、酵素およびチャネルを例に挙げて説明できる。		後期 薬理学1				
4) 代表的な薬物受容体を列挙し、刺激あるいは阻害された場合の生理反応を説明できる。		後期 薬理学 I				
5)薬物の作用発現に関連する代表的な細胞内情報伝達系を列挙し、活性化された場合の生理反応を 説明できる。		後期 薬理学 [
6)薬効に個人差が生じる要因を列挙できる。			前期 ゲノム薬学	前期 臨床薬理学		
7) 代表的な薬物相互作用の機序について説明できる。			前期 薬理学工 後期 薬理学皿			
8)薬物依存性について具体例を挙げて説明できる。			前期 薬理学工			
【薬の運命】						
1)薬物の体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)と薬効発現の関わりについて説明できる。		後期 薬理学 I	前期 生物薬剤学			
2) 薬物の代表的な投与方法(剤形、投与経路)を列挙し、その意義を説明できる。		後期 薬理学 I	前期 生物薬剤学			
3) 経口投与された製剤が吸収されるまでに受ける変化 (崩壊、分散、溶解など) を説明できる。		後期 薬理学 [前期 生物薬剤学			
4)薬物の生体内分布における循環系の重要性を説明できる。		後期 薬理学 [前期 生物薬剤学			
5) 生体内の薬物の主要な排泄経路を、例を挙げて説明できる。		後期 薬理学 [前期 生物薬剤学			
【薬の副作用】						
1)薬物の主作用と副作用(有害作用)、毒性との関連について説明できる。		後期 薬理学 1	前期 薬理学工			
2) 副作用と有害事象の違いについて説明できる。		後期 薬理学1	前期 薬理学工			
[動寒験]						
1)動物実験における倫理について配慮する。(態度)			後期 実習V			
2) 代表的な実験動物を適正に取り扱うことができる。(技能)			後期 実習V			
3) 実験動物での代表的な薬物投与法を実施できる。 (技能)			後期 実習V			
(2) 薬の効き方1						
【中枢神経系に作用する薬】						
1) 代表的な全身麻酔薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。			後期 薬理学皿			
2) 代表的な催眠薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。			後期 薬理学皿			
3) 代表的な鎮痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。			後期 薬理学皿			
4)代表的な中枢神経疾患(てんかん、パーキンソン病、アルツハイマー病など)の治療薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。			後期 薬理学皿			
5)代表的な精神疾患(統合失調症、うつ病など)の治療薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。			後期 薬理学皿			
6) 中枢神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる。			後期 実習V			
【自律神経系に作用する薬】						
1) 交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。			前期 薬理学工			
2)副交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、 主な副作用について説明できる。			前期 薬理学工			

(*)ロン/ 7世-十二十八丁・二十二段者崇拝		数	日は景		
	年 2年	3年	4年	5年	6年
3)神経節に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		前期 薬理学工			
4) 自律神経系に作用する代表的な薬物の効果を測定できる。(技能)) △技能であるからCBTには 馴染まない		車 東理学工			
【知覚神経系・運動神経系に作用する薬】					
1)知覚神経に作用する代表的な薬物(局所麻酔薬など)を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		前期 薬理学工			
2) 運動神経系に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		前期 薬理学工			
3)知覚神経、運動神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる。(技能))		前期 薬理学工			
【循環器系に作用する薬】					
1)代表的な抗不整脈薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		前期 薬理学工			
2)代表的な心不全治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		前期 薬理学工			
3)代表的な虚血性心疾患治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		前期 薬理学工			
4)代表的な高血圧治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		前期 薬理学工			
【呼吸器系に作用する薬】					
1) 代表的な呼吸興奮薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		後期 薬理学皿			
2)代表的な鎮咳・去痰薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		後期 薬理学皿			
3)代表的な気管支端息治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		後期 薬理学皿			
【化学構造】					
1)上記の薬物のうち代表的なものについて基本構造を示すことができる。		前期 医薬化学 1前期 医薬化学 1前期 薬理学 日後期 医薬化学 I後期 医薬化学 I後期 薬理学 田			
(3) 職の効き方!!					
【ホルモンと薬】					
1) ホルモンの分泌異常に用いられる代表的治療薬の薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。		後期 薬理学皿	前期 薬物治療学工		
2)代表的な練質コルチコイド代用薬の薬理作用、機序、臨床応用および主な副作用について説明できる。		後期 薬理学皿	前期 薬物治療学工		
3) 代表的な性ホルモン代用薬および拮抗薬の薬理作用、機序、臨床応用および主な副作用について 説明できる。		後期 薬理学皿	前期 薬物治療学工		
【消化器系に作用する薬】					
1) 代表的な胃・十二指腸潰瘍治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		後期 薬理学皿			
2)その他の消化性疾患に対する代表的治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		後期 薬理学皿			
3) 代表的な催吐薬と制吐薬を挙げ、作用機序および主な副作用について説明できる。		後期 薬理学皿			
4) 代表的な肝臓疾患治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		後期 薬理学田 後期 薬物治療学 I			
5) 代表的な膵臓疾患治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		後期 薬理学工 後期 薬物治療学1			
【腎に作用する薬】					
1) 利尿薬を作用機序別に分類し、臨床応用および主な副作用について説明できる。		前期 薬理学工			
【血液・造血器系に作用する薬】					
1)代表的な止血薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。		前期 薬理学工			

			荻	日本		
楽字教育セナル・コノカリキュラム(SBOS)	1#	2年	3年	4年	5年	6年
2) 代表的な抗血栓薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。			前期 薬理学工			
3) 代表的な造血薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。			前期 薬理学工			
【代謝系に作用する薬】						
1) 代表的な糖尿病治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。			後期 薬理学皿			
2) 代表的な高脂血症治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。			後期 薬理学皿			
3)代表的な高尿酸血症・痛風治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。			後期 薬理学皿			
4) カルシウム代謝調節・骨代謝に関連する代表的な治療薬をあげ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。				前期 薬物治療学!!		
【炎症・アレルギーと薬】						
1) 代表的な炎症治療薬を挙げ、作用機序および主な副作用について説明できる。			後期 薬理学皿			
2) 慢性関節リウマチの代表的な治療薬を挙げ、作用機序および主な副作用について説明できる。			後期 薬理学皿			
3) アレルギーの代表的な治療薬を挙げ、作用機序、臨床応用、および主な副作用について説明できる。			後期 薬理学皿			
【化学構造】						
1) 上記の薬物のうち代表的なものについて基本構造を示すことができる。			煎期 医薬化學 I 後期 医薬化學 I 後期 薬理學 II			
(4)薬物の臓器への到達と消失						
[泰贞]						
1)薬物の主な吸収部位を列挙できる。			前期 生物薬剤学 前期 演習V			
2) 消化管の構造、機能と薬物吸収の関係を説明できる。			前期 生物薬剤学 前期 漢習V			
3) 受動拡散(単純拡散)、促進拡散の特徴を説明できる。			前期 生物薬剤学 前期 演習V			
4) 能動輸送の特徴を説明できる。			前期 生物薬剤学 前期 演習V			
5) 非経口投与後の薬物吸収について部位別に説明できる。			前期 生物薬剤学 前期 演習V			
6) 薬物の吸収に影響する因子を列挙し説明できる。			前期 生物薬剤学 前期 演習V			
[分布]	0,0					
1) 薬物が生体内に取り込まれた後、組織間で濃度差が生じる要因を説明できる。			前期 生物薬剤学 前期 演習V			
2)薬物の脳への移行について、その機構と血液-脳関門の意義を説明できる。			前期 生物薬剤学 前期 演習V			
3) 薬物の胎児への移行について、その機構と血液 - 胎盤関門の意義を説明できる。						
4) 薬物の体液中での存在状態(血漿タンパク結合など)を組織への移行と関連づけて説明できる。			前期 生物薬剤学 前期 演習V			
5) 薬物分布の変動要因(血流量、タンパク結合性、分布容積など)について説明できる。			前期 生物薬剤学 前期 渡習V			
6)分布容積が著しく大きい代表的な薬物を列挙できる。			前期 生物薬利学			

2						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
これ校別は楽念のタノハン格目所介述氏におる。(女形)		整 值	期 生物薬剤学 期 演習V			
[元素]						
1)薬物分子の体内での化学的変化とそれが起こる部位を列挙して説明できる。			期 生物薬剤学期 減留 V			
2)薬物代謝が薬効に及ぼす影響について説明できる。		緊握	期 生物薬剤学期 減留V			
3)薬物代謝様式とそれに関わる代表的な酵素を列挙できる。		新 福	期 生物薬剤学期 法国人			
4)シトクロムP-450の構造、性質、反応様式について説明できる。		斯德	期 生物薬剤学 類 漢習V			
5)薬物の酸化反応について具体的な例を挙げて説明できる。		斯伯	期 生物薬剤学期 淡習V			
6)薬物の還元・加水分解、抱合について具体的な例を挙げて説明できる。			期 生物薬剤学期 演習V			
7)薬物代謝酵素の変動要因(誘導、阻害、加齢、SNPsなど)について説明できる。			期 生物薬剤学 期 演習V			
8) 初回通過効果について説明できる。		斯·博 斯·博	期 生物薬剤学 期 演習V			
9) 肝および固有クリアランスについて説明できる。		時間	期 生物薬剤学 期 漢習V			
【排泄】						
1) 腎における排泄機構について説明できる。		前期	期 生物薬剤学 期 演習V			
2) 腎クリアランスについて説明できる。		財債	期 生物薬剤学 期 洟習V			
3) 糸球体ろ過速度について説明できる。			期 生物薬剤学 期 演習V			
4) 胆汁中排泄について説明できる。		新作	萌 生物薬剤学 朝 演習V			
5) 陽肝循環を説明し、代表的な腸肝循環の薬物を列挙できる。		新 植	明 生物薬剂学 朝 演習V			
6) 唾液・乳汁中への排泄について説明できる。		基 值	明 生物薬剤学 朝 演習V			
7) 尿中排泄率の高い代表的な薬物を列挙できる。			明 生物薬剤学 明 演習V			
[相互作用]						
1)薬物動態に起因する相互作用の代表的な例を挙げ、回避のための方法を説明できる。		整恒	胡 生物薬剤学 朝 漢習V			
2)薬効に起因する相互作用の代表的な例を挙げ、回避のための方法を説明できる。		緊傷	明 生物薬剤学 明 演習V			
(5) 薬物動態の解析						
[薬動学]						
1)薬物動態に関わる代表的なパラメーターを列挙し、概説できる。		後類	胡 薬物動態学			
2)薬物の生物学的利用能の意味とその計算法を説明できる。		後期	明 薬物動態学			
3) 線形1-コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる。(知識・技能)		後期	明 薬物助態学 明 漢智V I			

			聚	日本		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	14	2年	3年	1 1	5年	6年
4)線形2-コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる。(知識・技能)			後期 薬物動態学 後期 演習VI			
5) 線形コンパートメントモデルと非線形コンパートメントモデルの違いを説明できる。			後期 薬物動態学			
6)生物学的半減期を説明し、計算できる。(知識・技能)			後期 薬物動態学 後期 演習VI			
7) 全身クリアランスについて説明し、計算できる。 (知識・技能)			後期 薬物動態学 後期 演習VI			
8) 非線形性の薬物動態について具体例を挙げて説明できる。			後期 薬物動態学			
9)モデルによらない薬物動態の解析法を列挙し説明できる。			後期 薬物動態学			
10)薬物の肝および腎クリアランスの計算ができる。(技能)			後期 薬物動態学 後期 演習VI			
11) 点滴静注の血中濃度計算ができる。 (技能)			後期 薬物動態学 後期 演習VI			
12) 連続投与における血中濃度計算ができる。 (技能)			後期 薬物動態学 後期 演習VI			
[TDM (Therapeutic Drug Monitoring)]						
1) 治療的薬物モニタリング (TDM) の意義を説明できる。				後期 臨床薬物動態学 I		
2) TDMが必要とされる代表的な薬物を列挙できる。				後期 臨床薬物動態学 I		
3)薬物血中濃度の代表的な測定法を実施できる。 (技能)				後期 実習切	前期 臨床薬物動態学工	
4) 至適血中濃度を維持するための投与計画について、薬動学的パラメーターを用いて説明できる。				後期 臨床薬物動態学 I 後期 実習VI		
5) 代表的な薬物についてモデルデータから投与計画をシミュレートできる。 (技能)				後期 臨床薬物動態学 I 後期 実習VI		
014 薬物治療						
(1) 体の変化を知る						
[症候]						
1)以下の症候について、生じる原因とそれらを伴う代表的疾患を説明できる。発熱、頭痛、発疹、 黄疸、チアノーゼ、膨水、浮腫、悪心・嘔吐、嚥下障害、腹痛・下痢、便秘、腹部膨満、貧血、 出血傾向、胸痛、心悸亢進・動悸、高血圧、低血圧、ショック、呼吸困難、咳、口渇、月経異常、 痛み、意識障害、運動障害、知覚障害、記憶障害、しびれ、けいれん、血尿、頻尿、排尿障害、 視力障害、聴力障害、めまい			前期 病態生理學 前期 病態生化學 I 後期 病態生化学 I			
[症候と臨床検査値]						
1)代表的な肝臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。			後期 病態生化学工			
2)代表的な腎臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。			後期 病態生化学Ⅱ			
3)代表的な呼吸機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。			前期 病態生理学			
4)代表的な心臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。			前期 病態生理学			

しゃしゅう ノリーナニチャー ニガー科技事材			越	目 付 层		
楽子教育セナル・コノガリキュフム(3b0%)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
5)代表的な血液および血液凝固検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。			後期 病態生化学工			
6)代表的な内分泌・代謝疾患に関する検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を 挙げることができる。			前期 病態生化学 I			
7) 感染時および炎症時に認められる代表的な臨床検査値の変動を述べることができる。			前期 病態生化学 I 後期 病態生化学 I			
8)悪性腫瘍に関する代表的な臨床検査を列挙し、推測される腫瘍部位を挙げることができる。			前期 病態生化學1 前期 病態生理学 前期 化学療法学 後期 病態生化学工		前期 悪性腫瘍学	
9) 尿および糞便を用いた代表的な臨床検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を 挙げることができる。			後期 病態生化学工			
10)動脈血ガス分析の検査項目を列挙し、その検査値の臨床的意義を説明できる。			前期 病態生理学			
11) 代表的なバイタルサインを列挙できる。			前期 病態生理学 前期 病態生化学 I 後期 病態生化学 I			
(2) 疾患と薬物治療(心臓疾患等)						
【薬物治療の位置づけ】						
1)代表的な疾患における薬物治療と非薬物治療(外科手術、食事療法など)の位置づけを説明できる。			後期 薬物治療学1	前期 薬物治療学工 後期 薬物治療学工		
2) 適切な治療薬の選択について、薬効薬理、薬物動態に基づいて判断できる。 (知識・技能)			後期 薬物治療学1	前期 薬物治療学工 後期 薬物治療学工 後期 減習VII	前期 臨床薬学総論 前期 演習VE	
【心臓・血管系の疾患】						
1) 心臓および血管系における代表的な疾患を挙げることができる。			前期 楽理学工 前期 病態生理学 前期 実習IV	前期 薬物治療学工		
2) 不整脈の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				前期 薬物治療学工		
3) 心不全の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			前期 薬理学工 前期 病態生理学	前期 薬物治療学工		
4) 高血圧の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			前期 薬理学工 前期 病態生理学	前期 薬物治療学工		
5) 虚血性心疾患の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			前期 薬理学工 前期 病態生理学	前期 薬物治療学工		
6)以下の疾患について概説できる。閉塞性動脈硬化症、心原性ショック			前期 病態生理学	前期 薬物治療学工		
【血液・造血器の疾患】						
1) 血液・造血器における代表的な疾患を挙げることができる。			後期 病態生化学工後期 薬物治療学1			
2) 貧血の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		後期 薬理学 I	後期 病態生化学II 後期 薬物治療学I			
3) 白血病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		後期 薬理学 I	後期 病態生化学I 後期 薬物治療学1			
4) 播種性血管内凝固症候群(DIC)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について 説明できる。		後期 薬理学 I	後期 病態生化学工 後期 薬物治療学1			
5) 以下の疾患について概説できる。血友病、悪性リンパ腫、紫斑病、白血球減少症、血栓・塞栓			後期 病態生化学工後期 薬物治療学1			

			聚	日本		
変学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs)	1年	2年	3年	4年	5年	年3
[消化器系疾患]						
1) 消化器系の部位別(食道、胃・十二指腸、小腸·大腸、胆道、肝臓、膵臓)に代表的な疾患を挙げ ることができる。			後期 薬理学口 後期 病態生化学口 後期 薬物治療学1			
2) 消化性潰瘍の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			後期 薬理学工 後期 病態生化学工 後期 薬物治療学 I			
3) 陽炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。						
4)肝炎・肝硬変の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			縣			
5) 膵炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。						
6)以下の疾患について摂脱できる。食道癌、胃癌、肝癌、大腸癌、胃炎、薬剤性肝障害、胆石症、 虫垂炎、クローン病			後期 病態生化学工 後期 薬物治療学 I		前期 悪性腫瘍学	
【総合演習】						
 指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。 (技能) 					前期 臨床薬学総論 前期 薬歴管理学 前期 演習VII	
(3) 疾患と薬物治療(腎臓疾患等)						
【腎臓・尿路の疾患】						
1) 腎臓および尿路における代表的な疾患を挙げることができる。			後期 病態生化学工 後期 薬物治療学 I			
2) 腎不全の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			前期 薬理学工 後期 病態生化学工 後期 薬物治療学I			
3) ネフローゼ症候群の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。						
4) 以下の疾患について概説できる。糸球体腎炎、糖尿病性腎症、尿路感染症、薬剤性腎症、尿路結石			後期 病態生化学工 後期 薬物治療学 I			
【生殖器疾患】						
1) 男性および女性生殖器に関する代表的な疾患を挙げることができる。			後期 病態生化学 I 後期 薬物治療学 I			
2) 前立験肥大症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			前期 莱理学工 後期 病態生化学工 後期 薬物治療学 I			
3) 以下の疾患について概説できる。前立腺癌、異常妊娠、異常分娩、不妊、子宮癌、子宮内膜症			後期 病態生化学工 後期 薬物治療学 I			
[呼吸器·胸部の疾患]						
1) 肺と気道に関する代表的な疾患を挙げることができる。			前期 病態生理学	前期 薬物治療学工		
2) 閉塞性気道疾患(気管支喘息、肺気腫)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意に ついて説明できる。			前期 英理学工 前期 病態生理学	前期 薬物治療学工		
3)以下の疾患について概説できる。上気道炎(かぜ症候群)、インフルエンザ、慢性閉塞性肺疾患、肺炎、肺結核、肺癌、乳癌			前期 病態生理学	前期 薬物治療学工	前期 悪性腫瘍学	

41111		盛	日本無		
楽字教育セナル・コノカリキュフム(3BOS)	1年 2年	3年	4年	5年	6年
[内分泌系疾患]					
1) ホルモンの産生臓器別に代表的な疾患を挙げることができる。		前期 病態生化学1	前期 薬物治療学工		
2) 甲状腺機能異常症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		前期 病態生化学1 後期 薬理学田	前期 薬物治療学工		
3) タッシング症候群の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		前期 病態生化学 I 後期 薬理学田	前期 薬物治療学工		
4) 尿崩症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		前期 病態生化学1 後期 薬理学田	前期 薬物治療学工		
5) 以下の疾患について概説できる。上皮小体機能異常症、、アルドステロン症、アジソン病		前期 病態生化学1	前期 薬物治療学工		
[代謝性疾患]					
1) 糖尿病とその合併症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		前期 病態生化学 I 前期 寒習 IV 後期 薬理学田	前期 薬物治療学工		
2) 高脂血症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		前期 病態生化学1 後期 薬理学田	前期 薬物治療学工		
3) 高尿酸血症・痛風の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		前期 病態生化学1 後期 薬理学田	前期 薬物治療学工		
[神経・筋の疾患]					
1)神経・筋に関する代表的な疾患を挙げることができる。		前期 病態生理学 後期 薬物治療学1			
2) 脳血管疾患の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		前期 病態生理学 後期 薬理学田 後期 薬物治療学1			
3) てんかんの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		前期 病態生理学 後期 薬理学田 後期 薬物治療学1			
4) パーキンソン病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		前期 病態生理学 後期 薬理学皿 後期 薬物治療学1			
5) アルツハイマー病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		前期 病態生理学後期 薬理学工 後期 薬理学工 後期 薬物治療学1			
6)以下の疾患について概説できる。重症筋無力症、脳炎・髄膜炎、熱性けいれん、脳腫瘍、一過性 脳虚血発作、脳血管性痴呆		前期 病態生理学 後期 薬物治療学1			
【総合演習】					
1)指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。					
(4) 疾患と薬物治療(精神疾患等)					
[精神疾患]					
1)代表的な精神疾患を挙げることができる。		前期 病態生理学			
2) 統合失調症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		前期 病態生理学 後期 薬理学皿 後期 薬物治療学I			
3) うつ病、躁うつ病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		前期 病態生理学 後期 薬理学皿 後期 薬物治療学1			
4) 以下の疾患を概説できる。神経症、心身症、薬物依存症、アルコール依存症		前期 病態生理学	前期 薬物治療学工		
[耳鼻咽喉の疾患]					
1) 耳鼻咽喉に関する代表的な疾患を挙げることができる。		前期 病態生理学 後期 薬物治療学1	前期 薬物治療学工		

1日	後年を持ずしニー ようトニャーリン 「クロフン		雰		
展記 (以下の成形を構図できる。メニュール係、アレギー性条次、花形成、御房改文、中性交	来子教目で	2年			6年
展記 17 下化一世投資後の病態起源、おしび中の使用上の注意について説明できる。	めまいの病態生埋、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		推	100	
政策に関すく代表的大系性を挙げることができる。)疾患を概説できる。メニエール病、アレルギー性鼻炎、化粉症、副鼻腔炎、		薬物治療学	3	
提出、関すく社会的大成長を発行ることができる。 超別 高知の治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。 知りの原生を模型できる。素肝等、薬疹、木根底、松癬、接触性皮膚炎、大糖過敏性症 担いの原生を模型できる。素肝等、薬疹、木根底、松癬、接触性皮膚炎、大糖過敏性症 用口の原生を模型できる。素肝等、薬疹、木根底、松癬、接触性皮膚炎、大糖過敏性症 用口の原性を模型できる。素肝等、薬疹、木根底、松癬、接触性皮膚炎、大糖過敏性症 用口の原性生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。 を対したが表的大成根を挙げることができる。 原型の原生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。 を対したの疾患を機型できる。素肝性関節点、存むがその使用上の注意について説明できる。 を対したの疾患を機型できる。素肝性関節点、存むが心症 を対したの疾患を機型できる。素肝性関節点、存むが心症 性性別のソフラの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。 に対して疾患を機型できる。素肝性関節点、存むが心症 性性別のスフレギー・免疫に関する気を挙げることができる。 はずっ発症を観じさる。素肝性関節点、存むが心症 性性別のスフレギー・免疫に関する気患を挙げることができる。 はずっ発症を動じっていて説明できる。 はずっ発症を動じっていて説明できる。 はずっ発症を制定できる。素肝性関節点、およびその使用上の注意について説明できる。 はずる疾患と中す に対 素性治療中す に対 素性治療・性 に対 素性治療中す に対 素性治療や は対 素性治療中す に対 素性治療中す に対 素性治療中す に対 素性治療中す に対 素性治療中す に対 素性治療中す に対 素性治療です に対 素性治療やす に対 素性治療やす に対 素性治療中す に対 素性治療中は に対 素性治療を は (全性 生 大 生 生 大 生 生 大 生 生 大 生 生 生 素 表 ま 生 生 生 表 表 ま 生 生 生 表 表 ま 生 生 ま ま ま ま	[皮膚疾患]				
アドビー性技術会の病態生態、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。 使用薬剤側のの病態生態、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。 (1)皮膚に関する代表的な疾患を挙げることができる。		薬物治療学	凝物	
設調資産の保証生産、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。 (2) (2) (2) (3) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	アトピー性皮膚炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明でき		薬理学日 薬物治療学		
## 1 以下の疾患を軽数できる。募集係、薬疹、水疱症、乾癬、接触性皮膚炎、光糖過敏症 (皮膚真菌症の病態生理、適切な治療薬、			棄物	
(株) 日本の代数的な疾患を挙げることができる。	蕁麻疹、薬疹、水疱症、乾癬、接触性皮膚炎、		病態生化学 薬物治療学		
銀に関する代表的な疾患を挙げることができる。	【限疾患】				
部列側の前部生理、通切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	1) 眼に関する代表的な疾患を挙げることができる。		病態生理学 薬物治療学	7.7	
日内側の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。 東部の食動 東	緑内障の病態生理、適切な治療薬、		病態生理学 薬物治療学	岩谷	
関節の検針) (根質の検針) (根質の検針) (根質の検針) (根質の検針) (根質の検針) (根質の検針) (根質の検徴生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。 (根質関節) ウマチの検格生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。 (根質関節) ウマチの検格生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。 (本質 (事を) (事を) (事を) (事を) (事を) (事を) (事を) (事を)	白内障の病態生理、適切な治療薬、		病態生理学 薬物治療学	蓋	
(根) () () () () () () () () ()	以下の疾患を概説できる。結膜炎、		病態生理学 薬物治療学	期 薬物治療学	
母、関節に関する代表的な疾患を挙げることができる。	【骨・関節の疾患】				
1	1)骨、関節に関する代表的な疾患を挙げることができる。		病態生化学	V	
での病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。 後期 薬理学皿 前期 薬物治療学工 前期 素配生化学工 按期 薬物治療学工 後期 薬配生化学工 後期 薬配生の学工 後期 薬配生化学工 前期 新配生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。 前期 新配生性学工 後期 薬配生化学工 後期 薬配生化学工 前期 新配生性学工 後期 薬配生化学工 前期 新配生性学工 後期 薬配生化学工 前期 新配生性学工 後期 薬物治療学工 前期 新加生症を列挙し、使用との注意について説明できる。 前期 新加生症を列挙し、その薬物治療について説明できる。 前期 新加生症を列挙し、その薬物治療について説明できる。 前期 新加生症を利益 1 1 1 1 1 1 1 1 1	骨粗鬆症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明でき		薬理学日 病態生化学		
(表現 表現) (表現 新郷生化学工	慢性関節リウマチの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明でき		薬理学日 病態生化学	薬物治療学	
### 前期 病態生化学 I	変形性関節症、		病態生化学	期 薬物治療学	
# 前期 病態生化学 I 後期 薬物治療学 I	[アレルギー・免疫疾患]				
お別 病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明でき 前別 病態生化学 I 技術 素態生化学 I 技術 素態治療学 I 技術 素物治療学 I 技術 素物治療学 I 技術 素物治療学 I 財別 新想生化学 I 技術 素物治療学 I 財別 新想生化学 I 財別 新想生化学 I 財別 新想生化学 I 財別 新聞生化学 I 財別 新聞生化学 I 財別 新聞生化学 I 財別 新聞生化学 I 技術 素物治療学 I 財別 新聞生化学 I 財別 新聞生化学 I 技術 素物治療学 I 財別 新聞生化学 I 技術 素物治療学 I 財別 新聞生化学 I 財別 新聞生化学 I 技術 素物治療学 I 財別 新聞生化学 I 財別 財	・免疫に関する疾患を挙げるこ		病態生化学 薬物治療学		
計算 病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の 20 病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	アナフィラキシーショックの病態生理、 る。		病態生化学 薬理学口 薬物治療学		
にの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	自己免疫疾患(全身性エリテマトーデスなど)の病態生理、適切な治療薬、 注意について説明できる。				
標態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	適切な治療薬、				
前期 病態生化学 I 後期 薬物治療学皿 前期 病態生化学 I 後期 薬物治療学皿 前期 病態生化学 I 後期 薬物治療学皿 前期 () () () () () () () () () () () () ()	移植医療】				
使用される薬物を列挙し、使用上の注意について説明できる。	適切な治療薬、			130	
癌性疼痛に対して使用される薬物を列挙し、使用上の注意について説明できる。	緩和ケアと長期療養】				
長期療養に付随する合併症を列挙し、その薬物治療について説明できる。	使用上の注意について説明でき			薬物治療学	
	2) 長期療養に付随する合併症を列挙し、その薬物治療について説明できる。				

(4) 指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。 (4) 指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。 (4) 非協業を行 無し (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)			5 年 前	44
9】 Eされた疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。 Eできれた疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。 E感染症を列挙し、その病態と原因を説明できる。 Eのな抗菌薬の基本構造を示すことができる。 Eのなり・ラクタム系抗菌薬を抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。 アラサイクリン系抗菌薬を抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。 アクカルボン酸系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。 ドンカルボン酸系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。 ドンカルボン酸系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。 ドンカルボン酸系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。 とフ薬 (ST合剤を含む)の有効な感染症を列挙できる。 とフ素 (ST合剤を含む)の有効な感染症を列挙できる。 との存析結核薬を列挙し、作用機序を説明できる。 Eのな抗結核薬を列挙し、作用機序を説明できる。 Eのな抗結核薬を列挙し、作用機序を説明できる。	新子本 本本 本 本 本		要要要	
とされた疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。 を設定を利挙し、その病態と原因を説明できる。 に際染症を列挙し、その病態と原因を説明できる。 を対なが菌薬の基本構造を示すことができる。 を的な抗菌薬の基本構造を示すことができる。 をウオイクリン系抗菌薬の抗菌スペクトルに基づいて分類し、有効な感染症を列挙できる。 アロライド系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。 アロライド系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。 アファ薬 (ST合剤を含む)の有効な感染症を列挙できる。 アンカルボン酸系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。 アファ薬 (ST合剤を含む)の有効な感染症を列挙できる。 その存析結核薬を列挙し、作用機序を説明できる。 その存析結核薬を列挙し、作用機序を説明できる。	新化华 新即 在 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中		要要要	
f微生物・悪性新生物と戦う 極楽症を列挙し、その病態と原因を説明できる。 5歳染症を列挙し、その病態と原因を説明できる。 8的な抗菌薬の基本構造を示すことができる。 8的な抗菌薬の基本構造を示すことができる。 8的な抗菌薬の基本構造を示すことができる。 7ロライド系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。 7ロライド系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。 7ロライド系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。 7 配験体系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。 7 配験体系抗菌薬を対域スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。 7 の事効な感染症を列挙できる。 7 2 薬(51合剤を含む)の有効な感染症を列挙できる。 7 2 2 次(51合剤を含む)の有効な感染症を列挙できる。 7 2 2 次(51合剤を含む)の有効な感染症を列挙できる。 7 2 2 2 では機体を説明できる。	新作品 (中央 海市 中央 海市 中央 海市 中央 海 中 中央 海 市 中 中 海 市 本 市 本 市 本 市 本 市 本 市 本 市 本 市 本 市 本 市			
 「歴染症を列挙し、その病態と原因を説明できる。 「政染症を列挙し、その病態と原因を説明できる。 (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	獨市 國際 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市			
1際染症を列挙し、その病態と原因を説明できる。 1歳を作用点に基づいて分類できる。 2的な抗菌薬の基本構造を示すことができる。 2000年 - ラクタム系抗菌薬を抗菌スペクトルに基づいて分類し、有効な感染症を列挙できる。 2012 - イクリン系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列撃できる。 2012 - イド系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列撃できる。 2012 - イド系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列撃できる。 2012 - 1ドンカルボン酸系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。 2022 -	化华模法学 免费性化学等 医囊性化学学 化华模法学 化华模法学 化华模法学 化华模法学 化华模法学 化华模法学 化华模法学			
5薬を作用点に基づいて分類できる。 5数を作用点に基づいて分類できる。 長的な抗菌薬の基本構造を示すことができる。 そのな抗菌薬の抗菌スペクトルに基づいて分類し、有効な感染症を列撃でき プロライド系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列撃できる。 プロライド系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列撃できる。 メロライド系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列撃できる。 メロライド系抗菌薬を抗菌スペクトルと、有効な感染症を列撃できる。 ドンカルボン酸系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列撃できる。 ファ薬(ST合剤を含む)の有効な感染症を列撃できる。 そのな抗結核薬を列撃し、作用機序を説明できる。 そのな抗結核薬を列撃し、作用機序を説明できる。				
づいて分類し、有効な感染症を列挙でき かな感染症を列挙できる。 登染症を列挙できる。 5発症を列挙できる。 1効な感染症を列挙できる。 できる。 その作用機序を説明できる。				
づいて分類し、有効な感染症を列挙でき かな感染症を列挙できる。 発染症を列挙できる。 対類し、有効な感染症を列挙できる。 う効な感染症を列挙できる。 できる。 その作用機序を説明できる。				
づいて分類し、有効な感染症を列挙でき がな感染症を列挙できる。				
 4) テトラサイクリン系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。 5)マクロライド系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。 6)アミノ配糖体系抗菌薬を抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。 7)ビリドンカルボン酸系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。 8)サルファ薬 (37合剤を含む)の有効な感染症を列挙できる。 9)代表的な抗結核薬を列挙し、作用機序を説明できる。 10)細菌感染症に関係する代表的な生物学的製剤を挙げ、その作用機序を説明できる。 				
 5)マクロライド系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。 6)アミノ配糖体系抗菌薬を抗菌スペクトルに基づいて分類し、有効な感染症を列挙できる。 7)ビリドンカルボン酸系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。 8)サルファ薬 (3T合剤を含む)の有効な感染症を列挙できる。 9)代表的な抗結核薬を列挙し、作用機序を説明できる。 10)細菌感染症に関係する代表的な生物学的製剤を挙げ、その作用機序を説明できる。 				
6) アミノ配糖体系抗菌薬を抗菌スペクトルに基づいて分類し、有効な感染症を列挙できる。 7) ビリドンカルボン酸系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。 8) サルファ薬 (3T合剤を含む) の有効な感染症を列挙できる。 9) 代表的な抗結核薬を列挙し、作用機序を説明できる。 10) 細菌感染症に関係する代表的な生物学的製剤を挙げ、その作用機序を説明できる。				
1 m C m				
100				
	前期 化学療法学	後期 薬物治療学皿		
	前期 化学療法学	後期 薬物治療学皿		
11) 代表的な抗菌薬の使用上の注意について説明できる。	前期 化学療法学	後期 薬物治療学皿		
12)特徴的な組織移行性を示す抗菌薬を列挙できる。	前期 化学療法学	後期 薬物治療学皿		
[抗原虫·寄生虫薬]				
1) 代表的な抗原虫・寄生虫薬を列挙し、作用機序および臨床応用を説明できる。	前期 化学療法学			
[抗真菌薬]				
1) 代表的な抗真菌薬を列挙し、作用機序および臨床応用を説明できる。	前期 化学療法学	後期 薬物治療学皿		
[抗ウイルス薬】				
1) 代表的な抗ウイルス薬を列挙し、作用機序および臨床応用を説明できる。	前期 化学療法学	後期 薬物治療学皿		
2) 抗ウイルス薬の併用療法において考慮すべき点を挙げ、説明できる。	前期 化学療法学	後期 薬物治療学皿		
[抗菌薬の耐性と副作用]				
1) 主要な化学療法薬の耐性獲得機構を説明できる。	前期 化学療法学	後期 薬物治療学皿		
2) 主要な化学療法薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。	前期 化学療法学	後期 薬物治療学皿		
【悪性腫瘍の病態と治療】				
1)悪性腫瘍の病態生理、症状、治療について概説できる。	前期 化学療法学	後期 薬物治療学皿	前期 悪性腫瘍学	
2)悪性腫瘍の治療における薬物治療の位置づけについて概説できる。	前期 化学療法学	後期 薬物治療学皿	前期 悪性腫瘍学	
3) 化学療法薬が有効な悪性腫瘍を、治療例を挙げて説明できる。	前期 化学療法学	後期 薬物治療学皿	前期 悪性腫瘍学	
[抗惡性腫瘍薬]				
1) 代表的な抗悪性腫瘍薬を列挙できる。	前期 医薬化学1前期 化学療法学	後期 薬物治療学皿	前期 悪性腫瘍学	
2) 代表的なアルキル化薬を列挙し、作用機序を説明できる。	前期 医薬化学 1前期 化学療法学	後期 薬物治療学皿	前期 悪性腫瘍学	

森宇教育七アル・コノカリキュラム (SBOS) 1年 3)代表的な抗腫瘍抗生物質を列挙し、作用機序を説明できる。 4)代表的な抗腫瘍抗生物質を列挙し、作用機序を説明できる。 5)抗腫瘍薬として用いられる代表的なホルモン関連薬を列挙し、作用機序を説明できる。 6)抗腫瘍薬として用いられる代表的なホルモン関連薬を列挙し、作用機序を説明できる。 7)代表的な抗悪性腫瘍薬の基本構造を示すことができる。 8)代表的な抗悪性腫瘍薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。 2)主要な抗悪性腫瘍薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。 2)主要な抗悪性腫瘍薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。 1)医薬品情報に関わっている職種を列挙できる。 3)原薬品情報に関わっている職種を列挙できる。 4)医薬品情報に関わっている職種を列挙できる。 5)医薬品情報に関係する代表的な法律と制度について概認できる。 5)医薬品情報に関係する代表的な法律と制度について概認できる。 5)医薬品情報の関係がありた法律と制度について概認できる。 6)医薬品情報の関係する代表的な法律と制度について概認できる。 7)医薬品情報の関係する代表的な法律と制度について概認できる。 8)医薬品情報の関係する代表的な法律と制度について概認できる。 8)医薬品情報の関係する代表的な法律と制度について概認できる。	2 4	3年 前期 医薬化学 I 前期 医薬化学 I 前期 医薬化学 I 前期 医薬化学 I 前期 化学療法学 前期 化学療法学 I 前期 化学療法学 I 前期 化学療法学 I 前期 化学療法学 I 前期 化学療法学 I	4年 後期 薬物治療薬 服	前期 惠住護編华 前期 惠住護編华 前期 惠性護編华	66 神
謝拮抗薬を列挙し、作用機序を説明できる。 腫瘍抗生物質を列挙し、作用機序を説明できる。 して用いられる代表的な植物アルカロイドを列挙し、 して用いられる代表的な本ルモン関連薬を列挙し、 して用いられる代表的な本ルモン関連薬を列挙し、 を錯体を挙げ、作用機序を説明できる。 整性腫瘍薬の基本構造を示すことができる。 性腫瘍薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。 性腫瘍薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。 に関わっている職種を列挙し、その症状を説明できる。 に関わっている職種を列挙し、その症状を説明できる。 に関わっている職種を列挙し、その症状を説明できる。 に関わっている職種を列挙できる。 に関わっている職種を列挙できる。 に関わっている職種を列挙できる。 に関わっている職種を列挙できる。 に関係する代表的な法律と制度について概説できる。 に関係する代表的な法律と制度について説明できる。					
腫瘍抗生物質を列挙し、作用機序を説明できる。 して用いられる代表的な植物アルカロイドを列挙し、 して用いられる代表的な市ルモン関連薬を列挙し、 して用いられる代表的な市地・フ関連薬を列挙し、 して用いられる代表的な市地・フ関連薬を列挙し、 金舘体を挙げ、作用機序を説明できる。 野性腫瘍薬の基本構造を示すことができる。 性腫瘍薬に対する耐性獲得機構を説明できる。 性腫瘍薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できるのための対処法を説明できる。 に関わっている職種を列挙し、その役割を説明できる。 に関わっている職種を列挙し、その役割を説明できる。 に関係する代表的な法律と制度について観視できる。 に関係する代表的な法律と制度について観視できる。 に関係する代表的な法律と制度について観視できる。					
して用いられる代表的な植物アルカロイドを列挙し、 して用いられる代表的な植物アルカロイドを列挙し、化 企錯体を挙げ、作用機序を説明できる。 悪性腫瘍薬の基本構造を示すことができる。 耐性と副作用 耐性と副作用 を設理できる。 に関わっている職種を列挙し、その役割を説明できるのための対処法を説明できる。 に関わっている職種を列挙し、その役割を説明できる。 に関係する代表的な法律と制度について概説できる。 に関係する代表的な法律と制度について説明できる。 に関係する代表的な法律と制度について説明できる。 原後に得られる情報の種類を列挙できる。					
として用いられる代表的なホルモン関連薬を列挙し、作用機序を説明できる。 1金舘体を挙げ、作用機序を説明できる。 1、悪性腫瘍薬の基本構造を示すことができる。 1、悪性腫瘍薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。 2、位のための対処法を説明できる。 3、で必須の情報を列挙できる。 3、で必須の情報を列挙できる。 3、正関係する代表的な法律と制度について概認できる。 3、原後に得られる情報の種類を列挙できる。 3、原後に得られる情報の種類を列挙できる。 3、原後に得られる情報の種類を列挙できる。 3、原後に得られる情報の種類を列挙できる。 3、原の一次資料、二次資料、三次資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。					
1金舘体を挙げ、作用機序を説明できる。 に悪性腫瘍薬の基本構造を示すことができる。 「性腫瘍薬に対する耐性獲得機構を説明できる。 「性腫瘍薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。 「のための対処法を説明できる。 「のための対処法を説明できる。 「のための対処法を説明できる。 「のための対処法を説明できる。 「のための対処法を説明できる。 「のための情報を列挙できる。 「のための情報を列挙できる。 「表記程で得られる情報の種類を列挙できる。 「現後に得られる情報の種類を列挙できる。 「現後に得られる情報の種類を列挙できる。 「現後に得られる情報の種類を列挙できる。 「現後に得られる情報の種類を列挙できる。 「現後に得られる情報の種類を列挙できる。 「現後に得られる情報の種類を列挙できる。 「現後に得られる情報の種類を列挙できる。 「現後に得られる情報の種類を列挙できる。 「現後に得られる情報の種類を列挙できる。				1	
1.悪性腫瘍薬の基本構造を示すことができる。 D耐性と副作用】 S性腫瘍薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。 を立つ情報 を立つ情報 と のための対処法を説明できる。 のと の情報を列挙できる。 のに関わっている臓種を列挙し、その役割を説明できる。 のに関わっている臓種を列挙し、その役割を説明できる。 のを過程で得られる情報の種類を列挙できる。 のを過程で得られる情報の種類を列挙できる。 のを過程で得られる情報の種類を列挙できる。 を のを のを のを のを のを のを のを のを のを					
D耐性と副作用】 「性腫瘍薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。 「性腫瘍薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。 「心があの対処法を説明できる。 「心が知の情報を列挙できる。 「心が知いている職種を列挙し、その役割を説明できる。 「職後に得られる情報の種類を列挙できる。 「職後に得られる情報の種類を列挙できる。 『、「以資料、二次資料、二次資料と列挙できる。					
				1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
性腫病薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。 ほのための対処法を説明できる。 ほのための対処法を説明できる。 な立つ情報 文心須の情報を列挙できる。 「限別わっている職種を列挙し、その役割を説明できる。 1					
役立つ情報 (役立つ情報 (役立つ情報 (人で必須の情報を列挙できる。 (人で必須の情報を列挙できる。 (人に関わっている職種を列挙し、その役割を説明できる。 (別表) (担保 の					
て必須の情報を列挙できる。 て必須の情報を列挙できる。 に関わっている職種を列挙し、その役割を説明できる。 『転後に得られる情報の種類を列挙できる。 『転後に得られる情報の種類を列挙できる。 』に関係する代表的な法律と制度について概認できる。 』源の一次資料、二次資料、三次資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。					
て必須の情報を列挙できる。 であっている職種を列挙し、その役割を説明できる。 であっている職種を列挙し、その役割を説明できる。 であっている職種を列挙できる。 であったのを持ている情報の種類を列挙できる。 であったのでは、三次資料について概認できる。 であったのでは、三次資料、三次資料と列挙し、それらの特徴を説明できる。					
、て必須の情報を列挙できる。 【に関わっている職種を列挙し、その役割を説明できる。 別発過程で得られる情報の種類を列挙できる。 【に関係する代表的な法律と制度について概談できる。 【に関係する代表的な法律と制度について概談できる。 【源の一次資料、二次資料、三次資料と列挙し、それらの特徴を説明できる。					
以に関わっている職種を列挙し、その役割を説明できる。 引発過程で得られる情報の種類を列挙できる。 引販後に得られる情報の種類を列挙できる。 以に関係する代表的な法律と制度について概説できる。 以応関係する代表的な法律と制度について概説できる。 は原係する代表的な法律と制度について説明できる。					
発過程で得られる情報の種類を列挙できる。 振後に得られる情報の種類を列挙できる。					
版後に得られる情報の種類を列挙できる。 					
限に関係する代表的な法律と制度について概説できる。 ない。 ない。 をおいて、では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、こ					
最適の一次資料、二次資料、三次資料について説明できる。 最適として代表的な二次資料、三次資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。					
夏原の一次資料、二次資料、三次資料について説明できる。 夏原として代表的な二次資料、三次資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。			200		
(源として代表的な二次資料、三次資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。			100		
厚生労働省、製薬企業などの発行する資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。			後期 医薬情報学		
医薬品添付文書(医療用、一般用)の法的位置づけと用途を説明できる。			後期 医薬情報学		
医薬品添付文書(医療用、一般用)に記載される項目を列挙し、その必要性を説明できる。			後期 医薬情報学		
医薬品インタビューフォームの位置づけと用途を説明できる。			後期 医薬情報学		
医療用医薬品添付文書と医薬品インタビューフォームの使い分けができる。 (技能)			後期 実習切		後期 演習 I X
【収集・評価・加工・提供・管理】					
目的(効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など)に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。(技能)			後期 実習如		後期 演習I×
医薬品情報を質的に評価する際に必要な基本的項目を列挙できる。			後期 医薬情報学		
医薬品情報を目的に合わせて適切に加工し、提供できる。 (技能)			後期 実習切		後期 演習 IX
医薬品情報の加工、提供、管理の際に、知的所有権、守秘義務に配慮する。(知識・態度)					
主な医薬品情報の提供手段を列挙し、それらの特徴を説明できる。					

		数	国林馬		
楽字教育七ケル・コノカリキュラム(350%)	1年 2年	3年	4年	5年	6年
[データベース]					
1) 代表的な医薬品情報データベースを列挙し、それらの特徴を説明できる。			後期 医薬情報学		
2) 医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、適切に検索できる。 (知識・技能)			後期 実習四		後期 演習 I X
3) インターネットなどを利用して代表的な医薬品情報を収集できる。(技能)			後期 実習四		後期 演習IX
[EBM (Evidence-Based Medicine)]					
1) EBMの基本概念と有用性について説明できる。		1	後期 医薬情報学		
2) EBN実践のプロセスを概説できる。			後期 医薬情報学		
3) 臨床研究法 (ランダム化比較試験、コホート研究、症例対照研究など)の長所と短所を概能できる。				前期 薬剤疫学	
4) メタアナリシスの概念を理解し、結果を評価できる。 (知識・技能)				前期 薬剤疫学	
5) 真のエンドポイントと代用のエンドポイントの違いを説明できる。				前期 薬剤疫学	
6)臨床適用上の効果指標(オッズ比、必要治療数、相対危険度など)について説明できる。				前期 薬剤疫学	
[総合演習]					
1)医薬品の採用、選択に当たって検討すべき項目を列挙できる。			後期 医薬情報学		
2)医薬品に関する論文を評価、要約し、臨床上の問題を解決するために必要な情報を提示できる。 (知識・技能)			後期 実習四		後期 演唱 IX
(2) 患者情報					
[情報と情報源]					
1)薬物治療に必要な患者基本情報を列挙できる。				前期 臨床漢学総論 前期 楽歴管理学 前期 演習呱	
2) 患者情報源の種類を列挙し、それぞれの違いを説明できる。			後期 実習加 後期 実務実習事前学習	前期 臨床薬学実習	
[収集・評価・管理]					
1) 問題志向型システム (POS) を説明できる。				前期 薬歴管理学	
2) 薬歴、診療録、看護記録などから患者基本情報を収集できる。(技能)				前期 臨床薬学実習	
3) 患者、介護者との適切なインタビューから患者基本情報を収集できる。(技能)			後期 実習四 後期 実務実習事前学習	前期 演習項前期 臨床薬学実習	
4)得られた患者情報から医薬品の効果および副作用などを評価し、対処法を提案する。 (知識・技能)				前期 臨床薬学実習	
5) SOAPなどの形式で患者記録を作成できる。(技能)				前期 薬歴管理学 前期 臨床薬学実習	
6) チーム医療において患者情報を共有することの重要性を感じとる。(態度)				前期 臨床薬学実習	
7) 患者情報の取扱いにおいて守秘義務を遵守し、管理の重要性を説明できる。 (知識・態度)				前期 臨床薬学実習	
(3) テーラーメイド薬物治療を目指して					
[遺伝的素因]					
1)薬物の作用発現に及ぼす代表的な遺伝的素因について、例を挙げて説明できる。		前期 ゲノム薬学	後期 薬物治療学田		
2)薬物動態に影響する代表的な遺伝的素因について、例を挙げて説明できる。		前期 ゲノム薬学	後期 薬物治療学皿		
3) 请任的委因を考慮した基物治療について、個を挙げて時間できる。		前期 ゲノム薬学	後期 薬物治療学田		

			双	日本		
薬学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs)	1年	2年	3年	4年	5年	年9
【年龄的要因】						
1)新生児、乳児に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。				後期 薬物治療学皿		
2) 幼児、小児に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。				後期 薬物治療学皿		
3) 高齢者に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。				後期 薬物治療学皿		
1) 生殖、妊娠時における薬物治療で注意すべき点を説明できる。				後期 薬物治療学皿		
2) 授乳婦に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。				後期 薬物治療学皿		
3) 栄養状態の異なる患者(肥満など)に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。			後期 輸液·栄養管理学			
【合併症】						
1) 腎臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。			後期 薬物治療学1			
2) 肝臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。			後期 薬物治療学 I			
3) 心臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。			後期 薬物治療学1			
【投与計画】						
1) 患者固有の薬動学的パラメーターを用いて投与設計ができる。 (知識・技能)				後期 実習切		後期 演習 I X
2) ポピュレーションファーマコキネティクスの概念と応用について概説できる。			後期 薬物動態学	後期 臨床薬物動態学		
3)薬動力学的バラメーターを用いて投与設計ができる。 (知識・技能)			後期 薬物動態学	後期 実習切		
4)薬物作用の日内変動を考慮した用法について概説できる。				前期 臨床薬理学		
[医薬品をつくる]						
C16 製剤化のサイエンス						
(1) 製剤材料の性質						
【物質の溶解】						
1) 溶液の濃度と性質について説明できる。			前期 物理薬剤学 前期 演習V			
2)物質の溶解とその速度について説明できる。			前期 物理薬剤学 前期 演習V			
3) 溶解した物質の膜透過速度について説明できる。			前期 物理薬剤学 前期 演習V			
4)物質の溶解に対して酸・塩基反応が果たす役割を説明できる。			前期 物理薬剤学 前期 演習V 後期 輸液·栄養管理学 後期 実習V			
[分散系]						
1) 界面の性質について説明できる。			後期 製剤学 後期 演習V I			
2) 代表的な界面活性剤の種類と性質について説明できる。			後期 製剤学 後期 演習VI			
3) 乳剤の型と性質について説明できる。			後期 製剤学 後期 減習VI			
4)代表的な分散系を列挙し、その性質について説明できる。			後期 製剤学 後期 演習VI			
5)分散粒子の沈降現象について説明できる。			後期 製剤学 後期 濃習VI			

			凝	日日		
薬学教育モテル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
[製剤材料の物性]						
1)流動と変形 (レオロジー) の概念を理解し、代表的なモデルについて説明できる。			後期 製剤学 後期 演習V I			
2) 高分子の構造と高分子溶液の性質について説明できる。			後期 製剤学後期 演習VI			
3)製剤分野で汎用される高分子の物性について説明できる。			後期 製剤学 後期 演習VI			
4)粉体の性質について説明できる。			前期 物理薬剤学 前期 演習V			
5)製剤材料としての分子集合体について説明できる。			後期 製剤学後期 演習VI			
6)薬物と製剤材料の安定性に影響する要因、安定化方法を列挙し、説明できる。			前期 物理薬剤学 前期 演習V			
7) 粉末X線回折測定法の原理と利用法について概略を説明できる。			後期 日本薬局方各論			
8) 製剤材料の物性を測定できる。(技能)			後期 製剤学 後期 演習VI			
(2) 潮形をつくる						
【代表的な製剤】						
1) 代表的な剤形の種類と特徴を説明できる。			後期 製剤学後期 漢智v I			
2) 代表的な固形製剤の種類と性質について説明できる。			後期 製剤学後期 演習VI			
3) 代表的な半固形製剤の種類と性質について説明できる。			後期 製剤学後期 演習VI			
4) 代表的な液状製剤の種類と性質について説明できる。			後期 製剤学 後期 演習VI			
5) 代表的な無菌製剤の種類と性質について説明できる。			後期 製剤学後期 演習VI			
6) エアゾール剤とその類似製剤について説明できる。			後期 製剤学後期 演習VI			
7) 代表的な製剤添加物の種類と性質について説明できる。			後期 製剤学後期 減留VI			
8) 代表的な製剤の有効性と安全性腎価法について説明できる。			後期 製剤学後期 減留VI			
【製剤化】						
1)製剤化の単位操作および汎用される製剤機械について説明できる。			後期 製剤学後期 演習v I			
2) 単位操作を組み合わせて代表的製剤を調製できる。(技能)			後期 製剤学 後期 演習VI 後期 実習V			
3)汎用される容器、包装の種類や特徴について説明できる。			後期 製剤学後期 演習VI			
【製剤試験法】						
1)日本薬局方の製剤に関連する試験法を列挙できる。			後期 製剤学後期 演習VI			
2) 日本薬局方の製剤に関連する代表的な試験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)			後期 製剤学 後期 演習v I 後期 実習v			

			熨出	世		
薬学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs)	1年	2年			5年	6年
(3) DDS (Orug Delivery System: 薬物送達システム)						
[008の必要性]						
1)従来の医薬品製剤の有効性、安全性、信頼性における主な問題点を列挙できる。			後期 製剤学 後期 演習VI			
2) DDSの概念と有用性について説明できる。						
【放出制御型製剤】						
1) 放出制御型製剤 (徐放性製剤を含む) の利点について説明できる。			後期 製剤学 後期 演習VI			
2) 代表的な放出制御型製剤を列挙できる。			後期 製剤学 後期 演習V I			
3) 代表的な徐放性製剤における徐放化の手段について説明できる。			後期 製剤学 後期 漢習VI			
4)徐放性製剤に用いられる製剤材料の種類と性質について説明できる。			後期 製剤学 後期 演習VI			
5) 経皮投与製剤の特徴と利点について説明できる			後期 製剤学 後期 演習VI			
6) 腸溶製剤の特徴と利点について説明できる。						
[ターゲティング]						
1)ターゲティングの概要と意義について説明できる。			後期 製剤学 後期 漢習VI			
2) 代表的なドラッグキャリアーを列挙し、そのメカニズムを説明できる。			後期 製剤学			
[プロドラッグ]						
1) 代表的なプロドラッグを列挙し、そのメカニズムと有用性について説明できる。			後期 製剤学 後期 演習V I			
【その他のDOS】						
1) 代表的な生体膜透過促進法について説明できる。			後期 製剤学 後期 演習VI			
017 医薬品の開発と生産						
(1) 医薬品開発と生産のながれ						
【医薬品開発のコンセプト】						
1) 医薬品開発を計画する際に考慮すべき因子を列挙できる。			後期 医薬品開発論	前期 臨床薬理学		
2) 疾病統計により示される日本の疾病の特徴について説明できる。			後期 医薬品開発論	公衆·環境衛生学		
【医薬品市場と開発すべき医薬品】						
1) 医療用医薬品で日本市場および世界市場での売上高上位の医薬品を列挙できる。			後期 医薬品開発論			
2) 新規医薬品の価格を決定する要因について概説できる。			後期 医薬品開発論	前期 臨床薬理学		
3) ジェネリック医薬品の役割について概説できる。			後期 医薬品開発論	前期 臨床薬理学		
4) 希少疾病に対する医薬品(オーファンドラッグ) 開発の重要性について説明できる。			後期 医薬品開発論	前期 臨床薬理学		
[非臨床試験]						
1) 非臨床試験の目的と実施概要を説明できる。			後期 医薬品開発論	前期 臨床薬理学		
【医薬品の承認】						

			國	四本町		
楽字教育セナル・コノカリキュフム(3BOS)	1年	2年	3年	44	5年	6年
1) 臨床試験の目的と実施概要を説明できる。			後期 医薬品開発論	前期 臨床薬理学 後期 薬事関連法制論		
2) 医薬品の販売承認申請から、承認までのプロセスを説明できる。			後期 医薬品開発論	前期 臨床薬理学 後期 薬事関連法制論		
3) 市販後調査の制度とその意義について説明できる。			後期 医薬品開発論	前期 臨床薬理学 後期 薬事関連法制論		
4) 医薬品開発における国際的ハーモナイゼーション (ICH) について概説できる。			後期 医薬品開発論	前期 臨床薬理学		
【医薬品の製造と品質管理】						
1) 医薬品の工業的規模での製造工程の特色を開発レベルのそれと対比させて概説できる。			後期 医薬品開発論			
2) 医薬品の品質管理の意義と、薬剤師の役割について説明できる。			後期 医薬品開発論	前期 臨床薬理学		
3) 医薬品製造において環境保全に配慮すべき点を列挙し、その対処法を概説できる。			後期 医薬品開発論			
【規範】						
1) GLP (Good Laboratory Practice)、GMP (Good Manufacturing Practice)、GCP (Good Clinical Practice)、GPMSP (Good Post-Marketing Surveillance Practice) の模略と意義について説明 できる。			後期 医薬品開発論	前期 臨床薬理学 後期 薬事関連法制論		
[特計]						
1) 医薬品の創製における知的財産権について概説できる。			後期 医薬品開発論	前期 臨床薬理学		
[漢章]						
1) 代表的な楽者の例(サリドマイド、スモン、非加熱血液製剤、ソリブジンなど) について、その原因と社会的背景を説明し、これらを回避するための手段を討議する。(知識・態度)			後期 医薬品開発論	後期 ヒューマニズム論IV		
(2)リード化合物の創製と最適化						
【医薬品創製の歴史】						
1) 古典的な医薬品開発から理論的な創薬への歴史について説明できる。			前期 医薬化学 I 後期 医薬品開発論	前期 臨床薬理学		
【標的生体分子との相互作用】						
1) 医薬品開発の標的となる代表的な生体分子を列挙できる。			前期 医薬化学 I			
2) 医薬品と標的生体分子の相互作用を、具体例を挙げて立体化学的観点から説明できる。			前期 医薬化学 I			
3)立体異性体と生物活性の関係について具体例を挙げて説明できる。			前期 医薬化学1			
4) 医薬品の構造とアゴニスト活性、アンタゴニスト活性との関係について具体例を挙げて説明できる。			前期 医薬化学 I	前期 臨床薬理学		
[スクリーニング]						
1) スクリーニングの対象となる化合物の起源について説明できる。			前期 医薬化学 I 後期 医薬品開発論			
2) 代表的なスクリーニング法を列挙し、概説できる。			前期 医薬化学 I 後期 医薬品開発論			
【リード化合物の最適化】						
1) 定量的構造活性相関のパラメーターを列挙し、その薬理活性に及ぼす効果について概説できる。			前期 医薬化学 I 後期 医薬品開発論			
2) 生物学的等価性 (バイオアイソスター) の意義について概説できる。			前期 医薬化学 I 後期 医薬品開発論			
3)薬物動態を考慮したドラッグデザインについて概説できる。			前期 医薬化学1 後期 医薬品開発論			

薬学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs)	1年	2年	3年	4 年	5年	
				4 +	40	6年
(3) バイオ医薬品とゲノム情報						
【組換え体医薬品】						
1)組換え体医薬品の特色と有用性を説明できる。			前期 ゲノム薬学 後期 医薬品開発論			
代表的な組換え体医薬品を列挙できる。			前期 ゲノム薬学 後期 医薬品開発論			
組換え体医薬品の安全性について概認できる。			前期 ゲノム薬学 後期 医薬品開発論			
[遺伝子治療]						
1) 遺伝子治療の原理、方法と手順、現状、および倫理的問題点を概認できる。 (知識・態度)			後期 医薬品開発論	前期 臨床薬理学		
【細胞を利用した治療】						
1) 再生医療の原理、方法と手順、現状、および倫理的問題点を概説できる。 (知識・態度)			後期 医薬品開発論	前期 臨床薬理学		
【ゲノム情報の創築への利用】						
ヒトゲノムの構造と多様性を説明できる。			前期 ゲノム薬学 後期 医薬品開発論			
バイオインフォマティクスについて概説できる。			前期 ゲノム薬学 後期 医薬品開発論			
遺伝子多型 (欠損、増幅) の解析に用いられる方法 (ゲノミックサザンブロット法など) について 概説できる。			前期 ゲノム薬学 後期 医薬品開発論			
ゲノム情報の創業への利用について、創築ターゲットの探索の代表例(イマチニブなど)を挙げ、ゲノム創薬の流れについて説明できる。			前期 ゲノム薬学 後期 医薬品開発論			
[疾患関連遺伝子]						
1) 代表的な疾患(癌、糖尿病など)関連遺伝子について説明できる。			前期 ゲノム薬学 後期 医薬品開発論			
疾患関連遺伝子情報の薬物療法への応用例を挙げ、概説できる。			前期 ゲノム薬学 後期 医薬品開発論			
治療						
[治験の意義と業務]						
治験に関してヘルシンキ宣言が意図するところを説明できる。			後期 医薬品開発論	後期 薬事関連法制論		
医薬品創製における治験の役割を説明できる。			後期 医薬品開発論	後期 薬事関連法制論		
治験(第1、川、および川相)の内容を説明できる。			後期 医薬品開発論	後期 薬事関連法制論		
公正な治験の推進を確保するための制度を説明できる。			後期 医薬品開発論	後期 薬事関連法制論		
 治験における被験者の人権の保護と安全性の確保、および福祉の重要性について討議する。 (態度) 			後期 医薬品開発論	後期 薬事関連法制論		
治験業務に携わる各組織の役割と責任を概認できる。			後期 医薬品開発論	後期 薬事関連法制論		
【治験における薬剤師の役割】						
治験における薬剤師の役割(治験薬管理者など)を説明できる。			後期 医薬品開発論	後期 薬事関連法制論		
治験コーディネーターの業務と責任を説明できる。			後期 医薬品開発論	後期 薬事関連法制論		
治験に際し、被験者に説明すべき項目を列挙できる。			後期 医薬品開発論	後期 薬事関連法制論		
			後期 医薬品開発論			

1年 2年 3年 3年 3年 3年 3年 34 34 3	ì		極	m ±		
####################################	1 2 4 (3 8 0 8)	2年	3年	4年	5年	+9
19	[生物統計の基礎]					
カイスメトリンの検定とアンバラメトリック検定の限い分目を設明できる。				100		
	2) バラメトリック検定とノンパラメトリック検定の使い分けを説明できる。					
1 元名を選出が発表で発表できる。(知識・技能)	主な二群間の平均値の差の検定法((-検定、Mann-Mhitney U検定)について、適用できるデーの特性を説明し、実施できる。(知識・技能)					
2.4.5.8.2.4.2.4.2.4.2.4.2.4.2.4.2.4.2.4.2.4.2						
またら重比的を定義 (分数分別、 Danie (分数な に) の原著を説明できる。	最小二乗法による直線回帰を説明でき、回帰係数の有意性を検定できる。					
1年の多常解析の概要を設明できる。	主な多重比較検定法 (分散分析、Dunnett検定、Tukey検定など)					
原本の原形						
	【臨床への応用】					
バイブスの機能をおげ、特徴を説明できる。 前期 バイブスの機能をおげ、特徴を説明できる。 前期 バイブスの機能をおけ、特徴を説明できる。 前期 バイブスの機能をおけ、特徴を説明できる。 前期 バイブスの機能を対して、オッズは、相対角数度および搭載医関について説明し、計算できる。 前期 前期 前期 前期 前期 前期 前期 前	臨床試験の代表的な研究デザイン(症例対照研究、コホート研究、 説明できる。					
(知識とは、					前期 薬剤疫学	
基本的公生存時間解析法 (Kao lan-theier 自動格など) の特徴を説明できる。 業権を起促し 業権を必収を記してきた。	リスク因子の評価として、オッズ比、相対危険度および信頼区間について説明し、計算でき (知識・技能)			1000		
業別を記念 事業学と社会 (施力目に手としての他の目別質任金目でする。(他度) (他度) 体別 業務変配事前字図 情期 (本名制度 (他度) 体別 業務変配事前字図 情期 (本名制度の目いすとしての信息的できる。 体別 業務変配事前字図 情期 (本名制度の目にするとしての信息的できる。 体別 業務変配事前字図 情期 (本名制度) (本名制度) 体別 業等変配基制度 (本名制度) (本名制度) 体別 業等限限法制度 (本名制度) (本名制度) 体別 業等限限法制度 (本名制度) (本名制度) 体別 業等限別法制度 (本名) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名)	5) 基本的な生存時間解析法 (Kaplan-Meier曲線など) の特徴を説明できる。					
	Control of					
度が高いています。	(1) 薬剤師を取り巻く法律と制度					
	【医療の担い手としての使命】					
# 2					前期 臨床薬学実習	
### 別度了					前期 臨床薬学実習	
### ### ### ### ### ### ### ### ### #	【法律と制度】					
# は	1)薬剤師に関連する法令の構成を説明できる。					
操期 	薬事法の重要な項目を列挙し、					
操期	薬剤師法の重要な項目を列挙し、					
 海科医師法、保健師助産師看護師法などの関連法規と薬剤師の関わりを説明できる。 書物責任法を概説できる。 書物責任法を概説できる。 集物責任法を概説できる。 集のび向精神楽取締法を概説し、規制される代表的な医薬品を列挙できる。 ま及び向精神楽取締法を概説し、規制される代表的な医薬品を列挙できる。 ま及び向精神楽取締法を概説できる。 表及び向精神楽取締法を概説できる。 表及び向精神楽取締法を概説できる。 表別の動物の締法を概説できる。 表別を概説できる。 会期を助めるとは、成別性医薬品を増加を対して機能できる。 会類・ 会類・ 対理を認めてきる。 会類・ 技術性医薬品をはだりおよび制度について機能で 会期 会期 	4)薬剤師に関わる医療法の内容を説明できる。					
和	医師法、歯科医師法、保健師助産師看護師法などの関連法規と薬剤師の関わりを説明でき					
告物責任法を概說できる。 系及が向精神薬取締法を概説し、規制される代表的な医薬品を列挙できる。 生い剤取締法を概説し、規制される代表的な医薬品を列挙できる。 別及び劇物取締法を概説できる。 別及び劇物取締法を概説できる。 5薬品 】	6) 医薬品による副作用が生じた場合の被害救済について、その制度と内容を概説できる。					
系及び向精神薬取締法を概説し、規制される代表的な医薬品を列挙できる。 生い剤取締法を概説し、規制される代表的な医薬品を列挙できる。 取取締法およびあへん法を概説できる。 別及び劇物取締法を概説できる。 医薬品】	7) 製造物責任法を概訟できる。			1000		
n精神薬取締法を概説し、規制される代表的な医薬品を列挙できる。 接法を概説し、規制される代表的な医薬品を列挙できる。 なおよびあへん法を概説できる。 物取締法を概説できる。 結の管理、取扱いに関する基準(放射性医薬品基準など)および制度について概説で	[管理薬]					
な締法を概説し、規制される代表的な医薬品を列挙できる。 もおよびあへん法を概説できる。 物取締法を概説できる。 品の管理、取扱いに関する基準(放射性医薬品基準など)および制度について概説で	1) 麻薬及び向精神薬取締法を概説し、規制される代表的な医薬品を列挙できる。					
なおよびあへん法を概説できる。 物取締法を概説できる。 話品の管理、取扱いに関する基準(放射性医薬品基準など)および制度について概説で	2) 覚せい剤取締法を概説し、規制される代表的な医薬品を列挙できる。					
物取締法を概説できる。 最初の管理、取扱いに関する基準(放射性医薬品基準など)および制度について概説で	3) 大麻取締法およびあへん法を概説できる。					
にいてできる。 では、取扱いに関する基準(放射性医薬品基準など)および制度について概説で	4) 毒物及び劇物取締法を概説できる。					
	[放射性医薬品]					
	1) 放射性医薬品の管理、取扱いに関する基準(放射性医薬品基準など) および制度について概説で			後期 薬帯関連法制論		

				쩷	本		
	薬学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs)	1年	2年		4	5年	6年
DC-0-6-2009(でもら。) 日本	2) 代表的な放射性医薬品を列挙し、その品質管理に関する試験法を概説できる。						
できる。 日本 東京	(2) 社会保障制度と薬剤経済						
1.	【社会保障制度】						
2015 100 1	1) 日本における社会保障制度のしくみを説明できる。					前期 薬剤経済学	
日間							
	3) 介護保険制度のしくみを説明できる。				後期 薬事関連法制論	前期 薬剤経済学	
	4) 高齢者医療保健制度のしくみを説明できる。						
	【医療保険】						
	1) 医療保険の成り立ちと現状を説明できる。						
	2) 医療保険のしくみを説明できる。						
	3) 医療保険の種類を列挙できる。				後期 薬事関連法制論	前期 薬剤経済学	
6. (4) 国民の福祉健康における医療保険の貢献と問題点について概説できる。						
	[薬剤経済]						
	1) 国民医療費の動向を概説できる。						
関邦できる。						前期 薬剤経済学	
接受を経済的な観点から解析できる。 (知識・技能) 信期 素利経済学 信期 素利経済学 信頼 素利経済学 信頼 表報					後期 薬事関連法制論		
5.	代表的な症例をもとに、薬物治療を経済的な観点から解析できる。(知識・						
5.	(3) コミュニティーファーマシー						
方名薬師と薬剤師の役割を説明できる。 飲期 地域医療薬学 飲期 地域医療薬学 飲期 地域医療薬学 飲期 地域医療薬学 飲期 地域医療薬学 飲期 地域医療薬学 飲期 地域医療薬学 前期 本利経済学 市期 素利経済学 市期 素利経済学 市期 素利経済学 作为インを摂設できる。 使期 薬事間速法制値 前期 薬利経済学 世界 薬事間速法制値 前期 薬利経済学 株期 薬用経済学 株期 薬用経済学 株期 薬用経済学 株期 薬用経済学 株期 薬用経済学 本税経済学 本税経済学 株期 薬用経済学 本税経済学	【地域薬局の役割】						
方本原局と薬剤師の役割を説明できる。 約期 地域医療薬学 機期 5。 前期 地域医療薬学 前期 地域医療薬学 前期 地域医療薬学 6.00 6.0 前期 地域医療薬学 前期 地域医療薬学 前期 東利経済学 6.0 2000 無期 原列学 前期 東利経済学 前期 東利経済学 7.9 2000 投票 薬園団送射論 前期 薬剤経済学 長期 薬用団活法制論 前期 薬剤経済学 7.9 2000 投票 薬園団送射法制法制法制法制法制法制法制法制法制法制法制法制法制法制法制法制法制法制法 前期 薬剤経済学 株期 薬剤経済学 7.9 2000 投票 薬園団送制 前期 薬剤経済学 2000 前期 紅東菜学家園 7.9 2000	1) 地域薬局の役割を列挙できる。				100		
(株)	2) 在宅医療および居宅介護における薬局と薬剤師の役割を説明できる。						
関できる。	3) 学校薬剤師の役割を説明できる。						
関できる。 (知識・態度)	【医薬分葉】						
・ 保険を展望する。(知識・態度) (知識・態度) (ときる。 (というなのと概能できる。 (根膜の医療養担当規則を概能できる。 (根膜のできる。) (根膜の医療養担当規則を概能できる。) (根膜の変素の関連法制論を規算を制度は表制論を規算を制度は表制論を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	1) 医薬分葉のしくみと意義を説明できる。				前期 調剤学		
できる。 後期 薬事関連法制論 が保険医療養担当規則を概認できる。 後期 薬事関連法制論 (ドラインを概認できる。 後期 薬事関連法制論 できる。 後期 薬事関連法制論 等 (レセプト)について説明できる。 後期 薬事関連法制論 等 (レセプト)について説明できる。 類期 セルフメディケーション学のために薬剤師が果たす役割を討議する。(態度) が早り、使用目的を説明できる。 前期 セルフメディケーション学のようである。 メント、保健機能食品について概説できる。 機期 実習団 メント、保健機能食品について概説できる。 後期 実習団	医薬分業の現状を概説し、将来像を展望する。(知識・					前期 薬剤経済学	
V保険医療養担当規則を概認できる。 後期 薬事関連法制施 (ドラインを概説できる。 後期 薬事関連法制施 できる。 後期 薬事関連法制施 (レセプト)について説明できる。 後期 薬事関連法制施 (レセプト)について説明できる。 機期 薬事関連法制施 ションのために薬剤師が果たす役割を討議する。(態度) 前期 セルフメディケーション学界 少事ンのために薬剤師が果たす役割を討議する。(態度) 前期 セルフメディケーション学界 グンランのために薬剤師できる。 機期 実習価 メント、保健機能食品について概説できる。 後期 実習価 メント、保健機能食品について概説できる。 後期 実習価	3) かかりつけ薬局の意義を説明できる。						
が保険医療養担当規則を概認できる。 後期 薬事関連法制論 (ドラインを概認できる。) 後期 薬事関連法制論 できる。 後期 薬事関連法制論 (セセプト)について説明できる。 後期 薬事関連法制論 (中セプト)について説明できる。 期期 セルフメディケーション学界 変習面 ションのために薬剤師が果たす役割を討議する。(態度) 期期 セルフメディケーション学界 変習面 (必期 実習面) (後期 実習面) メント、保健機能食品について概認できる。 後期 実習面 (公司 大力・公司 とり、保証機能食品について概認できる。 (後期 実習面)	【薬局の業務運営】						
イドラインを概能できる。 後期 薬事関連法制論 できる。 後期 薬事関連法制論 暫 (レセプト) について説明できる。 後期 薬事関連法制論 世界 変事関連法制論 2000 ションのために薬剤師が果たす役割を討議する。(態度) 前期 セルフメディケーション学別 実習で 対学し、使用目的を説明できる。 機期 実習で メント、保健機能食品について概説できる。 後期 実習で メント、保健機能食品について概説できる。 後期 実習で	1)保険薬剤師療養担当規則および保険医療養担当規則を概訟できる。						
できる。 後期 薬事関連法制論 事 (レセプト) について説明できる。 後期 薬事関連法制論 と別 薬事関連法制論 機期 薬事関連法制論 ウョンのために薬剤師が果たす役割を討議する。(態度) 前期 セルフメディケーション 後期 実習価 対学し、使用目的を説明できる。 情期 セルフメディケーション 後期 実習価 メント、保健機能食品について概説できる。 後期 実習価 後期 実習価 後期 実習価	2)薬局の形態および業務運営ガイドラインを概説できる。				後期 薬事関連法制論	前期 薬剤経済学	
書 (レセプト)について説明できる。 後期 薬事関連法制論 前期 セルフメディケーション 申期 セルフメディケーション ションのために薬剤師が果たす役割を討議する。(態度) 情期 セルフメディケーション 資準 実習で 単期 セルフメディケーション メント、保健機能食品について概説できる。 後期 実習で メント、保健機能食品について概説できる。 後期 実習で					後期 薬事関連法制論	前期 薬剤経済学	
(原度) 前期 セルフメディケーション (原度) 前期 セルフメディケーション (原理) (原理) (原理) (原理) (原理) (原理) (原理) (原理) (原理) (原理) (原理) (原理) (日日) (日日) (日日) (日日) <t< td=""><td>語剤報酬および調剤報酬明細書(レセプト)について説明でき</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>	語剤報酬および調剤報酬明細書(レセプト)について説明でき						
# 域住民のセルフメディケーションのために薬剤師が果たす役割を討議する。 (態度)	[070歳・セルフメディケーション]						
主な一般用医薬品 (01C薬) を列挙し、使用目的を説明できる。 前期 セルフメディケーション 学 学 後期 実習切 漢方薬、生活改善薬、サプリメント、保健機能食品について概説できる。 後期 実習切	ンョンのために薬剤師が果たす役割を討議する。					att 148	
漢方薬、生活改善薬、サプリメント、保健機能食品について概説できる。 後期 実習団	主な一般用医薬品(OTC薬)を列挙し、				前期 セルフメディケーション 学 後期 最吸収	斯湖	
	3)漢方薬、生活改善薬、サプリメント、保健機能食品について概説できる。				後期 実習切	前期 臨床薬学実習	

(基礎資料3-2) 実務実習モデル・コアカリキュラムのSBOSに該当する科目

- [注] 1 実務実習モデル・コアカリキュラムのSBOsに該当する科目名または実習項目名を実施学年の欄に記入してください。
- 2 同じ科目名・項目名が連続する場合はセルを結合して記入することもできます。
- 3 「(7)の事前学習のまとめ」において大学でSBOsの設定がある場合は、記入してください。必要ならば、行を適宜追加してください。

極神神神 医神経神 シェー・コート・コード・コード・コード・コード・コード・コード・コード・コード・コード・コード	CBO	類	当 科 目	
大切天自てノル・コノルツイエノム(大切夫)	0	3 年 4	年 5	年
D 実務実習教育				
(1) 実務実習事前学習				
(1) 事前学習を始めるにあたって				
《薬剤師業務に注目する》				
1. 医療における薬剤師の使命や倫理などについて概説できる。			前期 ヒューマニズム論 V	A 標内
2. 医療の現状をふまえて、薬剤師の位置づけと役割、保険調剤について概説できる。	光できる。	前期 調剤学	前期 臨床薬学実習	80
3. 薬剤師が行う業務が患者本位のファーマシューティカルケアの概念にそったもので	ったものであることについて討議する。(態度)	後期 実習咖	前期 臨床薬学実習	图
《チーム医療に注目する》				
4. 医療チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を説明できる。		前期 地域医療学	前期 臨床薬学実習	和
5. チーム医療における薬剤師の役割を説明できる。		前期 地域医療学	前期 演習四前期 臨床藥学実習	E
6. 自分の能力や責任範囲の限界と他の医療従事者との連携について討議する。	5。(態度)			四
《医薬分業に注目する》				
7. 医薬分業の仕組みと意義を概説できる。		前期 調剤学前期 地域医療学		
(2) 処方せんと調剤				
《処方せんの基礎》				
1. 処方せんの法的位置づけと機能について説明できる。		前期 調剤学		
2. 処方オーダリングシステムを概説できる。		前期 調剤学		
3. 処方せんの種類、特徴、必要記載事項について説明できる。		前期 調剤学 前期 実習VI		
4. 調剤を法的根拠に基づいて説明できる。		前期 調剤学後期 薬事関連法制論	前期 臨床薬学実習	Em
5. 代表的な処方せん例の鑑査における注意点を説明できる。 (知識・技能)		前期 調剤学 前期 実習VI 後期 実務実習事前学習	前期 臨床薬学実習	50
6. 不適切な処方せんの処置について説明できる。		前期 調剤学後期 実務実習事前学習	前期 臨床薬学実習	Em

	実務実習モデル・コアカリキュラム(実務実習事前学習)SBOs	ω Ĥ	A 🔆	n H
《医薬品の用法・用量》				
7. 代表的な医薬品	代表的な医薬品の用法・用量および投与計画について説明できる。		前期 調剤学	
	患者に適した剤形を選択できる。(知識・技能)		100	前期 臨床薬学実習
	20		前期 調剤学 前期 臨床薬理学 前期 実習VI 後期 薬物治療学III	
10. 患者の特性に通	患者の特性に適した用量を計算できる。(技能)		前期 演習如後期 実習如	
11. 病態(腎、肝多	肝疾患など)に適した用量設定について説明できる。			
《服薬指導の基礎》				
12. 服薬指導の意義を法的、	「義を法的、倫理的、科学的根拠に基づいて説明できる。		前期 調剤学	前期 臨床薬学実習
《調剤室業務入門》				
13. 代表的な処方も	代表的な処方せん例の鑑査をシミュレートできる。(技能)		前期 実習VI 後期 実務実習事前学習	前期 臨床薬学実習
14. 処方せん例に従って、	-従って、計数調剤をシミュレートできる。(技能)		前期 実習VI 後期 実務実習事前学習	前期 臨床薬学実習
 処方せん例に従って、 	-従って、計量調剤をシミュレートできる。(技能)		前期 実習VI 後期 実務実習事前学習	前期 臨床薬学実習
16. 調剤された医薬	調剤された医薬品の鑑査をシミュレートできる。(技能)		前期 実習VI 後期 実務実習事前学習	前期 臨床薬学実習
17. 処方せんの鑑査	処方せんの鑑査の意義とその必要性について討議する。(態度)		2000	前期 臨床薬学実習
(3) 疑義照会				
《疑義照会の意義と根拠》	港》			
1. 疑義照会の意義について、	(義について、法的根拠を含めて説明できる。		前期 調剤学	前期 臨床薬学実習
2. 代表的な配合図	代表的な配合変化の組合せとその理由を説明できる。		前期 調剤学 前期 実習VI	
3. 特定の配合によ	特定の配合によって生じる医薬品の性状、外観の変化を観察する。(技能)			
4. 不適切な処方せ	不適切な処方せん例について、その理由を説明できる。		前期 実習VI 後期 実務実習事前学習	前期 臨床薬学実習
《疑義照会入門》				
5. 処方せんの問題	処方せんの問題点を解決するための薬剤師と医師の連携の重要性を討議する。 (態度)			前期 臨床薬学実習
6. 代表的な医薬品	代表的な医薬品について効能・効果、用法・用量を列挙できる。		前期 調剤学	
7. 代表的な医薬品	代表的な医薬品について警告、禁忌、副作用を列挙できる。		前期 調剤学 後期 実習咖 後期 実務実習事前学習	前期 臨床薬学実習
8. 代表的な医薬品	代表的な医薬品について相互作用を列挙できる。		前期 調剤学 後期 実習VI 後期 実務実習事前学習	前期 臨床薬学実習
9. 疑義照会の流れ	疑義照会の流れを説明できる。		前期 調剤学 後期 実習VU 後期 実務実習事前学習	前期 臨床薬学実習

	。 〇8)(風作神夢風中落中) ソー・ナニナノー・ニ イエ 風中落中	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	中
	(X)NXH+NTH ODO		5 年
10.	疑義照会をシミュレートする。(技能・態度)	後期 実習证後期 実習証例 後期 実務実習事前学習	前期 臨床薬学実習
(4)	医薬品の管理と供給		
医業	《医薬品の安定性に注目する》		and the same
	医薬品管理の意義と必要性について説明できる。	前期 調剤学	
2.	代表的な剤形の安定性、保存性について説明できる。	前期 調剤学	
寺別	《特別な配慮を要する医薬品》		
33	毒薬・劇薬の管理および取扱いについて説明できる。	前期 調剤学	
4.	麻薬、向精神薬などの管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。	前期 調剤学	
5.	血漿分画製剤の管理および取扱いについて説明できる。	前期 調剤学 後期 薬物治療学III	
9.	輪血用血液製剤の管理および取扱いについて説明できる。	前期 調剤学後期 薬物治療学皿	
7.	代表的な生物製剤の種類と適応を説明できる。	前期 調剤学	
8.	生物製剤の管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。	前期 調剤学	
9.	麻薬の取扱いをシミュレートできる。(技能)	前期 調剤学	前期 緩和薬物療法学 前期 臨床薬学実習
10.	代表的な放射性医薬品の種類と用途を説明できる。		
=	放射性医薬品の管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。		
秦	《製剤化の基礎》		
12.	院内製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる。	前期 調剤学	
13.	薬局製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる。	前期 調剤学	
14.	代表的な院内製剤を調製できる。(技能)		前期 臨床薬学実習
15.	無菌操作の原理を説明し、基本的な無菌操作を実施できる。(知識・技能)	前期 実習VI 後期 実務実習事前学習	前期 臨床薬学実習
16.	抗悪性腫瘍剤などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の基本的手技を実施できる。(技能)		前期 臨床薬学実習
五	《注射剂と輸液》		
17.	注射剤の代表的な配合変化を列挙し、その原因を説明できる。	前期 実習VI 後期 実務実習事前学習	
18.	代表的な配合変化を検出できる。(技能)		
19.	代表的な輸液と経管栄養剤の種類と適応を説明できる。	前期 調剤学前期 実習VI	
20.	体内電解質の過不足を判断して補正できる。(技能)	前期 演習VII	
《消毒薬》	類》		
21.	代表的な消毒薬の用途、使用濃度を説明できる。	後期 感染制御学	
22.	消毒薬調製時の注意点を説明できる。	後期 感染制御学	
121	コフクラネージェント		

0 0		該当	科目
天の天自でプル・コノルツイエノム(天の天自幸的十日)3003	3 年	4 年	5 年
《安全管理に注目する》			
1. 薬剤師業務の中で起こりやすい事故事例を列挙し、その原因を説明できる。		前期 調剤学	
		前期 調剤学	
3. 院内感染の回避方法について説明できる。		後期 感染制御学 後期 薬物治療学	
《副作用に注目する》			
4. 代表的な医薬品の副作用の初期症状と検査所見を具体的に説明できる。			前期 臨床薬学総論 前期 薬歴管理学
《リスクマネージメント入門》			
5. 誤りを生じやすい調剤例を列挙できる。		前期 調剤学	
6. リスクを回避するための具体策を提案する。 (態度)		後期 ヒューマニズム論IV	
7. 事故が起こった場合の対処方法について提案する。(態度)		後期 ヒューマニズム論IV	
(6) 服薬指導と患者情報			
《服薬指導に必要な技能と態度》			
1. 患者の基本的権利、自己決定権、インフォームド・コンセント、守秘義務などについて具体的に説明できる。			前期 ヒューマニズム論V
2. 代表的な医薬品の服薬指導上の注意点を列挙できる。		前期 調剤学	前期 臨床薬学総論 前期 臨床薬学実習
3. 代表的な疾患において注意すべき生活指導項目を列挙できる。		前期 調剤学	
4. インフォームド・コンセント、守秘義務などに配慮する。(態度)		後期 実習UI 後期 実務実習事前学習	前期 臨床コミュニケーション演習前期 臨床薬学実習
5. 適切な言葉を選び、適切な手順を経て服薬指導する。(技能・態度)		後期 実習W 後期 実務実習事前学習	前期 臨床コミュニケーション演習 前期 臨床薬学実習
6. 医薬品に不安、抵抗感を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。(知識・態度)		後期 実習W 後期 実務実習事前学習	前期 臨床コミュニケーション演習前期 臨床薬学実習
7. 患者接遇に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。		後期 実習证 後期 実務実習事前学習	前期 臨床コミュニケーション演習前期 臨床薬学実習
《患者情報の重要性に注目する》			
8. 服薬指導に必要な患者情報を列挙できる。		後期 実習VI 後期 実務実習事前学習	前期 薬歴管理学 前期 臨床薬学実習
9. 患者背景、情報(コンプライアンス、経過、診療録、薬歴など)を把握できる。 (技能)		四四	
10. 医師、看護師などとの情報の共有化の重要性を説明できる。		100	
《服薬指導入門》			
11. 代表的な医薬品について、適切な服薬指導ができる。(知識・技能)		後期 実習VI 後期 実務実習事前学習	前期 臨床コミュニケーション演習前期 臨床薬学実習

	0		該当	4 目
	表効表首七ブル・コノガリ十コフム(表効表首争削子首) 3 B O S	3 年 4	4 年	5 年
12.	共感的態度で患者インタビューを行う。(技能・態度)	後期 実習四 後期 実務実習 ³	雪事前学習	前期 臨床コミュニケーション演習 前期 臨床薬学実習
13.	患者背景に配慮した服薬指導ができる。(技能)	後期 実習证 後期 実務実習	雪事前学習	前期 臨床ユミュニケーション演習 前期 臨床薬学実習
14.	代表的な症例についての服薬指導の内容を適切に記録できる。(技能)			前期 臨床コミュニケーション演習 前期 臨床薬学実習
(7)	(7) 専前学習のまとめ			
《物品	《総合実習》			
	代表的な処方せん例の鑑査を行うことができる。(技能)			前期 臨床薬学実習
2.	疑義照会をシミュレートする。(技能・態度)			前期 臨床薬学実習
33	処方せん例に従って、計数調剤をシミュレートできる。(技能)			前期 臨床薬学実習
4	処方せん例に従って、計量調剤をシミュレートできる。(技能)			前期 臨床薬学実習
5.	調剤された医薬品の鑑査をシミュレートできる。(技能)			前期 臨床薬学実習
9	患者背景に配慮した服薬指導ができる。(技能)			前期 臨床薬学実習

(基礎資料 3-3) 平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラムのSBOsに該当する科目

[注] 1 平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラムのSBOsに該当する科目名を実施学年の棚に記入してください。 2 同じ科目名が連続する場合はセルを結合して記入することもできます。

・ A C C モギルは C C・イバム士基條需要・受ける事態を対して (S B Os)				四		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
A 湖外制造						
[①医療人として]						
活者の視点に立ち、医療の担い手としてふさわしい態度で行動する。(態度)	後期 薬学概論 !!		後期 薬と社会			
2) 患者・生活者の健康の回復と維持に積極的に貢献することへの責任感を持つ。(態度)	後期 薬学概論		後期 薬と社会			
3) チーム医療や地域保健・医療・福祉を担う一員としての責任を自覚し行動する。 (態度)	後期 薬学概論			前期 地域医療薬学		
4)患者・患者家族・生活者が求める医療人について、自らの考えを述べる。 (知識・態度)	後期 薬学療論		後期 薬と社会			
5) 生と死を通して、生きる意味や役割について、自らの考えを述べる。 (知識・態度)		前期 医療倫理学				
6) 一人の人間として、自分が生きている意味や役割を問い直し、自らの考えを述べる。 (知識・態度)		前期 医療倫理学				
 様々な死生観・価値観・信条等を受容することの重要性について、自らの言葉で説明する。 (知識・ 態度) 		前期 医療倫理学				
【②薬剤師が果たすべき役割】						
1)患者・生活者のために薬剤師が果たすべき役割を自覚する。(態度)	後期 薬学概論		後期 薬剤師実務 一後期 薬と社会			
 2)薬剤師の活動分野(医療機関、薬局、製薬企業、衛生行政等)と社会における役割について 説明できる。 	後期 薬学概論 !!					
	後期 薬学概論		後期 薬剤師実務 後期 薬と社会 後期 薬剤師実務			
4) 医薬品の効果が確率論的であることを説明できる。	後期 薬学概論			前期 医薬品開発論		
医薬品の創製(研究開発、生産等)における薬剤師の役割について説明できる。	後期 薬学概論			前期 医薬品開発論		
役割について説明	後期 薬学概論			前期 地域医療薬学		
	後期 薬学機論!		後期 薬剤師実務	前期 地域医療薬学		
こる課題(少子・超高齢社会等)に対して、薬剤筋が果たすべき役割を提案する。	後期 薬学概論			前期 地域医療薬学		
[③患者安全と厳害の防止]						
1) 医薬品のリスクを認識し、患者を守る責任と義務を自覚する。 (態度)			後期 薬と社会 後期 薬剤師実務 =			
 WHOによる患者安全の考え方について概談できる。 			-			
3) 医療に関するリスクマネジメントにおける薬剤師の責任と義務を説明できる。			後期 薬と社会 後期 薬剤師実務			
4) 医薬品が関わる代表的な医療過期やインシデントの事例を列挙し、その原因と防止策を説明できる。						
5)重算な副作用の例について、患者や家族の苦痛を理解し、これらを回避するための手段を討議する。 (知識・態度)						
6)代表的な素書の例(サリドマイド、スモン、非加熱血液製剤、ソリブジン等)について、その原因と社会的背景及びその後の対応を説明できる。			後期 薬と社会			
7)代表的な豪害について、患者や家族の苦痛を理解し、これらを回避するための手段を討議する。 (知識・態度)			後期 薬と社会			
[④薬学の歴史と未来]						
れと医療において薬学が果たしてきた役割について説明できる。	前期 秦华概論					
	前期 秦华概論					
3) 薬剤師の誕生から現在までの役割の変遷の歴史(医薬分業を含む)について説明できる。	前期 薬学概論					
4) 将来の薬剤師と薬学が果たす役割について討議する。 (知識・態度)	後期 薬学療論二					
(2) 展営師に状められる倫理製						
命倫理】						
1)生命の尊厳について、自らの言葉で説明できる。 (知識・態度)						
2) 生命倫理の諸原則(自律尊重、無危害、善行、正義等)について説明できる。		前期 医療倫理学 前期 介護福祉体験実習				
3)生と死に関わる倫理的問題について討議し、自らの考えを述べる。(知識・態度)		医療倫理学				
27						

						1,
十枚23千度以前隊・第十枚両七ブル・コブルリオコブム(3003)	1年	2年	3年	44	5年	女9
[②医療倫理]						
1)医療倫理に関する規範(ジュネーブ宣言等)について概説できる。		前期 医療倫理学				
2) 薬剤師が遵守すべき倫理規範(薬剤師綱領、薬剤師倫理規定等)について説明できる。		前期 医療倫理学				
3)医療の進步に伴う倫理的問題について説明できる。		前期 医療倫理学				
[③患者の権利]						
1) 患者の価値観、人間性に配慮することの重要性を認識する。(態度)				前期 臨床心理学 後期 臨床薬学実習N		
2) 患者の基本的権利の内容(リスポン宣言等)について説明できる。		前期 医療倫理学				
3) 患者の自己決定権とインフォームドコンセントの意義について説明できる。		前期 医療倫理学				
4)知り得た情報の守秘機務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。(知識・技能・態度)		前期 医療倫理学				
[《研究倫理]						
1) 臨床研究における倫理規範(ヘルシンキ宣言等)について説明できる。				前期 医薬品開発論		
2) 「ヒトを対象とする研究において遵守すべき倫理指針」について概説できる。						
3) 正義性、社会性、属実性に配慮し、法規範を遵守して研究に取り組む。 (態度)				問題 医凝品關稅職 後期 存業研究	前期·後期 卒業研究	前期 卒業研究
(3) 無数既常の素徴						
[(①ヨューケーション]						
1) 意思、情報の伝達に必要な要素について説明できる。	前期 薬学生入門					
2) 書語的及び非書語的コミュニケーションについて説明できる。	前期 薬学生入門					
3)相手の立場、文化、習慣等によって、コミュニケーションの在り方が異なることを例を挙げて説明できる。	前期 薬学生入門					
4) 対人関係に影響を及ぼす心理的要因について概説できる。	前期 薬学生入門					
5) 相手の心理状態とその変化に配慮し、対応する。 (態度)	前期 薬学生入門		後期 臨床漢学実習	前期 臨床心理学 前期 臨床減华漢智旧 後期 臨床薬學実習N 後期 臨床薬學実習V		
6) 自分の心理状態を意識して、他者と接することができる。 (極度)	前期 薬学生入門		後期 臨床漢学実習	前期 臨床心理学 前期 臨床派学奖習旧 後期 臨床薬学実習N 後期 臨床薬学実習V		
適切な聴き方、質問を通じて相手の考えや感情を理解するように努める。(技能・態度)	約期 薬学生入門	前期 介護福祉体験実習	後期 臨床薬学実習	前期 臨床薬学実習 (後期 臨床薬学実習 (後期 臨床薬学実習 V		
8) 通切な手段により自分の考えや感情を相手に伝えることができる。(技能・態度)	前期 薬学生入門		後期 臨床薬学実習	前期 臨床藻学実習川 後期 臨床藻学実習N 後期 臨床藻学実習V		
9) 他者の意見を尊重し、協力してよりよい解決法を見出すことができる。 (凶職・技能・賠償)	前期 選学生入門 後期 選学概能! 後期 リーダーシップ論 後期 選売的実務体験実習					
[②患者・生活者と薬剤師]						
患者や家族、周囲の人々の心身に及ぼす病気やケアの影響について説明できる。				前期 臨床心理学 後期 臨床薬学実習IV		
患者・家族・生活者の心身の状態や多様な価値製に配慮して行動する。(協度)			後期 臨床薬学実習	前期 臨床心理学 前期 臨床薬学実習!! 後期 臨床薬学実習N 後期 臨床薬学実習V		
(4) 多職循連棋協聯とチーム医療						
1)保健、医療、福祉、介護における多機種連携協働及びチーム医療の意義について説明できる。	前期 凝学生入門後期 凝学概器	前期 介護福祉体験実習	後期 萊莉師実務			
2)多職種連携協働に関わる薬剤師、各職種及び行政の役割について説明できる。			後期 薬剤師実務!!			
3) チーム医療に関わる薬剤師、各職種、患者・家族の役割について説明できる。			後期 薬剤師実務!			
4) 自己の能力の限界を認識し、状況に応じて他者に協力・支援を求める。 (態度)	前期 凝学生入門後期 凝学概論:				前期·後期 実務実習	
5) チームワークと情報共有の重要性を理解し、チームの一員としての役割を積極的に果たすよう に努める。(知識・態度)	前期 薬学生入門 前期 弥災・救急対応実習 前期 早期体験実習 会期 単単体験実習 後期 薬学概論! 後期 エリケーンップ語				市场·後期 実務実置	
4 4 4 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10						

19 19 29 19 19 19 19 19		前期 薬事関連法制論 [1) 麻薬、向精神薬、覚醒剤原料等の取扱いに係る規定について説明できる。
		_			「②特別力権場を関すの服装者であるが出版器」
Transcription Transcriptio		- 1	3		11) フガュルマニーキ人トンスラの観客と希腊でして片間田ドネス
18 28 28 28 28 28 28 28		_	88		10) 書稿誌開製浴室開口ULT製品が来る。
100 100					9)生物由来製品の取扱いと血液供給体制に係る法規能について製品できる。
		- 1			8) 日本薬局方の煎機と構成について説明できる。
19/14-25A (1910))					7) 医薬品等の取扱いに関する「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の規定について説明できる。
1					6)薬局、医薬品販売業及び医療機器販売業に係る法規範について説明できる。
### 1900 1900 1900 1900 1900 1900 1900 1					5) 製造販売後調査制度及び製造販売後安全対策について説明できる。
1					4) 医薬品等の製造販売及び製造に係る法規範について説明できる。
### 124 (28 01) ### 274 (28 01) ###					3)治験の意義と仕組みについて概説できる。
1					2) 医薬品の開発から承認までのプロセスと法規範について概認できる。
19					1) 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の降保等に関する法律」の目的及び医薬品等 (医薬品、高角医薬品、要排導医薬品、一般用医薬品)、医薬部外品、化粧品、医療機器、再生 医療等 製品)の定義について以明できる。
1996 - 377 19 年 3 A (5 B O 1)					[②医薬品等の品質、有効性及び安全性の確保に係る法規範]
1 日本					8)薬剤師の刑事責任、民事責任(製造物責任を含む)について概説できる。
1					7) 個人情報の取扱いについて概能できる。
1979 - コアカリキュラム (58 DO)					6) 医療提供体制に関する医療法の規定とその意義について説明できる。
1997 - コアカリキュラム (58 DI) 1987 298 398 449 559 599 649 599 649 599 649					5) 医療の理念と医療の担い手の責務に関する医療法の規定とその意義について説明できる。
1979 - コアカリキュウム (SB DI)					4)薬剤師以外の医療職種の任務に関する法令の規定について概説できる。
1					3) 薬剤師の任務や業務に関する薬剤師法の規定とその意義について説明できる。
1987 - コアカリキュウム (5 80 0.) 18					2) 薬剤師免許に関する薬剤師法の規定について説明できる。
1年 274 (1801) 1年 24 (4年 5年 6月 1月 1月 1日					1)薬剤師に関わる法令とその構成について説明できる。
通常機能を対か、コアカリキュラム(SBO)					【①薬剤師の社会的位置づけと責任に係る法規範】
1年 2年 3年					(2) 薬剤師と医薬品等に係る法規範
1					5) 倫理規範や法令に則した行動を取る。(態度)
1年 2年 3年 3年 4年 5年 5年 3年 4年 5年 5年 3年 4年 5年 5年 3年 3			搬		4) 薬剤師が倫理規範や法令を守ることの重要性について討議する。 (態度)
1年			188		人・社会の視点から薬剤師を取り巻く様々な仕組みと規制について討議する。
1年 2年 3年 4年 5年			300		2) 人・社会が医薬品に対して抱く考え方や思いの多様性について討議する。(態度)
1年 2年 3年 4年 5年					1) 人の行動がどのような要因によって決定されるのかについて説明できる。
1年 2年 3年 4年 5年					(1) 人と社会に関わる薬剤師
1年 2年 3年 4年 5年					B 薬学と社会
1年 2年 3年 4年 5年 1年 2年 3年 4年 5年 1月 2年 2年 3年 3年 4年 5年 1月 2月	前期・後期 エデュケーションスキル				2)後輩等への適切な指導を実践する。 (技能・態度)
1年 2年 3年 4年 5年	エデュケー				
1年 2年 3年 4年 4年 5年					[④次世代を担う人材の育成]
1年 2年 3年 4年 5年 5年 5年 5年 5年 5年 5年 6月 (5 日 6)					2) 生涯にわたって継続的に学習するために必要な情報を収集できる。 (技能)
「成25年度改訂版・選挙教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 1年 2年 3年 4年 5年 5年 5年 5年 5年 6月					1) 生涯にわたって自ら学習する重要性を認識し、その意義について説明できる。
1年 2年 3年 3年 4年 5年					[③生涯学習]
1年 2年 3年 3年 4年 5年					機・
成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 1年 2年 3年 4年 5年 5年 5年 5年 5年 3年 4年 5年				- 1	1) 「薬剤師として求められる基本的な資質」について、具体例を挙げて説明できる。
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 1年 2年 3年 4年 5年 医薬品に関わる問題、社会的制向、科学の進步に常に目を向け、自ら課題を見出し、勢力する。(根度) 前期 薬学生入門 前期 薬学生入門 前期 薬学生入門 の教料者・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。(技能) 前期 薬学生入門 前期 情報 シテランー制剤 情報 サラランー制剤 情報 サラランー制剤 情報 サララン・制剤 日本語表別法 前期 日本語表別法 た上の情報が持つ意味・特徴を知り、情報値里・カリティに配慮して活用機・指数では、カースに配慮して活用機・表面では、カースに配慮して活用機・指数では、カースに配慮して活用機・指数では、カースに配慮して活用機・指数では、カースに配慮して活用機・指数では、カースに配慮して活用機・指数では、カースに配慮して活用機・指数では、カースに配慮して活用機・指数では、カースに配慮して					【②瀬学教育の典類】
1年 2年 3年 4年 5年 1年 2年 3年					5)インターネット上の情報が持つ意味・特徴を知り、情報倫理、情報セキュリティに配慮して活用できる。(知識・態度)
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 1年 2年 3年 4年 5年 医薬品に関わる問題、社会的動向、科学の進步に常に目を向け、自ら課題を見出し、努力する。(相度) 前期 薬学生入門 の教料書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。(技能) 前期 薬学上入門 前期 薬学上入門 前期 権利ナニト門 前期 有利・上下門 前期 日本語表現法 前期 日本語表現法		-			100
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs) 1年 2年 3年 4年 5年 医薬品に関わる問題、社会的動向、科学の進步に常に目を向け、自ら課題を見出し、物類、薬学生入門努力する。(特度) 前期、薬学生入門 の教料書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。(技能) 前期、薬学生入門					2.00
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 1年 2年 3年 4年 5年 5年 1980年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 1年 2年 3年 4年 5年 5年 5年 5年 5年 5年 5年 7970年 1980年 1				NA COL	を抽出できる。
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs) 1年 2年 3年 4年 5年					1) 医療・福祉・医薬品に関わる問題、社会的動向、科学の進步に常に目を向け、自ら課題を見出し、解決に向けて努力する。(態度)
1年 2年 3年 4年 5年					[①学習の在り方]
3 U 1		4年		14	半成25年度改訂版・漢字教育モナル・コアカリキュフム(SBOS)
2 1		類 出 学 回			

半成25年度の11度・楽字教育セブル・コノガリチュブム(3BOS)	14	2年	3年	4年	5年	6年
2) 覚醒剤、大麻、あへん、指定薬物等の乱用防止規制について概説できる。				一提訴狀制醫療療 賢信		
3) 毒物劇物の取扱いに係る規定について概能できる。				一種露狀劑醫療療 賢信		
(3)社会保障制度と医療経済						
[①医療、福祉、介臓の制度]						
1) 日本の社会保障制度の枠組みと特徴について説明できる。				二维系光樹医静脉 賢信		
2) 医療保険制度について説明できる。				司		
3) 療養担当規則について説明できる。				二個縣狀劑醫療療 單個		
4)公費負担医療制度について概説できる。						
5) 介護保険制度について概説できる。				二個解光劑國療涨 聲信		
6) 薬価基準制度について概説できる。				二鑑器狀樹國勝勝 賢福		
7) 調剤報酬、診療報酬及び介護報酬の仕組みについて概説できる。			後期 强剂防灾路	二個解狀型醫療機 賢信		
[②图楽品と图象の語述性]						
1) 医薬品の市場の特徴と流通の仕組みについて機能できる。				後題 凝型結済学		
2) 国民医療費の動向について機能できる。				後期 張勃経済学		
3)後発医薬品とその役割について説明できる。				後期 凝型経済学		
4)薬物療法の経済評価手法について概説できる。				後期 薬剤経済学		
(4) 地域における薬局と薬剤節						
【①地域における薬局の役割】						
1) 地域における薬局の機能と業務について説明できる。			後期 薬剤師実務川	前期 地域医療薬学		
2) 医薬分薬の意義と動向を説明できる。			後期 薬剤師実務川	前期 地域医療薬学		
3)かかりつけ楽局・薬材値による薬学的管理の意義について説明できる。			後期 薬剤師実務	前期 地域医療薬学		
			of the Ave of the			
4) セルフメディケーションにおける薬局の役割について説明できる。			後屋 茶配即実務二	- 1		
5) 災害時の薬局の役割について説明できる。	後期 薬学概論 二			- 1		
6) 医療費の適正化に薬局が果たす役割について説明できる。				前期 地域医療薬学		
【②地域における保健、医療、福祉の連携体制と薬剤師】				_		
1) 地域包括ケアの理念について説明できる。			- 1	- 1		
2) 在宅医療及び居宅介護における薬局と薬剤師の役割について説明できる。			- 1	- 1		
3) 学校薬剤師の役割について説明できる。			_	- 1		
4)地域の保健、医療、福祉において利用可能な社会資源について概説できる。			後期 薬剤師実務日	前期 地域医療液学		
5)地域から求められる医療提供施設、福祉施設及び行政との連携について討議する。(知識・態度)				市期 地域医療 滋学		
C・機能構造						
(1) 物質の物理的性質						
(二) 李旗の養樹						
・ ころない はんしょう かんかん こうかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんか	ACCUSE OF THE JUNEAU					
1)七字雑句の表式について現象である。 こくしき 後く まきまま しょくじゅう おんき 手手 あんき さんきおく じゅうしょ アジロとガン	的M 各级亿子					
こっても通うの手をあるなりを通うがある。						
[②分子間相互作用]						
1) ファンデルワールスカについて説明できる。	前期 基礎化学					
2) 静電相互作用について例を挙げて説明できる。	前期 基礎化学					
3) 双礎子間相互作用について例を挙げて説明できる。						
4)分散カについて例を挙げて説明できる。						
5) 水素結合について例を挙げて説明できる。	前期 基礎化学					
6)電荷移動相互作用について例を挙げて説明できる。	前期 基礎化学					
7) 疎水性相互作用について例を挙げて説明できる。	前期 基礎化学					
[③原子・分子の挙動]						
1) 電磁波の性質および物質との相互作用を説明できる。		後期 機器分析学				
2)分子の振動、回転、電子遷移について説明できる。		後期 機器分析学				
the first and the day of the first of the first of the first one of the fi		24 相 2年1年4月1日				

To Continue and Application		薬学基礎実習	(技能) 後期	4) 代表的な(版)一次反応の反応速度を測定し、速度定数を求めることができる。
RESTRUCTION RESTRUCTION PROPERTY NOT THE PROPERTY NOT T				4
RESIDENCIA SERRET/S-273/193/A (1802) 18		jor sales	- 1	
REAL BLADDERSCONTERES 18		度論	100	1) 反応次数と速度定数について説明できる。
### \$45000000000000000000000000000000000000				[①反応速度]
REAL PROPERTY NOTE NOT				(3)物質の指化
REAL DIAGRAMENT/PROPERTY 279/14-25A (\$100) 1/8 288		RT 1200	後期 化学平	2) 鏡機館位(酸化調元館位)について説明できる。
REAL PLANSMERS SAMEREY PARTY		200 Miles	後期 化学平	 お電力とギブズエネルギーの関係について説明できる。
RECONTRIBUTE SPRINGERY (N. 1771) (N. 2771) (【①韓気化学】
SALDY MARKET IN STRUCTURE COLOR (SEA DAY) BREE LAND MARKET COLOR (SEA DAY) BREE		#	(1)	4) イオン強度について説明できる。
######################################		#	後期	3) 電解質溶液の電気伝導率およびモル伝導率の濃度による変化を説明:
PROPERTY PROPERTY		*		2) 活量と活量係数について説明できる。
####################################		**		1) 希薄溶液の束一的性質について説明できる。
1				【⑧溶液の性質】
1		*		3) 状態図について説明できる。
1		**		2) 相平衡と相律について説明できる。
19		*		1) 相変化に伴う熱の移動について説明できる。
				[⑤相平衡]
1		2000		4) 共役反応の原理について説明できる。
		西斯	後期 化学平	3) 平衡定数に及ぼす圧力および温度の影響について説明できる。
1年				2) ギブズエネルギーと平衡定数の関係を説明できる。
2				1) ギブズエネルギーと化学ボテンシャルの関係を説明できる。
				【後化学平衡の原理】
2年				5) 熱力学関数を使い、自発的な変化の方向と程度を予測できる。
1			後期 熱力学	4) ギブズエネルギーについて説明できる。
1年			後期 熱力学	3) 熱力学第三法則について説明できる。
				2) 熱力学第二法則について説明できる。
1年				1) エントロピーについて説明できる。
2年				[③自発的な変化]
			後期 熱力学	7) 化学変化に伴うエンタルビー変化について説明できる。
			後期 熱力学	6) エンタルピーについて説明できる。
連載的電子外・コナかリキュラム (\$804)				5) 定容熱容量および定圧熱容量について説明できる。
連載報報モデル・コアカリキュラム (SBOs)			後期 熱力学	4) 定圧過程、定容過程、等温過程、断熱過程を説明できる。
連載報刊・37カリキュラム (SBOs)				3) 状態関数と経路関数の違いを説明できる。
2年				2) 熱力学第一法則を説明できる。
2年				1)熱力学における系、外界、境界について説明できる。
連挙教育モデル・コアカリキュラム (SBOs)				[のエイルキエの]
・			後期 熱力学	3) エネルギーの量子化とボルツマン分布について説明できる。
・薬学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs) 1年 2年 3年 4年 5年 について説明できる。 後期 機器分析学 I 後期 機器分析学 I 2年 3年 4年 5年 設可できる。 (表別 機器分析学 I (表別 機器分析学 I (別 放射化学 (別 (別 (別			後期 熱力学	2) 気体の分子運動とエネルギーの関係について説明できる。
2年 2年 3年 4年 5年 1年 2年 3年 4年 5年 1年 2年 3年 4年 5年 1年 2年 3年 4年 5年 3年 4年 3年 3年 3年 3年 3年 3				1) ファンデルワールスの状態方程式について説明できる。
1年 2年 3年 4年 5年 2年 2年 2年 3年 4年 5年 2年 2年 2年 3年 4年 4年 5年 2年 2年 2年 2年 2年 3年 4年 4年 5年 2年 2年 2年 2年 2年 2年 3年 4年 4年 5年 2年 2年 2年 2年 2年 3年 4年 4年 5年 2年 2年 2年 2年 2年 2年 2				【①気体の微視的状態と巨視的状態】
成259年度改訂版・業学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs) 1年 2年 3年 4年 5年 . および放光性について説明できる。 (2期 機器分析学 2年 3年 4年 5年 現象について説明できる。 (2期 機器分析学 2年 3年 4年 5年 財産窓について説明できる。 (3期 被割分析学 2年 4年 5年 財産の物理的性質について説明できる。 約期 放射化学 6月期 放射化学 6月期 放射化学 財産の物理的性質について説明できる。 6月期 放射化学 6月期 放射化学 6月期 放射化学 増産が開定のいて説明できる。 6月期 放射化学 6月期 放射化学 6月期 放射化学				(2)物質のエネルギーと平衡
成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 1年 2年 3年 4年 5年 . および設光性について説明できる。 (2期 機器分析学 2年 3年 4年 5年 現象について説明できる。 (2期 機器分析学 2年 (2期 機器分析学 2年 (2期 機器分析学 2年 (2期 機器分析学 2年 (2月 生み) (2月 生み				5) 放射線測定の原理と利用について概認できる。
RE25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)		前期 放射化学		4) 核反応および放射平衡について説明できる。
1年 2年 3年 4年 5年 1年 2年 3年 4年 5年 1年 2年 3年 4年 5年 1月 2年 3年 3年 3年 4年 5年 3年 3年 3年 3年 3年 3年 3		前期 放射化学		3) 代表的な放射性核種の物理的性質について説明できる。
1年 2年 3年 4年 5年 2年 3年 3年 4年 5年 2年 3年 3年 4年 5年 2年 3年 3年 3年 4年 5年 3年 3年 3年 3年 3年 3年 3			について説明できる。	2) 電離放射線の種類を列挙し、それらの性質および物質との相互作用
成25年度改訂版・豪学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs) 1年 2年 3年 4年 5年 . および旋光性について説明できる。 後期 機器分析学 I 後期 機器分析学 I 後期 機器分析学 I 現象について規則できる。 後期 機器分析学 I 後期 機器分析学 I				1)原子の構造と放射壊変について説明できる。
育モデル・コアカリキュラム (SBOs) 1年 2年 3年 4年 5年 銀町で含る。 (銀間 機器分析学 I 金期 機器分析学 I 金期 機器分析学 I 金期 機器分析学 I 金期 機器分析学 I				[④放射線と放射能]
育モデル・コアカリキュラム (SBOs) 1年 2年 3年 4年 5年 提明できる。 後期 機器分析学 I 後期 機器分析学 I 4年 5年		後期 機器分析学		6) 結晶構造と回折現象について概説できる。
コアカリキュラム (SBOs) 1年 2年 3年 4年 5年 後期 機器分析学 後期 機器分析学 4年 5年		後期 機器分析学		5) 光の散乱および干渉について説明できる。
1年 2年 3年 4年 5年				4) 光の屈折、偏光、および旋光性について説明できる。
型	4年	2年	A (SBOS)	平成25年度改訂版・楽学教育モデル・コアカリキュラ
	草			

			数当本目			
平成25年度改訂版・漢字教育モテル・コアカリキュラム(SBOS)	14	2年	3年	4年	5年	6年
5) 代表的な複合反応 (可逆反応、平行反応、連続反応など) の特徴について説明できる。	後期 反応速度論					
6) 反応速度と温度との関係を説明できる。	後期 反応速度論					
7) 代表的な触媒反応(酸・塩基触媒反応、酵素反応など)について説明できる。	後期 反応速度論					
C2 化学物質の分析						
(1) 分析の基礎						
[①分析の基本]						
1)分析に用いる器具を正しく使用できる。 (知識・技能)	後期 薬学基礎実習					
2) 測定値を適切に取り扱うことができる。 (知識・技能)	後期 薬学基礎実習					
3) 分析法のバリデーションについて説明できる。		前期 定量分析化学				
(2) 游液中の化学平衡						
【①酸·塩基平衡】						
1)酸・塩基平衡の概念について説明できる。						
2) pH および解離定数について説明できる。(知識・技能)						
3) 溶液の pH を測定できる。(技能)	後期 漢学基礎実習 後期 化学平衡論					
4) 緩衝作用や緩衝液について説明できる。						
[②各種の化学平衡]						
1) 雑体・キレート生成平衡について説明できる。	後期 化学平衡論					
2) 沈殿平衡について説明できる。	後期 化学平衡論					
3)酸化選元平衡について説明できる。	後期 化学平衡論					
4)分配平衡について説明できる。	後期 化学平衡論					
(3) 化学物質の定性分析・定量分析						
[①定性分析]						
1) 代表的な無機イオンの定性反応を説明できる。		前期 薬品分析化学				
2) 日本薬局方収載の代表的な医薬品の確認試験を列挙し、その内容を説明できる。		前期 薬品分析化学				
[②定量分析(容量分析・重量分析)]						
1) 中和漢定(非水満定を含む)の原理、操作法および応用例を説明できる。		前期 定量分析化学				
2) キレート満定の原理、操作法および応用例を説明できる。						
3) 沈殿満定の原理、操作法および応用例を説明できる。		前期 定量分析化学				
4)酸化還元満定の原理、操作法および応用例を説明できる。		前期 定量分析化学				
5) 日本薬局方収載の代表的な医薬品の容量分析を実施できる。(知識・技能)		後期 薬学基礎実習				
6) 日本薬局方収載の代表的な純度試験を列挙し、その内容を説明できる。		前期 薬品分析化学				
7) 日本薬局方収載の重量分析法の原理および操作法を説明できる。		前期 薬品分析化学	3			
(4)機器を用いる分析法						
【①分光分析法】						
1)紫外可視吸光度測定法の原理および応用例を説明できる。		後期 機器分析学				
2) 並光光度法の原理および応用例を説明できる。						
3)赤外吸収(18)スペクトル測定法の原理および応用例を説明できる。		後期 構造解析学				
4) 原子吸光光度法、誘導結合プラスマ(ICb)発光分光分析法および ICb 質量分析法の原理および 応用例を説明できる。		後期 機器分析学 1				
5) 旋光度測定法(旋光分散)の原理および応用例を説明できる。		後期 機器分析学 1				
6)分光分析法を用いて、日本薬局方収載の代表的な医薬品の分析を実施できる。(技能)		後期 薬学基礎実習				
【②被磁気共曝(NUR)スペクトル測定法】						
1)核磁気共鳴 (NAR) スペクトル測定法の原理および応用例を説明できる。		後期 構造解析学				
[③質量分析法]						
1)質量分析法の原理および応用例を説明できる。		後期 構造解析学				
【④×離分析法】						
1) X線結晶解析の原理および応用例を模説できる。						
2) 粉末X級回折測定法の原理と利用法について概能できる。		後期 機器分析学				
[⑤熱分析]						
1) 熱量量測定法の原理を説明できる。		後期 機器分析学				

			類出	本		
平成25年度改訂版・豪学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs)	141	2年			5年	6年
2) 示差熱分析法および示差走査熱量測定法について説明できる。		後期 機器分析学				
(5) 分離分析法						
[①クロマトグラフィー]						
1) クロマトグラフィーの分類機構を説明できる。						
2) 薄層クロマトグラフィーの特徴と代表的な検出法を説明できる。		後期 機器分析学				
3) 液体クロマトグラフィーの特徴と代表的な検出法を説明できる。		後期 機器分析学				
4) ガスクロマトグラフィーの特徴と代表的な検出法を説明できる。		後期 機器分析学目				
5) クロマトグラフィーを用いて試料を定性・定量できる。 (知識・技能)		後期 薬学基礎実習				
【②電気冰助法】						
1) 電気決動法の原理および応用例を説明できる。		後期 機器分析学川				
(6) 臨床現場で用いる分析技術						
【①分析の発傷】						
1)分析目的に即した試料の前処理法を説明できる。		後期 機器分析学川				
2) 臨床分析における精度管理および標準物質の意義を説明できる。						
[②分析技術]						
1) 臨床分析で用いられる代表的な分析法を列挙できる。		後期 機器分析学				
2) 免疫化学的測定法の原理を説明できる。		後期 機器分析学				
3) 酵素を用いた代表的な分析法の原理を説明できる。						
大学のカフレングルンフェーアして、大学のでは、						
5)「大次的各国緊急的技術」と表表面、表示、各国政、公安教教育、安内子教育各の「下ノマトを表現される。 でおる。		金属 機器分析学用				
C3 化学物質の性質と反応						
(1) 化学物質の基本的性質						
[①基本事項]						
1) 大変形式先指数を INFA 裁断下級してて限名するこのがである。 こ、社会をはた日本ですとは世界のような全体を通りを目的をよる。	野別 植簇有磷化子					
7)其本的な「中心物を「レスス構造すり機へ」「ナガじまる。 3)其本の近中心物を「レスス構造すり機へ」「ナガじまる。	世間 基聯者權子科					
2) お表示を含むなり、アースを加えては、と思いません。						
) 神教10日からは風で水量の関係です。 **のおくのも。 5) ルイス酸・塩基、ブレンステッド酸・塩基を定義することができる。	的期 基礎有機化學					
6) 基本的な有機反応(置換、付加、脱離)の特徴を理解し、分類できる。						
7) 炭素原子を含む反応中間体(カルボカチオン、カルボアニオン、ラジカル)の構造と性質を 製卵できる。						
8) 反応の過程を、エネルギー図を用いて説明できる。	前期 基礎有機化学					
9) 基本的な有機反応機構を、電子の動きを示す矢印を用いて表すことができる。 (技能)						
[②有機化合物の立体構造]						
1)構造異性体と立体異性体の違いについて説明できる。	前期 立体構造化学					
2) キラリティーと光学活性の関係を概談できる。						
3) エナンチオマーとジアステレオマーについて説明できる。						
4) ラセミ体とメン体について説明できる。						
5)絶対配置の表示法を説明し、キラル化合物の構造を書くことができる。(知識、技能)						
() ノイツンヤー技形式でニューメン技形式を用いて有機に合物の構造を含くしてかてきる。(技能)(2) エタン・ブタンの立体を吸上するのでを行ってごと問題がある。	問題 立体構造化学					
(2)有機化合物の基本骨格の構造と反応						
[(されての]						
1) アルカンの基本的な性質について説明できる。	後期 有機化学					
2) アルカンの構造異性体を図示することができる。(技能)	後期 有機化学					
	後期 有機化学					
4) シクロヘキサンのいす形配座における水素の結合方向 (アキシアル、エクアトリアル) を図示できる。 (技能)	後期 有機化学					
5)置換シクロヘキサンの安定な立体配度を決定する要因について説明できる。	後期 有機化学					
[のアルケン・アルキン]						
1) アルケンへの代表的な付加反応を列挙し、その特徴を説明できる。	後期 有機化学					

			製 当 本 田		
平成25年度改訂版・豪学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	14	2年	-	5年	\$9
2) アルケンの代表的な酸化、週元反応を列挙し、その特徴を説明できる。	後期 有機化学				
3) アルキンの代表的な反応を列挙し、その特徴を説明できる。	後期 有機化学 1				
[②芳香族化合物]					
1) 代表的な芳香族炭化水素化合物の性質と反応性を説明できる。		後期 有機化学Ⅳ			
2) 芳香族性の概念を説明できる。		後期 有機化学Ⅳ			
3) 芳香族炭化水素化合物の求電子置換反応の反応性、配向性、置換基の効果について説明できる。		後期 有機化学IV			
4) 代表的な芳香族複素環化合物の性質を芳香族性と関連づけて説明できる。		後期 有機化学N			
5) 代表的な芳香族複素環の求電子置換反応の反応性、配向性、置換基の効果について説明できる。		後期 有機化学Ⅳ			
(3) 實能基の性質と反応					
[日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本					
1) 代表的な官能基を列挙し、性質を説明できる。	前期 基礎有機化学				
2) 官能基の性質を利用した分離精製を実施できる。(技能)		後期 薬学基礎実習!			
[②有機ハロゲン化合物]					
1) 有機ハロゲン化合物の基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。		前期 有機化学!!			
2) 求核置換反応の特徴について説明できる。		前期 有機化学!!			
3) 脱離反応の特徴について説明できる。		前期 有機化学!!			
[③アルコール・フェノール・エーテル]					
1) アルコール、フェノール類の基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。		前期 有機化学!!			
2) エーテル類の基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。		前期 有機化学!!			
[④アルデヒド・ケトン・カルボン酸・カルボン酸酸等体]					
1) アルデヒド類およびケトン類の基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。		前期 有機化学川			
2)カルボン酸の基本的性質と反応を列挙し、説明できる。		前期 有機化学皿			
3)カルボン酸誘導体(酸ハロゲン化物、酸無水物、エステル、アミド)の基本的性質と反応を 2.4%・ 3.885 ままま		前類 有機化学皿			
が持つ、気がいる。		- 100			
(の)		11 大学 17 大学 17 大学 11 大学			
1) ノミノ州の命中的は異くなわなが平し、政界に合う。		HIM HEALTH			
1) 首能基が及ぼす電子効果について概認できる。	前期 基礎有機化学	問題 有機化学Ⅲ 後期 有機化学Ⅲ 後期 有機化学Ⅳ			
[①凝性度・塩基性度]					
1) アルコール、フェノール、カルボン酸、炭素酸などの酸性度を比較して説明できる。		前期 有機化学!!			
2) 含窒素化合物の塩基性度を比較して説明できる。		前期 有機化学!!			
(4) 化排售属の集階状限					
【①核磁气共鸣(NMR)】					
1) 「H および ¹³ C NAR スペクトルより得られる情報を概説できる。		後期 構造解析学			
2) 有機化合物中の代表的プロトンについて、おおよその化学シフト値を示すことができる。		後期 構造解析学			
3) 「H NMR の積分値の意味を説明できる。		後期 構造解析学			
4) 「H NMR シグナルが近接プロトンにより分裂(カップリング)する基本的な分裂様式を説明できる。		後期 構造解析学			
5) 代表的な化合物の部分構造を「H NMR から決定できる。(技能)		後期 構造解析学			
[②赤外吸収(R)]					
1) IR スペクトルより得られる情報を概説できる。		後期 構造解析学			
2) IR スペクトル上の基本的な官能基の特性吸収を列挙し、帰属することができる。(知識・技能)		後期 構造解析学			
[③質量分析]					
1)マススペクトルより得られる情報を概説できる。		後期 構造解析学			
2) 測定化合物に適したイオン化法を選択できる。(技能)		後期 構造解析学			
3) ピークの種類(基準ピーク、分子イオンピーク、同位体ピーク、フラグメントピーク)を説明できる。		後期 構造解析学			
4)代表的な化合物のマススペクトルを解析できる。(技能)		後期 構造解析学			
[(6)総合演習]					
1) 代表的な機器分析法を用いて、代表的な化合物の構造決定ができる。(技能)		後期 薬学基礎実習 後期 構造解析学			
(5) 無機化合物・輔体の構造と性質					
[①無機化合物・輔体]					
1)代表的な典型元素と運移元素を列挙できる。	前期 無機化学				
		- 73 -			

					The state of the s
	地帯 様 丁俊樹(長沙林)				で、R-4なな人権権が共し手機を開機団が登録し、子事権権に対し、予察権でして下記品となる。
	哲慧 辮子依備(既除件)				4) キノロン母妹をもし往来的医療品を包装し、存業業品に禁止へ幸糧について問題で来る。
	劇問 薬と疾病 (感染症) 後間 薬と疾病 (内分泌、代謝性疾患)				3) スルボンアミド構造をもり代表的医薬品を列撃し、化学構造に基づく性質について説明できる。
		後期 薬と疾病(免疫、7)片・疾患) 患) 後期 薬と疾病(炎症・骨・間接疾患)			 フェニル酢酸、フェニルプロピオン酸構造などをもつ代表的医薬品を列撃し、化学構造に基づく 性質について説明できる。
	前期 薬と疾病(感染症) 後期 薬と疾病(悪性腫瘍)				1) ヌクレオシドおよび核酸塩基アナログを有する代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。
		前期 医薬化学表验			3) 医薬品に含まれる代表的な複素環を構造に基づいて分類し、医薬品コンポーネントとしての性質を説明できる。
		前期 医薬化学概論			2) バイオアイソスター(生物学的等価体)について、代表的な例を挙げて概談できる。
		前期 医薬化学概論			1) 代表的な医薬品のファーマコフォアについて模説できる。
					【③医薬品のコンボーネント】
		前期 医薬化学概論			2) プロドラッグなどの薬物動態を考慮した医薬品の化学構造について説明できる。
		前期 医薬化学概論			1) 医薬品の構造からその物理化学的性質(酸性、塩基性、疎水性、親水性など)を説明できる。
					【②医薬品の化学構造に基づく性質】
		前期 医薬化学根論			 医薬品と生体分子との相互作用を化学的な観点(結合観和性と自由エネルギー変化、電子効果、 立体効果など)から説明できる。
					(3) 医薬品の化学構造と性質、作用
			後期 生体有機化学!!		2) 異物代謝の反応 (発がん性物質の代謝的活性化など) を有機化学の観点から説明できる。
					1) 代表的な生体分子(脂肪酸、コレステロールなど)の代謝反応を有機化学の観点から説明できる。
					【④生体内で起こる有機反応】
		前期 医薬化学根論			2) 低分子内因性リガンド誘導体が医薬品として用いられている理由を説明できる。
		前期 医薬化学概論			 代表的な受容体のアゴニスト(作用薬、作動薬、刺激薬)とアンタゴニスト(拮抗薬、遮断薬) との相違点について、内因性リガンドの構造と比較して説明できる。
					[③受容体のアゴニストおよびアンタゴニスト]
		前期 医薬化学概論			3) 遷移状態アナログが競合阻害薬となることを酵素の反応機構に基づいて説明できる。
		前期 医薬化学根論			2) 基質アナログが競合阻害薬となることを酵素の反応機構に基づいて説明できる。
		河湖 医聚化学费福			1) 不可逆的酵素阻害薬の作用を酵素の反応機構に基づいて説明できる。
					【②酵素阻害剤と作用様式】
			後期 生体有機化学川		2)リン化合物(リン酸原導体など)および硫黄化合物(チオール、ジスルフィド、チオエステルなど)の生体内での機能を化学的性質に基づき説明できる。
			後期 生体有機化学		 リン化合物(リン酸誘導体など)および硫黄化合物(チオール、ジスルフィド、チオエステルなど)の構造と化学的性質を説明できる。
					【①生体内で機能するリン、硫黄化合物】
					(2) 生体反応の化学による理解
				後期 生体有機化学	4) 生体内に存在する代表的な金属イオンおよび領体の機能を化学的に説明できる。
			- 1	後期 生体有機化学	3) 活性酸素、一酸化窒素の構造に基づく生体内反応を化学的に説明できる。
			後期 生体有機化学川		2) 代表的な補酵素が酵素反応で果たす役割について、有機反応機構の観点から説明できる。
			後期 生体有機化学川		 補酌膜受容体および細胞内(核内)受容体の代表的な内因性リガンドの構造と性質について 概談できる。
					[②生体内で機能する小分子]
				後期 生体有機化学	 医薬品の標的となる生体高分子(タンパク質、核酸など)の立体構造とそれを規定する化学 結合、相互作用について説明できる。
				後期 生体有機化学	 代表的な生体高分子を構成する小分子(アミノ酸、糖、脂質、ヌクレオチドなど)の構造に基づく化学的性質を説明できる。
					[①医薬品の標的となる生体高分子の化学構造]
					(1) 医薬品の標的となる生体分子の構造と化学的な性質
					C4 生体分子・医薬品の化学による理解
				- 1	5) 医薬品として用いられる代表的な無機化合物、および鎖体を列挙できる。
					4)代表的な錯体の名称、構造、基本的な性質を説明できる。
					3) 汽柱器基子器基础分割の公共、基础、柱置を列挙汇条め。
				点器 维藏令补	2) 代表的な钼磷磷中物、オキン化合物の名称、循語、特質を包装できる。
5年	4年	3年	2年	14	中R/20年度収別点、第十次国内フル・コンジャコノム(2003)

平成25年度役割 移・乗字教育セテル・コアカリキュラム (SBO3) 6) ペプチドアナログの代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。 【G受容体に作用する医薬品の構造と性質】 1) カテコールアミン骨格を有する代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。 2) アセチルコリンアナログの代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。 3) ステロイドアナログの代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。 3) ステロイドアナログの代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。	1年 2年	3年 4年	54	6年
(6) ペプチドアナログの代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。 (6)受容体に作用する医薬品の構造と性質) 1) カテコールアミン等格を有する代表的医薬品を列撃し、化学構造に基づく性質について説明できる。 2) アセテルコリンアナログの代表的医薬品を列撃し、化学構造に基づく性質について説明できる。 3) ステロイドアナログの代表的医薬品を列撃し、化学構造に基づく性質について説明できる。				
【②受容体に作用する展議品の構造と位置】 1)カテコールアミン骨格を有する代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。 2)アセチルコリンアナログの代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。 3)ステロイドアナログの代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。	<u> </u>	後期 漢と疾病(循環器疾患) 後期 薬と疾病(循環器疾患)	、代謝性疾患) (惡性腫瘍)	
 カテコールアミン等格を有する代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。 アセチルコリンアナログの代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。 ステロイドアナログの代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。 				
2) アセチルコリンアナログの代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。 3) ステロイドアナログの代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。	***	後期 薬と疾病(神経疾患) 前期 薬と疾病(消化器疾患)	2000年	
3) ステロイドアナログの代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。	***	後期 薬と疾病(神経疾患)		
	黎 最黎殿	後期 漢之疾病(免疫、70杯疾 進) (後期 薬之疾病(炎症・骨・間接疾 (発期 薬之疾病(灼症・骨・間接疾)	高 代謝性疾患)	
4) ペンゾジアゼピン骨格およびパルピタール骨格を有する代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。	***************************************	後期 薬と疾病 (精神疾患)		
5) オピオイドフナログの代表的医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。		問題 強と疾動 (34代後) 後題 矮と疾動 (著代	()消化器疾患) (悪性腫瘍)	
[@DNA C作用する困痛品の構造と性質]				
1) DNAと結合する医薬品 (アルキル化剤、シスプラチン類)を列挙し、それらの化学構造と反応機構を 説明できる。		後期 薬と疾病薬と疾病 (悪性腫瘍)	(悪性腫瘍)	
2) DNAにインターカレートする医薬品を列挙し、それらの構造上の特徴を説明できる。		後期 薬と疾病薬と疾病 (悪性腫瘍)	(悪性腫瘍)	
3) DNA顕を切断する医薬品を列挙し、それらの構造上の特徴を説明できる。		後期 薬と疾病薬と疾病(悪性腫瘍)	(悪性腫瘍)	
【のイオンチャネルに作用する既薬品の構造と性質】				
1) イオンチャネルに作用する医薬品の代表的な基本構造 (ジヒドロビリジンなど) の特徴を説明できる。	***	後期 薬と疾病(循環器疾患)		
C5 自然が生み出す薬物				
(1) 薬になる動植鉱物				
[①謝用義修]				
1) 代表的な薬用植物の学名、薬用部位、薬効などを挙げることができる。	後期 生薬学川			
2) 代表的な薬用植物を外部形態から説明し、区別できる。(知識、技能)				
3) 植物の主な内部形態について説明できる。	前期 生薬学!			
4)法律によって取り扱いが規制されている措物(ケシ、アサ)の特徴を説明できる。	後期 生薬学川			
1) 日本薬局方収載の代表的な生薬(植物、動物、染麹、固類田果)を列挙し、その基原、染用部位を説明できる。	後期 生薬学川			
[③生薬の用途]				
1) 日本薬局方収載の代表的な生薬(植物、動物、藻類、菌類、鉱物由来)の薬効、成分、用途などを設明できる。	後期 生薬学川			
2) 副作用や使用上の注意が必要な代表的な生薬を列挙し、説明できる。	後期 生薬学川			
【④生薬の同定と品質評価】				
1) 生薬の同定と品質評価法について概説できる。	前期 生薬学			
2) 日本薬局方の生薬総則および生薬試験法について説明できる。	前期 生薬学			
3) 代表的な生薬を鑑別できる。(技能)				
4) 代表的な生薬の確認試験を説明できる。				
5) 代表的な生薬の純度試験を説明できる。	前期 生薬学			
(2) 薬の宝庫としての天然物				
[①生薬由来の生物活性物質の構造と作用]				
1) 生薬由来の代表的な生物活性物質を化学構造に基づいて分類し、それらの生合成経路を概説できる。	- 1			
2) 脂質や糖質に分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明できる。	後期 生薬学川			
3) 芳香族化合物に分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明できる。	後期 生薬学川			
4) テルベノイド、ステロイドに分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明できる。	後期 生薬学川			
5) アルカロイドに分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明できる。	後期 生薬学!!			
【②微生物由来の生物活性物質の構造と作用】				
1) 微生物由来の生物活性物質を化学構造に基づいて分類できる。		前期 薬と疾病 (感染症	(夏)	
2) 微生物由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明できる。		前期 薬と疾病 (感染症	(3	
[③天然生物活性物質の取扱い]				
1) 天然生物活性物質の代表的な抽出法、分離錯割法を錯散し、実施できる。 (知識、技能)				

			類	型型		
半成25年度役別数・衆子教育七アル・コアカリキュフム(3BOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
[@天然生物活性物質の利用]						
る代表的な天然生物活性物質を列挙し、その用途を説明できる。		後期 生薬学!!				
2) 天然生物活性物質を基に化学修飾等により開発された代表的な医薬品を列挙し、その用途、リード化合物を説明できる。		後期 生薬学川				
3) 農薬や番組品などとして使われている代表的な天然生物活性物質を列挙し、その用途を説明できる。		後期 生薬学!				
(1) 無限の集当と義務						
[①旅遊賽]						
を構成する代表的な生体成分を列挙し、その機能を分子レベルで説明できる。	後期 生化学					
2) エンドサイトーシスとエキソサイトーシスについて説明できる。	後期 生化学1					
[②指数小裁員]						
(核、ミトコンドリア、小筋体、リソソーム、ゴルジ体、ベルオキシソームなど)や の構造と機能を説明できる。	前期 生物学					
【③指海中茶】						
の構造と機能を説明できる。	前期 生物学					
(2) 生命現象を担う分子						
[①器質]						
的な脂質の種類、構造、性質、役割を説明できる。	後期 生化学1					
構造、性質、役割を説明できる。	- 1					
4)で交易を整める情報、情報、は異、反応を認定されるの。 「③アミノ数」	SOM HICH!					
を列挙し、その構造に基づいて性質を説明できる。	後期 生化学川					
[後々ハベを第]						
1) タンパク質の構造 (一次、二次、三次、四次構造) と性質を説明できる。	後期 生化学川					
チドと核酸 (DNA、RNA) の種類、構造、性質を説明できる。	後期 生化学					
THE LAND ASSAULT THE PARTY OF T						
ビタミンの種類、構造、性質、役割を説明できる。	後期 生化学川					
	-					
の種類、役割を説明できる。	後期 生化学川					
1) 脂質、糖質、アミノ酸、タンパク質、もしくは核酸の定性または定量試験を実施できる。 (技能)		後期 薬学基礎実習				
(3) 生命活動を担うタンパク質						
【①タンパク質の構造と機能】						
1) 多彩な機能をもしタンパク質(酵素) 受容体、シグナル分子、腰橋送体、通搬・輸送タンパク質、 記載タンパク質、養道タンパク質、接着タンパク質、防御タンパク質、腿節タンパク質)を列挙し 課題とかば、	後期 生化学Ⅱ					
【②タンパク質の成熟と分解】						
1) タンパク質の翻訳後の成熟過程(細胞小器官間の輸送や翻訳後修飾)について説明できる。		前期 生化学Ⅳ				
2) タンパク質の細胞内での分解について説明できる。		前期 生化学Ⅳ				
[②排集]						
1) 酵素反応の特性と反応速度論を説明できる。	後期 生化学川					
2) 酵素反応における補酵素、微量金属の役割を説明できる。	後期 生化学川					
3) 代表的な酵素活性調節機構を説明できる。	後期 生化学川					
4) 酵素反応速度を測定し、解析できる。 (技能)		後期 薬学基礎実習				
【画酵素以外のタンパク質】						
1) 順輸送体の種類、構造、機能を説明できる。	後期 生化学					
2) 血漿リボタンパク質の種類、構造、機能を説明できる。	後期 生化学					
(4) 生命情報を担う遺伝子						
【①嘉智】						
1) 遺伝情報の保存と発現の流れを説明できる。						
2)DNA、遺伝子、染色体、ゲノムとは何かを説明できる。		後期 分子生物学·遺伝子工学				

	18 19 19 19 19 19 19 19	1年 (本語	2年 24 35年 44 36年工学 45 36年工学 45 36年工学 45 36年工学 45 36年工学 45 36年工学 45 36年工学 47 36年工学 47 36年工学 47 36年工学
- A. クロマテン、セントロメフ・アロメフルと)を影響できる。	- 1. エンハンゲー、エキリン、セントロンなど)を影明できる。	(本)	生物学、遺伝子工学 生物学、音伝
		(本) (本) トロメブ、テロメブなど)を説明できる。 (本)	生物学、遺伝子工学 生物学・遺伝子工学 生物学・遺伝子工学 生物学・遺伝子工学 生物学・遺伝子工学 生物学・遺伝子工学 生物
A	エンハンサー、エキリン、イントロンなど)を設明できる。	(上機能について説明できる。 (金期 生化学 (金期 年代学 (金期 月できる。 (金期 日できる。 (本の 月できる。 (金期 年代学 (金期 月できる。 (金期 日できる。 (本期 月できる。 (金期 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	生物学、通历子工学 生物学、通行子工学 生物学、通行工学 生物学、通行子工学 生物学、一种、一种、一种、一种、一种、一种、一种、一种、一种、一种、一种、一种、一种、
投資	投資 在	上機能について説明できる。	生物学、遺伝子工学 生物学、遺伝子工学 生物学、遺伝子工学 生物学、遺伝子工学 生物学、遺伝子工学 生物学、遺伝子工学 生物学、遺伝子工学 生物学、遺伝子工学 生物学、遺伝子工学 生物学、遺伝子工学 生物学、遺伝子工学 生物学、遺伝子工学
2007 にもろ。		(全名)。 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	生物学、通信子工学 生物学、通信子工学 生物学、通信子工学 生物学、通信子工学 生物学、通信子工学 生物学、通信子工学 生物学、通信子工学 生物学、通信子工学 生物学、通信子工学 生物学、通信子工学 生物学、通信子工学 生物学、通信子工学
設備できる。 ・	総称について説明できる。	(20年2年) (70年24) (70年24) (70年25) (70年26) (70年26) (70年27日 (19年26年26) (70年27日 (19年26年26) (70年26年26) (70年26年26年26年26年26年26年26年26年26年26年26年26年26年	生物学、通在子工学 生物学、通在子工学 生物学、通在子工学 生物学、通在子工学 生物学、通在子工学 生物学、通在子工学 生物学、通在子工学 生物学、通在子工学 生物学、通在子工学 生物学、通在子工学 生物学、通在子工学 生物学、通在子工学
#### 1988年2017年度時できる。	####################################	(全る). (2 A D D D C S N D A D A D A D A D A D A D A D A D A D	生物学、通GF7工学 生物学、通GF7工学 生物学、通GF7工学 生物学、通GF7工学 生物学、通GF7工学 生物学、通GF7工学 生物学、通GF7工学 生物学、通GF7工学 生物学、通GF7工学 生物学、通GF7工学 生物学、通GF7工学 生物学、通GF7工学
		(全る)	生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学
	3. 2 A M M M M M M M M M M M M M M M M M M	48月 1970	生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学
20.7 に起呼できる。 20.7 (2.5 (1.5 (1.5 (1.5 (1.5 (1.5 (1.5 (1.5 (1	2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2	6.2月 インング、snRP、ボリル倒など)について説明できる。 (金期 位) 「説明できる。 (金期 位) ローン動物、遺伝子組換え植物)について概認できる。 (金期 前) ローン動物、遺伝子組換え植物)について概認できる。 (金期 前) 10.20 (金元) 10.20	生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 生物学、通伝子工学 学川 学川
	20年記、スプイシング、5mRP、ポリル側など)について説明できる。 2003年について説明できる。 2003年について説明できる。 2003年について説明できる。 2003年について説明できる。 2003年と 2003年について説明できる。 2003年と 2003年を 200	(表現 に取明できる。 (表現 ローン動物、遺伝子組換え種物)について概説できる。 (本別 は本について説明できる。 (本別 (本別 (本別 (本別 (本別 (本別 (本別 (本別	生物学、遺伝子工学 生物学、遺伝子工学 生物学、遺伝子工学 生物学・遺伝子工学 生物学・遺伝子工学 単加 学加 学加 学加 学加 学加
		(政府できる。 A クローニング、PCR、組集えクンパク質受現法など)	生物学、遺伝子工学 生物学、遺伝子工学 生物学・遺伝子工学 生物学・遺伝子工学 学川 学川 学川 学川
		(金期) (全期) (全期) (全期) (全期) (全期) (全期) (日 - ニング、PCR、組換えタンパク質受現法など) (金期) (日 - ン動物、遺伝子組換え植物)について概説できる。 (前期) (音名) (音名) (音名) (音名) (音名) (音名) (音名) (音名	生物学・遺伝子工学 生物学・遺伝子工学 生物学・遺伝子工学 学川 学川 学川 学川
2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2	2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2	(金月) A クローニング、PGR、組織えクンパク質発現法など) (金月) ローン動物、遺伝子組換え植物)について概能できる。 (金月) (金石) (金石) (金石) (金石) (金石) (金石) (金石) (金石	生物学・遠伝子工学 生物学・遺伝子工学 生物学・遺伝子工学 学川 学川 学川 学川
((本)	4 クローニング、PGR、組換えタンパク質発現法など) 後期 (全期 ローン動物、遺伝子組換え植物)について概説できる。 (本期 前期 前期 前期 前期 前期 前期 前期 (さる)。 (本) (本) (について説明できる。 (本) (本) (元) (について説明できる。 (本) (本) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元	生物学・遠伝子工学 生物学・遠伝子工学 学川 学川 学川
ローニング、cMA クローニング、PGA 組換えをンパク質を提出をよる (本語) (本語) (エンバで展記できる。	ローニング、cMA クローニング、PCR、組換えタンパク解発現在など) (金額	A クローニング、PCR 組換えクンパク質受現法など) 後期 ローン動物、遺伝子組換え植物 について概認できる。 (金馬 前類 酵素について説明できる。 (前期 前期 17ときる。 (前期 17ときる。 (前期 17ときる。 (前期 17ときる。 (前期	生物学・遠伝子工学 生物学・遠伝子工学 学川 学川 学川
大・文庫動物、遺伝子組換え植物)について概認できる。	(本元 所称他、今日一ン動物、遺伝子組換え植物)について概認できる。 (本記 所) (株文名代謝系 (株別 所) (1) (大文規則できる。 (株別 所) (1) と AFP 合成体系について説明できる。 (株別 所) (2) と AFP 会成時第について説明できる。 (株別 所) (2) と AFP 会成時できる。 (株別 所) (2) と AFP 会議局内体報伝達について説明できる。 (株別 所) (2) と AFR の 内 報任企業について説明できる。 (株別 表別 を 分する課局内体報伝達について説明できる。 (株別 表別 生物学 (2) と AFR の 内 報任企業について説明できる。 (株別 主動 外) (2) を分する課題内体報伝達について説明できる。 (株別 主動 外) (2) を分する課題人特徴を説明できる。 (株別 生物学 (2) を認識人特徴を説明できる。 (株別 生物学 (2) と AFR の 内 報報による。 (株別 生物学 (2) と AFR の 内 報報による。 (株別 生物学 (2) と AFR の 内 報報のできる。 (株別 生物学	(本版) (1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	生物学·通伝子工学 学川 学川 学川 学川 学川
# 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	### ### ### #### ####################	前期 前期 前期 前期 前期 前期 前期 前期	## ## ## ##
### (サアきる。	# 1		## ## ## ##
# の	# の		# III
(4) DE 1/1 で説明できる。	(17.17.12.19.17.19.19.17.19.19.17.19.19.17.19.19.19.19.19.19.19.19.19.19.19.19.19.	お別	***
いて説明できる。	いて説明できる。	# 1	操Ⅲ ・
(ウトン体の利用など) について説明できる。	(4) と AP 合成酵素について説明できる。	カイクルトこいて説明できる。 前期 リン酸化)と ATP 合成酵素について説明できる。 前期 ドニフいて説明できる。 前期 酸化について説明できる。 前期 歯など代謝について説明できる。 前期 合成と代謝について説明できる。 前期 一代期(ケトン体の利用など)について説明できる。 前期 高表るしくみを説明できる。 前期 高表るしくみを説明できる。 前期	
(4) と AIP 合成酵素について説明できる。	(4) と AIP 合成酵素について説明できる。	リン酸化)と ATP 合成酵素について説明できる。 前期 ドラレイ説明できる。 前期 できる。 前期 確化について説明できる。 前期 合成と代謝について説明できる。 前期 一代期(ケトン体の利用など)について説明できる。 前期 高えるしくみを説明できる。 前期 高えるしくみを説明できる。 前期	
		前期 できる。	
		できる。 前期 酸化について説明できる。 前期 合成と代謝について説明できる。 前期 一代期(ケトン体の利用など)について説明できる。 前期 蓄えるしくみを説明できる。 前期	Nith
前期 前期 前期 前期 前期 前期 前期 前期	(ウトン体の利用など) について説明できる。	磁化について説明できる。 合成と代謝について説明できる。 前部 一代期 (ケトン体の利用など) について説明できる。 前形 高えるしくみを説明できる。	N#
(ウトン体の利用など) について説明できる。	(ウトン体の利用など) について説明できる。	歯板について説明できる。 前期 合成と代謝について説明できる。 前期 一代謝(ケトン体の利用など)について説明できる。 前期 高えるしくみを説明できる。 前期	N/A
(ウトン体の利用など) について説明できる。	(ウトン体の利用など) について説明できる。 (ウトン体の利用など) について説明できる。 (ウトン体の利用など) について説明できる。 (ウトン体の利用など) について説明できる。 (が	前期	
(ケトン体の利用など) について説明できる。	(ウトン体の利用など) について原明できる。	- 代謝 (ケトン体の利用など) について説明できる。 高えるしくみを説明できる。 前期	∆.¥
(ウトン体の利用など) について説明できる。 前期 しくみを説明できる。 前期 び魔素の代謝 (尿素回路など) について説明できる。 前期 新たついて説明できる。 前期 はだいけできる。 前期 たずする細胞内情報伝達について説明できる。 後期 たかする細胞内情報伝達について説明できる。 後期 とのリン酸化を介する細胞内情報伝達について説明できる。 後期 カンドメッセンジャーについて説明できる。 後期 する細胞内情報伝達について説明できる。 後期 する細胞内情報伝達について説明できる。 後期 する細胞内情報伝達について説明できる。 後期 する細胞内情報伝達について説明できる。 後期 する細胞内情報伝達について説明できる。 後期 すの課題と特徴を説明できる。 後期 すの課題と特徴を説明できる。	(ケトン体の利用など) について説明できる。	助期 小子一代謝(ケトン体の利用など) について説明できる。 前期 :~を蓄えるしくみを説明できる。 前期	
しくみを説明できる。	() () () () () () () () () ()	「一を高えるしくみを説明できる。 前期	Λ/ ἡ
が登業の代謝 (保美回路など) について説明できる。 前期 所について説明できる。 前期 と雑島内情報伝達 について説明できる。 前期 と雑島内情報伝達について説明できる。	が登業の代謝(尿素回路など)について説明できる。 前期	[⑤その他の代謝系]	Λλή
が	が が () () () () () () () () ()		
解について説明できる。	解について説明できる。 いて説明できる。 いて説明できる。 いて説明できる。 における情報伝達体式を説明できる。 体を介する細胞内情報伝達について説明できる。 とのリン酸化を介する細胞内情報伝達について説明できる。 とのリン酸化を介する細胞内情報伝達について説明できる。 する細胞内情報伝達について説明できる。 後期 する細胞内情報に達しいます。 後期 すいて説明できる。 前期 生物学	各など)について説明できる。 前期	Δħ
1.7 に即列できる。	いて説明できる。	2000年	2.計画
 とおける情報伝達株式を説明できる。 体を介する細胞内情報伝達について説明できる。 そのリン酸化を介する細胞内情報伝達について説明できる。 とのリン酸化を介する細胞内情報伝達について説明できる。 な別カンドメッセンジャーについて説明できる。 な別かられている。 な別が着分子の種類と特徴を説明できる。 な別からる。 な別かられて説明できる。 な別からして説明できる。 な別からして説明できる。 な別からして説明できる。 な別からいて説明できる。 な別がためらい。 な別がいて説明できる。 な別がいて説明できる。 	 と離散内積積伝達様式を説明できる。 (本のする情報伝達様式を説明できる。 (本のする場別内積単伝達について説明できる。 (本のリン酸化を介する細胞内積制伝達について説明できる。 (本のリン酸化を小する細胞内積制伝達について説明できる。 (本のリン酸化を小する細胞内積制伝達について説明できる。 (本期からイナンジャーについて説明できる。 (本期から様を説明できる。 (本期から後表記明できる。 (本期から後表記明できる。 (本期から後表記明できる。 (本期から後表記明できる。 (本期から後表記明できる。 (本期から後表記明できる。 (本期から後表記明できる。 (本期から表記を記録と特徴を説明できる。 (本期から表記を記録と特徴を説明できる。 (本期から表記を記録と特徴を説明できる。 (本期から表記を記録と特徴を記録できる。 (本期から表記を記録といるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといると		本
(本格)	(本版) (本版) (本版) (本版) (本版) (本版) (本版) (本版)	(6) 雅路国リルコニケーションと雅思乃確認乃勝	
体を介する細胞内情報伝達について説明できる。 (交別) たいまり、	体を介する細胞内情報伝達について説明できる。	(金) は、	^*
様を介する細胞内情報伝達について説明できる。	様を介する網路内情報伝達について説明できる。 (交別 たんする網路内情報伝達について説明できる。 とのリン酸化を介する細胞内情報伝達について説明できる。 カンドメッセンジャーについて説明できる。 する細胞内情報伝達について説明できる。 (交別 かか ドメッセンジャーについて説明できる。 する細胞内情報伝達について説明できる。 (交別 する細胞内情報伝達に対いできる。 (交別 する細胞内情報を説明できる。 (交別 する細胞内情報を説明できる。 (交別 する細胞内情報を説明できる。 (交別 する細胞内情報を説明できる。 (交別 する細胞内情報を説明できる。 (交別 する細胞は特徴を説明できる。 (交別 する細胞は特徴を説明できる。 (交別 また) (会別 生物学		
(交互) とのリン酸化を介する細胞内情報伝達について説明できる。	(少期 どのリン酸化を介する細胞内情報伝達について説明できる。 (企期) カンドメッセンジャーについて説明できる。 (企期) する細胞内情報伝達について説明できる。 (企期) する細胞内情報伝達に対いできる。 (企期) 子の種類と特徴を説明できる。 (企期) ついて説明できる。 (企用) のいて説明できる。 (企用) (企用) (企用) ついて説明できる。 (企用) (企用) (企用) (企用) <td< td=""><td>後期</td><td>Λ_Φ</td></td<>	後期	Λ _Φ
とのリン酸化を介する部的内積物伝達について説明できる。 後期 カンドメッセンジャーについて説明できる。 後期 する細胞内積解伝達について説明できる。 後期 砂糖着分子の種類と特徴を説明できる。 後期 子の種類と特徴を説明できる。 後期 ついて説明できる。 前期 生物学	とのリン酸化を介する細胞内精解伝達について説明できる。 後期 カンドメッセンジャーについて説明できる。 後期 する細胞内情報伝達について説明できる。 後期 予の種類と特徴を説明できる。 後期 ついて説明できる。 前期 生物学	後期	Λ _Φ
カンドメッセンジャーについて説明できる。 (条期) する細胞内情報伝達について説明できる。 (条期) 砂堆着分子の種類と特徴を説明できる。 (条期) 子の種類と特徴を説明できる。 (条期) ロいて説明できる。 (本期)	カンドメッセンジャーについて説明できる。 後期 する細胞内情報伝達について説明できる。 後期 2の経算と特徴を説明できる。 後期 子の種類と特徴を説明できる。 後期 ついて説明できる。 前期	後期	A4
する細胞内情報伝達について説明できる。 他接着分子の種類と特徴を説明できる。 子の種類と特徴を説明できる。 前期 生物学	する細胞内情報伝達について説明できる。	後期	
総接着分子の種類と特徴を説明できる。 子の種類と特徴を説明できる。 後期 ついて説明できる。	後期 子の種類と特徴を説明できる。 全期 ついて説明できる。 前期 生物学	後期	Λ.ά.
8、主な細胞検着分子の種類と特徴を説明できる。 リックス分子の種類と特徴を説明できる。 後期 が御機構について説明できる。 前期 生物学	 金利 1ックス分子の種類と特徴を説明できる。 1ックス分子の種類と特徴を説明できる。 (金利 (金利	[③雑島間コミュニケーション]	
Jックス分子の種類と特徴を説明できる。 (後期 が御機構について説明できる。)ックス分子の種類と特徴を説明できる。 (金類 が砂機構について説明できる。	後期	^*
労働職員について認用である。	対部機構について説明できる。	後	^ /
とその秘部機構について説明できる。	とその制御機構について説明できる。	(1) 無國の分裂之死	

			類出	型皿		
平成25年度改訂版・楽学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs)	1年	2年	3年		5年	6年
2) 体細胞と生殖細胞の細胞分裂について説明できる。	前期 生物学					
[②補助死]						
1) 細胞死 (アポトーシスとネクローシス) について説明できる。		後期 生化学V				
【②女人薫器】						
1) 正常細胞とがん細胞の違いについて説明できる。		後期 生化学V				
2) がん遺伝子とがん抑制遺伝子について概説できる。		後期 生化学V				
C7 人体の成り立ちと生体機能の関節						
(1) 人体の成り立ち						
[①通位]						
1) 遺伝子と遺伝のしくみについて概説できる。	前期 生物学					
2) 遺伝子多型について概説できる。		後期 分子生物学・遺伝子工学				
3) 代表的な遺伝疾患を概説できる。		後期 分子生物学・遺伝子工学				
[②発生]						
1)個体発生について模型できる。	前期 生物学					
2) 菌物の分化における弊菌物、前唇菌物の役割について義説できる。	前期 生物学					
[②霜資米燕醫]						
1) 人体を構成する器官、器官系の名称、形態、体内での位置および機能を説明できる。	後期 機能形態学					
2)組織、器官を構成する代表的な細胞の種類(上皮、内皮、間葉系など)を列挙し、形態的および 機能的特徴を説明できる。	後期 機能形態学					
3) 実験動物・人体模型・シミュレーターなどを用いて各種顕器の名称と位置を確認できる。 (技能)	後期 機能形態学					
	後期 基礎牽学実習!					
[《神経系]						
1) 中枢神経系について概説できる。	後期 機能形態学					
2)末梢(体性・自律)神経系について概認できる。	後期 機能形態学一					
【⑤骨格系·筋肉系】						
2) 代表的な骨格別および関節の名称を挙げ、位置を示すことができる。	夜期 碳肥水照子					
1) 母稿「しいア議会と今の	2年前					
「②編輯器派】						
1)心臓について模説できる。	後期 機能形態学!!					
2) 血管系について概説できる。	後期 機能形態学川					
3) リンパ管系について概説できる。	後期 機能形態学川					
[@呼吸器系]						
1)部、気管支について表現できる。		海湖 機能形態学				
1)明 小編 大幅などの当を明について概念でする。		世紀 藤奈氏像外				
2)肝臓、膵臓、胆嚢について根説できる。						
1) 泌尿器系について機能できる。		前期 機能形態学川				
[①生殖器系]						
1) 生殖器系について概説できる。		前期 機能形態学川				
[即內分泌系]						
1) 内分泌系について概認できる。		前期 機能形態学V				
一)原神路林について南部できる。	後期 職務所額半					
[8曲液・造曲器系]						
1) 血液・造血器系について概認できる。		前期 機能形態学Ⅳ				
(2) 生体機能の調節						
【①神経による関節機構】						
1)神経細胞の興奮と伝導、シナプス伝達の顕節機構について説明できる。	後期 機能形態学					
2) 代表的な神経伝達物質を挙げ、生理活性および作用機構について概認できる。	食馬 機能が原子!					

平成が55年度や打略・高学校書子デル・コアカリキュラム(SBOs)			四本系統			
1970 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	14	2年	3年	4年	5年	6年
3) 神経系、感覚器を介するホメオスタシスの顕節機構の代表例を列挙し、概説できる。	後期 機能形態学川					
4)神経による筋収縮の顕節機構について説明できる。	後期 機能形態学二					
[②木ルモン・内分泌系による顕飾機構]						
1)代表的なホルモンを挙げ、その産生器官、生理活性および作用機構について概説できる。		前期 機能形態学1V後期 生化学V				
[③オータコイドによる製節機構]						
1) 代表的なオータコイドを挙げ、生理活性および作用機構について概説できる。		後期 生化学V				
[④サイトカイン・増殖因子による調節機構]						
1) 代表的なサイトカイン、増殖因子を挙げ、生理活性および作用機構について概説できる。		後期 生化学V				
[⑤由圧の質節機構]						
1) 自圧の貨節機構について概説できる。		前期 機能形態学Ⅳ				
【⑥自禁の置節者業】						
1) 目標の運停破権にしてハ鹿託かめゆ。		前期 機能形態学IV				
「①本演の襲撃」		_				
1)体後の習所機構について概説できる。		- 1				
2) 尿の生成機構、尿量の脂肪機構について概説がある。						
1)体温の顕節機構について概説できる。		前期 機能形態学Ⅳ				
【米兒醬・國際與目⑨】						
1) 自済凝固・装み米の機構について概説できる。		向期 被 能形態学Ⅳ				
[(少性)) [(小性)]						
1) 性周期の顕節機構について模説できる。		前期 機能形態学Ⅳ				
0.8 生体防御と微生物						
(1) 身体をまわる						
[① 生体防御反応]						
1) 異物の侵入に対する物理的、生理的、化学的パリアー、および補体の役割について説明できる。						
2)免疫反応の特徴(自己と非自己の識別、特異性、多様性、クローン性、記憶、寛容)を説明できる。		後期 免疫学				
3)自然免疫と獲得免疫、および両者の関係を説明できる。						
4) 体液性免疫と細胞性免疫について説明できる。		後期 免疫学				
[②免疫を担当する組織・細胞]						
1) 免疫に関与する組織を列挙し、その役割を説明できる。		後期 免疫学				
2) 免疫担当細胞の種類と役割を説明できる。		後期 免疫学				
3) 免疫反応における主な細胞間ネットワークについて説明できる。		後期 免疫学				
【③分子レベルで見た免疫のしくみ】						
1) 自然免疫および獲得免疫における異物の認識を比較して説明できる。		後期 免疫学				
2) MNC 抗原の構造と機能および抗原提示での役割について説明できる。		後期 免疫学				
3) 7 細胞と B 細胞による抗原認識の多様性 (遺伝子再構成) と活性化について説明できる。						
4) 抗体分子の基本構造、種類、役割を説明できる。						
5) 免疫系に関わる主なサイトカインを挙げ、その作用を概説できる。		後期 免疫学				
(2) 免疫系の制御とその破綻・免疫系の応用						
[① 免疫応答の制御と接続]						
1) 炎症の一般的症状、担当細胞および反応機構について説明できる。						
2) アレルギーを分類し、担当細胞および反応機構について説明できる。		後期 免疫学				
3) 自己免疫疾患と免疫不全症候群について概説できる。		後期 免疫学				
4)職器移植と免疫反応の関わり(拒絶反応、免疫抑制剤など)について説明できる。						
5) 感染症と免疫応答との関わりについて説明できる。		後期 免疫学				
6) 腫瘍排除に関与する免疫反応について説明できる。		後期 免疫学				
[② 免疫反応の利用]						
1) ワクチンの原理と種類(生ワクチン、不活化ワクチン、トキソイド、混合ワクチンなど)について説明できる。		後期 免疫学				
2)モノクローナル抗体とポリクローナル抗体について説明できる。		後期 免疫学				
3) 血清療法と抗体医薬について概説できる。		後期 免疫学				
4) 抗原抗体反応を利用した検査方法 (ELISA 法、ウエスタンプロット法など) を実施できる。(技能)		後期 薬学基礎実習川				
		1				

		類此如皿			
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年 2年		4年	5年	年 6 年
(3) 微生物の基本					
[(四 総第)					
1) 原核生物、真核生物およびウイルスの特徴を説明できる。	前期 微生物学				
自建了人間が存在の「日本をみたる」と「日本語」を本語しては、「日本語」を含ませている。	- 100				
 計画の分類や狂風(米数子の分類、クフム帯狂風の陽狂風、分及狂風の震及狂風など)を変形できる。 計画の分類や狂風(米数子の分類、クフム帯狂風の陽狂風、分及狂風の震及狂風など)を変形できる。 					
2)議園の養殖と増殖販売について説明できる。 3)音類を目がを目(息号で設装)させば日子を目にして上型品ともな	即期 微生物学 計報 過生物学				
3)指揮の統合では、生物の光帯)のその間でではていて、現立してき。	前期 衛生衛拳				
5)級整理中国が大災機整理中央の議論について重視である。	- 1				
6) 代表的な細菌毒素について説明できる。					
[の ウイルス]					
1) ウイルスの構造、分類、および増殖機構について説明できる。	前期 微生物学				
[④ 英國・原虫・蠕虫]					
1) 真菌の性状を概認できる。	前期 微生物学				
2)原虫および蠕虫の性状を概認できる。	前期 微生物学				
【⑤ 消毒と減菌】					
1) 滅菌、消毒および殺菌、静菌の概念を説明できる。	前期 微生物学				
2) 主な菜園法および消毒法について説明できる。	前期 微生物学				
食出方法]					
1) クフム楽印を実施できる。 (技術) 2) 葡萄酒作る事権である。 (技術)	が				
3) 代表的な細菌または真菌の分離培養、純培養を実施できる。 (技能)	後期 薬学基礎実習!				
	-				
【①感染の成立と共生】					
1) 感染の成立(感染源、感染経路、侵入門戸など)と共生(腸内細菌など)について説明できる。	前期 微生物学				
2) 日和見感染と院内感染について説明できる。	前期 微生物学				
[②代表的な病原体]					
1) DNA ウイアス(ヒャヘテススウイテス、アデノウイデス、パピローマウイデス、B 製肝炎ウイデスなど)について振覚である。	前期 微生物学				
2) RNA ウイルス(ノロウイルス、ロタウイルス、ボリオワイルス、コクサッキーウイルス、エコーウイルス、ライノウイルス、 田野家ウイルス、C 型肝炎ウイルス、インフルエンザウイルス、 再等ウイルス、国帯のイルス、国本国なカイルス、 在大概ウイルス、 ムンプスウイルス、 HIV、HIV など)について表現できる。	前期 微生物学				
3) グラム陽性球菌(ブドウ球菌、レンサ球菌など)およびグラム陽性桿菌(破傷風間、ガス壊疽菌、ボツリヌス菌、ジフテリア菌、炭疽菌、セレウス菌、ディフィシル菌など)について模型できる。	前期 微生物学				
4)グラム発性共居(共国・国際炎菌など)されがグラム発性非菌(大細菌、赤卵菌、サルモネラ属菌、チアス菌、エルシニア属菌、アプソエラ属菌、コレ菌、百甲核菌、調炎ビブリオ、緯糖菌、アジメネラ、インフルエンチ菌など)、こついて表現できる。	前期 微生物学				
5) グラム開性らせん菌 (ヘリコバクター・ピロリ、カンピロバクター・ジェジュニ/コリなど) および スピロヘータについて概訳できる。	前期 微生物学				
6) 抗酸菌 (結核菌、らい菌など) について概説できる。	前期 微生物学				
7) マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアについて概説できる。	前期 微生物学				
8) 真菌(アスペルギルス、クリプトコックス、カンジダ、ムーコル、白癬菌など)について概説できる。	前期 微生物学				
9)原虫(マラリア原虫、トキソプラズマ、庭トリコモナス、クリプトスポリジウム、赤痢アメーバなど)、蠕虫(回虫、鞭虫、アニサキス、エキノコックスなど)について概認できる。	前期 微生物学				
0 衛生豪华					
0) 機嫌					
[① 書籍·小病機の競会]					
1) 健康と疾病の概念の変遷と、その理由を説明できる。		前期 公衆衛生学			
【②保護統計】					
1)集団の健康と疾病の現状およびその影響要因を把握する上での人口統計の意義を模談できる。		前期 公衆衛生学!			
2) 人口統計および傷病統計に関する指標について説明できる。		前期 公衆衛生学 1			
3) 人口動態(死因別死亡率など)の変遷について説明できる。		前期 公衆衛生学			
[③汝平]					
1) 来郷の予防における数字の依頼を記典できる。		別期 公來衛生学!			

		N I I		
+放25年度の81放・楽手教育セナル・コノカリキュフム(5BOS)	1年 2年	34 44	5年	6年
2) 疫学の三要因(病因、環境要因、宿主要因)について説明できる。		前期 公衆衛生学		
3) 疫学の種類 (記述疫学、分析疫学など) とその方法について説明できる。		前期 公衆衛生学		
4)リスク要因の評価として、オッズ比、相対危険度、寄与危険度および信頼区間について説明し、 計算できる。(知識・技能)		前期 公衆衛生学		
(2) 疾病の予防				
【①疾病の予防とは】				
1) 疾病の予防について、一次、二次、三次予防という言葉を用いて説明できる。				
2) 健康増進改策(健康日本21など)について概認できる。		前期 公衆衛生学		
[②感染症とその予防]				
1) 現代における感染症(日治見感染、院内感染、新興感染症、再興感染症など)の特徴について説明できる。		前期 公衆衛生学11		
2) 感染症法における、感染症とその分類について説明できる。		前期 公衆衛生学11		
3) 代表的な性感染症を列挙し、その予防対策について説明できる。		前期 公衆衛生学11		
4) 予防接種の意義と方法について説明できる。		前期 公衆衛生学		
[③生活習慣病とその予防]				
1) 生活習慣病の種類とその動向について説明できる。		前期 公衆衛生学11		
2) 生活習慣病の代表的なリスク要因を列挙し、その予防法について説明できる。		前期 公衆衛生学11		
3) 食生活や喫煙などの生活習慣と疾病の関わりについて討議する。(態度)		前期 公衆衛生学		
[③母子保健]				
1) 新生児マススクリーニングの意義について説明し、代表的な検査項目を列挙できる。		前期 公衆衛生学		
2) 母子懸染する代表的な疾患を列挙し、その予防対策について説明できる。		前期 公衆衛生学11		
【⑤労働衛生】				
1) 代表的な労働災害、職業性疾病について説明できる。		前期 公衆衛生学11		
2) 労働衛生管理について説明できる。		前期 公衆衛生学		
(3) 栄養と健康				
[
1) 五大栄養素を列挙し、それぞれの役割について説明できる。	- 1			
2) 各栄養素の消化、吸収、代謝のプロセスを概認できる。	- 1			
3)食品中の三大栄養素の栄養的な価値を説明できる。				
4) 五大栄養素以外の食品成分(食物繊維、抗酸化物質など)の機能について説明できる。	- 1			
5) エネルギー代謝に関わる基礎代謝量、呼吸商、推定エネルギー必要量の意味を説明できる。	- 1			
6) 日本人の食事摂取基準について説明できる。	-			
7) 栄養素の過不足による主な疾病を列挙し、説明できる。	後期 食品衛生学			
8) 疾病治療における栄養の重要性を説明できる。	後期 食品衛生学			
【②食品機能と食品衛生】				
1) 炭水化物・タンパク質が変質する機構について説明できる。	後期 食品衛生学			
2) 油脂が変敗する機構を説明し、油脂の変質試験を実施できる。 (知識・技能)	後期 食品衛生学	前期 衛生·医療薬学実習		
3) 食品の変質を防ぐ方法 (保存法) を説明できる。	後期 食品衛生学			
4) 食品成分由来の発がん性物質を列挙し、その生成機構を説明できる。	後期 食品衛生学			
5) 代表的な食品添加物を用途別に列挙し、それらの働きを説明できる。	後期 食品衛生学			
6)特別用途食品と保健機能食品について説明できる。	後期 食品衛生学			
7) 食品衛生に関する法的規制について説明できる。	後期 食品衛生学			
[③食中華と食品形染]				
1) 代表的な細菌性・ウイルス性食中毒を列挙し、それらの原因となる微生物の性質、症状、原因食品および予防方法について説明できる。		前期 毒性学		
2) 食中毒の原因となる代表的な自然毒を列挙し、その原因物質、作用機構、症状の特徴を説明できる。		前期 毒性学		
3)化学物質(重金属、残留農薬など)やカビによる食品汚染の具体例を挙げ、ヒトの健康に及ぼす 影響を説明できる。		前期 毒性学!		
02 職権				
(1) 化学物質・放射線の生体への影響				
[①化学物質の毒性]				
1) 代表的な有害化学物質の吸収、分布、代謝、排泄の基本的なプロセスについて説明できる。		前期 毒性学11		
2) 肝臓、腎臓、神経などに特異的に毒性を示す代表的な化学物質を列挙できる。		三种 新在 十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二		

Part		後期 環境科学	2) 廃棄物処理の問題点を列挙し、その対策を説明できる。
RECONSTRUCTED RECONSTRUCTORISES (RECONSTRUCTORISES)			1) 廃棄物の種類と処理方法を列挙できる。
RECONSTRUCTION RECO			【⑥廣樂書】
RECONSTRUCTOR PROPERTY PROP			2) 室内環境と健康との関係について説明できる。
RECONSTRUCTOR RECONSTRUCTO			
RESIDENCE PRESENTATION 12 28 28 28 28 28 28 28			【⑤室内環境】
RECONSECUE APPREÇIV. 279/19-3-0. (1901) 16			3) 大気汚染に影響する気象要因(逆転層など)を概認できる。
1982			2) 主な大気汚染物質を測定できる。(技能)
### ### ### ### ### ### ### ### ### #			1) 主な大気汚染物質を列挙し、その推移と発生源、健康影響について説明できる。
### 2012		V = 0	[@大気環境]
RESULTS: **REPRECEDO: **275/19-3-54 (18.00) 10			6) 高栄養化の原因とそれによってもたらされる問題点を挙げ、対策を説明できる。
### 2019			5) 水質汚濁の主な指標を列挙し、測定できる。 (知識・技能)
1 日本			4) 下水処理および排水処理の主な方法について説明できる。
1 日			3) 水道水の水質基準の主な項目を列挙し、測定できる。 (知識・技能)
1 日本			2)水の浄化法、塩素処理について説明できる。
特別			1)原水の種類を挙げ、特徴を説明できる。
2			[(0)水理境]
1 日本			3) 環境汚染 (大気汚染、水質汚濁、土壌汚染など) を防止するための法規制について説明できる。
1 日本			2) 環境基本法の理念を説明できる。
特別的11世			1) 典型七公害とその現状、および四大公害について説明できる。
1984年 (2011年 - 第998年 (279) - 127) 1 + 2 A (18 0 s)			【②環境保全と法的規制】
1			5) 人が生態系の一員であることをふまえて環境問題を討議する。(態度)
1年		- 1	4) 地球環境の保全に関する国際的な取り組みについて説明できる。
1982年			3) 化学物質の環境内動態(生物濃縮など)について例を挙げて説明できる。
1年 2年			2) 生態系の構成員を列挙し、その特徴と相互関係を説明できる。
1年		- 11	1)地球技術の環境問題の成因、人に与える影響にしいて説明できる。
1年 2年			[①始续環境と生態系]
(2年			(2) 生活環境と健康
(2年			4) 非電離放射線(紫外線、赤外線など)を列挙し、生体への影響を説明できる。
1年 2年 2年 2年 2年 2年 2年 2年			3) 電離放射線を防御する方法について概認できる。
1年 2年 2年 3年 3年 3年 3年 3年 4年 5年			2) 代表的な放射性核種 (天然、人工) と生体との相互作用を説明できる。
第24			1) 電離放射線を列挙し、生体への影響を説明できる。
1年 2年 2年 3年			【④技党装の生体への影響】
第2			3) 完かんに至る過程(イエッエーション、プロモーションなど)にUいて機能できる。
技術 1年 2年 2年 3年 4年 5年 1年 2年 3年 4年 5年 1年 2年 5年 3年 4年 5年 1年 2年 5年 3年 4年 4		# 3	1) 総から転物質はどの代謝的活性化の破構を9年つ、その反応破構を原明できる。
第241版 - 選手教育モデル・コアカリキュラム (SBOs) 1年 2年 3年 3年 4年 5年 5年 5年 5年 5年 5年 5			「③大学物質による光がん」
第学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs)		101	5) 有害化学物質による人体影響を防ぐための法的規制(化審法、化管法など)を説明できる。
業学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs) 1年 2年 該当科目 大代表的な有害化学物質や農薬の急性毒性、保性毒性の特徴に くための生体防御因子について具体例を製けて説明できる。 ついて説明し、討議する。(知識・短度) 1年 2年 約期 毒性学 II 3年 4年 5年 大表記明できる。 ・適正使用とリスクコミュニケーションについて討議する。 ・適正使用とリスクコミュニケーションについて討議する。 ・適正使用とリスクコミュニケーションにで討議する。 ・適正使用とリスクコミュニケーションにで討議する。 ・適正使用とリスクコミュニケーションにで討議する。 ・適正使用とリスクコミュニケーションにで討議する。 ・適応 第4世学 I 前期 毒性学 I 前期 毒性学 I 最な量・反応関係、開始、開始性量(MOAEL)などについて 表の重要な量・反応関係、開始、無毒性量(MOAEL)などについて 新期 毒性学 I 前期 毒性学 I 前期 毒性学 I			4) 化学物質の安全摂取量(1日許容摂取量など)について説明できる。
業学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs) 1年 2年 該当科目 小代表的な有害化学物質や農薬の急性毒性、保性毒性の特徴に くための生体防御因子について具体卵を築げて説明できる。 4年 3年 4年 5年 ついて説明し、付護する。(知識・超度) 約期 毒性学目 前期 毒性学目 前期 毒性学目 を含む)の試験法を列挙し、概認できる。 前期 毒性学目 前期 毒性学目 、適正使用とリスクコミュニケーションについて討議する。 前期 毒性学目 前期 毒性学目 ・適正使用とリスクコミュニケーションについて討議する。 前期 毒性学目 前期 毒性学目 ・適正使用とリスクコミュニケーションについて討議する。 前期 毒性学目 前期 毒性学目		38	3) 毒性試験の結果を評価するのに必要な量-反応関係、関値、無毒性量(NDAEL)などについて 概説できる。
業学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs) 1年 2年 該当科目 小代表的な有害化学物質や農業の急性毒性、保性毒性の特徴に くための生体防御因子について具体例を紹介で説明できる。 約期 毒性学目 約期 毒性学目 ついて説明し、討議する。(知識・超度) 約期 毒性学目 約期 毒性学目 法を説明できる。 約期 毒性学目 約期 毒性学目 を含む)の試験法を列挙し、概認できる。 約期 毒性学目 約期 毒性学目 ・適正使用とリスクコミュニケーションについて討議する。 約期 毒性学目 約期 毒性学目		38	2) 化学物質の毒性を評価するための主な試験法を列挙し、概説できる。
業学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs) 1年 2年 3年 4年 5年 パ大表的な有害化学物質や農業の急性毒性、慢性毒性の特徴に くための生体防御因子について具体例を挙げて説明できる。 前期 毒性学目 前期 毒性学目 前期 毒性学目 ついて説明し、討議する。(知懐・秘度) 前期 毒性学目 前期 毒性学目 法を説明できる。 前期 毒性学目 前期 毒性学目 を含む)の試験法を列挙し、模談できる。 前期 毒性学目		38	1)個々の化学物質の使用目的に鑑み、適正使用とリスクコミュニケーションについて討議する。 (態度)
大工ラム (SBOs)			【②化学物質の安全性評価と適正使用】
1年 2年 3年 3年 3年 3年 3年 3年 3		38	7) 代表的な中毒原因物質(乱用薬物を含む)の試験法を列挙し、概説できる。
1年 2年 数			6) 代表的な中毒原因物質の解毒処置法を説明できる。
1年 2年 3年 4年 5年 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1			5) 薬物の乱用による健康への影響について説明し、討議する。 (知識・態度)
1年 2年 3年 4年 5年		38	4) 重金属や活性酸素による障害を防ぐための生体防御因子について具体例を挙げて説明できる。
1年 2年 3年 4年 5年		316	3)重金属、PGB、ダイオキシンなどの代表的な有害化学物質や農業の急性毒性、慢性毒性の特徴について説明できる。
林 市 城	6年	3年	平成25年度改訂版・楽学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)
		禁	

0	数 当 科 目	
平成23年度以前、漢字教育セブル・コノカリキュフム(3BOS)		5年 6年
3) マニフェスト制度について説明できる。	後期 環境科学	
小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小		
E1 凝の作用と体の変化		
(1) 第0字形		
【①薬の作用】		
1) 薬の用量と作用の関係を説明できる。	前期 薬理学概論	
2) アゴニスト (作用薬、作動薬、刺激薬) とアンタゴニスト (拮抗薬、遮断薬) について説明できる。	前期 東理学概論	
3)薬物が作用するしくみについて、受容体、酵素、イオンチャネルおよびトランスボーターを例に 整件で診留できる。	機能 不配效 質傾	
4) 代表的な受容体を列挙し、刺激あるいは遺跡された場合の生理反応を説明できる。	関連本証拠 数/	
5) 薬物の作用形現に関連する代表的な細胞内情報伝達系を列挙し、活性化あるいは抑制された場合 の生理反応を説明できる。(US(6) [②温酸内情報伝達】1、~ 5、参照)	建設計劃隊 資位	
6) 薬物の体内動態 (吸収、分布、代製、排制) と薬効形型の関わりについて部別で含る。 (fa(1) [70添取] [30分布] [(4大製] ((4大製) 参照)	前期 英理学概論 後期 臨床業學演習	
7) 薬物の選択 (禁忌を含む)、用法、用量の変更が必要となる要因 (年齢、疾病、妊娠等) について B 体励を数すず問題かるよ		
8) 英型作用に由来する代表的な事業のでは、その機序を説明できる。	海斯朴樹樹 資益	
(E4 (1) (2)吸収) 3. (色代間) 3. (色併版) 3. 参照) 9. 液液体核性 保柱にしいて自体関本薬は上が固とする。		
- 一		
1)動物実験における倫理について配慮できる。(態度)	的財 站生・医療薬学実習	
2) 実験動物を適正に取り扱うことができる。(技能)	的初 衛生·医療薬学実習	
3)実験動物での代表的な投与方法が実施できる。(技能)	前期 街生・医療薬学実習	
[③日本薬局方]		
1) 日本薬局方収載の生物学的定量法の特徴を説明できる。	前期 衛生 医糠藁学类菌	
(2) 身体の病的変化を知る		
[①産後]	_	
1)以下の症候・疫間について、生じる原因とそれらを伴う代表的疾患を挙げ、患者情報をもとに疾患を 指謝である。 ショック、応血圧、使血圧、発致、けいれん、意識障害・失等、チアノーゼ、脱水、全身毒が膨、 形滅・ヤに、黄疸、発布・貧血、出血瘡の、リンパ酸脂、溶腫、心悸亢進・炎性、酸素、 等及困難、咳・気、血疾・痛血、のまい、頭痛、避動麻痺・不随意動・筋力低下、腹痛、 感心・瞳吐、痛下困菌・降減、痰み下筋、下疳・便味、吐血・下血、腹部疾症(腹水を止む) タンパク 尿、血尿、尿量、排尿の関係、月経関係、関節痛、関節腫素、膜背部痛、固体を止む) 対質異常(してれた合む)・神経痛、 説力障害、 脚が障害	前別 臨床検査学報論 前別 在依存 後期 现在疾病(血液、适血器疾 無) 强加 强人疾病(血液、适血器疾 () () () () () () () () () () () () () (前別 臨床素学総論
[②病態・臨床検査]		
1) 尿検査および養便検査の検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる。	前期 臨床検査学概論	
2) 血液検査、血液凝固機能検査および脳脊髄液検査の検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる。	利期 臨床檢查學機能	
3)血液生化学検査の検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる。		
4)乾燥学的養養の養養項目を列挙し、目的乙養医房院所できる。 こうちゅうしん しんしん しゅうじゅう ロジー 非婚者 ゴレスかん 本来の日本が深し、日かり自参加日本を見たる ス	三	
の大変的な主要機能検査、心機能、野体は、IPLでは、呼吸性等)、外環組織検査および画像検査の も本本語のよかは、IPLでは、IP		
次重が日本のキン、ロジニ共和の大きにある。 2.2 (大きのな) (大	(日本) 日本	
8) 代表的なフィジカルアセスメントの検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる。	前期 臨床檢查學概論	
(3) 避免治験の位置しに		
1) 代表的な疾患における薬物治療、食事療法、その他の非薬物治療(外科手術など)の位置づけを説明できる。	前別 國床檢查學眼論 卷別 漢之疾的 (血液、適血精疾 患) 後別 漢之疾病 (神経疾患) 後別 漢之疾病 (神経疾患) 6別 漢之疾病 (神経疾患) 6別 漢之疾病 (神経疾患) 6別 漢之疾病 (神経疾患) 6別 漢之疾病 (が経、中、関節疾患) 6別 漢之疾病 (後程等・生殖移疾 患) 6別 漢之疾病 (後程等・生殖移疾 患) 6別 漢之疾病 (後程等・生殖移疾 患)	前間 臨床薬学総論
2) 代表的な疾患における薬物治療の役割について、病態、薬効薬理、薬物動態に基づいて討議する。 (Ding. はお)	前期 衛生・医療薬学実習 後期 薬と疾病(悪性腫瘍)	前期 臨床漢字誌篇

	- 50	7	
半版25年度QII版・樂字教育モフル・コアカリキュフム(SBOS) 1年	2年 3年	4年 5年	6年
1) 総物の当作用と整作用、機などの関語について説明とある。	前期 秦理学概論		
2) 薬物の副作用と有害事業の通いについて説明できる。	瓣		
 3) 以下の障害を呈する代表的な副作用疾患について、指定される原因医薬品、身体所見、検査所見 および幼気方法を提明できる。 血液降害・電解質顕常、肝障害、腎障患、消化裁障害、循環裁障害、精神障害、皮膚障害、 呼吸器障害、薬物プレルギー(ショックを含む)、代謝障害、筋障害 	問題 臨床檢查學觀論 問題 症候學 論題 症候學 論期 症後學 一種的 一種的 一種的 一種的 一種的 一種的 一種的 一種的 一種的 一種的	前期 薬と疾病 (感覚器・皮膚疾患)	
4) 代表的感覚・感染到 用について・健康リスタの組合から計論する。(媒体)	後期 薬と社会		
(1)神経系の疾患と薬			
【①自律神経系に作用する薬】			
1) 交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な影作用を説明できる。	前期 莱理学教諭		
2) 副交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、 主な副作用を説明できる。	前期 泰理李概論		
3)神経節に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。	前期 薬理学療論		
4) 自律神経系に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能)	前期·2期 衛生·医療薬学実習		
[②体性神経系に作用する薬・筋の疾患の薬、病態、治療]			
1) 知覚神経に作用する代表的な薬物(局所解酔薬など)を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を 説明できる。	前期 薬理学概論		
2) 運動神経系に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。	前期 薬理学機論		
3) 知覚神経、運動神経に作用する代表的な薬物の効果を動物実験で測定できる。 (技能)	前期・2期 衛生・医療薬学実習		
4)以下の羨患について説明できる。 進行性筋ジストロフィー、Guillain-Barre(ギラン・バレー)症候群、重症筋無力症(重複)	後期 蒸と疾病 (神経疾患)		
[③中枢神経系の疾患の薬、病極、治療]			
1) 全身解酔薬、催眠薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用を説明できる。	後期 薬と疾病 (精神疾患)		
2) 麻薬性糖毒薬 非麻薬性糖毒素の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用(mil) 三段階除痛ラダーを含む)を説明できる。	2000年	後期 薬と疾病薬と疾病 (悪性腫 痛)	
3) 中枢興奮薬の秦理(秦理作用、機序、主な副作用)および臨床通用を説明できる。	後期 薬と疾病 (精神疾患)		
4) 統合失調症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な製作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の強沢等)を説明できる。	後期 薬と疾病 (精神疾患)		
5) うつ病、躁うつ病(双癌性稠素)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病症生理、症状等)・薬物治療(医薬品の過状等)を説明できる。	後期 薬と疾病 (精神疾患)		
6) 不安神経症(バニック障害と全性性不安障害)、心身症、不能症について、治療薬の薬理 (薬理作用、機序、主な副作用)、および病療(病間生理、症状等)・薬物治療(医薬品の 選択等)を影明できる。	後期 薬と疾病 (精神疾患)		
7) てんのんについて、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。	後期 秦と疾病 (神経疾患)		
8) 脳血管疾患(脳内出血、脳梗塞(脳血栓、脳塞栓、一過性脳虚血)、くも膜下出血)について、治療薬の薬婦(薬婦作用、類下、主な部作用)、および病悟(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の過程等)を説明できる。	後期 薬と疾病 (神経疾患)		
9) Parkinson (パーキンソン) 病について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の遊択等)を説明できる。	後期 薬と疾病 (神経疾患)		
10) 認知症(Alzheimer (アルツハイマー) 型認知症、脳血管性認知症等)について、治療薬の薬理 (薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択 等)を即用できる。	後期 薬と疾病 (神経疾患)		
 片頭痛について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・脳神治療(医惑児の淋状等)について診明できる。 	後期 薬と疾病 (神経疾患)		
12) 中枢神経系に作用する薬物の効果を動物実験で測定できる。 (技能)	前期・2期 衛生・医療薬学実習		
中枢神経系疾患の社会生活への影響および薬物治療の重要性	後期 薬と疾病 (神経疾患)		
14)以下の疫患にコレて説明できる。 國教・國際炎・国際、多物性療化症(重複)、筋萎縮性関素硬化症、Narcolepsy (ナルコレブシー)、薬物依存症、アルコール依存症	後期 薬と疾病 (神経疾患)	前期 薬と疾病 (感染症)	
【④化学構造と薬効】			
1)神経系の疾患に用いられる代表的な薬物の基本構造と薬効(薬理・薬物動態)の関連を概認できる。	後期 薬と疾病 (神経疾患) 後期 薬と疾病 (精神疾患)		

日本の5年度と前に、本学教育工工ル・コマカニキュラム(SBOs)		四菜和錢		
	1年 2年	3年 4年	5年	+9
(2) 免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節の疾患と薬				
 抗炎症薬(ステロイド性および非ステロイド性)および解熱性鎮痛薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用を説明できる。 		後間 薬と疾病(炎症、骨、関節疾患)		
2) 抗炎症薬の作用機序に基づいて炎症について説明できる。		後期 薬と疾病(炎症、骨、関節疾患)		
3) 創傷治癒の過程について説明できる。		後期 薬と疾病(炎症、母、関節疾患)		
[②免疫・炎症・フレルギー疾患の薬、病態、治療]				
1)アレルギー治療薬(抗セスタミン薬、抗アレルギー薬等)の薬理(薬理作用、機序、主な副作用) および臨床適用を説明できる。		後期 薬と疾病(免疫、アレルギー疾患)		
2) 免疫抑制薬の薬理 (薬理作用、機序、主な副作用) および臨床適用を説明できる。		(後間 藩上仮館(免疫、アレルナー教 御) 瀬上成 (金野) 瀬上佐島 (山洋・油自路森井)		
3)以下のアレルギー疾患について、治療薬の薬理(薬理作用、糖序、主な製作用)、および病態 (病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の過状等)を説明できる。 アトビー性経過後、蕁麻疹・薬物治療(医薬品の過状等)を説明できる。 消化管ファルギー、気管炎薬薬・		後期 薬と疾病(免疫、アレルギー疾 前期 薬と疾病(呼吸結疾患)単)		
4)以下の薬物アレルギーについて、原因薬物、体脂(病態生理、症状等)および対処法を説明 できる。 Stetens-Johnson(スティープンス-ジョンソン)症候群、中毒性表皮壊死症(腫抜)、薬剤性 過齢症症疾罪、薬疹		後期 薬と疾病(免疫、アレルギー疾患)		
5) アナフィラキシーショックについて、治療薬の薬理(薬理作用、糖序、主な関作用)、および 病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の過沢等)を説明できる。		後期 薬と疾病(免疫、アレルギー疾患)		
6)以下の疾患について、病態(疾患生薬、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 毒素性乾癬、水疱症、光線過敏症、ペーチェット病		前類 第七教典 (島濱路、安康祭里)		
7)以下の課款体験を自己を依依無について、治療薬の液薬(液理体用、破水、主な型体用)、およりを無くは存むです。 「原発・一、液発・薬の 医療性の原状・ を設定してめる。 「人をじらば、(集)、(本を)を (集)、(集)、(集)、(集)、(集)、(集)、(集)、(集)、(集)、(集)、		会議 業と気勢 (免疫、ファルギー疾 者) 会議 業と気勢 (自済、諸自務条単)		
8)以下の全学性自己物の疾患について、治療薬の薬理(薬理作用、薬序、主な影作用)、および解析(熱性主義(抗性主義)、薬物治療(医療性の必当形物)を影明である。 全学性コリアトーデス、発皮能、多密防炎・反應のファイー等を		後国 雅と疾病(免疫、アフルギー疾 後国 雅と疾病(炎症、痒・固管疾患)		
9) 職務等価(緊膜、下臓、中臓、卵淋血、精血) について、治療反応および等値大対応主体(CMD)の疾患(皮膚生薬、症状等)・液管治療(医療治療)を凝固の過次等)を疑問できる。				
[③母・関節・カルシウム代謝疾患の薬、病態、治療]				
1)関節リウマチについて、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の過択等)を説明できる。		後期 第七条的 (炎症、母、関節疾患)		
2) 春租終在について、治療薬の豪理(薬理作用、機序、主な製作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		後間 第七形的 (女信, 本, 諸部疾患)		
3) 部形性関節係について、治療薬の薬理(薬理作用、糖序、主な製作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の過沢等)を説明できる。		後間 東上原島 (女品, 本, 国的条件)		
4)カルシウム代謝の異常を伴う疾患(副甲状腺機能亢進(低下)症、母軟化症(くる病を含む)、悪性腫瘍(伴う高カルシウム血症)について、治療薬の薬理(薬理作用、糖序、主な副作用)、および 病態(病態生理,症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		後間 東上族領(攻鹿,母,國際族語)		
[④化學鑑問と雖然]				
1)教授・炎症・アレルギー疾患に用いられる代表的な薬物の基本構造と薬効(薬理・薬物動態)の関連を概訳できる。		後期 薬と疾病(炎症・等・腹部疾患) 発期 薬と疾病(後死・アフレルー疾 単)		
(3) 循環構築・自済系・協自器系・総保器系・生殖器系の表徴と薬				
[①循環器系表患の薬、病態、治療]				
1)以下の不整脈および関連疾患について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および、 病腫(病腫症理・症状等)・薬物治療(医薬血の多球等)を設即でを5、 不整脈の明示・上室性期外収集(内仏)、心室性期外収集(PVC)、心唇細動(材)・発作性上室 傾拍(PSUT)、指呼症候群、心室執拍(VI)、心室は動物(VI)、所室プロック、QT延長症候群		後期 漢と疾病 (循環路疾患)		
2)急性および慢性心不全について、治療薬の薬理(薬理作用、機作、主な副作用)、および病能 (病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		後期 薬と疾病 (循環器疾患)		
3) 虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		後期 薬と疾病 (循環器疾患)		
4)以下の高血圧症について、治療薬の素理(薬理作用、糖序、主な副作用)、および病態(病態生理)症状等)、薬物治療(医薬品の発状等)を説明できる。 本理(症状等)、薬物治療(医薬品の発状等)を説明できる。 本語性流画圧症、二次性病画圧症(腎性病血圧症、腎血管性高血圧症を含む)		後期 薬と疾病 (循環結疾患)		
5)以下の疾患について機能できる。 閉塞性動脈硬化症 (ASO)、心原性ショック、弁臓症、先天性心疾患		後期 凝と疾病 (循環器疾患)		
6) 循環器系に作用する薬物の効果を動物実験で測定できる。(技能)		前期・2期 衛生・医療薬学実習		
[②由液・溶自器系疾患の薬、疾鍼、治療]				

1年 1)上血薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用を説明できる。 2)抗血栓薬、抗凝固薬および血栓溶解薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用を説明できる。 を説明できる。 3)以下の貧血について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬が治療(医薬品の選択等)を説明できる。	2年 徐翔 康七素病 (血液、通血器疾患) 徐阳 康七素病 (血液、通血器疾患)	4年 5年 B)	6年
 () 抗血栓薬、抗凝固薬および血栓溶解薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用 を説明できる。 () 以下の貧血について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病理(病態生理、 症状等)・運動治療 ((薬品の避れ等) を説明できる。 	業と疾病(血液、	E)	
3)以下の貧血について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病理(病態生理、 症状態)・巡除治療(医薬品の選択等)を説明できる。			
飲欠乏性貧血,巨赤芽芽性貧血 (膨性貧血等) ,再生不良性貧血、自己免疫性溶血性貧血(ATHA),腎性貧血、敘芽芽性貧血	後期 薬と疾病 (血液、過血器疾患)	e)	
4) 播催性血管内凝固症候群(DIC)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。	後期 薬と疾病 (血液、適血器疾患)	(44	
5)以下の疾患について治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医療無の過ぎ等)を説明できる。 症状等)・薬物治療(医療無の過ぎ等)を説明できる。 血方病、血存性自小療が生物託病(TTP)、白田球点が症、血栓薬栓症、白血病(重複)、 悪性リンパ酸(無複)。	後期 推工表表(自成、治自如表形)	E) 後期 棄と疾病薬と疾病(密位腫病)	
州			
1) 利尿薬の豪理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用を説明できる。		前別 薬と疾病(泌尿器、生殖器疾患)	
2)急性および慢性腎不全について、治療薬の薬理(薬理作用、健序、主な副作用)、および病態 (病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の遊状等)を説明できる。		前期 薬と疾病(泌尿器、生殖器疾患)	
3) ネフローゼ症候群について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態 生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		前別 薬と疾病(泌尿器、生殖器疾患)	
4) 通活動膀胱および低活動膀胱について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および 病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の過択等)を説明できる。		前期 薬と疾病(泌尿器、生殖器疾患)	
5)以下の泌尿器系疾患について、治療薬の薬理(薬理作用、機等、主な副作用)、および病態 (病間生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 慢性腎臓病(OKO)、糸球体腎炎(重複)、維尿病性腎症(重複)、薬剤性腎症(重複)、腎盂腎炎(重複)、尿器、外腺炎(生態)、尿器液炎症(重複)、尿路結石		前間 薬と疾病 (必保管、生殖器疾患)	
6)以下の生殖器系疾患について、治療薬の薬理(薬理作用、糖序、主な副作用)、および病症 (病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 前以類思すば、子宮内護症、子宮防羅 前以類思すば、子宮内護症、子宮防羅		前期 薬と疾病(泌尿器、生殖器疾患)	
7)妊娠・分娩・避妊に関連して用いられる薬物について、薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		前期 薬と疾病 (泌尿器、生殖器疾患)	
8) 以下の生殖器系統患について説明できる。 興常妊娠、興常分娩、不妊症		前期 秦と疾病(泌尿器、生殖器疾患)	
[④七季養治と療效]			
1)循環系、必尿器系・生殖器系統患の疾患に用いられる代表的な薬物の基本構造と薬効(薬理・薬物動態)の関連を模談できる。	後期 薬と疾病 (循環器疾患)	前期 薬と疾病(泌尿器、生殖器疾患)	
(4) 呼吸器系 - 別化器系の疲惫と瀕			
[①早級裁派療養の薬、資額、治療]			
 気管支端息について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、 症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 		前期 薬と疾病 (呼吸器疾患)	
2) 慢性開塞性肺疾患および契煙に関連する疾患(ニコチン依存症を含む)について、治療薬の 薬煙(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品 の過程等)を接到できる。		前期 薬と疾病 (呼吸器疾患)	
 3) 間質性肺炎について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 		前期 薬と疾病 (呼吸器疾患)	
4)額成業、去痰薬、呼吸興輸業の薬理(薬理作用、機等、主な副作用)および臨床適用を説明 できる。		前期 薬と疾病 (呼吸器疾患)	
[②消化器系统患の薬、病態、治療]			
 以下の上部別化器疾患について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および 病態(病態主葉、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 増食過半速度(促送性食道及を含む)、消化性実施、胃炎 関係 		前期 秦と疾病 (消化器疾患)	
 ※症性腸疾患(湯燥性大腸炎、クローン病等)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 		前期 秦と疾病 (消化器疾患)	
3) 肝疾患(肝炎、肝硬症(ウイルス性を含む)、薬剤性肝障害)について、治療薬の薬理(薬理 作用、機事、主な制作用)、および病間(病阻生理、症状等)・薬物治療(医薬品の過化等) を説明できる。		前期 薬と疾病 (消化器疾患)	
4) 既炎について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		前期 薬と疾病(消化器疾患)	
5) 胆道疾患(胆石症、胆道炎)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		前期 薬と疾病 (消化器疾患)	
6)機能性消化管理者(過數性顯症候群を含む)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な 副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		前期 薬と疾病(消化器疾患)	
7)便秘・下痢について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病植(病態生理、 症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		前期 薬と疾病(消化器疾患)	
8) 悪心・幅吐について、治療薬および関連薬物(催吐薬)の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		前期 秦と疾病 (消化器疾患)	

		四茶布絲	
1998 年上記の (682 年 2019)	1	3年	
### 1990 (2014 - 2014 (2014 - 2014 (2014) 2015 (2014) 2014 (2014		薬と疾病	
1998 金上266 (1998	(③化学構造と導効)		
### 32.20mm 1. 52.20mm 1. 52.20		強と疾病 強と疾病	
### ### ### ### ### ### ### ### ### #	(5) 代謝系・内分泌系の疾患と薬		
### 1885 - 198	[①代謝系表題の薬、病態、治療]		
	1) 糖尿病とその合併症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および 病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		
) 精質製物位について、治療薬の薬理(薬理作用・機所、主な副作用)、および病態(病態 生理、症状等)・薬物治療(医薬品の過光等)を説明できる。		
### 1987) 商尿酸血症・痛風について、治療薬の薬理(薬理作用、糖序、主な副作用)、および病態 (病態生理、症状態)・薬物治療(医薬品の製沢物・参説明できる。	業と疾病 (内分泌、	
#### 1947年 ###	(內分泌系統是の薬、疾糖、治療]		
)性ホルモン関連薬の楽理(楽理作用、機序、主な副作用)および臨床適用を説明できる。	秦と疾病 (内分泌、	
	8 Basedom(バセドウ)祭について、治療薬の薬理(薬理作用、競所、主な副作用)、および 救糖(核樹生理、症状等)・薬物治療(医薬品の過识等)を説明できる。		
	申状腺炎(機性(循本病)、重急性)について、治療薬の薬理(液理作用、糖序、主な部作用)、 および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の過状等)を説明できる。		
(空、 山の子巻台分上部(後暮 (5 1/20) 、	尿癌症について、治療薬の薬理(薬理作用、糖序、主な製作用)、 および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。	業と疾病 (内分泌、	
6.0 基本構造と素効 (環境・薬物動態) の ()以下の疾患について説明できる。 米暦巨大成。 カイロラクチンはの血症、下垂体機能低下症、ADH不適合分泌症候群(\$1ADH)、副 甲状腺機能亢進症、低元を、Ouching(ウッシング)症候群、アルドステロン症、褐色細胞腫、 副腎不全(急性、慢性)、子宮内臓症(重視)、アジソン病(重複)	薬と疾病(泌尿器、 薬と疾病(内分泌、	
	「極端の影響は		
主な部件用)、および病態(病態生態・ ・	(薬理・薬物動態)	薬と疾病 (内分泌、	
主な部件別、および病態 (病態生理、 も 2 を 3 に 2 に 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に	際実験・収集の検察と議		
- 生な部作用)、および帰植(麻陰生理、	服疾患の薬、病態、治療】		
4. 全工型作用)、および病態(病態生態、 4. 表に動作用)、および病態(病態生態、 (緑内暦について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、 症状等)・薬物治験(医薬品の選択等)を説明できる。	薬と疾病 (感覚器、	
19、 場所 また部件用、および保証 19、を説明できる。 性性症 (雑類、主な部件用、および保証 (発展)、口内炎・ (数別 薬との所 (後度、アレルギー条 前別 薬との所 (毎度は)、 (数別 薬との所 (毎度は)、 (数別 薬との所 (毎度は)、 (数別 薬との所 (毎度は)、 (数別 薬との所 (毎度は)、 (な別 薬との所 (毎度は)、 (も) ※ ことの所用、相互作用、組度移行性) (も) ※ ことの所用、相互作用、組度移行性) (も) ※ ことの所用、 (も) ※ (も) ※ (毎度は)、 (も) ※ (も) ※ (毎度は)、 (も) ※ (毎度は)、 (も) ※ (毎度は)、 (も) ※ (毎度は)、 (も) ※ (毎度は)、 (も) ※ (毎度、アレルギー条 (毎度は)、 (毎別 薬との所 (毎度は)、 (毎別 薬との所 (毎度は)、 (毎別 薬との所 (毎度は)、 (毎別 薬との所 (毎度は)、 (毎別 薬との所 (毎度は)、 (毎別 薬との所 (毎度は)、 (毎) ※との所 (毎度は)、 (毎) ※ (毎日に) ※ (毎度は)、 (毎) ※との所 (毎度は)	自内閣について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、 症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。	薬と疾病 (感覚器、	
(性性) (加齢性質財産性について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な製作用)、および物態 (病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の過沢等)を説明できる。	薬と疾病 (感覚器、	
(金) (2) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	以下の依頼について無数が命る。 建議を 無勢 、 諸義帝、	薬と疾病(免疫、アレルギー疾 前間 薬と疾病(感覚器、	
2017	「再組織疾患の薬、疾媒、治療」		
接換 (重複)、中耳炎 (重複)、口内炎・ 接間 (金種)、口内炎・ 接間 (金種)、口内炎・ 接間 (金種) (金種) (金種) (金種) (金種) (金種) (金種) (金種)	-エール)病等)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、 態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明でき	薬と疾病(感覚器、	
(4) (2) (2) (2) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	以下の療法について概認できる。 アンドルギー経験が、機能、下的的信 魔徒)、副鼻腔炎(魔徒)、中耳炎(魔徒)、口内炎・ 電影な、『供物炎(魔池)、秘密艦炎	漢と疾病(免疫、アレルギー疾 前頭 薬と疾病(感覚器)	
用、機序、主な副作用)、および肉類 1) を取得できる。 (1) 本よび肉類(肉類生理、症状 (1) なよび肉類(肉類生理、症状 (1) なまび肉類(肉類・薬物動態)の関連を (1) (1) 生な副作用、相互作用、組織移行性) (1) (1) 生な副作用、相互作用、組織移行性) (1) (1) 生な副作用、相互作用、組織移行性) (1) (1) 生な副作(で、アレルギー終 加加 薬と疾病(等液 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	立藤疾患の薬、病態、治療】		
16年、主な副作用)、および病態(病態生理、 164) (175)		薬と疾病(免疫、	
な動作用)、および病態(病態生理、症状 乾癬 運搬)、接触性皮膚炎(重複)、光線 (皮膚真菌症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用) 症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 (E2 (7) [⑤真菌感染症の薬、病態、治療】参照)	業と疾病	
乾癬 (重複)、接触性皮膚炎 (重複)、光線 (4) (2) (4) (2) (2) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	楊を行っいて、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。	薬と疾病 (感覚器、	
本権造と薬効 (薬理・薬物動態) の関連を (全) 薬と疾病 (体皮、フレルギー疾 前間 薬と疾病 (等度)、 (中)、主な副作用、相互作用、組織移行性) ア系、フミン配数体 (フェノヴリコンド) 系、 の (S)を始を含ま)、その他の抗関薬	、乾癬(噩複)、接触性皮膚炎 (噩複)	薬と疾病(免疫、アレルギー疾 前別 薬と疾病(感覚器、	
本権造と薬効 (薬理・薬物動態) の関連を (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	「大学教徒の様な」		
トル、主な副作用、相互作用、組織移行性) ド系、アミノ配器体 (アミノグリコンド) 系、 で第 (アミルののは関連)	疾患に用いられる代表的な薬物の基本構造と薬効(薬理・薬物動態)	薬と疾病(免疫、アレルギー疾 前別 薬と疾病(感覚器、	
抗菌薬の薬理(薬理作用、機序、抗菌スペクトル、主な副作用、相互作用、組織移行性) 物を大きのラム系、テトラナイクリン系、マクロライド系、アミノ配験体(アミノグリコンド)系、 アンダース・アードアナイタリン系、マクロライド系、アミノの関係を(アミノグリコンド)系、)病原微生物(感染症)・悪性新生物(がん)と薬		
BX(d)	九國 茶』		
	アリアの前面の高環 (策略作用、機序、抗国スペクトル、主な副作用、相互作用、組織移行性)		

	後期 薬と疾病薬と疾病(悪性腫瘍)		1) 騒病の定義(良性腫瘍と悪性腫瘍の違い)を説明できる。
			【⑦悪性腫瘍】
	前期 薬と疾病 (感染症)		2) 以下の寄生中感染症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および 病態(病症生理、症状等)・薬治治療(医薬品の選択等)を説明できる。 回虫症、親虫症、アニサキス症
	的M 薬と疾病(语染症) 前期 薬と疾病(治尿器、生殖器疾患)		 以下の原虫感染症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病症 (病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 マラリア、トキソプラズマ症、トリコモナス症、アメーバ赤痢
			【⑥順虫・寄生虫感染症の薬、病態、治療】
	前期 凝七疾病 (感染症)		2)以下の通過整米圧について、物性(物性生活、症状等)・薬物治療(医薬品の過ぎ等)を 2時円できる。 皮膚真菌症、カンジダ症、ニューモシスチス肺炎、肺アスペルギルス症、クリプトコックス症
	前期 凝と疾病 (怒染症)		抗真菌素の素理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用を説明できる。
			【⑤真菌感染症の薬、病療、治療】
	前期 强七庚病 (感染症)		6)以下のウイルス低級症(プリオン病を含む)について、低級経路と予防方法および病態(病解性理、症状等)。薬物治療(医毒品の選択等)。定期できる。 伝験性互取(ソンコ病)、手足口病、伝染性単核球症、突発性発疹、咽頭結膜熱、ウイルス 性下痢症、麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、風邪症候群、Creutzfeidt-Jakob(クロイツフェルトー ヤコフ)病
	前期 薬と疾病 (癌染症)		5)後天性免疫不全症候群(AIDS)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 自染経路と予防方法および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を 説明できる。
	前期 薬と疾病 (癌染症)		4) ウイルス性肝炎(HAV. HBV、HDV)について、治療薬の高壁(高壁作用、横貫、主な副作用)、 無染経路子が行方法とて外類性(発性生産)(急性肝炎、肝硬症、肝細胞がん)、 症状等)・薬物治療(促薬品の選択等)を説明できる。(重複)
	前類 擬と疾病 (感染症)		3) インフルエンザについて、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、感染経路と予防方法および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。
	前期 選七疾病 (昂染症)		2)サイトメガロウイルス感染症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、 および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の過状等)を説明できる。
	前期 囊上疾病 (感染症)		1) ヘルベスウイルス機能症 (維軽イルベス、水痘・帯状疱疹) について、治療薬の薬理(薬理作用・健死・生心無性作用)、予防方法および病症(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の過程等)を説明できる。
			【®ウイルス感染症およびプリオン病の薬、病態、治療】
	前期 薬と疾病 (癌染症)		
	前期 顕と疾病 (磁染症)		9)以下の薬剤所性間による院内総役について、感染経路と予防方法、病態(病態生理、症状 等) および薬物治療 (医薬品の選択等) を説明できる。 WRSA、VR: セラデア、健康固等
	前期 薬と疾病 (感染症)		8) 感染性心内膜炎、胸膜炎について、病態(病態生理、症状等)および薬物治療(医薬品の 選択等) を説明できる。
	前期 薬と疾病 (姻染症)		7)以下の皮膚細菌感染症について、病態(病態生理、症状等)および薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。4(病性生活)
	前期 薬と疾病 (感染症)		6) 脳炎、髄膜炎について、病態(病態生理、症状等)および薬物治療(医薬品の選択等)を 説明できる。
	前周 薬と疾病(泌尿器、生殖器疾患)		5)以下の性感染症について、病態(病態生理、症状等)、予防方法および薬物治療(医薬品の 選択等)を説明できる。 梅毒、消病、クラミジア症等
	前間 薬と疾病(泌尿器、生殖器疾患)		4) 以下の原路極楽症について、病態(病態生理、症状等) および薬物治療(医薬品の選択等) を説明できる。 質温需要、膨胀炎、尿道炎 5000000000000000000000000000000000
	約期 薬と疾病(感覚器、皮膚疾患)		3)以下の感覚器感染症について、病態(病態生理、症状等)および薬物治療(医薬品の選択等) を説明できる。 3)鼻腔炎、中耳炎、結膜炎
	的別 遊と疾病 (感染症)		2) 以下の消化器感染症について、病態(病態生理、症状等)および薬物治療(医薬品の選択等) を説明できる。 急性虫垂炎、胆囊炎、胆管炎、病原性大腸関感染症、食中毒、ヘリコパクター・ピロリ感染症、 赤痢、コレラ、腸チフス、パラチフス、角腸性大腸炎
	前期 薬と疾病 (呼吸错疾患) 前期 薬と疾病 (感染症)		 以下の呼吸器感染症について、病態(病態生頃、症状等)、感染経路と予防方法および薬物 治療(医薬品の器状等)を説明できる。 土気道炎(かせ症候群(大部分がウイリス感染症)を含む)、気管支炎、扁桃炎、細菌性肺炎、 計造核、レジオネラ感染症、自日咳、マイコプラズマ肺炎
			[③指國感染症の薬、病療、治療]
	前期 薬と疾病(感染症)		1)主要な抗菌薬の耐性獲得機構および耐性菌出現への対応を説明できる。
	即期 楽と疾病 (恩染症)		○ 計画総統第三回報等の「V及四分共和学中のMART N N N N N N N N N N N N N N N N N N N
6年		2年 3年	- PROVIDENT TO THE PROVIDE TO THE
		骐	(3083) ダム・キルイムに・イオナルの事業・別は代謝的36部位

		3 n t n		
サー はCCO to Co	2年	3年 4	4年 5年	\$9
2) 悪性腫瘍について、以下の項目を概説できる。 組織型が対あたが成的が第二を指揮的砂管、細胞診、組織診、脂像診断、腫瘍マーカー (腫瘍関連の変別遺伝子・過行子確物を含む)・悪性腫瘍の疫学(がん罹患の現状および がん死亡の現状)、悪性腫瘍のリスクおよびや砂裂因		後期 薬と疾病薬と疾病	炎病 (原性腫瘍)	
3) 悪性腫瘍の治療における薬物治療の位置づけを概認できる。		後期 薬と疾病薬と疾病	疾病(惡性腫瘍)	
[⑥憑性職嫌の薬、病態、治療]				
1) 以下の抗鬱性腫瘍薬の豪理(薬理体用、機序、主な副作用、相互作用、組織移行性)および 臨床避用を説明できた。 アルキル化薬・代謝抗対薬、抗腫瘍社生物質、液小管阻害薬、トポイソメラーゼ阻害薬、 抗腫瘍ホルモン関連薬、白金製剤、分子線的治療薬、その他の抗悪性腫瘍薬		後期 薬と疾病薬と	第七氏的第七形的 (悪性腫瘍)	
2) 抗悪性腫瘍薬に対する耐性獲得機構を説明できる。		後期 薬と疾病薬と疾病 (悪性腫瘍	疾病(悪性腫瘍)	
3) 抗感性腫瘍薬の主な副作用(下類、悪心・輻吐、自曲味薬少、皮膚障害(手足症候群を含む)、 由小板減少等)の軽減のための対処法を説明できる。		後題 強と疾病薬と	第七疾病第七疾病 (悪性腫瘍)	
4)代表的ながん代学療法のフジメン (FOLFOX等) について、構成薬物およびその役割、副作用、 対象疾患を概説できる。		後期 瀬と疾病薬と	張之疾病藥之疾病 (悪性腫瘍)	
5)以下の白血病について、病態(病態生薬・症状等)・避物治療(困難品の滅状等)を説明できる。急性(機性)骨髄性白血病(急性(機性)リンパ性白血病(成人)細胞白血病(NI)		金型 雅七族姓雅七	张七叔於張七叔於 (國仁羅羅)	
6) 悪性リンパ魔および多発性骨髄腫について、病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		後間 強と疾病強と	薬と疾病薬と疾病 (原性腫瘍)	
7) 骨内腫について、内壁(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		後期 薬と疾病薬と	薬と疾病薬と疾病 (悪性腫瘍)	
8) 以下の対抗化熱の密性腫瘍について、病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択 等)を説明できる。 腎底、食道底、肝癌、九細癌、胆囊・胆管癌、膵癌		後間 秦之疾病薬と	薬と疾病薬と疾病(悪性腫瘍)	
9) 肺癌について、病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		後期 雅七根乾隆七	養と疾病強と疾病(悪性腫瘍)	
10)以下の階級指および感覚器の意性腫瘍について、疫脂(病態生態、症状等)・凝急治療 (因素細の治実内)を発見する。20、20、20、20、20、20、20、20、20、20、20、20、20、2		後間 薬亡疾免薬と	漢七的病薬と於的(聯拉羅集)	
11)以下の生殖器の悪性腫瘍について、疫間(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の遊状等)を即用できる。20分割できる。20分割にする。20分割によるのが、子のできる。20分割によるのが、子のできる。		後間 瀬上奈島瀬上	※七烷烷聚七烷烷 (總紅羅条)	
12) 腎・尿路系の悪性腫瘍(腎癌、膀胱癌)について、病糖(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の過状等)を説明できる。		後期 薬と疾病薬と	秦七疾病秦七疾病(悪性腫瘍)	
13) 乳癌について、病態 (病態生理、症状等)・薬物治療 (医薬品の選択等)を説明できる。		後期 薬と疾病薬と	楽と疾病薬と疾病 (悪性腫瘍)	
(③)がん発示説の軟と維払ケア】 ・ メス 数十部であお (手部) 1分割やを回じると		146.00 班 146.00	新したがらば、Jack Man (1984年 1984年)	
こころれを持ちには、これは日本では、日子でも、日子でも、日子でも、日子でも、本人をお願しています。 (中華) 一人 神道主義 (下海) ファイル 本人 本人 本人 本人 本人 一人			※CLYMMETON NO LIMENT	
(今代事業協力機な)			Agriculture and A	
1)病原物生物・悪性衛生物が関わる疾患に用いられる代表的な薬物の基本構造と薬効(薬理・ 薬物動態)の関連を概認できる。		後期 薬と疾病薬と	薬と疾め薬と疾病(動性腫瘍)	
(8) パイオ・振動医薬品とゲノム情報				
[①無勝之体因素品]				
1) 組換え体医薬品の特色と有用性を説明で含る。		療学		
2)代表的な組換え体医薬品を列挙できる。3)知論を体展派呈のお今性ニュンで開始できる。	後期 個別化医療学(2) 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	补偿		
ことが、そのでは、ことでは、ことでは、ことでは、ことでは、ことでは、ことでは、ことでは、こと	- 1	- DAC+		
1) 遺伝子治療の原理、方法と手順、現状、および倫理的問題点を機跳できる。 (知識・態度)	後期 個別化医療学	补嫩		
[③報告、組織を利用した移植医療]				
1)移植医療の原理、方法と手順、現状およびゲノム情報の取り扱いに関する倫理的問題点を機能できる。(知識・態度)	後期 個別化医療学	泰华		
2) 摘出および培養組織を用いた移植医療について説明できる。	後期 個別化医療学	療学		
3) 臍帯血、末梢血および骨髄に由来する血液幹細胞を用いた移植医療について説明できる。	後期 個別化医療学	茶鄉		
4) 胚性幹細胞 (ES細胞)、人工多能性幹細胞 (iPS細胞)を用いた細胞移植医療について概説できる。	後期 個別化医療学	療学		
(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション				
1)も域における疾病予防、健康維持維備、セルフメディケーションのために凝剤師が果たす役割を 概説できる。	後期 凝対師実務 三	後期	セルフメディケーション学	
要指導医薬品および一般用医薬品(リスクの程度に応じた区分(第一類、第二類、第二類)も 含む)について説明し、各分類に含まれる代表的な製剤を列挙できる。	後期 薬剤師実務!	後期	セルフメディケーション学	
3) 代表的な症候について、関連する頻度の高い疾患、見逃してはいけない疾患を列挙できる。	前期 臨床檢查学概論 前期 症候学	学概論 後期 セルフメディケ	イケーション学	
4) 製指導医薬品・一般用医薬品の選択、受診動類の要否を判断するために必要な患者情報を収集 カキュ (144)		後期 セルフメディ後期 臨床薬学家	セルフメディケーション学 略疾薬学業型N	

平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs)		7	3	
5)以下の羨患・症候に対するセルフメディケーションに用いる要指導医薬品・一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。 含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。 突然、痛火、かゆみ、消化器症状、呼吸器症状、アレルギー、細菌・真菌感染症、生活習慣病 等		前期 臨床検査学概論	後期 セルフメディケーション学	
6) 主な養生法(運動・食事療法、サブリメント、保健機能食品を含む)とその健康の保持・促進における業務を提明できる。			後期 セルフメディケーション学	
7)要指導展展局 - 一般用展集品と医療用医薬品、サプリメント、保養機能食品等との代表的な相互作用を説明できる。			後期 セルフメディケーション学	
8) 顕指導医委品・一般用医薬品等による治療効果と副作用を判定するための情報を収集し評価できる。 (技能)			後期 セルフメディケーション学 後期 臨床薬学実習Ⅳ	
(10) 医療の中の漢方薬				
【①漢方薬の基礎】				
1) 漢方の特徴について概認できる。			前期 漢方医薬学	
2) 以下の漢方の基本用語を説明できる。 韓編、虚実、察熱、表裏、気血水、証			前期 漢方医薬学	
3)配合生薬の組み合わせによる漢方薬の系統的な分類が説明できる。			前期 漢方医薬学	
4) 漢方薬と西洋薬、民間薬、サプリメント、保健機能食品などとの相違について説明できる。	前期 生薬学		前期 漢方医薬学	
[②漢方衛の応用]				
1) 漢方医学における診断法、体質や病態の捉え方、治療法について概認できる。			前期 漢方医薬学	
2) 日本薬局方に収載される漢方薬の適応となる証、症状や疾患について例示して説明できる。			前期 漢方医薬学	
3) 現代医療における滅方薬の役割について説明できる。	後期 生素学!		前期 漢方医薬学	
1) 堪力薬の副作用と使用しの注音者を観示しても用力率の			計能 磁力限模块	
(11) 凝物治療の表達の			-	
【①総合演習】				
 代表的な疾患の症例について、患者情報および医薬品情報などの情報に基づいて薬物治療の 最適化を討議する。(知識・態度) 				前期 臨床薬学総論
2)過剰量の医薬品による副作用への対応(解毒薬を含む)を討議する。 (知識・態度)		前期 毒性学川		
3) 長期療養に付随する合併症を列挙し、その薬物治療について討議する。 (知識・態度)				前期 臨床薬学総論
E3 薬物治療に役立つ情報				
(1) 阿瀬昭常差				
1)医薬品を使用したり取り扱う上で、必須の医薬品情報を列萃できる。				
2) 医薬品情報に関わっている職種を列挙し、その役割について概説できる。		利期 医栗情報学概論 後期 薬剤師実務 I		
3) 医薬品(後発医薬品等を含む)の開発過程で行われる試験(非臨床試験、臨床試験、安定性 試験等)と得られる医薬品情報について概定できる。			前期 医薬品明発輪	
4) 医薬品の市販後に行われる調査・試験と得られる医薬品情報について概認できる。		前期 医薬情報学概論		
5) 医薬品特別に関係する代表的な法律・制度(「医薬品」医療機器等の品質、有効性及び安全性の循係等に関する法律」、CCP、CNP、CPSP、RMPなど)とレギュラトリーサイエンスについて機関できる。			前期 医薬品開発論	
[條時期②]				
1) 医薬品情報源の一次資料、二次資料、三次資料の分類について模談できる。		前期 医薬情報学概論		
2) 医薬品情報源として代表的な二次資料、三次資料を列挙し、それらの特徴について説明できる。		前期 医蒸情報学概論		
3) 厚生労働省、医薬品医療機器総合機構、製薬企業などの発行する資料を列挙し、概認できる。		前期 医薬情報学概論		
4)医薬品添付文書(医療用、一般用)の法的位置づけについて説明できる。				
5) 医薬品が付文書(医療用、一般用)の記載項目(繁色、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意など)を列挙し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。		前期 医薬情報学概論 後期 薬剤師実務		
6) 医薬品インタビューフォームの位置づけと医薬品添付文書との違いについて説明できる。		前期 医素情報学概論		
双集·評価、加工・提供・管理】				
1)目的(効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への役与、中毒など)に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。(技能)		後期 臨床薬学実習		
2) MEDLINEなどの医学・薬学文館データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、検索できる。(知識・技能)		前期 医薬情報学概論 後期 臨床薬学実習		
3) 医薬品情報の信頼性、科学的妥当性などを評価する際に必要な基本的項目を列挙できる。		前期 医薬情報学概論		
4) 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。 (技能)		前期 医薬情報学概論 涂据 随床蒸学室翌一		

立の92年間が打断・基準被害・川十七二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二		2	日本和		
	1年 2年	34	4年	5年	6年
5)医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点(知的所有権、守秘義務など)について説明できる。		前期 医藻情報学概論 後期 臨床薬学実習			
[@EM (Evidence-based Medicine)]					
1) EBMの基本概念と実践のプロセスについて説明できる。			後期 薬剤疫学		
2) 代表的な臨床研究法(ランダム化社数試験、コポート研究、ケースコントロール研究など)の表示と指所を挙げ、それらのエピデンスレベルについて概説できる。			後期 柔剤疾学		
3) 臨床研究論文の批判的な味に必要な基本的項目を別導し、好的安当性(研究結果の正確度や 再致的 人を必要当年(研究部の一般化の可能力)につて表現できる。 (13 (1) (⑤)収集・評価・加 工・提供・管理)参照) 参照)			後期 薬剤疫学		
4) メタアナリシスの概念を理解し、結果を説明できる。			後期 薬剤疫学		
【⑤生物联补】					
1) 臨床研究における基本的な接計器(平均値、中央値、森等偏差、標等認施、信頼区間など)の意味と違いを説明できる。			前期 医療統計学		
2)帰無仮説の概念および検定と推定の違いを説明できる。			前期 医療統計学		
3) 代表的な分布 (正規分布、よ分布、二項分布、ボアソン分布、x ² 分布、f分布) について 郵股できる。			前期 医療統計学		
4) 主なパラメトリック検定とノンパラメトリック検定を列挙し、それらの使い分けを説明できる。			前期 医療統計学		
5) 二群間の差の検定(t検定,x ² 検定など)を実施できる。(技能)					
6) 主な回帰分析 (直線回帰、ロジスティック回帰など) と相関係数の検定について概説できる。					
7) 基本的な生存時間解析法(カプラン・マイヤー曲線など)について概説できる。			前期 医療統計学		
【⑤磐床形吹がナインカ客を】					
 助床研究(治験を含む)の代表的な手法(介入研究、観察研究)を列挙し、それらの特徴を 概説できる。 			後期 薬剤疫学		
2) 臨床研究におけるパイアス・交絡について概認できる。			後期 薬剤疫学		
3) 観察研究での主な疫学研究デザイン (企の報告・位の集構、コホート研究、ケースコントロール研究、ネステッドケースコントロール研究、ケースコホート研究など) について機能できる。			後期 薬剤疫学		
4) 副作用の因果関係を評価するための方法(副作用判定アルゴリズムなど)について概説できる。			後期 凝粒疫学		
5) 優越性試験と非劣性試験の違いについて説明できる。			後期 凝剤疫学		
6) 介入研究の計画上の技法(症例数設定、ランダム化、盲検化など)について概説できる。			- 1		
7)被計解析時の注意点について概説できる。			後期 薬剤疫学		
8) 介入研究の効果指標(減のエンドボイントと代用のエンドボイント、主要エンドボイントと 副次的エンドボイント) の違いを、例を挙げて説明できる。			後期 薬剤疫学		
9)臨床研究の結果(有効性、安全性)の主なパラメータ(相対リスク、相対リスク減少、絶対 リスク、絶対アク減少、治療必要数、オッズ比、発生率、発生助合)を説明し、計算できる。 (知能、技能)			後期 薬剤疫学		
【①医薬品の比較・評価】					
1) 病院や薬局において医薬品を採用・選択する際に検討すべき項目を列挙し、その意義を説明できる。		後期 薬剤節実務ニ			
2) 医薬品情報にもとづいて、代表的な同種同効薬の有効性や安全性について比較・評価できる。 (技能)		後期 臨床薬学実習			
3) 医薬品情報にもとづいて、先発医薬品と後発医薬品の品質、安全性、経済性などについて、 比較・評価できる。(技能)		後期 臨床薬学実習			
(2) 患者情報					
[①李振と称忠原]					
1) 薬物治療に必要な患者基本情報を列挙できる。		後期 処方解析学 後期 薬剤的実務			
2) 患者情報源の種類を列挙し、それぞれの違いを説明できる。		後期 薬剤師実務			
[②収集・評価・管理]					
1) 問題志向型システム (POS) を説明できる。		後期 薬剤師実務			
2) 50AP形式などの患者情報の記録方法について説明できる。		後期 薬剤師実務			
3)医薬品の効果や副作用を評価するために必要な患者情報について概説できる。		後期 薬剤師実務			
4) 患者情報の取扱いにおける守砂酸務と管理の重要性を説明できる。 (A(2) [③患者の権利]参照)	前期 医療倫理学				
Vi Aki asprendente en	- 16 -				

第二氏病 (神経病疾患) (第40 第二氏原母) (東氏原母) (東氏原母) (東氏原母) (東氏 (東京	意用 生物素剂学 後期 個 後期 個 後期 生物素剂学 後期 生物素剂学	2)肝疾患・肝機能低下時における薬物動態と、薬物治療・投与設計において注意すべき点を説明できる。 3)心臓疾患を伴った患者における薬物動態と、薬物治療・投与設計において注意すべき点を説明できる。 [④その他の課題] 1)薬物の効果に影響する生理的要因 (性差、問経、日内変動など) を列挙できる。 2)妊婦・授乳期における薬物動態と、生殖・妊娠・授乳期の薬物治療で注意すべき点を説明できる。 2)妊婦・授乳期における薬物動態と、生殖・妊娠・授乳期の薬物治療で注意すべき点を説明できる。 (支護すべき点を説明できる。 (技能) 計画・立案できる。 (技能) 計画・立案できる。 (技能) 計画・立案できる。 (技能) 1)薬物の体内動態 (①生体調透過に関わるトランスボーターの例を挙げて説明できる。 2)素物の生体調透過に関わるトランスボーターの例を挙げ、その特徴と薬物別態における役割を 2)素物の生体調透過に関わるトランスボーターの例を挙げ、その特徴と薬物別態における役割を 1(②吸収) 1)経口投与された薬物の吸収について説明できる。 2)非経口的に役与された薬物の吸収について説明できる。 1)は日投与された薬物の吸収について説明できる。 2)非経口的に役与された薬物の吸収について説明できる。 1)は日投与された薬物の吸収について説明できる。 1)は日投与された薬物の吸収について説明できる。 1)は日投与された薬物の吸収について説明できる。
一·疾 計劃 漢と疾病(呼吸器疾患) 精疾 前期 薬と疾病(呼吸器疾患) 前期 薬と疾病(阿分泌、代謝疾 患期 薬と疾病(阿分泌、代謝疾 患期 薬と疾病(阿分泌、代谢疾 使期 薬と疾病(唐性腫瘍) 種類 薬と疾病(便吸器疾患) 前期 薬と疾病(便吸器疾患) 前期 薬と疾病(便吸器疾患) 前期 薬と疾病(使吸。704千-疾	生物薬剤学 後期 後期 後期	総低下時における薬物動態と、 における薬物動態と、性値・経 はこる時では、性値・経 はこる時では、低アルブミン を説明できる。 (技的、成の、年齢的要因、 を説明できる。 (技的、最近、年齢的要因、 を見いました。 を説明できる。 (技的、最近、年齢的要因、 をある。 (技的、表現、年齢的要因、 をある。 (技的、表現、年齢的要因、 をある。 (技的、表現、年齢的要因、 をある。 (技的、表現、年齢的要因、 をある。 (技的、表現、年齢的要因、 をある。 (技的、表現、年齢的要因、 をある。 (技的、表現、年齢的要因、 をある。 (技的、表現、年齢的要因、 をある。 (大変物)を、アルブミン を、の。 を 、の。 を 、。 を 、の。 を 、。 を 。 を 、。 を 、 。 を 、。 を 、 。 を 、。 を 、 。 を 、 。 を 、 。 を 。 を 、 。 を 。 。 を 、 。 を 。 。 を 、 。 を 、 。 を 、 。 を 。 。 を 。 。 を 。 を 。 を 。 。
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	生物樂剤学 1 後期	総低下時における薬物動態と、 別響する生理的要因(性差、関 における薬物動能と、生殖・妊 なる患者(肥満、低アルブミン を説明できる。 (支援) さる、(技能) (表析にもとづく薬物治療につい 活過に関わるトランスポーター 通過に関わるトランスポーター
一夜 前別 薬と疾病 (甲吸器疾患) 指表 前別 薬と疾病 (甲吸器疾患) 前別 薬と疾病 (原分泌) 患別 薬と疾病 (原分泌・代謝疾) 選別 薬と疾病 (甲分泌・代謝疾 前別 薬と疾病 (甲分泌・代謝疾 前別 薬と疾病 (単位腫瘍) 関節疾 後別 薬と疾病 (単位腫瘍) 種別 薬と疾病 (単位腫瘍)	生物薬剤学 1 後期 後期	総低下時における薬物動態と、 別響する生理的要因(性差、関 における薬物動態と、生殖・妊 なる患者(肥満、低アルブミン を説明できる。 (技能) さる。(技能) 診断にもとづく薬物治療につい 透過に関わるトランスポーター
(東州 東 C 元 (生物樂剤学 1 後期	総低下時における薬物動態と、 った患者における薬物動態と、 にあまする生理的要因(性差、関 におまする生理の要因(性差、関 におまる(肥満、低アルブミン を説明できる。 (技統美別、年齢的要因、 を制・立葉) をもる。(技統美別、年齢的要因、 をある。(技統美別、年齢的要因、 をある。(技統美別、年齢的要因、
(東西 東乙疾病 (甲級醫疾患) (計劃 東乙疾病 (甲級醫疾患) (計劃 東乙疾病 (用係發症) (制制 東乙疾病 (用係發症) (基別 東乙疾病 (用分泌、代謝疾 (計劃 東乙疾病 (用分泌、代謝疾 (計劃 東乙疾病 (用效醫疾患) (計劃 東乙疾病 (是较歷)) ((表別 報) (表別 報) (表別 報)	総低下時における薬物動態と、 りった患者における薬物動態と、 別響する生理的要因(性差、関 における薬物動能と、生殖・妊 を認明できる。 を説明できる。 きる。(技能) きる。(技能) きる。(技能) をあにもとづく薬物治療につい
(東州 東 C 東京 (年級醫疾患) 精疾 前期 薬と疾病 (年級醫疾患) 前期 薬と疾病 (医染症) 前期 薬と疾病 (医染症) ・	(表) (報) (表) (表) (報) (表) (報) (報) (表) (報) (報)	総低下時における薬物動態と、 った患者における薬物動態と、 別響する生理的要因(性差、関 における薬物動能と、生殖・妊 なる患者(肥満、低アルブミン を説明できる。 (技能) さる。(技能) をあ、(技能) をあ、(技能) をあ、(技能)
(東西 東 C 東京 (日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日	(表)	総低下時における薬物動態と、 かった患者における薬物動態と、 原理する生理的要因(性差、関 における薬物動態と、生殖・妊 なる患者(肥満、低アルブミン を説明できる。 ・
() () () () () () () () () ()	(表別) (報) (法別) (報) (法別) (報)	おける薬物動態と、 おける薬物動態と、 関連的製因(性差、関 防動態と、生殖・妊 に満、低アルブミン 5。 素因、年齢的要因、 能)、
() () () () () () () () () ()	(本) (金) (金) (金) (金) (金) (金) (金) (金)	おける薬物動態と、 おける薬物動態と、 なり要因(性差、関 時動態と、生殖・妊 に選、低アルブミン 5。 素因、年齢的要因、 能)、年齢的要因、
を	(本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	おける薬物動態と、 おける薬物動態と、 なり要因(性差、胃 原物動態と、生殖・疫 可減、食ブルブミン の。
なが、 大	生) 後期 個 後期 個	おける薬物動態と、 おける薬物動態と、 はける薬物動態と、 健的製因(性差、関 防動態と、生殖・妊 に選・低アルブミン の。
は 大変 大変 ない は ない	(本)	無低下時における薬物動態と、 つた患者における薬物動態と、 影響する生理的要因(性差、閉 における薬物動態と、生殖・狂 なる患者(肥満、低アルブミン
は	(表) (表) (表) (表) (表) (表) (表)	無低下時における薬物動態と、 つた患者における薬物動態と、 影響する生理的要因(性差、閉 における薬物動態と、生傷・狂
は 大変 ((表)	継低下時における薬物動態と、 つた患者における薬物動態と、 影響する生理的要因(性差、関
を	應)	総低下時における薬物動態と、 った患者における薬物動態と、
は 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	待)	 計疾患・肝機能低下時における薬物動態と、薬物治療・投与設計において注意すべき点を説明できる。 心臓疾患を伴った患者における薬物動態と、薬物治療・投与設計において注意すべき点を説明できる。
(國海與無土) (國海與無土) (國海與無土) (國海與無土) (金成 704°—疾 前別 獨と疾病(河) (金成 104°—疾 前別 獨と疾病(河) (金属是是土) (金属是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是是	後期 獨 後期 凝 後期 蒸	
(精神疾患) 彼州 果乙炔州	既然 医皮肤	
樂學 (免疫、7/4+-疾)別類 聚七疾病 別類 聚七疾病 (自液、適自器疾 制類 聚七疾病 (自然、適自器疾 (神経疾病 (神経疾病) (神経疾病) (神経疾病)	Section to the second	1)賢疾患・賢機能低下時における薬物動態と、薬物治療・投与設計において注意すべき点を説明できる。
		[③嘉恭藩帝年下]
個別化医療学 前期 薬と疾病 (呼吸指疾患) 東之疾病 (免疫、7/AF -疾 前期 薬と疾病 (原染症) 前期 薬と疾病 (海炎症) 東之疾病 (神経疾患) (政期 薬と疾病 (海付益疾患) (政則 薬と疾病 (海付益疾患) 進則 薬と疾病 (海付益疾患) 進則 薬と疾病 (海付益疾患) 進則 薬と疾病 (爾特疾患)	後期 齒 後期 藥 等期 藥 後期 藥 質期 藥	2)高幹者における薬物動団と、薬物治療で注意すべき点を説明できる。
個別化医療学 薬と疾病(免疫、7/47・疾 前期 薬と疾病(呼吸器疾患) 薬と疾病(吸染症) 薬は、病(調理器疾患) 薬と疾病(吸煙器疾患) 薬と疾病(吸煙器疾患) 薬と疾病(水症、骨、関節疾 長) 薬と疾病(水症、骨、関節疾 長) 薬と疾病(水症、骨、関節疾 長) 薬と疾病(水症、骨、関節疾 長)	後題 數 學型 學型 類 類 類	 低出生体重児、新生児、乳児、幼児、小児における薬物動館と、薬物治療で注意すべき点を 説明できる。
		[②年龄的要因]
個別化医療学	後期 個	3) 遺伝的素因を考慮した薬物治療について、例を挙げて説明できる。
國別化医療学	後期 個	 薬物動態に影響する代表的な遺伝的素因(薬物代謝酵素・トランスポーターの遺伝子変異など) について、例を挙げて説明できる。
國別代院衛学 張七疾病 (由液・造血器疾 的)別	後期 個 後期 漢 語)	1) 薬物の主作用および製作用に影響する代表的な遺伝的素因について、例を挙げて説明できる。
		[①遺伝的素因]
		(3) 個別化医療
3年 4年 5年 6年	年 2年	半版25年度の別僚・薬子教育セプル・コブカリギュフム(SBOS) 1年

1、1のの人では、中国中国、田田・神神神神神・日本中の神神神神・		歌 当 件 日		
十四234度は10個・滑手数目でフル・コンパンチェンム(5 D O S)	1年 2年	3年 4年	5年 6年	
5)初回通過効果について説明できる。	後期 生物凝剤学			
[②分布]				
1) 薬物が結合する代表的な血漿タンパク質を挙げ、タンパク結合の強い薬物を列挙できる。	後期 生物薬剤学 1			
2)薬物の組織移行性(分布容積)と血漿タンパク結合ならびに組織結合との関係を、定量的に設明できる。	後期 生物薬剤学			
3) 薬物のタンパク結合および結合阻害の測定・解析方法を説明できる。	後期 生物薬剤学	前期 楽理学概論		
4) 血液一指機関門の構造・機能と、薬物の脳や脱児等への移行について説明できる。	後期 生物薬剤学			
5) 薬物のリンパおよび乳汁中への移行について説明できる。	後期 生物薬剤学			
6) 薬物の分布過程における相互作用について例を挙げ、説明できる。	後期 生物薬剤学			
 代表的な薬物代謝酵素を列挙し、その代謝反応が起こる組織ならびに細胞内小器官、反応様式 について説明できる。 	後期 生物凝剤学			
2)薬物代謝の第1相反応(酸化・選元・加水分解)、第11相反応(治合)について、例を挙げて 診闘できる。	後期 生物蒸剤学二			
3) 代表的な薬物代謝酵素(分子種)により代謝される薬物を列挙できる。	後期 生物薬剤学			
4) プロドラッグと活性代謝物について、例を挙げて説明できる。	後期 生物薬剤学川			
5) 薬物代謝酵素の服害および誘導のメカニズムと、それらに関連して起こる相互作用について、 例を挙げ、説明できる。	後期 生物薬剤学!			
[製集9]				
1) 薬物の尿中排泄機構について説明できる。	後期 生物薬剤学川			
2) 腎クリアランスと、糸球体ろ過、分泌、再吸収の関係を定量的に説明できる。	後期 生物薬剤学川			
3) 代表的な腎排泄型薬物を列挙できる。	後期 生物薬剤学11			
4) 薬物の胆汁中排泄と陽肝循環について説明できる。	後期 生物薬剤学川			
5) 薬物の排泄過程における相互作用について例を挙げ、説明できる。	後期 生物薬剤学川			
(2) 凝物動態の解析				
【復倒刑事後①】				
1)線形コンパートメントモデルと、関連する薬物動態パラメータ(全身クリアランス、分布容積、消失半減期、生物学的利用能など)の概念を説明できる。		前期 薬物動態学		
2)線形1-コンパートメントモデルに基づいた解析ができる(急速静注・経口投与[単回および) 反復 約51、労強勢注)。(知識、非能)		本部解除本		
3)体内動態が非線形性を示す薬物の例を挙げ、非線形モデルに基づいた解析ができる。(知識、 は此)		一		
*************************************		山路 凝物物磁学 二		
5) 組織タリアランス (肝、腎) および固有クリアランスの意味と、それらの関係について、数式				
を使して説明できる。 く、およれのの、 ヨールのおけ、い manaria、 について書きます。		- 1		
6) ※位割原料ー様力十等型(K-10mを力)について数据である。できたます。これを対します。これを対します。これを対します。これを対します。これを対します。		大遊場的後		
ICOJUM (Interapeutic Drug Monitoring) と数与Will. 1) 治療薬物モニタリング (IDM) の意義を認明し、IDMが有効な薬物を列挙できる。		前期 臨床素物物體學概論 前期 藻物物體學 II 後期 漢七教(神経疾患)		
2)「100を行う際の採血ポイント、試料の取り扱い、測定法について説明できる。				
3) 薬物動能パラメータを用いて患者ごとの薬物促与設計ができる。(知識、技能)		前期 臨床薬物動簡学概論 後期 臨床薬学実習!		
4) ボビュレーションファーマコキネディクスの概念上応用について概認できる。		部		
E5 製剤化のサイエンス				
(1) 製剤の性質				
[①國形材料]				
1)粉体の性質について説明できる。				
2)結晶(安定形および準安定形)や非晶質、無水物や水和物の性質について説明できる。	後期 物理薬剤学			
3) 国形材料の治療現象(治療度、治療半者など)や治療した治療の治験と治療浸度について説明である。 (() (() (() () (() () () () () () () ()	後期 物理藥剤学			
4) 固形材料の溶解に影響を及ぼす因子 (pHや温度など) について説明できる。	後期 物理薬剤学			
1. 国际计划企场的商品设备证券之间,其中部分中国过的工作之间处。 医阿拉奇氏		the section and section 11		

		四种非常			
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年 2年		4年	5年	6年
[②#國形·療仗材料]					
1) 流動と変形 (レオロジー) について説明できる。	後期 物理素剤学				
2) 高分子の構造と高分子溶液の性質(粘度など)について説明できる。	後期 物理素剤学				
[②分散系材料] 1) 界面の性質(界面張力、分配平衡、吸着など)や代表的な界面活性剤の種類と性質について 説明できる。 (C2 (C) (②) (②) (②) (②) (②) (②) (②) (②) (②) (②	後期 物理藥剤学				
2)代表的な分散系(分子集合体、コロイド、乳剤、懸濁剤など)を列挙し、その性質について 説明できる。	後期 物理薬剤学	半 半 1			
3)分散した粒子の安定性と分離現象(沈降など)について説明できる。		前期 製剤学			
4)分散安定性を高める代表的な製剤的手法を列挙し、説明できる。		前期 製剤学			
[④薬物及び製剤材料の物性]					
1)製剤分野で汎用される高分子の構造を理解し、その物性にひいて説明できる。		前期 製物学 一			
2) 薬物の安定性 (反応速度、複合反応など) や安定性に影響を及ぼす因子 (pH、温度など) について説明できる。 (C1 (3) (①反応速度) 1.~7. 参照)		の場 製剤学!!			
3) 薬物の安定性を高める代表的な製剤的手法を列挙し、説明できる。		前期 製剤学川			
(2) 製剤設計					
【①大麦的な製剤】		STATE BY SELECTION OF THE SELECTION OF T			
2) 経口投与する製剤の値類とその特性について説明できる。		建			
3) 粘膜に適用する製剤(点膜剤、吸入剤など)の種類とその特性について説明できる。		前期 製剤学 前期 製剤学			
4) 注射により投与する製剤の種類とその特性について説明できる。		前期 製剤学目			
5)皮膚に適用する製剤の種類とその特性について説明できる。					
6) その他の製剤(生薬関連製剤、透剤に用いる製剤など)の種類と特性について説明できる。 【②製剤化と製剤試験法】		前期 製剤学!!			
1)代表的な医薬品添加物の種類・用途・性質について説明できる。		前期 製物学 日前前 即前			
2)製剤化の単位操作、汎用される製剤機械および代表的な製剤の具体的な製造工程について 説明できる。		前期 製粉学!			
3)汎用される容器、包装の種類や特徴について説明できる。		前期 製剤学!			
4)製剤に関連する試験法を列挙し、説明できる。		前期 製物学!			
【②生物学的国等性】 1)製剤の特性(通用鉛位、製剤からの薬物の放出性など)を理解した上で、生物学的同等性に コンエア部国アルス		前期 製剤学川			
(3) DDS (Drug Delivery System: 薬物送達システム)					
【①DDS の必頼存】 1)DDS 可含物体 1)1、1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・					
こ)UNASTRAGETHITEによって配力できる。 2)代表的なDS技術を列挙し、説明できる。		10 May 10 May 10 May 11			
【②ロンナローデオニロース(女氏繁音)】					
1) コントロールドリリースの概要と意義について説明できる。		前期 製剤学!!			
 投与船位ごとに、代表的なコントロールドリリース技術を列挙し、その特性について説明 できる。 					
3) コントロールドリリース技術を適用した代表的な医薬品を列挙できる。		前期 製剤学口			
【③ターゲティング(標的指向化)】					
1)ターゲティングの概要と意義について説明できる。					
2) 女子部はしてし、「大阪的/ダケーケナイノク技術を対すし、その特性にして、「政府できる。 2) ケーボー・・・メキ状を使用した手事がも原始した意味とある。					
3)ターワナインク技術を選用した代表的な販業語を列挙できる。		別湖 製物学日			
1)島長安林の悪難と破骸について製造りまる。		市語 建塑料			
2)授与部位にとに、代表的な吸収改善技術を別挙し、その特性について説明できる。					
		-			

3) 吸収改善技術を適用した代表的な医薬品を列挙できる。	2年 3年 4年 前期 製剤学川	5年 6年	144
急用した代表的な医薬品を列挙できる。 CO業務実置度者制に維持する事項 CO業務実置度者制に維持する事項 CO業務実置度者制に維持する事項 以最に立って、様々な薬剤師の業務を見聞し、その体験から薬剤師業務の 自動する。(知識・糖度) 社を見聞した具体的体験に基づきその重要性や課題を討議する。(知識・ 前期 Co肺断生、外傷対応等)を説明し、シミュレーケを用いて実施できる。 前期 入】(A (1)、(2) 参期 手が守るべき倫理規能や法舎について討議する。(節度)			
Cの業務実置度指的に修算すべき事項 K原則として「存年次修了までに参照する事項 的点に立って、様々な案例等の業務を見聞し、その体験から薬剤が業務の 前達する。(SD機・部度) 社を見聞した具体的体験に基づきその重要性や課題を討議する。(知識・ 前期 心勝蘇生、外傷対応等)を説明し、シミュレーケを用いて実施できる。 前期 入】 [A (11)、(2) 參期]			
(1974年7月19年19日 1974年7日 1974年			
原拠として「年文権子生でに学習する事項 担点に立って、様々な深剤師の異務を見聞し、その体験から深剤師果務の 前期 社を見聞した具体的体験に基づきその重要性や課題を討議する。(知識・ 的制 の解析生、外傷対応等)を説明し、シミュレーケを用いて実施できる。 前 入】(A(1)、(2)参照]			
(その体験から薬剤師業務の 前期 (中間通を付請する。(知識・ 前期 (中間通を付請する。(知識・) 前期 (ークを用いて実施できる。 (前 (市間 ())			
きその重要性や課題を討議する。(知識・ 前期 IL、シミュレータを用いて実施できる。 前期 コン・シミュレークを用いて実施できる。 前期 ついて討議する。(態度)			
(ロ、シミュレータを用いて実施できる。(前型) ついて討議する。(物度)(前型)			
ついて討議する。(極度) 前類	\$a		
ついて討議する。(態度) 前期			
2)前)患者・生活者中心の医療の視点から患者・生活者の個人情報や自己決定権に配慮すべき 個々の対応ができる。(態度)			
3)前)患者・生活者の健康の回復と維持、生活の質の向上に薬剤師が機圏的に貢献することの 無器件を計算する、(略形)			
4) 医療の担い手が守るべき倫理規範を遵守し、ふさわしい態度で行動する。(態度) 前期 早期体験実習期	教 任	前期·後期 実務実習	
5) 患者・生活者の基本的権利、自己決定権について配慮する。(他度)	W (4)	前期 後期 実務実習	
6) 薬学的管理を実施する際に、インフォームド・コンセントを得ることができる。(態度)	(A) (A)	前期·後期 実務実習	
7) 職務上知り得た情報について守秘義務を遵守する。(態度)	DEPT (III)	前期·後期 実務実習	
[③臨床実習の基礎]			
1)前)病院・薬局における薬剤師業務全体の流れを概説できる。	後期 藻類師実務 一		
2)前)病院・薬局で薬剤師が実践する薬学的管理の重要性について説明できる。	後期 薬剤的実務		
3)前)病院薬剤部門を構成する各セクションの業務を列挙し、その内容と関連を概説できる。	後期 深熱師実務		
4)前)病院に所属する医療スタッフの機種名を列挙し、その業務内容を相互に関連づけて説明 できる。	後期 凝凝節実務		
5) 前) 薬剤節の関わる社会保障制度(医療、福祉、介護)の概略を説明できる。 (B (3) ()参問)	後期 薬剤師実務		
5) 疾院における薬剤部門の位置づけと業務の流れについて他部門と関連付けて説明できる。	登 徑	前期·後期 実務実習	
7) 代表的な疾患の入院治療における適切な薬学的管理について説明できる。	SE (4)	前期-後期 実務実習	
8) 入院から遠院に至るまで入院患者の医療に維続して関わることができる。(態度)	BM DB	前期·後期 実務実習	
9)急性期医療(救急医療・集中治療・外傷治療等)や周痛期医療における適切な薬学的管理に しいて説明できる。	BM CER	前期-後期 実務実習	
10) 周確期医療や小児医療における適切な薬学的管理について説明できる。	BA 68	前期·後期 実務実習	
11) 終末期医療や緩和ケアにおける適切な薬学的管理について説明できる。	BN (B)	前期·後期 実務実習	
12) 外来化学療法における適切な薬学的管理について説明できる。	th this	前期 後期 実務実習	
13)保険評価要件を承知師業務と関連付けて機能することができる。	10000000000000000000000000000000000000	前期·後期 実務実習	
14) 薬局における薬剤師業務の流れを相互に関連付けて説明できる。	安 存	前期·後期 実務実習	
15) 来局者の顕赭に対して、処方せんの受付から薬剤の交付に至るまで雑桃して関わることができる。 (知識・態度)	DECEMBER OF THE PROPERTY OF TH	前期·後期 実務実習	
(2) 処方せんに基づく顕著			
[①法令·規則等の理解と遵守] (B(2)、(3)参照)			
1)前)顕複業株に関わる事項(処方せん、顕射線、疑義照会等)の意義や取り扱いを法的扱数 に基づいて説明できる。	後間 凝凝原決勝一		
2) 顕刺業務に関わる法的文書(処方せん、顕教録等)の適切な記載と保存・管理ができる。 (知識・技能)	養福	的期 後期 実務実習	
3)法的根拠に基づき、一連の調剤業務を適正に実施する。(技能・態度)	BN (4	前期·後期 実務実習	
4)保険薬局として必要な条件や設備等を具体的に関連付けて説明できる。	BM (IR	前期·後期 実務実習	
【②処方せんと疑義期会】			
1)前)代表的仏疾患に使用される医薬品について効能・効果、用法・用量、警告・禁忌、副作用、相互作用を列挙できる。	後期 聚七烷病 (約烷、7047-疾 前期 聚七烷病 (感觉器、皮廉疾 集別 聚七烷病 (血液、流血器疾 制制 聚七烷病 (呼吸器疾患) 股別 聚七烷病 (神経疾患) 前期 聚七烷病 (阿染酸患) 後期 聚七烷病 (神経疾患) 前期 聚七烷病 (阿尔诺纳患) 後期 聚七烷病 (神経疾患) 前期 聚七烷病 (河北路疾患) 後期 聚七烷病 (海珠疾患)	後期 埃蒂埃图梅斯波图	
2) 前) 処方オーダリングシステムおよび電子カルテについて機能できる。	楽剤師実務し		

前)処方せんの様式と必要問前)処方せんの様式と必要問	1	2 22		
4)前)処方せんの監査の意義、その必要性と注意点について説明できる。		後期 処方解析学 後期 薬剤師実務		
5)前)処方せんを監査し、不適切な処方せんについて、その理由が説明できる。		後期 処方解析学 後期 薬剤師実務!	前期 臨床豪学実習 前期 臨床豪学実習	
6)前)処方せん等に基づき疑義照会ができる。(技能・態度)		後期 臨床薬学実習	前期 臨床遊学実習 前期 臨床遊学実習 前期 臨床遊学実習 後期 臨床遊学実習	
7)処方せんの記載事項(医薬品名、分量、用法・用量等)が適切であるか確認できる。(************************************				前期・後期 実務実習
(2015年) 12年 (201				前期・後期 実務実習
(こつ) (2) 関係「XRE/ 9) 処方せんの正しい記載方法を優示できる。 (技能)				前期・後期 実務実習
薬歴、診療録、患者の状態から判断して適切に疑義脱会ができる。				前期・後期 実務実習
[②処方せんに基づく医薬品の関数]				
1)前)薬袋、薬札(ラベル)に記載すべき事項を適切に記入できる。(技能)		後期 凝剤師実務 後期 臨床廃学実習	前期 臨床豪学実習 前期 臨床豪学実習 後期 臨床豪学実習	
2)前)主な医薬品の成分(一般名)、商標名、開形、規格等を列挙できる。		後期 興己疾病(免疫、70A*) 長) 後別 興己疾病(血液、造血を 患) 後別 秦之疾病(循環替疾患)	前期 薬之疾病 (感覚結, 皮膚疾患) 藥之疾病 (免疫、704+疾患) 期源 薬と疾病 (呼吸粘疾患) 期源 薬と疾病 (消化指疾患) 期源 薬と疾病 (消化指疾患) 期源 薬と疾病 (治尿结、生殖结疾患) 强,减之疾病 (治尿结、生殖结疾患) 使期 薬と疾病 (海绵结疾患) 使则 素と疾病 (海绵结疾患) 食酮 某人疾病 (內分泌、代謝疾患) 使期 実務実習事前演習	
3)前)処方せんに従って、計数・計量調柄ができる。(技能)	後期 薬剤師実務体験実習	後期 臨床豪华実習	前期 臨床豪学実習 前期 臨床豪学実習 後期 臨床豪学実習	
4) 前)後発医薬品選択の手順を説明できる。		後期 蒸剂師実務 後期 臨床薬学実習	BATH	
5) 前)代表的な注射剤・散剤・水剤等の配合変化のある組合せとその理由を説明できる。		S		
6)前)無菌操作の原理を説明し、基本的な無菌操作を実施できる。 (知識・技能)			前期 臨床薬学実習 後期 臨床薬学実習	
7) 前) 抗悪性腫瘍薬などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の基本的手技を実施できる。 (技能)				
8)前)処方せんに基づき顕著された薬剤の監査ができる。 (知識・技能)			前期 臨床豪学実習 前期 臨床豪学実習 6	
9) 主な医薬品の一般名・刺形・規格から該当する製品を選択できる。 (技能)				前期·後期 実務実習
10) 通切な手順で後発医薬品を選択できる。 (知識・技能)				
17) 総対の形態、大下7(カプヤル雄の脳性の可否を世界し、実施できる。 (知識・技能)				的称"该"的 夹伤头目 前期·後期 埃蒂埃图
(知識・技能)				
	後期 薬剤師実務体験実習			
注射剤・散剤・水剤等の配合変化に関して実施されている回避				
16) 注射剤(高カロリー輸液等)の無菌的混合操作を実施できる。 (技能)				前期・後期 実務実習
17) 抗悪性醫瘍薬などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の手技を実施できる。 (知識・技能)				前期・後期 実務実習
18)特別な注意を要する医薬品(劇薬、毒薬、麻薬、向精神薬・抗悪性腫瘍薬等)の顕射と適切な 取扱いができる。(知識・技能)				前期・後期 実務実習
19) 顕製された薬剤に対して、監査が実施できる。 (知識・技能)				前期·後期 実務実習
1) 前)通切な態度で、患者・来局者と応対できる。 (態度)	後期 菜剂奶卖鸦体験実習	後期 臨床薬学実習	前期 臨床遊学実習 II 後期 臨床遊学実習 V 後期 臨床遊学実習 V	
 前)妊婦・授乳婦、小児、高齢者などへの応対や服薬指導において、配慮すべき事項を 具体的に列挙できる。 		後期 薬剤師実務 後期 臨床薬学実習	前期 臨床薬学実習 III 後期 臨床薬学実習 IV	

			11 11 11		
十分で3十分で31分(第十分と1つ)ですコンコンコンコンコンコンコンコンコンコンコンコンコンコンコンコンコンコンコン	1年	2年 3年	4年	5年	专9
3 前)患者・米局者から、必要な情報(症状、心理状態、既住歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、 副作用歴等)を通切な手順で聞き取ることができる。(知識・趣度)		後期 臨床豪学実習	制期 臨床藻学実習 (後期 臨床凝学実習 N 後期 臨床凝学実習 V		
4 前)連者・来局者に、主な医薬品の効能・効果、用法・用量、警告・禁忌、副作用、相互作用、 保管方法等について適切に説明できる。(技能・態度)			後期 臨床薬学実習V		
5)前)代表的な疾患において注意すべき生活指導項目を列撃できる。			前期 薬と疾病 (消化器疾患)		
(6)前)患者・米局者に使用上の説明が必要な製剤(限枚膏・坐剤、吸入剤、自己注射剤等)の取扱い 方法を説明できる。(技能・聴度)		後期 臨床薬学実習			
7)前)薬歴・診療録の基本的な記載事項とその意義・重要性について説明できる。		後期 薬剤師実務			
8)前)代表的な疾患の症例についての患者応対の内容を適切に記録できる。(技能)			前期 臨床薬学実習川		
9) 患者・来局者に合わせて適切な応対ができる。(態度)				前期·後期 実務実習	
10) 患者・来局者から、必要な情報(症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、 副作用服等)を適切な手順で聞き取ることができる。(知識・態度)				前期·後期 実務実習	
11) 医師の治療方針を理解した上で、患者への適切な服薬指導を実施する。(知識・程度)				的期·後期 実務実習	
12) 患者・来局者の病状や背景に配慮し、医薬品を安全かつ有効に使用するための服薬指導や患者教育ができる。(知識・甜度)				前期·後期 実務実習	
(3) 妊娠・投乳器・小児、高齢者等特別な配慮が必要な患者への困惑指導において、適切な応対ができる。(知識・阻度)				前期·後期 実務実習	
14) お薬手帳、健康手帳、患者向け説明書等を使用した脳楽指導ができる。(整度)				前期·後期 実務実習	
15) 収集した患者情報を楽歴や診療録に適切に記録することができる。(知識・技能)				前期·後期 実務実習	
[⑤医薬品の供給と管理]					
1)前)医薬品管理の意義と必要性について説明できる。		- 1			
2)前)医薬品管理の流れを模説できる。					
3) 前) 劇風、毒薬、麻薬、向精神薬および覚醒剤原料等の管理と取り扱いについて説明できる。		- 1			
4)前)特定生物由来製品の管理と取り扱いについて説明できる。		- 1			
5) 衙)代表的な放射性医薬品の種類と用途、保管管理方法を認明な命る。 (*) 他) 郭右對越台會業 編動 子色用基金 見御物語だが下して下部部か幸又		後期 海越所被第二次第二次 海越后使来			
7) 他) 凝固製剤・滅方製剤について機能である。					
8)前)医薬品の品質に影響を与える因子と保存条件を説明できる。		的期 製剤学川 後期 薬剤師実務川			
9) 医薬品の供給・保管・廃棄について適切に実施できる。(知識・技能)				前期 後期 実務実習	
10) 医薬品の適切な在庫管理を実施する。(知識・技能)				前期·後期 実務実習	
11) 医薬品の適正な採用と採用中止の流れについて説明できる。				前期·後期 実務実習	
12) 劇薬・毒薬・麻薬・向精神薬および覚醒剤原料の適切な管理と取り扱いができる。 (知識・技能)				前期·後期 実務実習	
13)特定生物由来製品の適切な管理と取り扱いを体験する。(知識・技能)				前期·後期 実務実習	
[⑥安全管理]					
1)前)処方から眼藻(投薬)までの過程で誤りを生じやすい事例を列挙できる。		- 1			
2)前)特にリスクの高い代表的な医薬品(抗悪性腫瘍薬、糖尿病治療薬、使用制限のある薬等) の特徴と注意点を列挙できる。		後期 凝と疾病(免疫療)	77样 - 疾後期患)		
3)前)代表的なインシデント(ヒヤリハット)、アクシデント事態を解析し、その原因、リスクキの設まっための具体策と形生後の適切な対処法を討議する。(知職・態度)		後期 藻角的实務日 後期 臨床薬学実習	前胡 臨床薬学実習 前胡 臨床薬学実習 後期 臨床薬学実習 >		
4)前)既染予防の基本的考え方とその方法が説明できる。			自禁 強と疾病 (縣後信)		
5) 前) 衛生的な手洗い、スタンダードブリコーションを実施できる。(技能)			前期 臨床薬学実習 後期 臨床薬学実習V	前期·後期 実務実習	
6)前)代表的な消毒薬の用途、使用濃度および調製時の注意点を説明できる。			前期 薬と疾病 (感染症)		
7) 前) 医薬品のリスクマネジメントプランを概説できる。		後期 素剤節実務			
8)特にリスクの高い代表的な医薬品(抗悪性腫瘍薬、糖尿病治療薬、使用制限のある避等)の安全管理を体験する。 (知識・技能・態度)				前期 後期 実務実習	
9) 調剤ミスを防止するために工夫されている事項を具体的に説明できる。				前期·後期 実務実習	
10) 施設内のインシデント(ヒヤリハット)、アクシデントの事例をもとに、リスクを回避する ための具体策と発生後の適切な対処法を提案することができる。(知識・態度)				前期·後期 実務実習	
11) 施設内の安全管理指針を遵守する。(総度)				前期·後期 実務実習	
12) 施設内で衛生的な手洗い、スタンダードブリコーションを実施する。(技能)				C	
15) 医内部体,现代年度销售水油上厂的目前以一工大厂多义。(共称,结局)				And the last opening the speciment	

平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)			製山本田	
3	2年	3年	4年	5年
【①香膏等聚の治療】				
1) 前) 基本的な医療用語、略語の意味を説明できる。		前期 臨床檢查学概論 前期 医薬情報学概論		
2)前)患者および種々の情報源(診療線、薬歴・指導記録、看護記録、お薬手帳、持参薬等)から、薬物療法に必要な情報を収集できる。(技能・態度) に3(2)(の参照)			後期 臨床推論 前期 臨床薬学実習॥ 後期 臨床薬学実習N	
3)前)身体所見の観察・測定(フィジカルアセスメント)の目的と得られた所見の豪学的管理への活用について説明できる。		後期 薬剤師実務	後期 臨床推論 前期 臨床薬学実習॥ 後期 臨床薬学実習N	
4)前)基本的な身体所見を観察・測定し、評価できる。 (知識・技能)		後期 臨床豪学実習!		
5) 基本的な医療用語、略語を適切に使用できる。(知識・態度)			- 1	前期 後期 実務実習
6)患者・来局者および種々の情報系(診療録、薬歴・指導記録、看護記録、お薬手帳、持参薬等)から、薬物療法に必要な情報を収集できる。(技能・樹度)				前期·後期 実務実習
7) 患者の身体所見を薬学的管理に活かすことができる。 (技能・態度)				前期-後期 実務実習
【②関薬品情報の収集と活用】(E3(1)参照)				
1)前)凝物療法に必要な医薬品情報を収集・整理・加工できる。(知識・技能)		前期 医薬情報学概論 後期 臨床薬学実習	前期 臨床薬学実習 II 後期 臨床推論	
2) 施設内において使用できる医薬品の情報源を把握し、利用することができる。 (知識・技能)				前期・後期 実務実習
3) 薬物療法に対する問い合わせに対し、根拠に基づいた報告書を作成できる。 (知識・技能)				前期·後期 実務実置
4) 医療スタッフおよび患者のニーズに合った医薬品情報提供を体験する。 (知識・態度)				前期・後期 実務実習
5) 安全で有効な薬物療法に必要な医薬品情報の評価、加工を体験する。 (知識・技能)				
6)緊急安全性情報、安全性速報、不良品回収、製造中止などの緊急情報を施設内で適切に取扱う ことができる。(知識・態度)				前期 後期 実務実習
[③処方設計と薬物療法の実践(処方設計と提案)]				
1)前)代表的な疾患に対して、疾患の重症度等に応じて科学的根拠に基づいた処方設計ができる。			後期 臨床推論	
2)前)病症(肝・腎障害など)や生理的特性(経緯・授乳線、小児、高齢者など)等を考慮し、 薬剤の選択や用法・用量設定を立案できる。			後期 臨床推論	
3)前)患者のアドヒアランスの評価方法、アドヒアランスが良くない原因とその対処法を説明できる。		後期 臨床薬学実習	後期 臨床推論 前期 臨床薬学実習 後期 臨床薬学実習	
4)前)皮下注射、筋肉内注射、静脈内注射・点滴等の基本的な手技を説明できる。		後期 輪液・栄養学		
5) 前)代表的な輸液の種類と適応を説明できる。		後期 輸液・栄養学		
6)前)患者の栄養状態や体液量、臨解質の過不足などが評価できる。		後期 臨床豪学実習!	前期 薬と疾病(消化器疾患) 前期 臨床薬学実習川 後期 臨床推論	
7)代表的な疾患の患者について、診断名、病態、科学的根拠等から薬物治療方針を確認できる。				前期 後期 実務実習
8) 治療ガイドライン等を確認し、科学的根拠に基づいた処方を立業できる。				前期-後期 実務実習
9) 患者の状態(疾患、重症度、合併症、肝・腎機能や全身状態、遺伝子の特性、心理・希望等) や薬剤の特徴(作用機序や製剤的性質等)に基づき、適切な処方を提案できる。(知識・態度)				前期・後期 実務実習
10) 処方設計の提案に際し、薬物投与プロトコールやクリニカルバスを活用できる。 (知識・態度)				前期・後期 実務実習
入院患者の持参薬について、継続・変更・中止の提案ができる。(知識・態度)				-
12) アドヒアランス向上のために、処方変更、調剤や用法の工夫が提案できる。 (知識・態度)				前期・後期 実務実習
13) 処方提案に際して、医薬品の経済性等を考慮して、適切な後発医薬品を選択できる。				前期·後期 実務実習
14) 処方提案に際し、楽剤の選択理由、投与量、投与方法、投与期間等について、医師や看護師等に対いやすく問題できる。(知識・概律)				前期・後期 実務実習

「「「「「「」」」、「「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「	14	2年 3年	4年	5年	9
「の点大物料・複雑番等の倒路(複雑番等に対する効果・型名用の整備)」					
1) 前) 代表的な疾患に用いられる医薬品の効果、副作用に関してモニタリングすべき症状と検査 所見等を具体的に説明できる。		後期 強之疾病(免疫、70/4 ¹	(免疫、7.044'—疾 前期 藻之疾病 (感覚器, 皮藤疾 前) 藥之疾病 (年稅等無) 所謂 藥之疾病 (年稅養無) (由後、 直血器疾 前期 藥之疾病 (河仁醫疾患) 前期 藥之疾病 (河仁醫疾患) 前期 藥之疾病 (河仁醫疾患) 前期 藥之疾病 (河仁醫疾患) (於 藥」 與 藥之疾病 (河介泌、仁難疾患) (須爾縣疾患) (須爾縣疾患) (前 縣 國族大能 医氏囊原 (國行國際原則) (以 與 國民大能 (國民大能) (國	4X	
2) 前)代表的な疾患における薬物療法の評価に必要な患者情報収集ができる。(知識・技能)		後期 臨床漢字実習	後期 臨床推論 前期 臨床與學院習出 後期 臨床藥學実習N		
3)前)代表的な疾患の症例における薬物治療上の問題点を列挙し、適切な評価と薬学的管理の 立業を行い、SOAP形式等で記録できる。(知識・技能)		後期 臨床薬学実習			
4) 医薬品の効果と製作用をモニタリングするための検査項目とその実施を提案できる。 (知識・原度)				前期·後期 実務実習	
5) 薬物自中濃度トニタリングが必要な関係品が地方されている患者について、自中濃度逆形の 拡減ができる。(凹臓・筋膜)		前期 臨床薬物動態学概算	98	前期-後期 実務実習	
6) 薬物血中濃度の推移から薬物療法の効果および副作用について予測できる。(知識・技能)		前期 臨床薬物動態学概論 後期 臨床薬学実習	96	前期·後期 実務実習	
7) 臨床検査値の変化と使用医薬品の関連性を説明できる。				前期·後期 実務実習	
8) 薬物治療の効果について、患者の症状や検査所見などから評価できる。				前期·後期 実務実習	
9) 副作用の発現について、患者の症状や検査所見などから評価できる。				前期·後期 実務実習	
10) 薬物治療の効果、副作用の発現、薬物血中濃度等に基づき、医師に対し、薬剤の循類、投与量、投与方法、投与期間等の変更を接張できる。(知識・態度)		前期 臨床薬物動態学概論 後期 臨床薬学実習		前期·後期 実務実習	
11)報告に必要な要素(5MIH)に留意して、収集した患者情報を正確に記載できる。(技能)				前期·後期 実務実習	
1540					
13) 医薬品・医療機器等安全性情報報告用紙に、必要事項を記載できる。 (知識・技能)				前期·後期 実務実習	
(4)チーム配像への参加 (A (4)参照)					
小型の水を開催さなると、14回水。 11回水・11回水・11回水・11回水・11回水・11回水・11回水・11回水		二维色级强钢 電光			
2)前の多様な医療チームの目的と構成員の役割を説明できる。					
3)前)病院と地域の医療過期の意識と具体的な方法(連携クリニカルバス、過院時共同指導、病院・ 趣局毒業、関連施防との事業等)を設置できる。		後期 薬剤節実務 二			
4)薬物療法上の問題点を解決するために、他の薬剤師および医師・看護師等の医療スタッフ と連載できる。(簡度)				前期·後期 実務実習	
2) 阪部・衛服部等の市職権と患者の状態(成状、後数値、アフルギー既、心理、生活職場的)、治療 関始後の変化(治療効果、副作用、心理状態、80(等)の権略を共在する。(知識・態度)				前期·後期 実務実習	
6) 阪泰チームの一員とした、阪路・華護の等の阪泰ンタッフと世後の治療目標と治療方針に していた計議(カンファンスや患者回診への参加等)する。(知識・原度)				前期·後期 実務実習	
7) 医師・春護師等の医療スタッフと連携・協力して、患者の最善の治療・ケア提案を体験する。 (知識・歴度)				前期·後期 実務実習	
8) 医師・看護師等の医療スタッフと連携して退除後の治療・ケアの計画を検討できる。(知識・態度)				前期·後期 実務実習	
9) 病院内の多様な医療チーム (ICT, NST、凝和ケアチーム、結婚チーム等) の活動に薬剤師の立場で参加できる。 (知識・能度)				前期・後期 実務実習	
【②地域におけるチーム医療】					
1)前)地域の保健、医療、福祉に関わる機種とその連携体制(地域包括ケア)およびその意義に ついて説明できる。		後期 薬剤師実務川			
2)前)地域における医療機関と薬局薬剤師の連携の重要性を討議する。(知識・態度)		後期 薬剤師実務 11			
3)地域における医療機関と薬局薬剤師の連携を体験する。(知識・態度)				前期·後期 実務実習	
4)地域医療を担う機種間で地域住民に関する情報共有を体験する。(技能・態度)(下)地域の磁・隔離・温かんの機画(P(A)機関)				前期・後期 実務実置	
[①在宅(訪問) 医療・介護への参画]					
1)前)在宅医療・介護の目的、仕組み、支援の内容を具体的に説明できる。		後期 凝粒師実務二	後期 臨床薬学実習Ⅳ		
2)前)在宅医療・介護を受ける患者の特色と背景を説明できる。		後期 薬剤師実務	後期 臨床漢学実習Ⅳ		

			類 当 草 目		
平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 1年	2年	3年	H	5年	6年
3)前)在宅医療・介護に関わる薬剤師の役割とその重要性について説明できる。		後期 薬剤師実務	後期 臨床薬学実習Ⅳ		
4) 在宅医療・介護に関する薬剤師の管理業務(訪問薬剤管理指導業務、居宅療養管理指導業務)を体験する。(知識・磁度)			後期 臨床薬学実習Ⅳ	前期・後期 実務実習	
5) 地域における介護サービスや介護支援専門員等の活動と薬剤師との関わりを体験する。(知識・ 態度)				前期-後期 実務実習	
6) 在宅患者の病状(症状、疾患と重症度、栄養状態等)とその変化、生活環境等の情報収集と 報告を体験する。(知識・態度)			後期 臨床薬学実習Ⅳ	前期-後期 実務実習	
【②地域保護(公衆衛生、学校顕著師、啓発活動)への参画】					
 前) 地域保健における薬剤師の役割と代表的な活動(薬物乱用防止、自殺防止、感染予防、 アンチドーピング活動等)について説明できる。 		後期 薬剤師実務			
2)前)公衆衛生に求められる具体的な感染防止対策を説明できる。		後期 薬剤師実務!			
3) 学校薬剤師の業務を体験する。(知識・技能)				前期・後期 実務実習	
4) 地域住民の衛生管理(消毒、食中毒の予防、日用品に含まれる化学物質の原癌原飲の予防等)における薬剤原活動を体験する。(知識・技能)				前期 後期 実務実習	
【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】(E2(9)参照)					
1)前)現在の医療システムの中でのプライマリケア、セルフメディケーションの重要性を討議する。(総度)		後期 薬剤師実務!			
2)前)代表的な症候(頭痛・腹痛・発熱等)を示す来局者について、適切な情報収集と疾患 の推測、適切な対応の選択ができる。(知識・態度)			後期 臨床薬学実習V 後期 臨床推論		
3)前)代表的な症候に対する薬局製剤(漢方製剤含む)、要指導医薬品・一般用医薬品の適切な取り扱いと説明ができる。(技能・態度)					
4)前)代表的な生活習慣の改善に対するアドバイスができる。 (知識・態度)			後期 臨床豪学実習Ⅳ		
5) 薬局製剤(漢方製剤合む)、原指導医薬品・一般用医薬品、健康食品、サプリメント、医療機器等をリスクに応じ適切に取り扱い、管理できる。 (技能・膨度)				前期 後期 実務実習	
6) 来局者から収集した情報や身体所見などに基づき、米局者の病状(疾患、重症度等)や体調を推測できる。(知識・態度)				前期-後期 実務実習	
 実局者に対して、病状に合わせた適切な対応(医師への受診動類、救急対応、要指導医薬品・ 一般用医薬品および検査薬などの推製、生活指導等)を選択できる。(知識・態度) 				前期-後期 実務実習	
8) 選択した薬局製剤(漢方製剤含む)、顕指導医薬品・一般用医薬品、健康食品、サプリメント、医療機器等の使用方法や注意点などを来局者に適切に判りやすく説明できる。(知識・態度)				前期 後期 実務実習	
9)疾病の予防および健康管理についてのアドバイスを体験する。(知識・態度)				前期·後期 実務実習	
[④災害時限療と凝凝部]					
1) 前) 災害時医療について概説できる。			前期 地域医療薬学		
12				100	
3) 災害時における病院・薬局と薬剤師の役割について討議する。 (態度)				前期·後期 実務実習	
・ 瀬孝正代					
1) 基礎から臨床に至る研究の目的と役割について説明できる。				4~6年 卒業研究	
2) 研究には自立性と独創性が求められていることを知る。				4~6年 卒業研究	
3) 現象を客観的に捉える観察眼をもち、論理的に思考できる。(知識・技能・態度)				4~6年 卒業研究	
4) 新たな課題にチャレンジする創造的精神を養う。(態度)				4~6年 卒業研究	
(2)研究に必要な法規範と倫理					
1) 自らが実施する研究に係る法令、指針について概説できる。				4~6年 卒業研究	
2) 研究の実施、患者情報の取扱い等において配慮すべき事項について説明できる。				4~6年 卒業研究	
3) 正義性、社会性、解実性に配慮し、法規範を遵守して研究に取り組む。 (態度) A-(2)-④-3再掲				4~6年 卒業研究	
一) 非光質器「関する国内外の非光成果を調査し、誤解、評価できる。(知識・技能) 2) 開報連絡のイメア語はオイスを開稿もを抽出し、耳袋早組を分裂する (知識・技能)				4~6年 中華研究	
- 1					
4)研究の各プロセスを適切に記録し、結果を考察する。(知識・技能・態度)					
5) 研究成果の効果的なプレゼンテーションを行い、適切な質疑応答ができる。 (知識・技能・態度)				4~6年 卒業研究	
6)研究成果を報告書や論文としてまとめることができる。(技能)				4~6年 卒業研究	

改訂カリキュラムマップ

科目コート	授業科目名	区分	配当	開講	単位	授業形態		ディブ	ロマポ	リシー	
			学年	期	数	2010/2014	1	2	3	4	5
AB - 1 - 1 - 1	19.1	必修	1	1	2	講義·演習	0	0			
AB - 1 - 1 - 2	Territoria de la companya della companya della companya de la companya della comp	必修	1	1	1	講義·演習	0				
AB - 1 - 1 - 3	日本語表現法	必修	1	1	1	講義·演習	0	0			
AB - 1 - 1 - 4	薬学概論 I	必修	1	1	0.5	講義	0				0
AB - 1 - 1 - 5	防災·救急対応実習	必修	1	1	0.5	実習	0				
C - 1 - 1 - 1	薬学計算 I	必修	1	1	1	講義·演習	0				
C - 1 - 1 - 2	無機化学	必修	1	1	1	講義·演習	0				
C - 1 - 1 - 3	基礎化学	必修	1	1	2	講義・演習	0			2	
AB - 1 - 2 - 1	早期体験実習	必修	1	2	1	実習	0	0			-
C - 1 - 2 - 1	薬学計算Ⅱ	必修	1	2	1	講義·演習	0		5-3	-	
C - 1 - 2 - 2	基礎有機化学	必修	1	2	1	講義·演習	0				
C - 1 - 2 - 3	立体構造化学	必修	1	2	1	講義·演習	0				-
C - 1 - 2 - 4	生物学	必修	1	2	1	講義·演習	0				
AB - 1 - 3 - 1	薬学概論Ⅱ	必修	1	3	1	講義·演習	0	0		0	
C - 1 - 3 - 1	物理化学	必修	1	3	1	講義·演習	0				
C - 1 - 3 - 2	熱力学	必修	1	3	1	講義·演習	0				
C - 1 - 3 - 3	生体有機化学I	必修	1	3	0.5	講義·演習	0				
C - 1 - 3 - 4	機能形態学 I	必修	1	3	1	講義·演習	0				
C - 1 - 3 - 5	生化学 I	必修	1	3	1	講義·演習	0				
C - 1 - 4 - 1	反応速度論	必修	1	4	1	講義·演習	0		-		
C - 1 - 4 - 2	化学平衡論	必修	-1	4	1	講義·演習	0				
C - 1 - 4 - 3	有機化学 I	必修	1	4	1	講義·演習	0				
C - 1 - 4 - 4	機能形態学Ⅱ	必修	1	4	1	講義·演習	0				
C - 1 - 4 - 5	生化学Ⅱ	必修	1	4	1	講義·演習	0				
AB - 1 - 3·4 - 1	薬剤師実務体験実習	必修	1	3.4	0.5	実習	0				
C - 1 - 3·4 - 1	薬学基礎実習I	必修	1	3.4	1	実習	0				
英 - 1 - 1-2 - 1	英語 I	必修	1	1.2	2	講義·演習	0				
英 - 1 - 3.4 - 1	英語Ⅱ	必修	1	3.4	2	講義·演習	0				
選 - 1 - 1·2 - A	基礎数学	選択	1	1.2	1	講義·演習	0				
選 - 1 - 1·2 - A	基礎物理学	選択	-1	1.2	1	講義·演習	0				
選 - 1 - 1·2 - A	基礎統計学	選択	1	1.2	1	講義·演習	0				
選 - 1 - 1·2 - A		選択	1	1.2	1	講義·演習	0		1		
選 - 1 - 1·2 - B	3 - 37111 90 100 100 100 100	選択	1	1.2	1	講義·演習	0				
選 - 1 - 1·2 - B	健康と運動	選択	1	1.2	1	講義	0				
選 - 1 - 1·2 - B		選択	1	1.2	1	講義	0				
選 - 1 - 3·4 - A		選択	1	3.4	1	実技	0				
選 - 1 - 3·4 - A	111111111111111111111111111111111111111	選択	1	3.4	1	講義·演習	0				
選 - 1 - 3·4 - A	1	選択	1	3.4	1	講義	0				
選 - 1 - 3·4 - A		選択	1	3.4	1	講義·演習	0				
選 - 1 - 3·4 - B	The second secon	選択	1	3.4	1	講義	0				
選 - 1 - 3·4 - B	A	選択	1	3.4	-1	講義·演習	0				
選 - 1 - 3·4 - B	TO SECURITION OF THE PROPERTY	選択	-1	3.4	1	講義	0				

改訂カリキュラムマップ

利用っし	授業科目名	区公	配当	開講	単位	担業以能		ディブ	ロマポ	リシー	
科目コード	Charles Market and Co.	区分	学年	期	数	授業形態	1.	2	3	4	5
選 - 1 - 3·4 - B リ		選択	1	3.4	1	講義	0				
AB - 2 - 1 - 1 医	療倫理学	必修	2	1	1	講義·演習	0		-		
C - 2 - 1 - 1 定	量分析化学	必修	2	1	1	講義·演習	0				
C - 2 - 1 - 2 放	射化学	必修	2	1	1	講義·演習	0				
C - 2 - 1 - 3 有	機化学Ⅱ	必修	2	1	1	講義·演習	0				
C - 2 - 1 - 4 機	能形態学皿	必修	2	1_	1	講義·演習	0				
C - 2 - 1 - 5 生	化学皿	必修	2	1	1	講義·演習	0				
C - 2 - 2 - 1 薬	品分析化学	必修	2	2	1	講義·演習	0		111		
C - 2 - 2 - 2 有	機化学Ⅲ	必修	2	2	1	講義·演習	0				
C - 2 - 2 - 3 生	薬学 I	必修	2	2	0.5	講義·演習	0				
C - 2 - 2 - 4 機	能形態学Ⅳ	必修	2	2	1	講義·演習	0				
C - 2 - 2 - 5 生	化学IV	必修	2	2	1	講義·演習	0				
C - 2 - 2 - 6 微	生物学	必修	2	2	1	講義·演習	0				
C - 2 - 3 - 1 機	器分析学 I	必修	2	3	1	講義·演習	0				
C - 2 - 3 - 2 有	機化学IV	必修	2	3	1	講義·演習	0				
C - 2 - 3 - 3 生	薬学Ⅱ	必修	2	3	1	講義·演習	0				
C - 2 - 3 - 4 生	化学V	必修	2	3	1	講義·演習	0				
C - 2 - 3 - 5 免		必修	2	3	1.5	講義·演習	0				
E - 2 - 3 - 1 生	457-7	必修	2	3	1	講義·演習	0				г
C - 2 - 4 - 1 機		必修	2	4	1	講義·演習	0				-
C - 2 - 4 - 2 構		必修	2	4	1	講義·演習	0				
C - 2 - 4 - 3 生		必修	2	4	0.5	講義·演習	0				
C - 2 - 4 - 4 分	70 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	必修	2	4	1	講義·演習	0				-
D - 2 - 4 - 1 食		必修	2	4	1	講義·演習	0			0	Н
E - 2 - 4 - 1 生	11004.00	必修	2	4	1	講義·演習	0				-
E - 2 - 4 - 2 物		必修	2	4	1	講義·演習	0		-	-	-
AB - 2 - 1·2 - 1 介		必修	2	1.2	2	実習	0	0		0	-
C - 2 - 3·4 - 1 薬	W 1 4 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	必修	2	3.4		実習	0	0		0	
英 - 2 - 1-2 - 1 英		必修	2	1.2	2	講義·演習	0				_
英 - 2 - 3-4 - 1 英		必修	2	3.4		講義·演習					-
選 - 2 - 1-2 - A 実	7.7	選択		1 2 40 1	2	講義·演習	0				-
選 - 2 - 1.2 - A 地	270215 1201 0201 0	選択	2	1.2	1		0				-
	V - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	7.5	2		1	講義	0				_
選 - 2 - 1.2 - A 薬		選択	2	1.2	1	講義·演習	0				-
選 - 2 - 1·2 - B 実選 - 2 - 1·2 - B 医		選択	2	1.2	1	講義·演習	0				_
	11161	選択	2	1.2	1	講義·演習	0				-
選 - 2 - 1.2 - B 言		選択	2	1-2	1	講義	0			_	_
AB - 3 - 1 - 1 医	- V	必修	3	1	1	講義·演習	0			0	-
D - 3 - 1 - 1 毒		必修	3	1	1	講義·演習	0			0	
D - 3 - 1 - 2 公		必修	3	1	1	講義·演習				0	
E - 3 - 1 - 1 薬		必修	3	1	1	講義·演習	0				
E - 3 - 1 - 2 製	FOR THE PROPERTY.	必修	3	1.	- 1	講義·演習	0				
E - 3 - 1 - 3 臨	床検査学概論	必修	3	1	- 1	講義·演習	0		0		

改訂カリキュラムマップ

科目コート	授業科目名	区分	配当	開講	単位	4回 米田/ 祭		ディブ	ロマポ	リシー	
			学年	期	数	授業形態	1	2	3	4	5
E - 3 - 1 - 4 %		必修	3	1	0.5	講義·演習	0		0		
D - 3 - 2 - 1		必修	3	2	1	講義·演習	0			0	
D - 3 - 2 - 2 4	231463277422222	必修	3	2	1	講義·演習				0	
E - 3 - 2 - 1	薬物動態学Ⅱ	必修	3	2	1.	講義·演習	0	-			
E - 3 - 2 - 2	製剤学Ⅱ	必修	3	2	1	講義·演習	0				
E - 3 - 2 - 3	医薬情報学概論	必修	3	2	0.5	講義·演習	0		0		
E - 3 - 2 - 4 E	医薬化学概論	必修	3	2	0.5	講義·演習	0		0		
E - 3 - 2 - 5	薬理学概論	必修	3	2	1.5	講義·演習	0		0		
E - 3 - 2 - 6	a床薬物動態学概論	必修	3	2	0.5	講義·演習	0		0		
D - 3 - 3 - 1	環境科学 I	必修	3	3	1	講義·演習				0	
E - 3 - 3 - 1 (固別化医療学	必修	3	3	-1	講義·演習	0		0		
E - 3 - 3 - 2 #	変と疾病(免疫、アレルギー疾患)	必修	3	3	1	講義·演習	0	-	0		
E - 3 - 3 - 3 #	薬と疾病(血液、造血器疾患)	必修	3	3	1	講義·演習	0		0		
E - 3 - 3 - 4 3	薬と疾病(神経疾患)	必修	3	3	2	講義·演習	0		0		
E - 3 - 3 - 5 p	N. C.	必修	3	3	0.5	講義·演習	0		0		
E - 3 - 3 - 6 5	见方解析学	必修	3	3	0.5	講義·演習	0		0		
E - 3 - 3 - 7	0.0000000000000000000000000000000000000	必修	3	3	1	講義·演習	0	0	0	0	
AB - 3 - 4 - 1	130,140,0,4,4,000	必修	3	4	1	講義·演習	0				
D - 3 - 4 - 1 H		必修	3	4	1	講義·演習				0	
E - 3 - 4 - 1 3		必修	3	4	1	講義·演習	0		0		
E - 3 - 4 - 2		必修	3	4	2	講義·演習	0		0		
E - 3 - 4 - 3		必修	3	4	1.5	講義·演習	0		0		
E - 3 - 4 - 4		必修	3	4	1	講義·演習	0	0	0	0	
DE - 3 - 1·2 - 1 得	Correction Control	必修	3	1.2	2	実習	0				
F - 3 - 4 - 1 B		必修	3	4	1	実習	0	0	0	0	
英 - 3 - 1.2 - 1	1	必修	3	1.2	1	講義·演習	0	0	0	0	
英 - 3 - 3.4 - 1	23745 W	必修	3	3.4	1	講義·演習	0				
英 - 3 - 3 - 2		必修	3	3	1	講義·演習					
選 - 3 - 1-2 - A 力		選択					0				
選 - 3 - 1-2 - A 7			3	1.2	1	講義	0				
		選択	3	1.2	1	講義	0				
選 - 3 - 1-2 - A 到		選択	3	1.2	1	講義	0				
	社会保障論	選択	3	1.2	1	講義	0				
	医療広告・規制論	選択	3	1.2	1	講義	0				
選 - 3 - 1.2 - B		選択	3	1.2	10	講義	0				
AB - 4 - 1 - 1		必修	4	1	1	講義·演習	0				
AB - 4 - 1 - 2		必修	4	1	1	講義·演習	0				
AB - 4 - 1 - 3	15.5.16.45	必修	4	1	1	講義·演習	0				
E - 4 - 1 - 1		必修	4	1	2	講義·演習	0		0		
E - 4 - 1 - 2		必修	4	1	1	講義·演習	0		0		
E - 4 - 1 - 3		必修	4	1	1	講義·演習	0		0		
AB - 4 - 2 - 1	地域医療薬学	必修	4	2	1	講義·演習	0				
AB - 4 - 2 - 2	薬事関連法制論Ⅱ	必修	4	2	1	講義·演習	0				

(基礎資料4) 1-1カリキュラムマップ

改訂カリキュラムマップ

科目コート	授業科目名	区分	配当	開講	単位	授業形態		ディブ	ロマポ	リシー	
44 E J = 1	技条符日右	巨刀	学年	期	数	技未形態	1	2	3	4	5
D - 4 - 2 - 1	栄養療法学	必修	4	2	0.5	講義·演習	0			0	
E - 4 - 2 - 1	医療統計学	必修	4	2	1	講義·演習	0		0		
E - 4 - 2 - 2	薬と疾病(感染症)	必修	4	2	2	講義·演習	0		0		
E - 4 - 2 - 3	薬と疾病(泌尿器、生殖器疾患)	必修	4	2	2	講義·演習	0		0		
E - 4 - 2 - 4	漢方医薬学	必修	4	2	1	講義·演習	0		0		
AB - 4 - 3 - 1	薬剤経済学	必修	4	3	1	講義·演習	0				
AB - 4 - 3 - 2	セルフメディケーション学	必修	4	3	1	講義·演習	0				
E - 4 - 3 - 1	薬剤疫学	必修	4	3	1	講義·演習	0		0		
E - 4 - 3 - 2	薬と疾病(内分泌、代謝性疾患)	必修	4	3	2	講義·演習	0		0		
E - 4 - 3 - 3	薬と疾病(悪性腫瘍)	必修	4	3	2	講義·演習	0		0		
E - 4 - 3 - 4	臨床推論	必修	4	3	1	講義·演習	0	0	0		
F - 4 - 1 - 1	臨床薬学実習Ⅱ	必修	4	1	1	実習	0	0	0	0	
F - 4 - 2 - 1	臨床薬学実習Ⅲ	必修	4	2	1	実習	0	0	0	0	
F - 4 - 3 - 1	臨床薬学実習Ⅳ	必修	4	3	1	実習	0	0	0	0	
F - 4 - 4 - 1	臨床薬学実習V	必修	4	4	2	実習	0	0	0	0	0
総 - 4 - 3.4 - 1	総合演習 I	必修	4	3-4	1	講義·演習	0				
AB - 5 - 1~4 - 1	エデュケーションスキル	必修	5	1~4	1	演習				1	0
E - 5 - 1 - 1	実務実習事前演習	必修	5	1	0.5	講義·演習	0	0	0	0	
F - 5 - 1-4 - 1	実務実習	必修	5	1~4	20	実習	0	0	0	0	0
E - 6 - 1-2 - 1	臨床薬学総論	必修	6	1.2	2	講義·演習	0	0	0	0	
F - 6 - 1-1 - 1	アドバンスト演習	必修	6	1~3	2	演習	0	0	0	0	
総 - 6 - 3・4 - 1	総合演習Ⅱ	必修	6	3.4	6	講義·演習	0				
G - 4~6	卒業研究	必修	4~6		20	講義·演習·実習	0				0
自一1~4 — —	自由科目セミナーI~IV	自由	1~4		各1	講義·演習·実習	0				

ディプロマ・ポリシー 学位授与の方針

本学の卒業生として以下の資質・能力を身につけた学生に「学士(薬学)」を授与します。

- 1. 基盤能力とともに薬剤師に必用な知識・技能・態度を修得している。
- 2. 患者・生活者や多職種と適切なコミュニケーションを取れる態度・能力を有している。
- 3. 適切な薬物療法や薬学的管理を実践できる能力を有している。
- 4. 多職種と連携・協力して地域住民の健康増進、公衆衛生に貢献できる能力を修得している。
- 5. 生涯にわたって研究研修・研鑽を継続するとともに、医療を担うむ次世代の人材を育成する意欲と態度を 有している。

(基礎資料4)1-2改訂カリキュラム系統表

2 本学記録 5 年末 5 年				1年	25, 978			年	S 90			3年	6. eq	
### 2000 1 1 2 2 2 전체에 변경 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	-	-		-	-711		-			100			发期 第4学1	en en
조용 전 2 전 전 2 전 전 2 전 전 2 전 전 2 전 2 전 2 전		薬学生入門 2		9K 5 7 7M	20 T T FRI	AN I TAN	30 L T-30	36 5 T-80	91 4 T-90	新 1 于 M	外2 于AII	売り子和	第 4 子 月	n
展示な 2 高度 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	基本事項 薬学と社会	日本語表現法			ı	医療倫理学	1			医療概論 1			薬と社会	
展や記録 1 日本の表示 1 日本の表		おび・音角が広 .												
展現化学 1		1111	-		実習 0.	5 介護福祉体験実	2 2	-	-					_
表生基本	栗学基础	無機化学 益礎化学	基礎有機化学 立体構造化学 1	物理化学 熱力学 生体有機化学 機能形態学	1 化学平衡論 1 2 5 有機化学 1 1 機能形態学 1	放射化学 有機化学 機能形態学	1 有機化学川 1 生薬学 I 0.1 機能形態学 IV 1 生化学 IV 1	有機化学Ⅳ 5 生薬学Ⅱ 生化学Ⅴ	構造解析学 1 1 生体有機化学 0 1 1 1 分子生物学 1 遺伝子工学 1	5				
報告				薬学基礎実習	1			薬学基礎実習	1	5				
物理薬科学 製剤学 1 製品を保険 1 製品を保険 1 製剤学 2 製品を保険 1 製剤学 2 製剤の	衛生薬学								食品衛生學 1	毒性学) 1	毒性学目	1	1 環境科学	
京学館末 京学館末 京都 京都 京都 京都 京都 京都 京都 京	医療柔学	ž.						生物薬剤学!		製剤学 1 在床検査学概論 1 症候学 0.5	製剤学 医薬情報学概論 0 医薬化学概論 1	電と系統(免疫 アレルギー疾患) 5 適血数務疾患) 5 適血数務疾患) 5 (神経疾患) 5 輸液・栄養学 0	章と疾病(炎症 ・ 一番を ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一	
本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語												薬剤師実務!	1 薬剤師実務	
接合演響 大語 2 英語	薬学臨床												臨床薬学実習	
英語	卒業研究	t												
大部 大部 大部 大部 大部 大部 大部 大部	総合演習													
A 基礎物理学	英語	英語(2 英語川	1	英語川	2	英語(V	2	英語V				
社会と経済 日本国憲法と法律 実用中国語 社会保障値 B 健康と運動 文学と人間 医療色彩 医療広告・規制値 野 災害史 民族と宗教 言語聴覚報論 医療マネジメント程論		A 基礎物理学 基礎統計学	:各1舉位	国際と平和 心理と行動	:各1単位	地球環境学	:各1単位			香粧品学	: 各1 単位			
		R健康と運動	; 各 1 単位	文学と人間 民族と宗教		医療色彩	: 各1単位			医療広告・規制論				
由科目 セミナー!~Ⅳ	由科目					t	ミナー!~Ⅳ							

(基礎資料4)1-2改訂カリキュラム系統表

			4年	re am			年	ale .			年	
	第1学期	前期 第2学期		後期		THE O AND WE		MA ANAMA		MI O MARIE		期
	州十州	第2子册	第3学期	第4学期	第1子册 エデュケーショ	第2学期	第3学期	第4学期	第1学期	第2学期	第3学期	第4学期
基本専項薬学と社	会 医薬品開発論	1 地域医療薬学 1 (事等関連法制論))	セルフメディ ケーション学	1	1,1,-,1	747						
栗学基	ž.											
衛生薬	*	栄養療法学 0	1.5									
医療薬	黨と疾病 (感染度) (感染质) (感覚 (感染质) (可吸数疾患) (可吸数疾患)	2 画之疾病 (消化器疾患) (消化器疾患) (注化酶 (述疾) (注述数据企用)	臨床推論	2 2 1								
		漢方医薬学 医療統計学		1								
薬学臨	*			实務实營率的演習 0.5	of the same of				臨床薬学総論	2		
	臨床薬学実習=	1 臨床薬学実習Ⅱ		1 臨床薬学実習 V 2	実務実習			50	アドバンスト演	習	2	
卒業研:	_		卒業研究							20		
総合演習				総合演習! 1							総合演習Ⅱ	
英語												
			-	-								
択科目	A A											
	B 8¥											
由科目	セミナーV		セミナー۷		セミナーVII		セミナーVII		セミナーIX			
	1-7-		1226 0 00				III		/ I/S			

旧カリキュラムマップ

授業科目名	区分	配当学	開講期	単位	授業形態		ディフ	ロマポ	リシー	_
		年	LANCON N	数	44-54-54	1	2	3	4	5
薬学概論	必修	1	前期	0.5	講義	0		-		0
英語 I	必修	1	前期	2	講義	0				
数学	必修	1	前期	2	講義	0				
物理学 I	必修	1	前期	2	講義	0				
化学 I	必修	1	前期	2	講義	0				
生物学 I	必修	1	前期	2	講義	0				
ラーニングスキル	必修	1	前期	2	演習	0	0			
演習 I	必修	1	前期	2	演習	0				
アーリーエクスホ゜ーシ゛ャー	必修	1	前期	0.5	実習	0	0			
自然科学概論	選択	1	前期	1	講義	0				
経済学	選択	1	前期	1	講義	0				
スポーツ科学概論	選択	1	前期	1	講義	0				
薬学計算	選択	1	前期	1	講義	0				
ドイツ語 I	選択	1	通年	2	講義	0				
体育実技 I	選択	1	前期	1	実技	0				
英語Ⅱ	必修	1	後期	2	講義	0				
ヒューマニズム論 I	必修	1	後期	0.5	講義	0				
統計学入門	必修	1	後期	1	講義	0				
物理学Ⅱ	必修	1	後期	1	講義	0				
物理化学 I	必修	1	後期	1	講義	0				
化学Ⅱ	必修	1	後期	1	講義	0				
有機化学 I	必修	1	後期	1	講義	0		- 1		
生物学Ⅱ	必修	1	後期	1	講義	0				
生化学 I	必修	1	後期	2	講義	0				
機能形態学 I	必修	1	後期	2	講義	0				
演習Ⅱ	必修	1	後期	1.5	演習	0				
実習I	必修	1	後期	1	実習	0				-
文学	選択	1	後期	1	講義	0				
心理学	選択	1	後期	1	講義	0				
国際情勢概説	選択	1	後期	1	講義	0				
ドイツ語Ⅱ	選択	1	後期	1	講義	0				
体育実技Ⅱ	選択	1	後期	1	実技	0				
ヒューマニズム論Ⅱ	必修	2	後期	0.5	講義	0				
英語皿	必修	2	前期		講義	0				-
^{类品业} 物理化学Ⅱ	必修		前期	2	講義	-				-
分析化学 [2		2	1	0				
放射化学	必修	2	前期	2	講義	0				
11.0-1-0-10.0 E	必修	2	前期	2	講義	0				-
有機化学Ⅱ	必修	2	前期	2	講義	0				
生化学Ⅱ	必修	2	前期	2	講義	0				
機能形態学Ⅱ	必修	2	前期	2	講義	0				
微生物学	必修	2	前期	2	講義	0				
生薬学 [必修	2	前期	2	講義	0		-		

旧カリキュラムマップ

授業科目名	区分	配当学	開講期	単位	授業形態		ディフ	ロマポ	リシー	
	1985.15	年		数	18, 27, 25,	1	2	3	4	5
衛生化学 I	必修	2	前期	1	講義	0			0	
日本薬局方概論	必修	2	前期	0.5	講義	0			-1	
演習皿	必修	2	前期	1.5	演習	0				
実習Ⅱ	必修	2	前期	1	実習	0				
英語Ⅳ	必修	2	後期	2	講義	0				
分析化学Ⅱ	必修	2	後期	2	講義	0				
有機化学Ⅲ	必修	2	後期	2	講義	0				
生物有機化学	必修	2	後期	1	講義	0				
生化学Ⅲ	必修	2	後期	2	講義	0				
免疫学	必修	2	後期	1	講義	0				
医学概論	必修	2	後期	1	講義	0			0	
生薬学Ⅱ	必修	2	後期	1	講義	0				
薬理学 I	必修	2	後期	1	講義	0				-
衛生化学Ⅱ	必修	2	後期	2	講義	0			0	
演習Ⅳ	必修	2	後期	1	演習	0				
実習Ⅲ	必修	2	後期	1	実習	0	0		0	
英語V	必修	3	前期	1	講義	0				
医薬化学 I	必修	3	前期	2	講義	0				
ゲノム薬学	必修	3	前期	1	講義	0		0		Т
看護学概論	必修	3	前期	1	講義	0			0	
化学療法学	必修	3	前期	1	講義	0		0		
薬理学Ⅱ	必修	3	前期	2	講義	0		0		
病態生化学 I	必修	3	前期	1	講義	0				
病態生理学	必修	3	前期	2	講義	0				
物理薬剤学	必修	3	前期	1	講義	0				
生物薬剤学	必修	3	前期	2	講義	0				
公衆·環境衛生学	必修	3	前期	2	講義	0			0	
演習Ⅴ	必修	3	前期	1	演習	0				
実習Ⅳ	必修	3	前期	1	実習	0		0		
ヒューマニズム論皿	必修	3	後期	0.5	講義	0	0			
英語VI	必修	3	後期	1	講義	0				
医薬化学 II	必修	3	後期	1	講義	0				
薬理学Ⅲ	必修	3	後期	2	講義	0		0		
製剤学	必修	3	後期	2	講義	0		0		
表別子 病態生化学 Ⅱ	必修	3	後期	2	講義	0				
輸液·栄養管理学	必修	3	後期	1	講義	0		0		
™/ 不長日年子 薬物治療学 I	必修	3	後期	2	講義	0		0		
来物力原子 I 薬物動態学	必修	3	後期	2	講義	0		U		
医療心理学	必修	3	後期	1	講義	0	0		0	
演習Ⅵ	必修	3	後期	1.5	演習		0	_	U	
実習V	必修		後期			0	_	0	_	
表音 V 薬局管理学	選択	3	後期	1	実習講義	0	0		0	

旧カリキュラムマップ

授業科目名	区分	配当学	開講期	単位	授業形態		ディブ	ロマポ	リシー	
	231	年	23777	数		1	2	3	4	5
薬用植物学	選択	3	後期	1	講義	0				
医薬品開発論	選択	3	後期	1	講義	0				
香粧品学	選択	3	後期	1	講義	0				
実用英会話	選択	3	後期	1	講義	0	0			
英語Ⅵ	必修	4	前期	1	講義	0				
漢方医薬学	必修	4	前期	2	講義	0		0		
臨床薬理学	必修	4	前期	2	講義	0		0	0	
代謝毒性学	必修	4	前期	1	講義	0			0	
薬物治療学Ⅱ	必修	4	前期	2	講義	0		0		
医療統計学概論	必修	4	前期	1	講義	0				
医療福祉学概論	必修	4	前期	1	講義	0			0	
調剤学	必修	4	前期	1	講義	0	0	0	0	
地域医療学	必修	4	前期	1	講義	0			0	
セルフメディケーション学	必修	4	前期	1	講義	0		0	0	
演習Ⅵ	必修	4	前期	1	演習	0		0		
実習VI	必修	4	前期	1	実習	0		0		
サプリメント概説	選択	4	前期	1	講義	0				
地球環境学	選択	4	前期	1	講義	0				
社会保障論	選択	4	前期	1	講義	0				
栄養療法学	選択	4	前期	1	講義	0			0	
ヒューマニズム論Ⅳ	必修	4	後期	0.5	講義	0		0	0	
薬物治療学Ⅲ	必修	4	後期	2	講義	0		0		
臨床薬物動態学 I	必修	4	後期	- 1	講義	0		0		
日本薬局方各論	必修	4	後期	0.5	講義	0		0		
薬事関連法制論	必修	4	後期	2	講義	0				
医薬情報学	必修	4	後期	2	講義	0		0		
感染制御学		4	1,100		170.5 200					
	必修		後期	1	講義	0	_	0	_	
実務実習事前学習	必修	4	後期	4	演習	0	0	0	0	
総合演習Ⅰ	必修	4	後期	2	演習	0	-			
実習「工	必修	4	後期	1	実習	0	0	0	0	
ヒューマニズム論V	必修	5	前期	0.5	講義	0			0	
臨床薬物動態学Ⅱ	必修	5	前期	1	講義	0		0	35	
臨床コミュニケーション演習	必修	5	前期	1	演習	0	0	0	0	
臨床薬学総論	必修	5	前期	3	講義	0	0	0	0	
処方解析学	必修	5	前期	0.5	講義	0		0		
薬歴管理学	必修	5	前期	0.5	講義	0	0	0	0	
薬剤疫学	必修	5	前期	1	講義	0		0		
薬剤経済学	必修	5	前期	1	講義	0				
悪性腫瘍学	必修	5	前期	1	講義	0		0		
緩和薬物療法学	必修	5	前期	1	講義	0		0		
演習Ⅷ	必修	5	前期	1.5	演習	0	0	0	0	
臨床薬学実習	必修	5	前期	2	実習	0	0	0	0	0

(基礎資料4) 2-1カリキュラムマップ

旧カリキュラムマップ

授業科目名	区分	配当学	開講期	単位	授業形態		ディブ	ロマポ	リシー	
1文末14口口	四万	年	用神树	数	技术形态	1	2	3	4	5
卒業研究	必修	4~6	後期~前期	20	演習	0	7-1		-	0
病院実習	必修	5~6	後期~前期	10	実習	0	0	0	0	0
薬局実習	必修	5~6	後期~前期	10	実習	0	0	0	0	0
演習IX	必修	6	後期	2	演習	0	0	0	0	
総合演習Ⅱ	必修	6	後期	6	演習	0				

ディプロマ・ポリシー

学位授与の方針

本学の卒業生として以下の資質・能力を身につけた学生に「学士(薬学)」を授与します。

- 1. 基盤能力とともに薬剤師に必用な知識・技能・態度を修得している。
- 2. 患者・生活者や多職種と適切なコミュニケーションを取れる態度・能力を有している。
- 3. 適切な薬物療法や薬学的管理を実践できる能力を有している。
- 4. 多職種と連携・協力して地域住民の健康増進、公衆衛生に貢献できる能力を修得している。
- 5. 生涯にわたって研究研修・研鑚を継続するとともに、医療を担うむ次世代の人材を育成する意欲と態度を 有している。

(基礎資料4) 2-2旧カリキュラム系統表

初年次教育	自然科学概説 スポーツ科学概説	選択 調森 選択 調森 選択 調森 選択 調森	1. 0 1. 0 1. 0 2. 0	ドイン数!(通常料像)	at se																		
教養教育	自然科学概認 スポーツ科学概説 ドイツ語』(通年科目) 体育実技	遊択 講義 遊択 講義	1. 0 1. 0 2. 0	ドイン数!(通常料像)	au un	223																	
教養教育	自然科学概認 スポーツ科学概説 ドイツ語』(通年科目) 体育実技	遊択 講義 遊択 講義	1. 0 1. 0 2. 0	ドイン数!(通常料像)	aue	222	-24	25.25.33.33.3															
教養教育	自然科学概認 スポーツ科学概説 ドイツ語』(通年科目) 体育実技	遊択 講義 遊択 講義	1. 0 1. 0 2. 0	ドイン数!(通常料像)	31 167		222																
效要教育	自然科学概認 スポーツ科学概説 ドイツ語』(通年科目) 体育実技	遊択 講義 遊択 講義	1. 0 1. 0 2. 0	ドイン数!(通常料像)	31.69					22,		*********								,,,,,,,,,,			
教養教育	ドイツ等! (通年料目)	選択 講真	2.0	ドイツ語(通常科目)	31.47																		
教養教育	体育实技(-																	
200000		NW 414		ドイツ語川		は は 日本																	
200000		Nie wie		文学	遊択	186	1.0																
200000		30 to 10 to		心理学 国際情勢概説		調報 調報																	
医薬情報	英語(ALEY MIX		体育实技川		実技		1															
		必修 講義	2.0	英語=	必惟	講義	2.0	英語=	必修	講義	2.0	英語Ⅳ	必惟	調賞	20	英語V	必惟	四百	1. 0	英語Ⅵ		講義	
				ヒューマニズム論	必修	調報	0.5	ヒューマニズム論	必惟	HA	0,5	********		224	-44	*****		,,,,,,		実用英会話 ヒューマニズム論		議義	-
			50	(薬と社会)				(生と死)								Secret 1				(キュア&ケア)			
ľ	蒸学根據	必修 講義	0,5									医学概論	必惟	講義	1.0	看護学假論	必惟	調義	1. 0				
				統計学入門	必惟	满碗	1. 0																
振・倫理と 土会 薬 学																				医療心理学 薬局管理学		講義 講義	
																				MAN MAN 4	4031	in its	
1 3																							
	1-7 17A+ -> T-																						
	(南州師実務見 心) 物理学 (必修 実習 必修 講義			to be	調報				444		実習Ⅲ (介護福 祉体験学習)	必惟	大智	1. 0					実習V (薬剤師 業務体験学習)	必惟	実質	1
	数学	必修 講義			29	14.42	1. 0																
				物理化学	必修	講教	1.0	物理化学川	必维	調報	1, 0					物理薬剤学				製剤学		開調	
3	薬学計算	選択 講義	1.0													生物薬剤学	必惟	洪兵	2. 0	薬物動態学 輸液・栄養管理学		調報	
1	化学)	必修 講義	2.0	化学川	必修	講義		diam to any 1	45			naio.	1.2										
								分析化学 / 放射化学		調査		分析化学Ⅱ	必修	調務	2.0								
				有機化学!	必修	排稿	1.0	有機化学川	必惟	MA	2. 0	有機化学川				医薬化学!	必修	調報		医薬化学川		具数	
								日本薬局方根論	必惟	講義	0.5	生物有機化学	必惟	講義	1. 0					医薬品開発論	遊択	un	1
	A			X 5				生薬学(生薬学川	必维	協調	1.0					薬用植物学	選択	調報	1
基礎と臨床	生物学(必修 講義	2. 0.	生物学川生化学川		議員		生化学川	必修	独商	2.0	生化学川	£#	an	2.0	病態生化学!	26	un	1.0	病態生化学川	必修	講義	7
				機能形態学!				機能形態学!!		un						病態生理学		講義					
								微生物学	必條	調査	1.0					化学療法学	V-40	洪義		薬物治療学!	必维	講教	2
								J-410								ゲノム薬学		調整					
												免疫学 薬理学		ua ua		薬理学川	4.46	12.25	2.0	薬理学	4.40	講義	,
												MAT !		in ex		M-4-11	2.0	in th	2.0	米柱子 III	e m	IA PS	
2	演習 (1年前期 重点科目演習)	老條 演習	2. 0	演習川 (1年後期 重点科目演習)	必修	演響	1.5	演習III (2年前期 重点料目演習)	老维	满智	15	演習N (2年後期 重点科目演習)	必條	英智	1:0	演習V (3年前期 重点科目演習)	必惟	演型	1.0	演習VI (3年後期 重点科目演習)	必備	32	1
				実習! (薬剤師実務 体験・基礎科学実	必维	米智	1.0	実習 (統合型 基礎素学実習)		*2		MANUAL STATE				実習Ⅳ (統合型		大百		基於何日與日 /			
	*******		L.E.	R)	4-			参授素子美百) 衛生化学 (必報	na.	1.0	衛生化学川	必维	144	2.0	龍床菜学実習)							
健康と環境																公衆・環境衛生学	必修	調報	2.0				
	********														4	*******				香粧品学	遊択	读真	1
東刻師実務																							
MAINT PAGE																							
卒業研究																							
総合演習	**********			*******			7		-	-	***			111		**********					777	177	-

(基礎資料4) 2-2旧カリキュラム系統表

	翰	4 Xii	後	XA	前	5 10	年後	XA.	前	朔	後 期
初年次教育											
											10013333322
教養教育											
医薬情報	英語VI	必修 調義 1.0				******		********			
			医薬情報学 ヒューマニズム論IV	必修 講義 2.0 必修 講義 0.5		/ 必惟 調繭	X 5				
	医療福祉学根論	必修 講義 1.0	(業害とその防止)		(医療倫理)						
	社会保障論 医療統計学概論	遊択 調義 1.0 必修 調義 1.0			薬剤疫学	必修 課義	1.0				
医療・倫理と 社会薬学	Market Track				#MXT	2.5 MH					
红云栗子	地域医療学	老修 講義 1.0	1								
	セルフメディケーション学	必修 調義 1.0	(東京関連法制論 (東京関連法制論	必修 調義 2.0							
					素别経済学	必修 講商	1. 0				
******		********	***********		**********	******		*********			*********
			臨床薬物動態学)	杂柳 推荐 10	数在宣传的数字 ()	A# 118					
	調剤学	老师 講義 1.5		2.5 0.6	施外州切斯市于 II	CP MM	1. 0				
			日本薬局方各論	必修 調報 0.5							
基礎と臨床											
	画物治療学	必修 講義 2.0	■ 薬物治療学Ⅲ	必修 講義 2.0	Lance Commence						
			感染制御学	企業 講義 1.0	悪性腫瘍学 緩和薬物療法学	必修 Ц森 必修 Ц森					
	栄養療法学 臨床薬理学	遊択 講義 1.0 必修 講義 2.0									
	漢方医薬学	必修 講義 2.0	0								
					臨床漢学総論	必修 講義	3. 0				
	代謝毒性学	必惟 調商 1.0									
健康と環境	地球環境学 サブリメント概説	選択 講義 1.0									
	2222214	an Ma			薬歴管理学	业等 協裁			******		
	Name of the last				処方解析学 臨床3ミュニケーション演習	必修 講義 必修 講義					
	演習》(簡別業 務計算演習) 大白 VI(開刊・編 舊	必修 演習 1.0			演習VII(薬剤師 実務演習)	必修 演習	1.5				
	開稿 . 传水电影	必修 実習 1.0	実務実置事前学習 (臨 床能力(技能・経度)演	必修 宝里 4.5	臨床薬学実習	. de pu	2.0				
柔剂鸽実務			総合演習 (程床能力(知識)	必修 漢智 2.0	(乘州師実務直前実習	OB AN					
			演習) 実置VI (コミュニケーショ ン・D	必修 実習 1.0							
	1		1 36 30 - TOLIAC 30 金				病院実習	必修 実習 10 0	140 110	必修 実置 田田	
							薬局実習	必修 実習 10 0	(薬局実習)	必修 実習 (1) 演習以(
卒業研究 松合字型			卒黨研究	必修 漢智 20 0	(卒業研究)	必修 演習	28 0 (卒業研究)	必修 演習 ci i	(卒業研究)	ドバンス 必修 演習 pt p	C@#/
総合演習自由科目	セミナーV	7.1	0 セミナーVI	2.6	セミナーVI		2.0 セミナーWII	2.6	セミナー以	総合演習	必修 演習 6.

(基礎資料5) 語学教育の要素

旧カリキュラム

科目名	開講年次		要	素	
行日石	用碘牛次	読み	書き	聞く	話す
英語I	1	0			
英語Ⅱ	1	0		0	
英語皿	2	0		0	
英語IV	2	0		0	
英語V	3	0	0		
英語VI	3	0	0		
英語Ⅷ	4	0	0		
ドイツ語 I	1	0	0	0	0
ドイツ語Ⅱ	1	0	0	0	0
実用英会話	3	0	0	0	0
演習区(薬剤師実用英会話)	6			0	0

改訂カリキュラム

科目名	開講年次		要	素	
		読み	書き	聞く	話す
英語I	1	0			
英語Ⅱ	1	0		0	
英語皿	2	0		0	0
英語IV	2	0	0	0	
英語V	3	0	0		
英語VI	3	0	0		
医薬英語	3	0	0		
実用英会話	2	0	0	0	0
実用中国語	2	0	0	0	0
アドバンスト演習(薬剤師実用英会話)	6			0	0

[注] 要素欄の該当するものに○印をお付けください。

(週) 第1週	/	(日)		1 (9:00~10:30)	教室 2 (10:40~12:10)	教室	3 (13:00~14:30)	教室	4 (14:40~16:10)	教室	5 (16:20~17:50)	-
	月	1										_
		H								-		_
	火									-		_
	水	\forall	_					-		+		-
			4	U-5 a gran	調剤学① S102・S107・S201・S202・					H		-
	木	1日	5	W171-(1-	\$203 · \$303 薬歴管理学① \$504 · \$505 · \$605	177				H		
1			4	V1:401	Fee							_
	金	2日	5	(1)71/(2)	***							
			4	71-24-		100						_
	±	3 日	5	V A = 01	0.0000	mi						
第2週	B											
	月	4日	4	k154.0	-30-4	v V						
	**	- 11	5	BHIDMIC SMALLINS	1200	7 - 0	4				1	
	火	5日	4	V 10 1 4 2						1		
			5		- Leleon		0.575-07					
	水	6日	4	地域医療学① \$104 · \$105 · \$107	Profession to							
			5	(CAMP)	ヒューマニズム論 V ① S101・S601		151111					
	*	7日	4	171071	調剤学② \$201 · \$202 · \$303 · \$305 · \$306	100						
			5	and before	藻歷管理学② \$504 · \$505 · \$605		171100411					_
	金	8日	4	211171 -01211	179950		E (1-4 -					_
			5	III No.	F: III I	1 = 3	(artist	1				
第3週	±		1									
	H											
	月	9日	4									
		\vdash	5	Prices La	= == 1 - HE	LIN	-1==					_
	火	10日	5	risk:			MARTHE		113131			
		\forall	4	地域医療学②	8 6 11 7 1	+	2					_
	水	118	5	\$104 · \$105 · \$107	ヒューマニズム論V② S101・S601	-	11 may					
			4	gi k ross	S101・S601 調剤学③ S203・S204・S206・S301・ S302・S305・S402							_
	*	12日	5	緩和薬物療法学⑤ S406	\$302 · \$305 · \$402		515	J.S.				
	金		717									
	±		100									100

(週) 第1週	(曜日)	(1)	(74)	1 (9:00~10:30)	教室 2 (10:40~12:10)	教室	3 (13:00~14:30)	教室	4 (14:40~16:10)	教室	5 (16:20~17:50)	
	В		P or									
-	Л											
-	火											
-	*											
-	*											
-	金											
第2週	±											
	B	1										
	月	13日	4	24 11	1727-11							
			5	Pt. ye +	ATABAN		W. Krass					
	火	148	4	000000	ETUSONES:	1/1	(RE (B)	100				
			5	(3 2 9 1	5.12104	9	薬歴管理学③ \$504・\$505・\$605					
	水	15日	4	地域医療学③ S104・S105	Search from 19 China		実置Ⅵ① 散剤1.2 S202・S207・S210		実習 VI ② 散剤1.2 S202・S207・S210	Condi		
			5	() = h # k =	ヒューマニズム論V③ S601							
	*	16日	4	0.42464	調利学④ \$206 · \$302 · \$402 · \$403 · \$406		実置Ⅵ③ 散剤1.2 S202・S207・S210		実置Ⅵ④ 散剤1.2 S202・S207・S210			
			5	(charrens)	薬歴管理学④ S504・S505・S605		(Ayrested)					
			4	01076×	michigan Saulan		FORT					
	金	17日	5	1534-	VIII WYD II A X	1	(In her					
	±			70.00								
第3週	B											
Ī			4	21-27-1-1101	0.1170-0-	-						
	月	18日	5	P 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	臨床薬学総論① S504・S505・S602)	臨床業学総論② S504・S505・S602	111	臨床薬学総論③ S504・S505・S602	/		
			4	(T) ± -2 = ()	O V GREGAR	1	E#111/E11/6 /		144104			
	火	198	5	臨床薬学総論④ S504・S505・S602	臨床薬学総論⑤ S504・S505・S602	-		11				
	水	20日	4	地域医療学④ \$104 · \$105	1) z +/(+(m)		実習 VI ⑤ 錠剤1. 2 S202・S207	312	実習Ⅵ⑤ 錠剤1. 2 S202 - S207			
			5	() If a h-h-h-s	(V) permit are	-	(nga-					
			4	g = 1.5 do	調利学⑤ S206・S302・S402・S413							-
	木	21日	5	臨床薬学総論⑥ S504・S505・S602	臨床薬学総論⑦ S504・S505・S602		臨床薬学総論® S504・S505・S602					
			4	IONDA = S TIDE SAPE	HOLDER C		nave		+7=107			-
	金	22日	5	臨床薬学総論⑨ S504・S505・S602	臨床薬学総論① S504・S505・S602	100	臨床薬学総論① \$504·\$505·\$602					
	±		100	No. of the last								

(週)	(曜日)	(日)	(学年)	1 (9:00~10:30)	教室	2 (10:40~12:10)	教室	3 (13:00~14:30)	教室	4 (14:40~16:10)	教室	5 (16:20~17:50)	85
第4週	B												
			4	0									
	月	23日	5	M =		R I I I		-					
			4	1-1		well a face and		i a namana		III			
	火	24日		臨床薬学総論①		臨床業学総論①		臨床薬学総論(9)		臨床薬学総論⑤			+
		Н	-	\$504 · \$505 · \$602		\$504 · \$505 · \$602	-	S504 · S505 · S602		S504 - S505 - S602			+
	水	25B	4	地域医療学③ \$104・\$105				実習 VI① 錠剤1.2 S202・S207		実習VI® 錠剤1.2 S202・S207			
			5	兼歴管理学⑤ S504・S505・S605				11004					1
			4		1	調剤学⑥ \$209		演習VI① S207·S413		演習VII② S207·S413			T
	木	26日	5	臨床薬学総論⑤ S504・S505・S602		臨床薬学総論① \$504・\$505・\$602							1
1			4	3304 - 3303 - 3002		3304 - 3303 - 3002	+				H		t
	金	27日	5	ヒューマニズム論V④			+						+
	4			\$601	1		9-91						
第1週	±												
	В												
	月	28日	4										
			5	臨床薬学総論① S504・S505・S602		臨床薬学総論③ S504・S505・S602	-	臨床薬学総論② S504·S505·S602					
	de	20.5	4	11.000									
	火	29日	5	(The)		Ware e-	-	110000					
	*	30日	4	地域医療学(§ S104・S105		44-11-		実習VI® 鑑査1. 2 S203 · S210 · S211		実習VI① 鑑査1. 2 S203 · S210 · S211			
			5	臨床薬学総論② S504・S505・S602		臨床業学総論② S504・S505・S602		臨床薬学総論② \$504・\$505・\$602					
	*	31日	4	(1111 m)		Ħ		実習Ⅵ⑪ 鑑査1. 2 S203 · S210 · S211		実置Ⅵ① 総査1.2 S203 - S210 - S211			
			5	臨床薬学総論② S504・S505・S602		臨床薬学総論⑤ \$504・\$505・\$602		臨床薬学総論⑤ S504・S505・S602					1
			4	H1-2H4-	-	Market A.							1
	金	32日	5	residence religion									+
	±	95											
第2週	В												-
	п										1 - 1		
	А	33日	4		1								1
			5			In its area	1						
	火	34日	4	17914		15021		4		Ī			
			5	臨床薬学総論① \$504・\$505・\$602		臨床薬学総論団 S504・S505・S602	115	臨床薬学総論② S504・S505・S602		臨床薬学総論③ S504・S505・S602			
	*	35B	4	(15)+-		p+3++-		実習Ⅵ⑪ 輸液1.2 S302・S411・S412・S413		実置VI④ 輸液1.2 S302・S411・S412・S413			
			5										
	*	36日	4	CT-b-C				実習VI⊕ 輸液1. 2 \$302 · \$411 · \$412 · \$413		実習VI値 輸液1. 2 S302・S411・S412・S413			
1													

第2週			(学年)	1 (9:00~10:30) 家	室 2 (10:40~12:10)	效室 3 (13:00~14:30)	教室 4 (14:40~16:10)	教室 5 (16:20~17:50)	_
	金	37日	4			4 1 1 1 1 1			
			5						
	±								
第3週	В								
ŀ		100018							
			4		10111	実習VI① 軟膏	実習VI® 軟膏		
	月	38日				S202 · S207 · S210	\$202 - \$207 - \$210		
			5						
				***	******	実習 VI ③	実習V®		
	火	39日	4	演習VII③ S207 · S413	演習VII ④ S207 · S413	水剤 S202・S207・S210	水剤 S202・S207・S210		
		-							_
H			5						_
			4	1000+1	and the same				
	水	40日							
			5						Ī
İ									_
	木	41 B	4	61-4600					
	7,	-		臨床コミュニケーション演習	演習WII①				
		Ш	5	①ガイダンス S603・S604・S606	\$105				
			4						
	金	42日	5			演習/順②区分 1 - 2	演習4個③区分 1 -3		
						\$105	\$105		
	±								
第4週	B								
			4		i colore				
	A	43日	5	演習權④区分 1 -4	臨床コミュニケーション演習	演習4個⑤区分Ⅱ-1	演習哪⑥区分Ⅱ-2		
			4	\$105	② S603 · S604 · S606	\$105	\$105		_
	火	44日	-	臨床コミュニケーション演習	臨床コミュニケーション演習	1000	1 7 2 2	1211-1	
			5	③ A B \$603 · \$604 · \$606	③C D S603 · S604 · S606			- 1	
	水	45日	4	地域医療学⑦ S104・S105	C N S N N S				
	//	450	5	演習WI⑦区分 II - 3 \$105	演習WI®区分 II -4 \$105	演習帽⑨区分 II -5 \$105	演習WIO区分 II -6 \$105		
			4	he in succession	調剤学⑦ \$205 · \$206 · \$207 · \$305 ·				_
	*	46日	5	臨床コミュニケーション演習 ④AB	\$306・\$602 臨床コミュニケーション演習 ④CD	演習咖啡①区分 II -7	臨床コミュニケーション演習 ⑤		_
		\vdash	3	S603 · S604 · S606	S603 · S604 · S606	\$105	S603 · S604 · S606		_
	金	47日	4	(1944)	order or pro-	3 -			
			5	臨床コミュニケーション演習 ⑥ S603・S604・S606	演習WI②区分III-1 \$105	演習VIII (10区分III - 2 S105			
	±				1				
第5週	B								
			4						
	A	48日		臨床コミュニケーション演習	臨床コミュニケーション演習				
			5	⑦A B \$603 · \$604 · \$606	⑦CD \$603 · \$604 · \$606				

(週) 第5週		(日)			效室 2 (10:40~12:10) #		牧室 4 (14:40~16:10)	教室		-
	火	49日	4	103-		(+:			17	
			5	演習WI@区分III-3 S105	演習WIIIOS分III-4 \$105	演習VIII	演習WII①区分III-6 S105			
			4	臨床薬理学(9 \$207	1 p = 1 to 1			-		
	水	50日	5	臨床コミュニケーション演習 ⑧AB	臨床コミュニケーション演習 ⑧CD	演習₩Φ区分Ⅲ-7	1575			+
	_	\Box	3	S603 · S604 · S606	S603 · S604 · S606	\$105				_
	*	51日	4							
			5	演習WI区分 ・ 、臨身 演習試験(授業時間外)	Rコミュニケーション演習 S105・S603・S604・S606	臨床コミュニケーション演習 ① S603・S604・S606				
			4		臨床薬理学® \$207	演習VII⑤ S207 · S413	演習VI® \$207 · \$413			
	金	52日	5	Charles and Charles	MAYICAL AR					
	±			(
第1週	В									
			4							
	Я	53日	5	17日本中の長り 大水市によるなが年には1 17日本に	TA 6 P T S I S P T P T P T P T P T P T P T P T P T P					
			4		17012-0091	2				
	火	54日	5	transiti	TOMPSH STATES					
			4	地域医療学® \$104 · \$105						
	水	55日	5							
	*	56日	4	a 7 a 9 4	調剤学® S201・S401・S403・S404・ S405・S406・S501・S502・ S506					
			4	m = 1						
	金	57日	5							
	TO ST	1000								
第2週	±									_
	B									
	月	58日	4							
	<i>n</i>	200	5							
			4	\$ F-3	臨床藥理学① \$207	luk-s-	1124		r som	
	火	59日	5							
		\Box	_	地域医療学⑨						_
	水	60日	5	\$104 · \$105	(5) 11					
		H			1	調剤学⑨				_
	*	61日	4		<u> </u>	S102 · S107 · S408				
	_		5							
	金	62日	4	演習VI⑦ S207·S413						
1	-	VE 13	5							

第2週	±			Nation Hand	100	2 (10:40~12:10)	教室 3 (13:00~14:30)	教室 4 (14:40~16:10)	教室 5 (16:	20~17 : 50)	
第3週	В										
1	Я										
ŀ			4		-						
	火	63日	5			71 (de					_
-		+		地域医療学师		A-m-1-1		4			_
	水	64日		地域医療学⑩ S104・S105		lefi					_
1	_		5				物が多の				-
	*	65日		2 Higher			調料学⑩ S102・S107・S409				
-			5	US COT I							_
	金	66日	4	2:92			演習VII⑨ S207・S413	演習VII			
			5								
	±									X 11242	
第4週	В									4 - 4	ĺ
İ			4								-
	月	67日	5				12-63				
İ			4	(in v in		70-1-	29				_
	火	68日	5								
			4								-
	水	69日	5				11 700,000				
			4			6-51-	演習Vii① S207・S413	演習VII① \$207·\$413	And And And And And And And And And And		-
	木	70B	5				3207 - 3413	3207 - 3413			_
		H	4								-
	金		5								
										S-1-10	-
第1週	±										
	B										
	A		4								_
		H	5								_
	火		4								_
			5								_
	水	718	4				- = 3 = 3 =				
			5								_
			4				-7-1				
	*	72日	5	臨床薬学実習⑦ 受付・服薬 5104・S209・S602・S603・		臨床薬学実習® 受付・服薬 5104・5209・5602・5603・ 5604・5605・5606・5701	臨床薬学実習⑨ 受付・船薬 S104・S209・S602・S603・	臨床薬学実習(1) 受付・服薬 S104・S209・S602・S603・			
				S604 - S605 - S606 - S701		\$604 · \$605 · \$606 · \$701	S604 · S605 · S606 · S701	S604 · S605 · S606 · S701			

(週) 第1週	(曜日)	(日)	(子平)	1 (9:00~10:30)	教室 2 (10:40~12:10)	教室 3 (13:00~14:30)	教室 4 (14:40~16:10)	教室	5 (16:20~17:50)	-
	金	73日	4	臨床薬学実習① 調剤・鑑査	臨床藥学実習① 類果和 (# 大	臨床業学実習①	臨床薬学実習®			
			5	\$102 - \$103 - \$105 - \$106 - \$203 - \$210 - \$211 - \$301 - \$305 - \$306 - \$406 - \$605 - \$701	調利・総査 5102・S103・S105・S106・ S203・S210・S211・S301・ S305・S306・S406・S605・ S701	調料・鑑査 \$102 - \$103 - \$105 - \$106 - \$203 - \$210 - \$211 - \$301 - \$305 - \$306 - \$406 - \$605 - \$701	調剤・鑑査 5102・5103・5105・5106・ 5203・5210・5211・5301・ 5305・5306・5406・5605・ 5701	Ē		
	±							10		
第2週	B									
Ì			4							1
	Я	74日	5	臨床藥学実習⑤ 〇 T C \$103 · \$602 · \$603 · \$604 · \$605 · \$606 · \$701	磁床薬学実置値 OTC S103 - S602 - S603 - S604 - S605 - S606 - S701	臨床藥学実置① 〇丁C S103 - S602 - S603 - S604 - S605 - S606 - S701	臨床薬学実習① 調新・経査 〇 T C S103・S802・S603・S604・ S605・S606・S701			
ı			4				7515			
	火	75日	5	臨床薬学実習® 在宅 5103・5104・5105・5106・ 5602・5603・5604・5605・ 5606・5701	臨床業学実習您 在宅 \$103 · \$104 · \$105 · \$106 · \$602 · \$603 · \$604 · \$805 · \$606 · \$701	臨床薬学実習① 在宅 S103・S104・S105・S106・ S602・S603・S504・S605・ S606・S701	臨床業学実習② 在宅 5103・5104・5105・5106・ 5602・5603・5604・5805・ 5606・5701			
Ì			4							
	水	76日	5	臨床薬学実習② 薬馬患者 \$103 - \$104 - \$105 - \$106 - \$209 - \$606 - \$701	臨床薬学実習② 薬販患者 5103 - 5104 - 5105 - 5106 - 5209 - 5606 - 5701	臨床薬学実習② 薬局患者 \$103 - \$104 - \$105 - \$106 - \$209 - \$606 - \$701	臨床薬学実習⑤ 薬局患者 5103・5104・5105・5106・ 5209・5606・5701			
	*									
	金			No. 1						1
	±									1
第3週	B									
	А									
	火									
	*									
	*		1,7							3
	金									
Mr. 4 100	±									1
第4週	B		Lav							
			4			4 5 8 6 8				
	A	77B	5	臨床薬学実習① 入院時面談 5103・5104・5105・5106・ 5304・5802・5803・5604・ 5605・5806・5701	数床業学業習(0) 人院時面談 5103 - \$104 - \$105 - \$106 - \$304 - \$502 - \$503 - \$504 - \$505 - \$506 - \$701	臨床業学業習母 入院時面數 5103 - 5104 - 5105 - 5106 - 5304 - 5502 - 5503 - 5504 - 5605 - 5506 - 5701	臨床業学実習金 入院時面数 3103 - 3104 - \$105 - \$106 - 3304 - \$602 - \$603 - \$504 - \$605 - \$606 - \$701			
			4							
	火	78B	5	臨床業学実習切 注射・製剤 S206・S410・S411	臨床薬学実習② 注射・製剤 3206・5410・5411	臨床業学実習② 注射・製剤 5206・5410・5411	臨床薬学実習(9) 注射・製剤 \$206・\$410・\$411			

(基礎資料6) 4年次の実務実習事前学習のスケジュール (前期)

(月)	(週)	(曜日)	(日)	(学年)	1 (9:00~10:30)	教室	2 (10:40~12:10)	教室	3 (13:00~14:30)	教室	4 (14:40~16:10)	教室	5 (16:20~17:50)	教室
8月	第4週			4										
		水	79日	5	臨床薬学実習⑤ 退院時指導 \$103 - \$104 - \$105 - \$106 - \$602 - \$603 - \$604 - \$605 - \$606 - \$701		臨床藥学実習⑤ 追院時指導 \$103 - \$104 - \$105 - \$108 - \$602 - \$603 - \$604 - \$605 - \$606 - \$701		臨床薬学実習団 退税助指導 \$103 - \$104 - \$105 - \$106 - \$502 - \$603 - \$604 - \$605 - \$606 - \$701		臨床薬学実習途 退院時指導 \$103 · \$104 · \$105 · \$106 · \$602 · \$603 · \$604 · \$605 · \$606 · \$701			
				4										
		*	80日	5					1100					
				4										
		金	81日	5	SEE .									
		±												

- [注] 1 4年次の実務実習事前学習のスケジュールを例示に従い、実務実習モデル・コアカリキュラムの「学習方略」で用いられているに3番号(主となる)と学習方法を記入してください。表は月ごとに作成し、シートが足りない場合はシートをコピーして適宜追加し、作成してください。
 - 2 大学行事、祭日等は、簡潔に記入してください。 (例示: 学祭、OSCE、予備日、祝日)
 - 3 上記1の内容が記載されていれば、大学独自の様式の表を提出することができます。

(週)	(曜日)	(日)	(学年)		教室	2 (10:40~12:10)	教室	3 (13:00~14:30)	教室	4 (14:40~16:10)	教室	5 (16:20~17:50)	3
第1週	月	1日	4	薬事関連法制論① \$203	77.	61777	10	n - Two	10	y	-		
	火	2日	4	薬物治療学III① \$503	111	late of the			\top				1
	7k	3 日	4	感染制御学① S503		感染制御学② S503	-	1 2 2 2 1 1 1 1	11.				+
	*	4日	4	No. on		0.575.01	0						+
	金	5日	4	E = - 8		ECT-		実習VII① DI S305 - S306		実習VII② D I S305 - S306			
	±												
第2週	В												
	Я	6日	4	. actoo		0.074.00		実置WI③ DI S305・S306		実習VI④ D I S305・S306	11/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1		
	火	7日	4	000000		E + +4 + -	(0)						1
	水	8日	4	感染制御学③ \$503		Custon	10	東雷WI⑤ D I S305・S306	N. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	東習VI⑥ D I S305・S306			
	*	9日	4	薬事関連法制論⑤ S203	-	() 14±	4	ヒューマニズム論N① S506	1111				
	金	10日	4	Figure 1	1.0	产 教育 宝 A Isan	-1	ARROTT	0.7				
	±												1000
第3週	В												
	月							V. The					
	火	118	4	XC20+		(, X a m times)		実習VII⑦ TDM S208	11	実習VI® TDM S208			
	水	12日	4	感染制御学④ \$503		020091	Q.	GASAY!	(=	LARGERN	True.		1
	*												
	金												
	±	-17								Bulling.			
第4週	B												
	Я												
	火	13日	4	S:VAV		myersyr. A	110	実習VI ⑨ TDM S208	100 M	実習VI ① TDM S208	# T		
	水	148	4	045E00		pane)	*	実習VI① 丁 D M S208		実習VI① T D M S208	12 TO 12 TO		
	*	15日	4	Proxist-		Bunker	/111	284=5.3869	71	V = 7-0-6	H		
	金	16日	4	\$000 P		0247550		実習VII① 調剤 S103・S305・S306・S603・ S606	870 23.1 1 mg.	実習VI① 調剤 S103・S305・S306・S603・ S606	383		
	±												
第1週	В												
	月	17日	4	2001-2		(* = 10) ·		実習VI① 調剤 S103・S305・S306・S603・ S606	213	実置VII① 調剤 S103・S305・S306・S603・ S606	1000		

(週) 第1週	(曜日)	(日)	(学年)	1 (9:00~10:30)	教室	2 (10:40~12:10)	教室	3 (13:00~14:30)	教室	4 (14:40~16:10)	教室	5 (16:20~17:50)	85
界「題	火	18日	4	10027		py kerima n	10	実置VI① 調剤 S103・S305・S306・S603・ S606		実習VI① 調剤 S103・S305・S306・S603・ S606			
	水	19日	4	Feat		00 T = A = 0	10	95.18		Tentent	10		1
	*	20日	4	1-14-71		2) 70 0	hii	0 = 5 = 2 4 1		(+()-)			T
	金	21日	4	W E E M A		(17.00 to 2 /1.0	(h)	実習VII① ベッドサイド S103・S603・S604・S605・ S606		実習VII② ベッドサイド S103・S603・S604・S605・ S606			
	±								B				
第2週	В												
	Я											Andrew Herri	
	火	22日	4	(=		il Henry	100	実習VIの ベッドサイド S103・S603・S604・S605・ S606		実習VIIの ベッドサイド S103・S603・S604・S605・ S606	e 4		
	水	23日	4	感染制御学® S414・S503		K EAR END		実置VII® ベッドサイド S103・S603・S604・S605・ S606		実置VII ② ベッドサイド S103・S603・S604・S605・ S606	(F)		
İ	*	24日	4	5114(10	, -	EDMFN	A.J.	2-94-12-04		Ori. Bathhaci a	-61		1
	金	25日	4	# 3 0 e		薬物治療学 ③ \$404・\$406	+	Do Fee	111	1 W P-2-1 4 1	111		1
	±	000								Year and			
第3週	Ħ							5 m = 11 m					
	Я	26日	4	e=1=2		NE LOAD		実置VIIの セルフ S103・S603・S606		実置VIの セルフ S103・S603・S606			
	火	27日	4	ēs ku	, ,	Fig. Section 11	a	実置VIIの セルフ S103・S603・S606	N.	実置VIIの セルフ S103・S603・S606			
	水	28日	4	# (p = 8		B (ET ES II	25	実習VII(型 セルフ S103・S603・S606	1	実置VIGD セルフ S103・S603・S606	VA PER		
	*	29日	4	(401215		BYARE		ヒューマニズム論N⑤ S506・S507			10.10		1
	金	30日	4	薬物治療学III① \$207	10	2+11072		A 8 1 9 1					1
	±				6							NS	
第4週	В												
	Я	31日	4	Emperor	1:	日子がおかり		其在日 :		至 香州 日			
	火	32日	4	素物治療学 III ① \$207	Ļ,	z.a / =(n(z)		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	22.1	KEV			
	水	33日	4	感染制御学® \$414・\$503	100	N S V t =	1	E1107 -	1		100		1
	*	34日	4	Fodadya		N. St. of St. of	-23	異 章 平 1		4,2	17		
	金	35日	4	F= 61	10	E-m Sov		2 km 4 c-			P-31		+
	±		1	S1-10-0		///	989		1				

(週) 第1週	(曜日)	(日)	(学年)	1 (9:00~10:30)	教室 2 (10:40~12:	10) 教室	3 (13:00~14:30)	教室	4 (14:40~16:10)	教室	5 (16:20~17:50)	
A7 1 200	B											THE ST
	A		4									
	火		4									
	水		4									
	*		4									
	金		4) = + ==			-		
	±	8	8 1	Environment of			E. 12. LESS 1				Sept 1	3
第2週	В											
	Я		4				U =			1		
	火		4									
	7k		4									
			4					+				
	*	H						+		-		_
	金		4	V. Company							INCOME A	
第3週	±					Later Control						
	В											
	月	36日	4	0.000	117 4224			-		_		
	火	37日	4	08-47	11/4/21/10					\perp		
	水	38日	4	Marcal T	11 P = = A = 1							
	*	39日	4	dant -	11/051910	100						
	金	40日	4	ASTE B	471622015	L)						
	±											
第4週	В	VIT.										
	A	41日	4	実務実習事前学習① 散剤1.2 S210 - S211	実務実習事前学習② 散剂1.2 S210・S211)	実務実習事前学習③ 散剤1.2 S210・S211	201 121 121 121 121 121 121 121 121 121	実務実習事前学習④ 散剤1.2 \$210 - \$211			
	火	42日	4	実務実習事前学習⑤ 水剤1.2 S210・S211	実務実習事前学習⑥ 水剤1.2 S210 - S211		実務実習事前学習⑦ 水剤1.2 \$210・\$211		実務実習事前学習® 水剤1.2 S210・S211			
	水			124.W/12=-111							100000	
	*	43日	4	実務実習事前学習⑨ 軟膏 S210 - S211	実務実習事前学習例 教書 S210・S211		実務実置事前学習① 軟膏 S210 · S211	ign The	実務実置事前学習⑰ 軟膏 S210・S211			
	金	44日	4	WWW Not or the	を行っておりた。 10日 10日 1	7.	181201757		1.00 公司 B E T E II	100		
	±								ALTERNATION OF THE PARTY OF THE			
第5週	В	100										
	月	45日	4	実務実習事前学習① 鑑査1.2 \$203 · \$210	実務実習事前学習① 鑑査1.2 \$203 · \$210	211	実務実習事前学習③ 鑑査1.2 \$203 - \$210	E	実務実習事前学習団 鑑査1.2 \$203 · \$210	52.6		

第5週						***						_
	火	46 El	4	実務実習事前学習① 無菌1.2 S411 - S412		実務実習事前学習② 無菌1.2 \$411 - \$412	E	実務実習事前学習② 無菌1.2 S411 - S412		実務実習事前学習® 無菌1.2 \$411 - \$412		
	水	47日	4	実務実習事前学習⑤ 患者対応1.2.3.4 \$603 - \$604		実務実置事前学習® 患者対応1. 2. 3. 4 S603 · S604		実務実置事前学習① 患者対応1.2.3.4 \$603 · \$604		実務実習事前学習億 患者対応1.2.3.4 S603・S604		
	*	48 El	4	実務実置事前学習(8 患者対応1.2.3.4 \$603 · \$604		実務実置事前学習® 患者対応1.2.3.4 S603・S604		実務実習事前学習⑤ 患者対応1.2.3.4 \$603、\$604		実務実習事約学習② 患者対応1.2.3.4 S603・S604		
	金	49 El	4	実務実置事約学習③ 情報提供1.2.3.4 S305・S306・S605・S606	- 1	実務実置事前学習③ 情報提供1.2.3.4 S305・S306・S605・S606		実務実習事前学習⑤ 情報提供1.2.3.4 \$305 - \$306 - \$605 - \$606		実務実習事前学習⑤ 情報提供1.2.3.4 S305・S306・S605・S606		
	±											
第1週	В											
	月	50日	4	実務実習事前学習① 情報提供1、2、3、4 \$305 · \$306 · \$605 · \$606		実務実置事前学習③ 情報提供1.2.3.4 \$305 · \$306 · \$605 · \$606		実務実習事前学習領 情報提供1.2.3.4 \$305 - \$306 - \$605 - \$606		実務実習事前学習领情報提供1.2.3.4 S305・S306・S605・S606		
	火	51日	4	実務実習事前学習⑪ 総合課題演習 5203・5210・5211・5305・ 5305・5411・5412・5603・ 5604・5605・5606		実務実習事前学習® 総合課題演習 5203 - S210 - S211 - S305 - S306 - S411 - S412 - S603 - S604 - S605 - S606		y 1: 0 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		1481		
	水	52日	4	A7782 14		\$100 miles (1) 10		実務実習事前学習① 総合課題演習 \$203 · \$210 · \$211 · \$305 · \$306 · \$411 · \$412 · \$603 · \$604 · \$605 · \$606		実務実習事前学習④ 総合課題演習 5203・5210・5211・5305・ 5306・5411・5412・5603・ 5604・5605・5606		
	*		4									-
	金		4									
	±											
第2週	В							3.5				_
	Я	53日	4	V == 1		4-5-						
	火	54日	4	114.2		V & A						
	水	55日	4	11 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1)+ <u>2</u>	-					
	*	56日	4	N. S. W.		in govern))					
	金	57日	4	V		H = 50	1					
	±									7.11		- 5
第3週	В											
	Я		4									
	火		4									
	水		4									_
	*	\Box	4									-
	金			7-1-1			1		6			
lł	±											

(基礎資料6) 4年次の実務実習事前学習のスケジュール(後期)

		(日)	(学年)	1 (9:00~10:30)	教室	2 (10:40~12:10)	教室	3 (13:00~14:30)	教室	4 (14:40~16:10)	教室	5 (16:20~17:50)	教室
第1選	B												
	月												
	火		4										
	水		4										
	*		4										
	金		4										
	±												
第2週	В							paint at					
	月		4										
	火		4										
	水		4										
	*		4					1,-2,00					
	金		4					All formary					
	±		1										

- [注] 1 4年次の実務実習事前学習のスケジュールを例示に従い、実務実習モデル・コアカリキュラムの「学習方路」で用いられているじ番号(主となる)と学習方法を記入してください。表は月ごとに作成し、シートが足りない場合はシートをコピーして適宜追加し、作成してください。
 - 2 大学行事、祭日等は、簡潔に記入してください。 (例示:学祭、OSCE、予備日、祝日)
 - 3 上記1の内容が記載されていれば、大学独自の様式の表を提出することができます。

学部名	学科名		入試の種類		平成24年度 入試(23年度 実施)	平成25年度 入試(24年度 実施)	平成26年度 入試(25年度 実施)	平成27年度 入試(26年度 実施)	平成28年度 入試(27年度 実施)	平成29年度 入試(28年度 実施)	募集定員数 対する入り 数の比率 年間の平均
				受験者数	22	21	21	30	36	21	71
			2.4	合格者数	22	18	18	9	19	- 11	1
			公募制	入学者数 (A)	21	17	17	9	16	10	1
	1			募集定員数 (B)	25	25	25	15	15	15	1
) (A/B#100 (%)	84. 0%	68. 0%	68. 0%	60. 0%	106. 7%	66. 7%	
				受験者数	81	77	89	109	47	44	1
	J 10	200	7	合格者数	81	77	88	105	47	44	1
		推薦入試	指定校	入学者数 (A)	81	77	88	104	47	44	
		7,104		募集定員数 (B)	50	50	50	60	50	50	
				A/B*100 (%)	162. 0%	154. 0%	176. 0%	173. 3%	94. 0%	88. 0%	
				受験者数	9	10	8	25	16	17	1
				合格者数	9	10	8	25	16	17	
			系列校	入学者数 (A)	9	10	8	25	15	17	
				募集定員数 (B)	30	30	30	30	30	30	
				A/B#100 (%)	30. 0%	33. 3%	26. 7%	83. 3%	50. 0%	56. 7%	
				受験者数	15	20	9	9	13	8	
				合格者数	15	20	9	9	13	8	
			同窓生子女	入学者数 (A)	15	20	9	9	13	8	9-1
				募集定員数 (B)	20	20	20	20	10	10	
薬				A/B*100 (%)	75. 0%	100. 0%	45. 0%	45. 0%	130. 0%	80. 0%	
	薬	1		受験者数	13	19	24	17	/ /	/	
	*			合格者数	13	19	16	12		/	
		AO	後継者育成	入学者数 (A)	13	19	16	12	/-	1	
		入試	2000	募集定員数 (B)	15	15	15	15			
				A/B*100 (%)	86. 7%	126. 7%	106.7%	80. 0%		/	
		1		受験者数	0	1	0	0		/	
				合格者数	0	1	0	0		/	
	学		障がい者	入学者数 (A)	0	1	0	0	/	/	
			144 T. H	募集定員数 (B)	2	2	2	2		/	
学				A/B*100 (%)	0. 0%	50. 0%	0.0%	0. 0%		/	
				受験者数	2	2	3	2	3		
				合格者数	2	2	2	0	1	2	
		社会人	社会人	入学者数 (A)	1	2	2	0	1	1	-
		入試	ших	募集定員数 (B)		3	3	3	3	3	
	科			A/B‡100 (%)	33. 3%	66. 7%	66. 7%	0. 0%			
				受験者数	174	251	280		33. 3%	33. 3%	
部				合格者数	99	127		319 84	280 188	254	
			A日程	入学者数 (A)	34	32	111	25		197	
			AHE	スチ有数 (A) 募集定員数 (B)		32	40	25	61	58	
				券朱疋貝奴(D) A/B*100(%)							
				A/B*100 (%) 受験者数	170	244	200	212	027	022	
				安映有奴 合格者数			265	312	237	233	
			B日程	□恰有致 入学者数 (A)	118 37	122 35	124	77	156	170	
			り口住	スチ有数 (A) 募集定員数 (B)		35	58	18	31	27	
		- 4-									
		一般入試		A/B*100 (%)	244	105		001	***	107	
				受験者数	344	495	545	631	517	487	
			ALP	合格者数	217	249	235	161	344	367	
			A+B	入学者数(A)	71	67	78	43	92	85	
				募集定員数 (B)		47	47	47	70	70	
		1		A/B*100 (%)	151. 1%	142. 6%	166. 0%	91. 5%	131. 4%	121. 4%	
				受験者数	38	50	57	65	55	56	
			C 44 HA	合格者数	3	11	3	16	33	30	
			C後期	入学者数 (A)	3	7	3	10	5	7	
				募集定員数(B)				3	5	5	

学部名	学科名		入試の種類		平成24年度 入試(23年度 実施)	平成25年度 入試(24年度 実施)	平成26年度 入試(25年度 実施)	平成27年度 入試(26年度 実施)	平成28年度 入試(27年度 実施)	平成29年度 入試(28年度 実施)	募集定員数に 対する入学者 数の比率(6 年間の平均)
				受験者数	222	258	270	313	246	224	
			4,447	合格者数	84	73	70	65	124	169	
			前期	入学者数 (A)	17	9	- 11	14	18	44	
		200		募集定員数(B)	12	12	12	12	24	24	
薬		センター		A/B*100 (%)	141. 7%	75. 0%	91. 7%	116. 7%	75. 0%	183. 3%	
		入試		受験者数	25	33	29	30	27	22	
	薬			合格者数	3	3	3	6	11	16	
			後期	入学者数 (A)	0	0	0	0	3	3	
				募集定員数 (B)	3	3	3	3	3	3	
学	学			A/B*100 (%)	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	100.0%	100. 0%	
-	-			受験者数	771	986	1, 055	1, 231	960	883	
				合格者数	449	483	452	408	608	664	1 1
		学	科計	入学者数 (A)	228	229	232	226	210	219	106. 7%
	科			募集定員数(B)	210	210	210	210	210	210	
	1			A/B*100 (%)	108. 6%	109. 0%	110. 5%	107. 6%	100.0%	104.3%	
部				受験者数							
				合格者数							編入学実施実
		編(転)入試験	入学者数 (A)							績なし 転入学制度な
		100		募集定員数(B)							L
				A/B*100 (%)							

- [注] 1 実施している全種類の入試が網羅されるように「入試の種類」の名称を記入し、適宜欄を設けて記入してください。 なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。
 - 2 入試の種類ごとに「募集定員数 (B) に対する入学者数 (A) 」の割合 [A/B*100 (%)] を算出してください。
 - 3 「留学生入試」に交換留学生は含めないでください。
 - 4 各入学 (募集) 定員が若干名の場合は「若干名」と記入してください。
 - 5 6年制が複数学科で構成されている場合は、「学部合計」欄を設けて記入してください。
 - 6 薬科学科との一括入試の場合は、欄外に「(備考)○年次に・・・・を基に学科を決定する。なお、薬学科の定員は△△△名」と注を記入してください。

(基礎資料8) 教員・職員の数

表1. 大学設置基準(別表第1)の対象となる薬学科(6年制)の専任教員

教授	准教授	専任講師	助教	合計	基準数 1)
27名	22名	16名	2名	67名	35名
上記における路	床実務経験を	有する者の内数	-		
教授	准教授	専任講師	助教	合計	必要数 2)
8名	5名	5名	0名	18名	6名

- 1) 大学設置基準第13条別表第1のイ(表1) 及び備考4に基づく数
- 2) 上記基準数の6分の1(大学設置基準第13条別表第1のイ備考10) に相当する数

表2. 薬学科(6年制)の教育研究に携わっている表1. 以外の薬学部教員

助手 1)	兼担教員 ²⁾
O名	0名

- 1) 学校教育法第92条⑨による教員として大学設置基準第10条2の教育業務及び研究に携わる者
- 2) 4年制学科を併設する薬学部で、薬学科の専門教育を担当する4年制学科の専任教員

表3. 演習、実習、実験などの補助に当たる教員以外の者

TA	SA	その他 1)	合計
7名	166名	98名	271名

1) 実習などの補助を担当する臨時、契約職員など。

表4. 薬学部専任の職員

事務職員	技能職員 1)	その他 2)	合計
22名	0名	O名	22名

- 1)薬用植物園や実験動物の管理、電気施設など保守管理に携わる職員
- 2) 司書、保健・看護職員など

(基礎資料9) 専任教員(基礎資料8の表1)の年齢構成

	教授	准教授	専任講師	助教	合計	比率
70代	0名	0名	0名	0名	0名	0.00%
60代	9名	1名	1名	0名	11名	16.42%
50代	15名	7名	0名	0名	22名	32.84%
40代	3名	12名	6名	0名	21名	31.34%
30代	0名	2名	8名	1名	11名	16.42%
20代	0名	0名	1名	1名	2名	2.99%
合計	27名	22名	16名	2名	67名	100.0%

専任教員の定年年齢:(63歳)

(参考資料) 専任教員(基礎資料8の表1)の男女構成

	教授	准教授	専任講師	助教	合計	比率
男性	22名	14名	8名	1名	45名	67.16%
女性	5名	8名	8名	1名	22名	32.84%

(基礎資料10) 教員の教育担当状況

表1. 薬学科(6年制)専任教員(基礎資料8の表1)が担当する授業科目と担当時間

学科 11	職名 2)	H	E		名	年齢	性別	学位称号	現職就任 年月日	授業担当科目 31		授業時間 4	年間で平均した 週当り授業時間 ⁵¹																
4.4	数据							CCCC		薬学概論I	-	9.00	0.3																
薬学科	教授 (学長)	渡	辺	泰	裕	64	男	薬学博士	2000. 4. 1	病態生化学Ⅱ	100	10.50	0.3																
	75.59							11111111		授業担当時間の合計		19.50	0.6																
										生物薬剤学Ⅱ		30.00	1,0																
										介護福祉体験実習	0	3.00	0.1																
										生物薬剤学		30.00	1.0																
										演習Ⅴ		13.50	0.4																
										実習Ⅴ	0	9.00	0.3																
薬学科	教授	渡	辺	_	34	61	男	薬学博士	2007. 4. 1	実習 V (薬剤系実験)	0	24.00	0.8																
	1							200	100000000000000000000000000000000000000	総合演習 II		13.50	0,4																
										総合演習 II (卒業延期生·薬剤系)		1.50	0.0																
										総合演習 I (ゼミ演習)		7,50	0.2																
										総合演習 Ⅱ(薬剤系)		3.00	0.1																
										(院)病態制御薬剤学特論		7.50	0,2																
			_			-	-			授業担当時間の合計		142.50	4,7																
										臨床薬物動態学 I		15.00	0,5																
	1 (臨床薬物動態学Ⅱ		15.00	0.5																
	1									臨床薬学実習(入院時面談)		60,00	2,0																
										総合演習 Ⅱ(薬剤系)		1.50	0,0																
	1000									薬学生入門(クラス担任 区分Ⅰ・Ⅲ)		9,00	0,3																
薬学科	教授	icts.	т	/100	+	61	m	李林林山	0000	早期体験実習	0	1.50	0,0																
来于村	(実務)	20	W	16	夫	61	男	薬学博士	2000. 4. 1	日本語表現法	_	3.00	0.1																
	1 2 2									介護福祉体験実習	0	1.50	0,0																
		l.								実習 V (報告書作成指導)	0	1.50	0,0																
									1	総合演習 I(ゼミ演習)		10.50	0.3																
										総合演習 Ⅱ(クラス担任)	-	13,50	0,4																
										(院)臨床薬物動態学特論		7.50	0.2																
	-		_		_	-	-			授業担当時間の合計		139.50	4.6																
										生体有機化学I		15.00	0.5																
) b		薬品分析化学		30,00	1.0																
										生体有機化学Ⅱ		15.00	0,5																
	1									薬学基礎実習 I	0	61.50	2.0																
										薬学基礎実習Ⅱ(放射化学)	0	12.00	0,4																
										医薬化学 I		30.00	1.0																
																										医薬化学Ⅱ		16.50	0,5
																総合演習 I (物理·化学系薬学)		1.50	0.0										
								There		臨床薬学総論		4,50	0.1																
薬学科	教授	伊	藤	慎	=	59	男	博士	2007. 4. 1	総合演習 Ⅱ(物理·化学系薬学)		4.50	0.1																
						1	155	(薬学)	240,000	総合演習 I (卒業延期生 物理·化学系薬学)		3,00	0.1																
										薬学生入門(クラス担任 区分Ⅰ・Ⅲ)		9.00	0.3																
										日本語表現法(クラス担任)		3,00	0,1																
										早期体験実習(クラス担任)	0	1.50	0.0																
										介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1,50	0,0																
										実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50	0.0																
										総合演習 I (ゼミ演習)		6,00	0.2																
										総合演習 II(クラス担任)		12.00	0.4																
										(院)病態制御医薬品学特論		4.50	0,1																
							1			授業担当時間の合計		232.50	7.7																
										機能形態学皿(人体の構造と機能3)		30,00	1.0																
								- 1	-	薬学基礎実習Ⅱ(生命科学)	0	48.00	1.6																
										病態生化学Ⅱ		21.00	0.7																
										実務実習事前学習(計量調剤·散剂)	0	36.00	1.2																
										総合演習 I (生物系薬学)		1.50	0.0																
										臨床薬学総論(COPD)		6.00	0.2																
										演習IX(ガイダンスのみ)		0.00	0.0																
										総合演習 Ⅱ(生物系)		3.00	0.1																
薬学科	教授	ίI	111	祥	子	57	女	薬学博士	2007. 4. 1	総合演習Ⅱ(卒業延期生 生物系)		1.50	0.0																
										薬学生入門(クラス担任 区分 I・II)		9.00	0.3																
										早期体験実習(クラス担任)	0	1,50	0.0																
										日本語表現法(クラス担任)		3.00	0.																
										介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1,50	0.0																
										実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50	0.0																
										総合演習 I (ゼミ演習)	-	9.00	0.3																
										総合演習 Ⅱ(クラス担任)		15.00	0.5																
	1					1				授業担当時間の合計		15.00	0.3																

表1. 薬学科(6年制)専任教員(基礎資料8の表1)が担当する授業科目と担当時間

学科 11	職名 2)	氏	名	年齡	性別	学位称号	現職就任 年 月 日	授業担当科目 3)		授業時間 4	年間で平均した週当り授業時間								
								英語 [58.50	1								
								英語Ⅱ		60.00	2								
					1			英語皿		58.50	1								
				1				実用英会話		15.00	. 0								
				1				実用英会話		15,00	0								
								英語V		15.00									
薬学科	教授	大 野	拓 惠	53	女	博士	2014. 4. 1	英語VI		15,00	0								
	-100			1.50	100	(文学)	2000 17	演習IX(薬剤師実用英語)		12.00	0								
								薬学生入門(クラス担任 区分 I・II)		9.00	0								
				1				早期体験実習(クラス担任)	0	1.50	0								
				1				日本語表現法(クラス担任)		3.00	(
				1				介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50									
								実習V(クラス担任 報告書作成指導)	0	1,50	(
	_							授業担当時間の合計		265.50									
								機能形態学I		30.00									
								機能形態学Ⅱ		33.00									
								実習Ⅳ(循環器疾患)	0	42.00									
								臨床薬学実習	0	60.00									
								演習IX(フィジカル・アセスメント)		18,00									
	A Control					博士		薬学生入門(クラス担任 区分 [・Ⅲ)	1	9.00									
薬学科	教授	加納	誠一朗	52	男	(薬学)	2012. 4. 1	早期体験実習(クラス担任)	0	1,50									
						2.00.00		日本語表現法(クラス担任)		3.00									
		. 0						介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1,50									
								実習V(クラス担任 報告書作成指導)	0	1,50									
					1 0			総合演習 I (ゼミ演習)		10.50									
								総合演習 Ⅱ(クラス担任)		10,50									
								授業担当時間の合計		220.50	3								
				1				英語VI		18.00									
								医療統計学概論		7.50									
				1				医薬情報学		15.00									
				1				実務実習事前学習(情報提供)	0	48.00									
				1				実習VII(DI)	0	54.00	10000-00								
				1				薬剤疫学		7.50	7								
						100		演習IX(アドバンスト DI)		12.00									
薬学科	教授	黑澤	菜穂子	60	女	博士 (薬学)	2004. 4. 1	薬学生入門(クラス担任 区分Ⅰ・Ⅲ)		9.00	- 1								
	1					(947)	200	早期体験実習(クラス担任)	0	1,50									
				1				日本語表現法(クラス担任)		0.00									
											ľ			介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1,50			
																	実習V(クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50
													総合演習 I (ゼミ演習)		10.50	11)			
								総合演習 II(クラス担任)		15.00									
								授業担当時間の合計		201.00	F 1								
								輸液・栄養管理学		16.50									
				1				調剤学		15,00									
							1	演習Ⅷ(輸液計算)		18.00									
								実務実習事前学習(無菌調製)	0	24.00									
								実習VI(輸液)	0	37.50									
								臨床薬学実習(注射·製剤)	0	60.00									
薬学科	教授	翻	修徳	63	男	薬学博士	2000. 4. 1	総合演習 I(実務系)	9	4.50									
301.71	(実務)	-	-			W. 1. 14 T.	2000.47.1	総合演習 II (卒業延期生 実務系)	-	1.50									
								介護福祉体験実習(クラス担任)	0	0.00									
								実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50									
								総合演習 I (ゼミ演習)	9	9.00									
								総合演習 II (クラス担任)	_										
								授業担当時間の合計		15.00									
								授朱担当時間の告訴	_	202.50									
									8	3.00									
								実習Ⅵ(散剤)	0	37.50									
								実習団(医療面接 ベッドサイド)	0	36.00									
								臨床コミュニケーション演習		7.50	- 1								
								緩和薬物療法学		10.50									
								演習(区分Ⅲ 薬剤師実務演習)		10.50	5.1								
								臨床薬学実習(注射·製剤)	0	60.00									
DE MA E-1	教授	A	m u-	63	m.	博士	0015	演習IX(アドバンストDI)		12.00									
薬学科	(実務)	今田	发也	54	男	(薬学)	2015. 4. 1	臨床薬学総論(COPD)		10.50	1 = 10								
						1.3	1	総合演習 Ⅱ (病態·薬物治療)		4.50	7.10								
								薬学生入門(クラス担任 区分 I・II)		9.00									
				1				早期体験実習(クラス担任)	0	1.50									
								日本語表現法(クラス担任)		1.50	r								
								介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50	7. 30.11								
								総合演習 I (ゼミ演習)		10.50	T								
								総合演習 II (クラス担任)		13.50									
	1							授業担当時間の合計		229.50									

表1. 薬学科(6年制)専任教員(基礎資料8の表1)が担当する授業科目と担当時間

学科 11	職名 2)	氏		名	年齢	性別	学位称号	現職就任 年月日	授業担当科目 3)		授業時間 4)	年間で平均した 週当り授業時間
									生化学 I		30.00	
									生化学Ⅱ		30,00	
									介護福祉体験実習	0	3.00	(
	1 3								薬学基礎実習Ⅱ(区分3生命科学)	0	48.00	1
									病態生化学 I		15.00	(
	1 1								実習Ⅳ(区分 I 内分泌代謝疾患)	0	42.00	- 1
									総合演習 I (生物系薬学)		1.50	(
									総合演習 II(生物系)		4.50	
							346-1-		総合演習Ⅱ(卒業延期生 生物系)	-	1.50	
薬学科	教授	桜井	+ +	t -	56	男	博士 (薬学)	2008. 4. 1		_		
							136.7.7		薬学生入門(クラス担任 区分 I・Ⅲ)	_	9.00	1
									早期体験実習(クラス担任)	0	1.50	
	1 1								日本語表現法(クラス担任)		3.00	- 1
	1 1								介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50	
									実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1,50	
									総合演習 I (ゼミ演習)		7.50	
									総合演習 II(クラス担任)		10.50	
									(院)病態制御医薬品学特論		3.00	
									授業担当時間の合計		213.00	
	1				1	1			薬学生入門(区分皿 ラーニングスキル)		9.00	
					1							
					1				薬学概論Ⅱ		12.00	
									日本語表現法		24.00	
									社会と経済		15.00	
					1				国際と平和		15.00	
									介護福祉体験実習	0	3.00	
									実習 V (薬剤師業務体験実習)	0	16,50	
		0.00				-	100	-	ヒューマニズム論Ⅳ		3.00	
薬学科	教授	櫻井	‡ 3	彦	52	男	博士	2012. 4. 1	薬剤経済学		15.00	
	1333	-				1.55	(商学)	2412	薬学生入門(クラス担任 区分 I・皿)		9.00	
								100	早期体験実習(クラス担任)		_	
					1					0	1,50	
						1			日本語表現法(クラス担任)		3.00	
									介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1,50	
									実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50	
									総合演習 I (ゼミ演習)		10,50	
									総合演習 II(クラス担任)		13.50	
									授業担当時間の合計		153,00	
									薬理学皿		31.50	
									実習IV(区分1内分泌代謝疾患)	0	42.00	
									実習Ⅴ(薬理系実験)	0	-	
										0	25.50	
									英語班		10.50	1
						}			総合演習 I (薬理系)		1.50	
									臨床薬学総論(認知症)		6.00	
									総合演習 Ⅱ(薬理系)		4.50	
薬学科	教授	佐藤	# A	* **	55	+	博士	2000 4 1	総合演習Ⅱ(卒業延期生 薬理系)		3.00	
5K7-1-1	7X1X	101 18	2 /	大	99	女	(薬学)	2008. 4. 1	薬学生入門(クラス担任 区分 I・II)		9.00	
	1						- 76		早期体験実習(クラス担任)	0	1.50	
									日本語表現法(クラス担任)		1.50	
									A	0		
									介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1,50	
									実習V(クラス担任 報告書作成指導)	0	1,50	
									総合演習 I (ゼミ演習)		10.50	
									総合演習 II (クラス担任)		12.00	
	100								授業担当時間の合計		162.00	
									化学療法学		13.50	
									実習 VI (ガイダンス、輸液)	0	37.50	
									実習伽(医療面接 ベッドサイド)	0	54.00	
					N				総合演習 I (実務系)	-	1.50	
					1				※ E 管理学		7.50	
									The second secon	-		
						1			臨床薬学実習(調剤·鑑査)	0	60.00	
					1				演習IX(アドバンストDI)		12,00	
	\$6.4m						- 17 -	1000	総合演習 Ⅱ(実務系)		4.50	
薬学科	教授 (実務)	佐丽	華 ラ	秀 紀	58	男	医学博士	2013. 4. 1	総合演習Ⅱ(卒業延期生 実務系)		1.50	
	3,341377						7.77	1	薬学生入門(クラス担任 区分Ⅰ・Ⅲ)		9.00	
						1			早期体験実習(クラス担任)	0	1.50	
										9	-	
									日本語表現法(クラス担任)		3.00	
									介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50	
									実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50	
									総合演習 I (ゼミ演習)		10.50	
									総合演習 II (クラス担任)		15.00	
	1					1			授業担当時間の合計		234.00	

表1. 薬学科(6年制)専任教員(基礎資料8の表1)が担当する授業科目と担当時間

学科 1)	職名 2)	氏		名	年齢	性別	学位称号	現職就任 年 月 日	授業担当科目 3)		授業時間 4	年間で平均した 週当り授業時間								
									情報リテラシー		30.00	- 1								
					1				早期体験実習	0	12.00	0.								
								4	基礎統計学		15.00	0.								
									介護福祉体験実習	0	7.50	0.								
	1 1								実習 V (薬剤師業務体験)	0	15.00	0.								
					1				医療統計学概論		7.50	0.								
薬学科	教授	B 3	森 9	€ 光	63	男	秦学博士	2006. 4. 1	薬剤疫学		7.50	0.								
	10.6				1 33	2.5	35 7 10 -	3454.3.7	総合演習 I (ゼミ演習)		10.50	0.								
									総合演習 II(病態·治療)		3.00	0.								
	1 1				1				総合演習Ⅱ(卒業延期生 病態・治療)		1.50	0								
									介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50	0								
	1 1				1	1 1			実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50	0								
	1 1					1 8			総合演習 Ⅱ(クラス担任)		15.00	0								
					-				授業担当時間の合計		127.50	4								
									実習Ⅴ(薬剤系実験)	0	24.00	0								
									実習VI(鑑査)	0	37.50	1								
									薬事関連法制論		22.50									
									実務実習事前学習(鑑査)	0	36.00	1								
									総合演習 I (法規・制度・倫理)		1.50									
									臨床薬学実習(受付·服薬指導)	0	30.00									
					1				演習IX(アドバンストDI)		12.00	(
	46.416								総合演習 II(法規·制度·倫理)		3.00	(
薬学科	教授 (実務)	多日	田	均	58	男	博士 (医学)	2014. 4. 1	総合演習 I (卒業延期生 法規·制度·倫理)		3.00									
	(343)						(ET)		薬学生入門(クラス担任 区分 I・Ⅲ)		9.00)								
									早期体験実習(クラス担任)	0	1.50									
									日本語表現法(クラス担任)		3.00	1 - 0								
									介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50	- /								
									実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50									
									総合演習 I (ゼミ演習)		9,00									
									総合演習 II (クラス担任)	_	15,00									
									授業担当時間の合計		210.00									
														+				薬学生入門(クラス担任 区分 I・Ⅲ)		10,50
											公衆・環境衛生学		30.00							
																演習V(公衆·環境衛生学)		13,50		
														代謝毒性学	_	7.50				
													総合演習 I (衛生系)		1,50					
									総合演習 Ⅱ(衛生系)	_	10.50									
									総合演習Ⅱ(卒業延期生 衛生系)	_	4,50									
	1 4 5				199		4em .)		薬学生入門(区分3 ラーニングスキル)		-)								
薬学科	教授	丹 任	保女	子 子	54	女	博士 (薬学)	2009. 4. 1			1.50									
							12.77		日本語表現法(クラス担任) 早期体験実習(クラス担任)	-	3,00	12.								
										0	1.50									
									介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1,50									
									実習V(クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50	11								
									総合演習 I (ゼミ演習)		10,50									
									総合演習 II (クラス担任)		15.00									
									(院)公衆衛生学特論		9.00	1"								
					-				授業担当時間の合計		121.50									
									製剤学		31.50									
									実習Ⅳ(区分Ⅱ循環器疾患)	0	42.00									
									実習 V (薬剤師実務体験実習)	0	18.00									
									実習 V (薬剤系実験)	0	25.50									
									演習VI(製剤学)		30.00	H								
									総合演習 I (薬剤系)		1.50									
									総合演習 Ⅱ(薬剤系)		3.00									
							+ 一		総合演習Ⅱ(卒業延期生 薬剤系)		3.00									
薬学科	教授	T	野井	屯 男	42	男	博士 (薬学)	2012. 4. 1	薬学生入門(クラス担任 区分 1・Ⅲ)		9.00	===0								
							NAT /	V // /	早期体験実習(クラス担任)	0	1.50	11								
									日本語表現法(クラス担任)		3.00									
									介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50									
									実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50									
									総合演習 I (ゼミ演習)		7.50									
									総合演習 Ⅱ(クラス担任)		15.00									
									(院)病態制御医薬品学特論		6.00									
						1			授業担当時間の合計		0.00									

表1. 薬学科(6年制)専任教員(基礎資料8の表1)が担当する授業科目と担当時間

学科 11	職名 2	氏		名	年齢	性別	学位称号	現職就任 年 月 日	授業担当科目 31		授業時間 4)	年間で平均した 週当り授業時間									
									薬物動態学		31.50	1									
									演習VI(薬物動態学)		30.00	1									
									実務実習事前学習(患者対応演習)	0	30.00	1									
									実習VII(TDM)	0	54.00	1									
					1				臨床コミュニケーション演習		9.00	0									
					1				演習咖 (薬剤師実務演習)		10.50	0									
									総合演習 I (卒業延期生 薬剤系)		3.00	0									
							1		演習IX(アドバンストTDM)		18.00	0									
薬学科	教授	戸日	田 j	大	47	男	博士(薬学)	2012. 4. 1	総合演習 Ⅱ(薬剤系)		3.00	0									
							(946-7-)		薬学生入門(クラス担任 区分Ⅰ・Ⅲ)		9,00	0									
									早期体験実習(クラス担任) 日本語表現法(クラス担任)	0	1.50	0									
									介護福祉体験実習(クラス担任)	0	3.00	(
	1 1					1			実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1,50										
	1 1								総合演習 I (ゼミ演習)	9	9,00										
	1 1								総合演習 I(クラス担任)		12.00										
									(院)臨床薬物動態学特論		7,50										
									授業担当時間の合計		234.00										
									薬物治療学Ⅱ		30.00										
						11 - 18			総合演習 I (病態·薬物治療)		1.50										
									実習班(医療面接 ベッドサイド)	0	54.00										
									臨床薬学総論(総論、C、簡賞異常、認知症、総まとめ)		36.00										
									演習咖(薬剤師実務演習 区分1)		6,00										
									臨床薬学実習(退院時指導)	0	30.00										
									病院実習(科目責任のみ)	0	0.00										
									薬局実習(科目責任のみ)	0	0.00										
薬学科	教授	早月		*		in-	博士	7007 1 1	総合演習 II (病態·薬物治療)		3.00	- 1									
来于什	(実務)	+ /	/11	達	55	男	(薬学)	2007. 4. 1	総合演習I(卒業延期生 病態·薬物治療)		1.50										
									薬学生入門(クラス担任 区分 I・Ⅲ)		9.00										
					1				早期体験実習(クラス担任)	0	1.50										
	16 1 11								日本語表現法(クラス担任)		1.50										
									介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50										
	1								実習Ⅴ(クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50	10									
	1/ 1					1 0			総合演習 I (ゼミ演習)		10.50										
								総合演習 II (クラス担任)		15.00											
								授業担当時間の合計		202.50	10										
									薬物治療学Ⅲ		30.00										
		****											実務実習事前学習	0	36.00						
												実習VI(錠剤)	0	37.50							
																		臨床コミュニケーション演習		7.50	
													博士	,	演習Ⅷ(薬剤師実務演習 区分Ⅱ)		10.50	-			
薬学科	教授	早 9	勢 (申正	63	男	(薬学)	2007. 4. 1	臨床薬学実習(フィジカルアセスメント)	0	60,00										
	(実務) データ ドーエ			3.0	博士	5364 316	総合演習 Ⅱ(病態·薬物治療系)		3.00	1											
							(医学)		総合演習日(卒業延期生)(病態・薬物治療系)		1.50										
									実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50										
									総合演習Ⅰ(ゼミ演習)		10.50										
									総合演習 II (クラス担任)		13.50										
	-	_			-				授業担当時間の合計	_	211.50										
					100				医療倫理学		18.00										
									薬学概論Ⅱ		3.00										
	1 1				1				ヒューマニズム論Ⅲ		6.00	1.									
									地域医療学		7.50										
									ヒューマニズム論V		7.50										
薬学科	教授	古日	m •	青 一	56	男	博士	2008. 4. 1	臨床コミュニケーション演習		9.00										
ACT 14	(実務)	a 1	144	"	50	25	(薬学)	2000. 4. 1	臨床薬学総論(認知症)		10.50										
									演習咖(薬剤師実務演習 区分皿) 臨床薬学実習(在宅)	0	10.50										
									端休果子美省(仕宅) 演習区(アドバンスト在宅医療・医療連携)	0	60.00 24.00										
									総合演習 I(法規・制度・倫理系)		1.50										
									総合演習 II (本規・制度・編理系) 総合演習 II (卒業延期生)(法規・制度・倫理系)		1.50										
									授業担当時間の合計		159.00										
	1		-						自然科学概論Ⅱ		159.00										
									微生物学		30.00										
									免疫学		24.00										
									薬学基礎実習Ⅱ(区分4 生命科学Ⅱ)	0	48.00										
									薬学基礎実習Ⅱ(放射化学)	0	12.00										
	1 1								総合演習 Ⅱ(生物系)	9	3.00										
77.44.44	400					2	博士	43.17.77.7	総合演習Ⅱ(卒業延期生)(生物系)		1.50										
薬学科	教授	前	田(申司	51	男	(薬学)	2015. 4. 1	薬学生入門(クラス担任 区分 I・II)		9.00										
									早期体験実習(クラス担任)	0	1.50										
									日本語表現法(クラス担任)	~	3.00										
	1								介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1,50										
									総合演習I(ゼミ演習)	-	9.00										
									(院)公衆衛生学特論		6.00										
	1				1				授業担当時間の合計		163.50										

表1. 薬学科(6年制)専任教員(基礎資料8の表1)が担当する授業科目と担当時間

学科 11	職名 2	氏		-	名	年齢	性別	学位称号	現職就任 年月日	授業担当科目 3)		授業時間 4)	年間で平均した 週当り授業時間				
						-				医療倫理学		12.00	0.				
										病態生理学(精神·神経、筋疾患)		7.50	0.				
	1 1									薬物治療学 I		10.50	0.				
								M I		臨床薬理学		15.00	0.				
										実習VII(TDM)	0	18.00	0.				
										臨床薬学総論(認知症、まとめ)		12,00	0.				
										演習娅(薬剤師実務演習 区分1)	-	6.00	0.				
薬学科	教授	宝	浦		淳	46	男	博士 (医学)	2015. 4. 1	臨床薬学実習(フィジカルアセスメント)	0	60.00	2.				
	1						200	(四十)		演習IX(アドバンストTDM)		18.00	0.				
										薬学生入門(クラス担任 区分 Ⅰ・Ⅲ)		9.00	0.				
						1				早期体験実習(クラス担任)	0	1.50	0.				
	1 1									日本語表現法(クラス担任)		3.00	0				
										介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50	0.				
	1 1									総合演習 I (ゼミ演習)		10.50	0				
										授業担当時間の合計		184.50	6				
			_	_	_				-	情報リテラシー		30.00	1				
	100									基礎数学		15.00	0				
薬学科	教授	森	田	-	彦	64	男	理学博士	2006. 4. 1	統計分析論(法人內非常勤)	_						
									1	授業担当時間の合計		90.00	3				
	-	_	_		_	-						135.00	4				
									1	基礎化学	_	60.00	2				
										薬学計算Ⅱ		15.00	0				
										化学平衡論		30.00	1				
										薬学基礎実習 I (化学)	0	61.50	2				
										総合演習 I (物理·化学系薬学)		1.50	0				
	1 1									総合演習 II (物理·化学系)		6.00	0				
	77.00					34		博士	2500 7700	総合演習Ⅱ(卒業延期生)物理·化学系		3.00	(
薬学科	教授	吉	岡	忠	夫	60	男	(薬学)	2003. 4. 1	薬学生入門(クラス担任 区分Ⅰ・Ⅲ)		9.00	(
							90.7			早期体験実習(クラス担任)	0	1.50	(
						1				日本語表現法(クラス担任)		3,00	(
										介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1,50					
										実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50	0				
										総合演習 I (ゼミ演習)		4.50	0				
						1				総合演習 II(クラス担任)		13.50	0				
										授業担当時間の合計		211.50	7				
										機器分析学 I		30.00	1				
										機器分析学Ⅱ(診断機器)		12.00	0				
										1				構造解析学		30.00	1
											薬学基礎実習Ⅱ(区分Ⅱ 有機化学Ⅱ)	0	48.00	1			
										防災·救急対応実習(救急)	0	21.00	0				
								r		実習 V (薬剤師実務体験学習)	0	15.00	0				
										日本薬局方各論	9	7.50	0				
										臨床薬学総論(COPD)	_						
										THE STATE OF THE PARTY OF THE P	-	6.00	0				
栗学科	40-425	≆n.	m	:4:	-	ro.	m	博士	2012 4 1	総合演習 Ⅱ (物理·化学系)		4.50	0				
亲子村	教授	-HJ	田	石	-	58	男	(薬学)	2012. 4. 1	総合演習Ⅱ(卒業延期生 物理·化学系)		3.00	(
									1.	薬学生入門(クラス担任 区分 I・II)		9.00	(
										早期体験実習(クラス担任)	0	1.50	0				
	1 1									日本語表現法(クラス担任)		1.50	0				
	1 1									介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1,50	0				
))		実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50	0				
										総合演習 I (ゼミ演習)		9,00	0				
										総合演習 II(クラス担任)		13.50	0				
										(院)病態制御医薬品学特論		4,50	0				
						-				授業担当時間の合計		219.00	7				
										英語 I		58.50	11				
										実用英会話		15.00	0				
										英語IV		60.00	2				
										英語V		15.00					
										英語VI	-	15.00	0				
		-								実用英会話		15.00					
薬学科	准教授	杨	倉	东	子	48	女	博士	2008. 4. 1	演習以(薬剤師」実用英語)		12.00					
A . 17	IE TAIX	1/4	785	14	4.	40	^	(文学)	2000, 4. 1		_						
										薬学生入門(クラス担任 区分 [・皿)	-	9.00					
										早期体験実習(クラス担任)	0	0,00					
										日本語表現法(クラス担任)	1	3.00	0				
						10				介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50	0				
										実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50	(
	4					T.	1			授業担当時間の合計		205.50					

表1. 薬学科(6年制)専任教員(基礎資料8の表1)が担当する授業科目と担当時間

学科 11	職名 2)		Æ		4	3	年齢	性別	学位称号	現職就任年月日	授業担当科目 3		授業時間 4)	年間で平均した 週当り授業時間									
							1				薬学基礎実習 I (生物学)	0	60.00	ALL PIXAL TIME									
)	薬理学Ⅱ		15.00										
											実習IV(区分IV内分泌代謝疾患)	0	42.00										
											実習 V (薬理系実験)	0	24.00										
	1								1.50		臨床薬学実習(実務実習に必要な医薬品(について学ぶ)	0	9.00										
薬学科	准教授	9	#	+ 1	申	_	51	男	博士	2015. 4. 1	総合演習 Ⅱ(薬理系)		3.00	= = 1									
17.413.74	25.1.94	1					1	1 34	(医学)		薬学生入門(クラス担任 区分 I・Ⅲ)		9.00										
											早期体験実習(クラス担任)	0	1.50										
											日本語表現法(クラス担任)		3.00	1									
											介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50										
									1000		総合演習Ⅰ(ゼミ演習)		9.00										
	-	_	_	_	_	_	-	-			授業担当時間の合計		177.00										
	14.00.30								60.1		感染制御学		15.00										
薬学科	准教授 (実務)	大	洋	i i	東	-	46	男	博士 (薬学)	2010. 4. 1	悪性腫瘍学		6.00										
	(30.77)						1		(>K-T-)		演習IX(アドバンストDI)		12.00										
_		_	_	_	_		-	-			授業担当時間の合計	_	33.00										
											情報リテラシー		30.00										
	1 1										介護福祉体験実習	0	15.00										
							1				演習VI(3年次重点科目)	_	30.00										
											実習V(薬剤師業務体験学習) 松合溶型 T(衛生系)	0	3.00										
											総合演習 Ⅱ(衛生系)	_	4.50										
	-2.3										総合演習 I (卒業延期生 衛生系・薬剤系) 蒸学生 3 門 (クラフ 担任 区 〇 I . III)		7.50										
薬学科	准教授	大	3	7 1	谷	昭	57	男	薬学修士	2012. 4. 1	薬学生入門(クラス担任 区分 I・Ⅲ)	8	9.00										
											早期体験実習(クラス担任)	0	0.00										
											日本語表現法(クラス担任) 介護福祉体験実習(クラス担任)		3.00										
							1				2 3 3 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	0	1.50										
											実習V(クラス担任 報告書作成指導) 総合演習I(ゼミ演習)	0	1.50										
											総合演習 II(クラス担任)	-											
											授業担当時間の合計	_	15.00										
	+	_	_	_	_	_	-				英語Ⅰ	_	130.50										
											実用英会話	_	58.50										
												-	15.00										
											英語Ⅳ		60,00										
											英語 V 英語 VI		15.00										
											央語 VI 実用英会話		15.00										
薬学科	准教授	to	7	£ 1	*	*	49	男	文学修士	2007. 4. 1	美用央会話 演習IX(薬剤師実用英語)		15,00										
A-3-14	/E-WIX	/494	di		-	711	43	男	义子修工	2007. 4. 1			12.00										
														7		薬学生入門(クラス担任 区分 I・Ⅲ) 早期体験実習(クラス担任)	0	9,00					
																					平期体験美育(クラス担任) 日本語表現法(クラス担任)	0	0.00
															日本語表現法(クラス担任) 介護福祉体験実習(クラス担任)	0	3.00						
																10 _ /		ア設備性体験美質(クラス担任) 実習V(クラス担任 報告書作成指導)		1,50			
											美賞 V (クラス担任 報告書作成指導) 授業担当時間の合計	0	1.50										
	+		_				-					•	205.50										
											早期体験実習 茶学課論 II	0	9.00										
											薬学概論 Ⅱ 薬事関連法制論	_	30.00										
	1 1						1					•	7,50										
							1				実習VI(OTC) 総合演習 I (法規、制度、倫理系)	0	54.00										
											総合演習 I (法規・制度・倫理系) 時序落学書架(在文)	0	1.50										
											臨床薬学実習(在宅) 演習は(薬剤等による社会関本とデータ競技)	0	30.00										
薬学科	准教授	100	+	k #	#	7	39	女	博士	2015. 4. 1	演習IX(薬剤師による社会調査とデータ解析) 総合演習 II (法規・制度・倫理系)		12.00										
Se 1.44	/E-4X1X	1	4		*		33	~	(薬学)	2010. 4. 1	総合演音 II (法規・制度・偏埋系) 薬学生入門(クラス担任 区分 I・II)	_	1.50										
											早期体験実習(クラス担任 区分1・皿)	0	9,00										
	1 1											0	1.50										
											日本語表現法(クラス担任) 介護福祉体験実習(クラス担任)	0	3.00										
											が護備性体験美質(クラス担任) 総合演習 I (ゼミ演習)	9	1.50										
											総合演習 I(セミ演習) 総合演習 I(クラス担任)		10.50										
											授業担当時間の合計	_	181.50										
	-		_	_	_	_	1				英朱担当時間の言語 薬学生入門(区分 I・II)		10.50										
											早期体験実習	0	28.50										
											薬用植物学	9	15.00										
	1 1										楽用恒初子 薬学基礎実習Ⅱ(区分IV生命科学Ⅱ)	0	48.00										
											栗子基礎美習Ⅱ(区方IV生即科子Ⅱ) 薬学基礎実習Ⅱ(薬用植物学)	0	-										
								1			業子基礎美省Ⅱ(業用種物子) 薬用植物学	0	12.00										
	1 1										柴用恒初子 実習V(薬理系実験)	0	15.00										
												9	24.00										
薬学科	准教授	di	+	2 1	1		53	E	博士	2007. 4. 1	漢方医薬学		15.00										
अस्य गाउँ वि	/任李以1文	J.	10	Δ 1	AT.		55	男	(薬学)	2007. 4. 1	総合演習 Ⅱ(薬理系)	_	4.50										
											薬学生入門(区分Ⅲラーニングスキル) 日期は除生物(クニュセグ)	-	1.50										
											早期体験実習(クラス担任)	0	1.50										
											日本語表現法(クラス担任)		3.00										
											介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50										
											実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50										
											総合演習Ⅰ(ゼミ演習)		10.50										
											総合演習 Ⅱ(クラス担任)		13.50										
							1				授業担当時間の合計		205.50										

表1. 薬学科(6年制)専任教員(基礎資料8の表1)が担当する授業科目と担当時間

学科 11	職名 2)	E	£		名	年齢	性別	学位称号	現職就任 年 月 日	授業担当科目 3)		授業時間 4)	年間で平均した 週当り授業時間																	
										薬学計算 I		15.00	0.																	
										早期体験実習	0	21.00	0.																	
										熱力学		30.00	1.																	
										反応速度論		30.00	1.																	
TE MATH	144 MA 107	1000	70		- 245	100	-	博士	0010 1 1	実習 V (薬剤師業務体験学習)	0	18.00	0.																	
薬学科	准教授	79	藤	頁	I	42	男	(理学)	2016. 4. 1	薬学生入門(クラス担任 区分Ⅰ・Ⅲ)		9.00	0.																	
										早期体験実習(クラス担任)	0	1.50	0.																	
										日本語表現法(クラス担任)	-	3.00	0.																	
							1			総合演習 I (ゼミ演習)		9.00	0																	
										授業担当時間の合計	-	136.50	4																	
	1					1				薬学概論Ⅱ		-																		
										70		3.00																		
										物理薬剤学		30.00																		
						1				物理薬剤学		15.00																		
	1 1									実習Ⅳ(区分 1 内分泌代謝疾患)	0	42.00	1																	
										演習∇(物理薬剤学)	0	13,50																		
										実習∇(薬剤師業務体験学習)	0	18.00																		
										実習Ⅴ(薬剤系実験)	0	25,50	(
								1.55		医薬品開発論		9.00																		
薬学科	准教授	供	藤	路	司	53	男	博士	2015. 4. 1	総合演習Ⅱ(薬剤系)		1.50																		
A 1.11	/E-TAJA	I.L.	1245	PA.		30	22	(薬学)	2015.4	総合演習Ⅱ(卒業延期生 薬剤系)		3.00	1																	
										薬学生入門(クラス担任 区分 I・Ⅲ)	1	9.00																		
										早期体験実習(クラス担任)	0	1.50																		
										日本語表現法(クラス担任)		3.00																		
										介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50																		
							J 7			実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50																		
										総合演習 I (ゼミ演習)		7,50																		
										総合演習 II (クラス担任)		15.00																		
										授業担当時間の合計	-	199.50																		
	1	_		_		_				防災·救急対応実習(救急)		21.00																		
											_																			
	准教授											15.00																		
		准教授	准教授	准教授										演習VI(薬理学)	_	30.00														
														実習Ⅳ(区分Ⅱ循環器疾患)	0	42.00														
													実習 V (薬剤師業務体験学習)	0	16.50	b														
													1 3	実習Ⅴ(薬理系実験)	0	25.50	19													
													総合演習 I (薬理系)		1.50															
					准教授				-	300	4.7	被士	140.73	総合演習Ⅱ(薬理系)		6.00	11													
素学科						准教授	准教授	准教授	准教授	准教授	准教授	高	栗	栗	郷	35	男	博士 (薬学)	2014. 4. 1	総合演習Ⅱ(卒業延期生 薬理系)		4.50	P							
																		350 6.1		薬学生入門(クラス担任 区分Ⅰ・Ⅲ)		9.00								
																			早期体験実習(クラス担任)	0	1.50									
																		日本語表現法(クラス担任)		3.00										
																											介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50	
																	1				実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50							
																			総合演習 I(ゼミ演習)		10.50									
										総合演習 II (クラス担任)		15.00																		
												授業担当時間の合計		204.00																
											薬学基礎実習 I (分析化学)	0	60.00																	
										介護福祉体験実習	-																			
										機器分析学Ⅱ(クロマトグラフ)	0	15.00																		
											0	18.00																		
										薬学基礎実習Ⅱ(区分Ⅱ有機化学Ⅱ)		48.00																		
										実習 V (薬剤師業務体験学習)	0	6.00	[- 11																	
										実務実習事前学習(計量調剤演習·軟音)	0	36.00																		
										総合演習 Ⅱ (物理·化学系)		4.50	- 1																	
薬学科	准教授	南	梨	香	織	56	女	博士	2008. 4. 1	総合演習Ⅱ(卒業延期生 物理·化学系)		3.00	F = 10																	
	200	9.3		-	100		4.3	(薬学)	-416.6	薬学生入門(クラス担任 区分 I・Ⅲ)		9.00	-																	
										早期体験実習(クラス担任)	0	1.50																		
										日本語表現法(クラス担任)		3.00																		
										介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50																		
										実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50	1 11																	
										総合演習 I (ゼミ演習)		9.00																		
										総合演習 II (クラス担任)		12.00																		
						1			100	授業担当時間の合計		228.00																		

表1. 薬学科(6年制)専任教員(基礎資料8の表1)が担当する授業科目と担当時間

学科 1)	職名 2	氏	名	年齡	性別	学位称号	現職就任 年 月 日	授業担当科目 3		授業時間 4)	年間で平均した 週当り授業時間																
	1			1	-			薬学生入門(区分 I・Ⅱ)		10,50	(
				1				薬学生入門(区分Ⅲラーニングスキル)		12.00																	
								防災·救急対応実習(救急)	0	21,00	(
								生化学V		30.00																	
								介護福祉体験実習(区分Ⅱ循環器疾患)	0	21.00																	
				1				実習V(薬剤師業務体験学習)	0	9.00	- 0																
								臨床薬学総論(脂質異常)		4.50																	
				1				総合演習 Ⅱ(生物系)		3.00																	
	2000	1000		1	1	博士	0749.739	総合演習Ⅱ(卒業延期生 生物系)		6.00																	
薬学科	准教授	高橋	淳	49	男	(農学)	2007. 4. 1	基礎生物学(法人內非常勤)		22.50																	
						1000		薬学生入門(クラス担任)																			
										1,50																	
				1				早期体験実習(クラス担任)	0	0.00																	
								日本語表現法(クラス担任)	-	1.50																	
	1 1							介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50																	
								実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1,50																	
								総合演習 I (ゼミ演習)		10.50																	
								総合演習 II (クラス担任)		12.00																	
								授業担当時間の合計		168.00																	
								防災·救急対応実習(救急)	0	21.00																	
								介護福祉体験実習	0	19.50																	
								実習IV(区分 I 内分泌代謝疾患)	0	42.00																	
	T I							実習 V (薬剤師業務体験学習)	0	9.00																	
								実習V(薬理系実験)	0	24.00																	
	准教授							総合演習 II (衛生系)	9	6,00																	
								総合演習I(卒業延期生 衛生系)	-																		
薬学科 准非		准教授	准教授	立浪	R A	45	男	博士	2014. 4. 1	総合演首 I (卒業延期生 衛生系) 薬学生入門(クラス担任 区分 I・II)		1.50															
				/庄华以1文	/庄学入1文	/庄4X1X	TT TE	TA M	45	35	(薬学)	2014. 4. 1		_	9.00												
								- 1		早期体験実習(クラス担任)	0	0.00															
								日本語表現法(クラス担任)		1.50																	
					1			介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1,50																	
								1				実習∇(クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50													
								総合演習 I(ゼミ演習)		10.50																	
								総合演習 I(クラス担任)		15.00																	
								授業担当時間の合計		162.00																	
	准教授(実務)													薬学生入門(区分 I ·Ⅲ·Ⅳ)		40.50											
																		防災·救急対応実習(防災)	0	12.00							
																			薬学概論Ⅱ	-	6.00						
																				実務実習事前学習(患者対応演習)	0	30.00					
																	実習Ⅶ(調剤)	0	54.00								
										1		演習VII(区分Ⅱ・Ⅲ)		21.00													
									庭床コミュニケーション演習		19.50																
																				臨床薬学実習(病院患者対応)	0	60.00					
薬学科																	45 45	47	1331	経営管理学	2000 4 1	総合演習I(卒業延期生 法規·制度·倫理)	0				
36-7-1-1																		37 C) AN	# 13	41	男	修士	2008. 4. 1			1.50	
																		N - 1							薬学生入門(クラス担任 区分皿)	-	1.50
									早期体験実習(クラス担任)	0	1.50																
								日本語表現法(クラス担任)		3.00																	
						()		介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50																	
						2		実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50	+																
								総合演習 I(ゼミ演習)		10.50																	
								総合演習 II(クラス担任)		13.50																	
	10							授業担当時間の合計		277.50																	
								介護福祉体験実習	0	7.50																	
								薬剤師実務体験実習(散剤)	0	36.00																	
								臨床薬理学	-	15.00																	
								実習VI(錠剤)	0	37.50																	
						1		実務実習事前学習(患者対応演習)	0																		
								C. A. C. C. C. C. C. C. C. C. C. C. C. C. C.		24.00																	
								臨床薬学実習(調剤・鑑査)	0	60.00																	
	, n. m					166		演習IX(アドバンスト処方解析)		12.00																	
薬学科	准教授	坂東	勉	53	男	博士	2010. 4. 1	総合演習 II (法規・制度・倫理)		1.50																	
	(実務)	-	-	1	1	(薬学)		薬学生入門(クラス担任 区分 I・Ⅲ)		9.00	- 1																
								早期体験実習(クラス担任)	0	0.00																	
								日本語表現法(クラス担任)		3.00																	
				1				介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50																	
								実習Ⅴ(クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50																	
	1							総合演習 I (ゼミ演習)		9.00																	
					1					_																	
								総合演習 II(クラス担任)		15.00																	

表1,薬学科(6年制)専任教員(基礎資料8の表1)が担当する授業科目と担当時間

学科 11	職名 2	氏		名	年齢	性別	学位称号	現職就任 年 月 日	授業担当科目 31		授業時間 4)	年間で平均した 週当り授業時間															
									薬学生入門(区分Ⅲ ラーニングスキル)		3,00	0.															
								J 100 10	病態生理学(呼吸器、消化器)		12.00	0,4															
	1 1				1				英語VI		13.50	0.4															
								0	実習VI(鑑査)	0	37.50	1,3															
									実務実習事前学習(ガイダンス、鑑査演習)	0	36.00	1.3															
									演習娅(薬剤師実務演習 区分Ⅲ)		10.50	0,:															
									臨床コミュニケーション演習		7.50	0.:															
									悪性腫瘍学		7.50	0.3															
DE #4.51	准教授	Der D	n m	147		1	博士	5010 4 1	臨床薬学実習(入院時面接)	0	60,00	2.0															
薬学科	(実務)	图1 日	H PH	机工	44	女	(薬学)	2010. 4. 1	演習IX(アドバンストDI)		12.00	0.4															
	3.50								薬学生入門(クラス担任 区分Ⅰ・Ⅲ)		9,00	0.															
					1				早期体験実習(クラス担任)	0	1,50	0.															
	1 1								日本語表現法(クラス担任)		0,00	0.															
								1	介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1,50	0															
	1 1							1 2	実習V(クラス担任報告書作成指導)	0	1.50	0															
					1			1 3		0																	
								1	総合演習 I (ゼミ演習)		10,50	0															
					1				総合演習 II (クラス担任)		13.50	0															
	_	-			-	_			授業担当時間の合計		237.00	7.															
									防災·救急対応実習(教急)	0	21.00	0															
	1 1								有機化学 I		30,00	1															
									有機化学Ⅲ		30.00	1															
薬学科	1 1								放射化学		30,00																
									介護福祉体験実習	0	21,00	0															
	准教授							1	薬学基礎実習Ⅱ(区分Ⅰ有機化学Ⅰ)	0	48.00	1															
		准教授									薬学基礎実習Ⅱ(放射化学)	0	12.00	0													
										100		100		実習 V (薬剤師業務体験学習)	0	9.00	0										
			水	上禮	恵美	41	女	博士 (薬学)	2011. 4. 1	総合演習 II (物理·化学系)		4.50	.0														
							19677		薬学生入門(クラス担任 区分 I・II)		9.00	0															
					1			100	早期体験実習(クラス担任)	0	0.00																
								1	日本語表現法(クラス担任)		1,50	0															
									介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1,50	0															
					1				実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1,50	0															
									総合演習I(ゼミ演習)	-	7.50	0															
									1	総合演習 II(クラス担任)		15,00	0														
									授業担当時間の合計		241.50	8															
	1				1				薬学生入門(区分Ⅰ・Ⅱ)		10.50	0															
	准教授								防災·救急対応実習	0	30.00	1															
									1 6	生化学皿(生体分子の代謝1)	9	30.00	1														
					1	1		10	生化学Ⅳ(生体分子の代謝2)																		
					1			100			30,00	1															
		准教授							1	薬学基礎実習Ⅱ(区分Ⅲ生命科学)	0	48.00															
			准教授	准教授	准教授	准教授				1	1		18	実習 V (薬剤師業務体験学習)	0	9.00											
							准教授	准教授								- 0	実務実習事前学習(計量調剤演習 水剤)	0	36.00	. 1							
20020									0.7	212			1.30	博士	200-0	総合演習 Ⅱ(生物系)		3,00									
薬学科									准教授	准教授	准教授	准教授	准教授	准教授	准教授	准教授	村市	早	苗	51	女	(薬学)	2008. 4. 1	総合演習Ⅱ(卒業延期生 生物系)		1.50	0
																			1000		薬学生入門(クラス担任 区分Ⅲ)		1,50	.0			
																		早期体験実習(クラス担任)	0	1.50							
										日本語表現法(クラス担任)		1,50	.0														
									介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50	.0															
										実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1,50	0														
									総合演習 I (ゼミ演習)	-	10.50	0															
	4								総合演習 II(クラス担任)		15.00	0															
		3							授業担当時間の合計		231.00	7															
	1								香粧品学		15.00	0															
									セルフメディケーション学		13.50	0															
									実務実習事前学習(情報提供)	0	36.00	1															
										0																	
									実習VII(OTC)	0	55.50	1															
	1								臨床薬学総論(脂質異常)		3.00	0															
		1					14-1		臨床薬学実習(OTC)	0	60.00	2															
薬学科	准教授	村	上英	€ 穂	60	女	博士	2007. 4. 1	薬学生入門(クラス担任 区分 [・Ⅲ)		9.00																
2000 15		1000				1	(薬学)		早期体験実習(クラス担任)	0	1.50																
									日本語表現法(クラス担任)		3.00																
									介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50																
					K				実習V(クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50	0															
									総合演習 I (ゼミ演習)		10.50	0															
									総合演習 II (クラス担任)		13.50	0															
									1	授業担当時間の合計	_	223.50	7														

表1. 薬学科(6年制)専任教員(基礎資料8の表1)が担当する授業科目と担当時間

学科 11	職名 2)	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任 年 月 日	授業担当科目 3]		授業時間 4)	年間で平均した 週当り授業時間																
								防災·救急対応実習(救急)	0	21,00	(
								生薬学I		15.00																	
								生薬学Ⅱ		30,00	1																
								薬学基礎実習Ⅱ(区分Ⅱ有機化学Ⅱ)	0	48.00	1																
								薬学基礎実習Ⅱ(薬用植物)	0	12.00	(
								介護福祉体験実習	0	22.50																	
								演習Ⅷ(輸液計算演習2)		18.00																	
)		臨床薬学総論(認知症)		6.00																	
								総合演習 I (物理·化学系薬学)		1.50																	
薬学科	准教授	山下	浩	45	男	博士 (薬学)	2008. 4. 1	総合演習 II (物理·化学系)		3.00																	
						(94-7-)		総合演習Ⅱ(卒業延期生 物理·化学系)		1.50																	
								薬学生入門(クラス担任 区分Ⅰ・Ⅲ)	_	9.00																	
								早期体験実習(クラス担任)	0	0.00																	
								日本語表現法(クラス担任)	-	3.00																	
								介護福祉体験実習(クラス担任)	0	0.00																	
								実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50																	
							,		9																		
								総合演習Ⅰ(ゼミ演習)	_	10,50																	
								総合演習 Ⅱ(クラス担任)		13.50																	
	_			-				授業担当時間の合計		216.00																	
						1		薬物治療学 I		21,00																	
								演習四(輸液計算演習1)		18.00																	
	1							実務実習事前学習(無菌調製演習)	0	24.00																	
								演習WI (薬剤師実務演習 区分1)		6.00																	
								処方解析学	7	7,50																	
								臨床薬学実習(退院時指導)	0	30.00																	
								臨床薬学総論		30,00																	
	准教授 (実務)									演習IX(アドバンスト処方解析)		12.00															
							准教授	准教授	准教授	准教授	de T	* 47			博士		総合演習 Ⅱ(実務系)		3.00								
							ш г	美 妃	42	女	(薬学)	2009. 4. 1	総合演習 II (卒業延期生 病態・治療系)		1.50												
										1		薬学生入門(クラス担任 区分 I・II)		9.00													
						P	l I			早期体験実習(クラス担任)	0	1.50															
							ili i				日本語表現法(クラス担任)	•	3.00														
								介護福祉体験実習(クラス担任)	0	0.00																	
								実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50																	
								総合演習 I (ゼミ演習)	0																		
		100							The second secon		9.00																
												総合演習 II (クラス担任) 授業担当時間の合計		13.50													
_	+	+	+	-	-	-	-	-	-	+	-		_	+					-	190.50							
	准教授								早期体験実習	0	15,00																
											1				免疫学	-	21.00										
								薬学基礎実習Ⅱ(区分4生命科学Ⅱ)	0	48.00																	
								薬学基礎実習Ⅱ(薬用植物)	0	12.00																	
								実習∇(薬理系)	0	24.00																	
		准教授							演習Ⅷ(調剤計算演習2)		18.00																
1.7503			准教授	准教授	·# #4.45			1/100		+100 +	000	サブリメント概説		15.00													
薬学科					若命	浩二	47	男	博士 (医学)	2014. 4. 1	薬学生入門(クラス担任 区分 I・Ⅲ)		9,00														
																						100	1.5	早期体験実習(クラス担任)	0	1.50	
								介護福祉体験実習(クラス担任)	0	0.00																	
									実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50																
									総合演習 I (ゼミ演習)		10.50																
								総合演習 II (クラス担任)		15.00																	
								授業担当時間の合計		193.50																	
								生物学		15.00																	
								上107 機能形態学IV(人体の構造機能4)	_	30.00																	
								薬学基礎実習 I (生物学)	0	61.50																	
								薬学生入門(クラス担任 区分 I・皿)	9	9.00																	
						100.9		早期体験実習(クラス担任)	0																		
薬学科	講師	(B) 10	萌子	32	女	博士	2013. 4. 1		0	1.50																	
SE 7-14	ple pili	17 7季	49 T	32	×	学)	2013. 4. 1	日本語表現法(クラス担任)	*	3,00																	
								介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50																	
								実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50																	
								総合演習 I (ゼミ演習)		9.00																	
								総合演習 II (クラス担任)		13.50																	
	+							授業担当時間の合計		145.50																	
								介護福祉体験実習	0	15.00	1																
								地域医療学		3.00																	
								実習VII(OTC)	0	24.00																	
栗学科	講師	伊 市	佳 美	48	女	博士	2007. 4. 1	実務実習事前学習(情報提供演習)	0	36.00																	
(実務)	ars plu	17 果	正 天	40	×	(薬学)	2001. 4. 1	臨床薬学実習(受付·服薬指導)	0	30.00																	
								演習IX(アドバンストDI)		12.00																	
									総合演習 I (ゼミ演習)		10.50																

表1. 薬学科(6年制)専任教員(基礎資料8の表1)が担当する授業科目と担当時間

学科 11	職名 2	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任 年月日	授業担当科目 3)		授業時間 4	年間で平均した 週当り授業時間								
		1176							情報リテラシー(情報検索スキル)		6.00	0.							
							- 41	医薬情報学		15.00	0.								
								演習Ⅶ(調剤計算演習1)		18.00	0.								
								実務実習事前学習(情報提供演習)	0	24.00	0.								
								実習VII(DI)	0	54.00	1.								
								臨床薬学実習(OTC)	0	60.00	2								
						博士		演習IX(アドバンストDI)		12.00	0.								
薬学科	講師	梅田	純 代	44	女	(薬学)	2007. 4. 1	薬学生入門(クラス担任 区分 I・Ⅲ)		9,00	0								
								早期体験実習(クラス担任)	0	1.50	0								
								日本語表現法(クラス担任)		3.00	0								
								介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50	0								
								実習V(クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50	0								
								総合演習 I (ゼミ演習)		10.50	0								
								総合演習 Ⅱ(クラス担任)		12.00	0								
								授業担当時間の合計		228.00	7								
						-		立体構造化学		30.00	1								
								有機化学Ⅱ	1	30.00	1								
								薬学基礎実習Ⅱ(区分1有機化学Ⅰ)	0	48,00									
								演習Ⅶ(輸液計算演習2)		18.00	(
								総合演習 I (物理·化学系薬学)		1.50	0								
								総合演習 II (物理·化学系)		3.00	(
						16.		総合演習Ⅱ(卒業延期生 物理·化学系)		3.00									
薬学科	講師	金 田	京介	35	男	博士 (薬学)	2012. 4. 1	薬学生入門(クラス担任 区分 I・Ⅲ)		9.00									
40.4					100	(衆子)		早期体験実習(クラス担任)	0	1.50									
								日本語表現法(クラス担任)	-	3.00									
								介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50									
							7	実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1,50									
91								総合演習 I (ゼミ演習)		10.50									
								総合演習 I(クラス担任)	-	15.00									
				-				授業担当時間の合計	_	175.50									
	_	_			+	-			薬剤師実務体験実習(注射剤)	0	-								
								柴州即关防体款美育(注射剂) 地球環境学	0	36,00									
				1	k i					15.00									
								演習 V (公衆・環境衛生学)	-	12.00									
								実習Ⅳ(区分Ⅱ循環器疾患)	0	42.00									
						400.1	2002	地球環境学		15,00	- 0								
								実務実習事前学習(無菌調製演習)	0	24.00									
薬学科	調節	佐 藤	恵 亮	29	男	博士 (薬学)	2016. 4. 1	薬学生入門(クラス担任 区分 I・Ⅲ)		9.00									
		7.47				100	(業子)	0.00	早期体験実習(クラス担任)	0	1.50	1.1							
								日本語表現法(クラス担任)		3.00									
								介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50									
								実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1,50									
								総合演習 I (ゼミ演習)		10.50	1 7 1								
								総合演習 Ⅱ(クラス担任)	7	15.00	10								
								授業担当時間の合計		186.00	11								
				1				基礎有機化学		30.00									
													薬学基礎実習 I (化学)	0	60.00				
									総合演習 I (卒業延期生 物理·化学系)		3.00	11.							
										総合演習Ⅱ(物理·化学系)		4.50							
						7		薬学生入門(クラス担任 区分Ⅰ・Ⅲ)		9.00	1 ====5								
薬学科	講師	科講師	講師	講師	講師 鈴	鈴木	裕 治	35	男	博士	2012. 4. 1	早期体験実習(クラス担任)	0	1.50	1				
	77.7	10 A			1 2 2	(工学)	Seal Charles	日本語表現法(クラス担任)	-0"	3.00									
								介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50									
								実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50									
	1 1							総合演習 I (ゼミ演習)		9.00									
								総合演習 I(クラス担任)		10.50									
								授業担当時間の合計		163.50									
				1				早期体験実習	0										
								食品衛生学	9	21.00									
										30.00									
								自然科学概論 I	-	15.00									
								薬学基礎実習 I (生物学)	0	60.00									
								演習 V (物理薬剤学)		12.00									
						博士		実習 V (薬剤系実験)	0	24.00									
薬学科	講師	高橋	夏子	35	女	(食品栄養	2012. 4. 1	薬学生入門(クラス担任 区分 I +Ⅲ)		9.00	1								
200.71	310.7	1-4	-	30	2	科学)		早期体験実習(クラス担任)	0	1.50									
						200		日本語表現法(クラス担任)		3.00									
								介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50									
								実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50									
								総合演習 I (ゼミ演習)		4.50									
								総合演習 II (クラス担任)		12.00	11.00								
	- 1			1 -	1			授業担当時間の合計	_	195.00									

表1. 薬学科(6年制)専任教員(基礎資料8の表1)が担当する授業科目と担当時間

学科 1)	職名 2)	氏	名	年齢	性別	学位称号	現職就任 年月日	授業担当科目 3		授業時間 4)	年間で平均した週当り授業時間
								介護福祉体験実習	0	21.00	0
								薬学生入門(区分皿ラーニングスキル)		18.00	0
							-	実習Ⅵ(薬局 医療面接)	0	54.00	1
								実務実習事前学習(患者対応演習)	0	36.00	1
								臨床薬学実習(退院時指導)	0	60.00	2
								臨床薬学実習(実務実習に必要な医薬品について学ぶ)	0	9.00	0
								演習IX(実務実習を振り返る)		12.00	0
						77.5		総合演習 Ⅱ(実務系)		3.00	Ò
薬学科	講師	aft H	香陽子	40	女	博士	2014. 4. 1	総合演習Ⅱ(卒業延期生 薬理系)		6.00	0
45.7.11	(実務)		- H(4)	1.0		(医学)	2013.3.1	薬学生入門(クラス担任 区分 [・皿)		9.00	
								早期体験実習(クラス担任)	0	1.50	
				1					9		
								日本語表現法(クラス担任)		3.00	- 1
								介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1,50	
								実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50	
								総合演習 I (ゼミ演習)		10.50	
								総合演習 Ⅱ(クラス担任)		15.00	- 1
								授業担当時間の合計		261.00	
								物理化学		30.00	
								生物薬剤学I	-	30,00	
					1			演習 V (生物薬剤学)		12.00	
								実習 V (薬剤系実験)	0	25.50	
								実習VII(TDM)	0	54.00	
								総合演習 Ⅱ(薬剤系)	0	1,50	
										-	
亚州大村	246,000	-			m.	博士	2012	総合演習Ⅱ(卒業延期生 薬剤系)		3.00	
薬学科	講師	PJ	上紘平	33	男	(薬学)	2013. 4. 1	薬学生入門(クラス担任 区分 I・Ⅲ)		9.00	
						A-4, 1, 1		早期体験実習(クラス担任)	0	1.50	
								日本語表現法(クラス担任)		3.00	
								介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50	
								実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50	
								総合演習 I (ゼミ演習)		10.50	
								総合演習 II(クラス担任)		12.00	
								授業担当時間の合計		195.00	
								生物学		15.00	
								薬学基礎実習 I (生物学)	0	60.00	
								分子生物学・遺伝子工学	9		
									_	30.00	
								ゲノム薬学	_	15,00	
								実習IV(区分 I 内分泌代謝疾患)	0	42.00	
	50.50			1 72	100	博士	55,565,70	薬学生入門(クラス担任 区分 I・Ⅲ)		9.00	
薬学科	2萬 6市	中日	章史	41	男	(農学)	2014. 4. 1	早期体験実習(クラス担任)	0	1.50	
								日本語表現法(クラス担任)		3.00	
								介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1,50	
								実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1:50	
								総合演習 I (ゼミ演習)		7.50	
					1			総合演習Ⅱ(薬理系)		15.00	1
								授業担当時間の合計		201.00	
								防災·教急対応実習(教急)	0	12.00	
								薬学計算 I			
									-	15.00	
								無機化学	_	30.00	
								薬学計算Ⅱ		15.00	
						850		薬学基礎実習 I (化学)	0	60.00	
薬学科	調節	馬士	暑 暁 子	36	女	博士	2015. 4. 1	薬学基礎実習Ⅱ(区分1有機化学Ⅰ)	0	48.00	
111 4-43		-	- 10		1	(薬学)	4716 71	薬学生入門(クラス担任 区分 I・II)		9.00	
								早期体験実習(クラス担任)	0	1.50	
								日本語表現法(クラス担任)		3.00	
								介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50	
								総合演習 I (ゼミ演習)		9,00	
								授業担当時間の合計		204.00	
								薬学生入門(区分皿ラーニングスキル)		6.00	
	ol: Y							病態生理学(心臓・血管、皮膚・感覚器)		10.50	
								実務実習事前学習(計量調剤・水剤)	0	-	
										36.00	
								実習VI(水剤)	0	37.50	
								臨床コミュニケーション演習		7,50	
								臨床薬学総論(脂質異常)		7,50	
								演習班(薬剤師実務演習 区分 I·Ⅲ)		12.00	1
								臨床薬学実習(フィジカルアセスメント)	0	60.00	
W-44.24	講師	777	- 200 11	- 00		博士	2015	演習IX(実務実習を振り返る)		6.00	
薬学科	(実務)	際 2	本 哲 也	39	男	(薬学)	2015. 4. 1	演習IX(アドバンストフィジカルアセスメント)		18.00	
							1	総合演習Ⅱ(卒業延期生 実務系)		3.00	
								薬学生入門(クラス担任 区分Ⅰ・Ⅲ)		9.00	
										-	
								日本語表現法(クラス担任)	-	3,00	
								早期体験実習(クラス担任)	0	1.50	
								介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1,50	
								実習V(クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50	
								総合演習 I (ゼミ演習)		10.50	
		i .			1			授業担当時間の合計		231.00	

表1. 薬学科(6年制)専任教員(基礎資料8の表1)が担当する授業科目と担当時間

学科 1)	職名 2)	氏		名	年齡	性別	学位称号	現職就任 年月日	授業担当科目 3)		授業時間 4	年間で平均した 週当り授業時間
									早期体験実習	0	12.00	0.
									薬学基礎実習 I (分析化学)	0	60.00	2.
									定量分析化学		30,00	13
									実習 V (薬剤師業務体験学習)	0	15.00	0.
									薬学生入門(クラス担任 区分 [・Ⅲ)		9.00	0.
	1000					1	博士	100	日本語表現法(クラス担任)		3.00	0.
薬学科	講師	三原	義	広	31	男	(環境科	2016. 4. 1	早期体験実習(クラス担任)	0	-	
						-	学)				1.50	0.
	1 1								介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1,50	0.
									実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1,50	0.
	1 1								総合演習 I (ゼミ演習)		9,00	0.
									総合演習 Ⅱ(クラス担任)		13.50	.0.
									授業担当時間の合計		156.00	5
									薬学生入門(区分皿ラーニングスキル)		24.00	0.
	1 1								早期体験実習	0	21.00	0.
	1 1								薬剤師実務体験実習(コミュニケーション)	0	36.00	
	1 1									_	-	1.
	1 1								実務実習事前学習(患者対応演習)	0	24.00	0
	1 1						薬学士		実習Ⅵ(調剤)	0	36.00	1
- Charles	講師	77			100		修士	T. C. D.	臨床コミュニケーション論		18,00	0
薬学科	(実務)	村岡	Ŧ	種	43	女	(教育ファ	2015. 4. 1	臨床薬学実習(病院患者)	0	60.00	2
	16.5.0.1						シリテー		薬学生入門(クラス担任 区分 I・Ⅲ)		9.00	0
							ション)		日本語表現法(クラス担任)		3.00	0
									早期体験実習(クラス担任)	0	1,50	0
									介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50	0
						1			実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1.50	0
									授業担当時間の合計	0		
	+		_			-			The state of the s	_	235.50	7
									薬剤師実務体験実習(液剤)	0	37.50	1
									介護福祉体験実習	0	7,50	0
									実務実習事前学習(計量調剤 散剤)	0	36.00	1
									実習VI(散剤)	0	37.50	1
					1				臨床薬学実習(受付・服薬指導)	0	60,00	2
									薬学生入門(クラス担任 区分 I・II)		9.00	0
薬学科	講師	守 屋	10	>	40	男	博士	2015. 4. 1	日本語表現法(クラス担任)	-	3.00	0
39.3.27	81.00			_	134		(薬学)	2010	早期体験実習(クラス担任)	0	1.50	
											-	0
									介護福祉体験実習(クラス担任)	0	1.50	0
									実習 V (クラス担任 報告書作成指導)	0	1,50	0
					1				総合演習 I (ゼミ演習)		10.50	0
									総合演習 II(クラス担任)		12,00	
									授業担当時間の合計		217.50	7
									地域医療学	-	3.00	(
									実習VI(軟膏)	0	19.50	0
									実習班	0	12.00	
栗学科	講師	柳本	U	12	60	女	博士	2011. 6. 1	実務実習事前学習(計数調剤 錠剤)	0		1
SK 7:17	(実務)	33h	. 0.	C 07	00	-	(薬学)	2011. 0. 1		_	36.00	
	1								臨床薬学実習(在宅)	0	30,00	
									演習IX(アドバンストDI)		12.00	C
									授業担当時間の合計		112,50	3
									H28年度 海外留学			1.9
亚州	E4-46	Ė	44	+	21	m	博士	2012 4 4				(
薬学科	助教	向	TO	志	31	男	(薬学)	2013. 4. 1				T N
							1-9-21		授業担当時間の合計		0.00	
									早期体験実習	0	21.00	
									薬剤師実務体験実習	0	36.00	
									実習Ⅳ	0	42.00	
all all all	2120	T work					+10 -+-	ODEA F D	実習VI	0	18.00	- (
薬学科	助教	Щ	佳	織	28	女	博士 (薬学)	2016. 4. 1	実務実習事前学習(計量調剤 軟膏)	0	36.00	
							177		薬学生入門		9,00	
									早期体験実習(クラス担任)	0	1.50	(
									日本語表現法(クラス担任)	-	3,00	
	1				1	1	1		ロー・ロタグル(ノノヘだ江)		3,00	

(以下に同じ様式で記入欄を追加し、ハンドブックの例示に従ってご記入ください)

- 1) 薬学科 (6年制) 専任教員のみが対象ですが、2学科制薬学部で4年制学科の兼担教員となっている場合は(兼担学科名)を付記してください。
- 2) 臨床における実務経験を有する専任教員には、職名に(実務)と付記してください。
- 3) 「授業担当科目」には、「卒業研究」の指導を除く全ての授業担当科目(兼担学科の科目も含む)を記入し、実習科目は科目名の右欄に◎を付してください。
- 4)「授業時間」には、当該教員がその科目で行う延べ授業時間を時間数を、以下に従ってご記入ください。 ※講義科目は時間割から計算される実際の時間数(1コマ90分の授業15回担当すれば、90×15÷60=22 5時間)を記入します。 ※複数教員で分担している場合は授業回数を分担回数とし、履修者が多いため同一科目を反復開講している場合は授業時間数に反復回数を乗じます。 ※実習科目では、同一科目を複数教員(例えば、教授1名と助教、助手2名)が担当していても、常時共同で指導している場合は分担担当としません。
- 5) 「年間で平均した週当り授業時間」には、総授業時間を「30」(授業が実施される1年間の基準週数)で除した値を記入してください。 開講する週数が30週ではない大学でも、大学間の比較ができるよう「30」で除してください。

(基礎資料10) 教員の教育担当状況(続)

表2. 助手(基礎資料8の表2)の教育担当状況 該

該当者なし

明年間で平均した 調当り授業時間			
総授業時間			
授業担当科目			
就任年月日			
学位			
性別			
年齡			
氏名			
職名	助手	助手	
李科	薬学科	薬学科	

(以下に同じ様式で記入欄を追加し、ハンドブックの例示に従ってご記入ください)

[注] 担当時間数などの記入について表1の脚注に倣ってください。 兼担教員については、「授業担当時間の合計」の算出は不要です。

表3. 兼担教員(基礎資料8の表2)が担当する薬学科(6年制)の専門科目と担当時間

該当者なし

持為	職名	氏	谷	年齢	性別	学位	現職就任 年 月 日	授業担当科目	総授業時間	年間で平均した 週当り授業時間
本は本〇〇										
○○米な子な										
〇〇薬科学科										
		以下に	以下に同じ様式で記入欄	で記入欄	間を追加	11. A	ンドブックの	を追加し、ハンドブックの倒示に従ってご記入ください。	(1) 11	

[注] 担当時間数などの記入について表1の脚注に倣ってください。 兼担教員については、「授業担当時間の合計」の算出は不要です。

(基礎資料11) 卒業研究の配属状況および研究室の広さ

4年生の在籍学生数 191 名

5年生の在籍学生数 195 名

6年生の在籍学生数 220 名 (卒研に従事しない卒延生39名、休学者1名を含む)

	配属講座など	指導教員数	4年生配属学生数	5年生配属学生数	6 年生 配属学生数	合計	卒業研究を実施す る研究室の面積 (m²)
1	Aグループ(伊藤慎・高梨・三原)	3	13	17	9	39	180. 78
2	Bグループ (和田・山下浩)	2	8	7	7	22	477.44
3	Cグループ (水上・鈴木)	2	6	7	7	20	177. 13
4	Dグループ(吉岡・斉藤・金田・馬場)	4	10	5	11	26	179. 38
5	Eグループ(江川・伊藤萌・中田)	3	13	15	14	42	177. 84
6	Fグループ(桜井・村岡・加納)	3	13	15	14	42	180. 78
7	Gグループ (佐藤久・髙栗・今井)	3	10	7	8	25	177. 13
8	Hグループ (前田・小松・若命)	3	13	15	11	39	178. 61
9	グループ(丁野・戸上・多田)	3	13	8	4	25	156. 18
10	」グループ(佐藤隆・高橋夏・渡辺 一)	3	8	12	11	31	180. 78
11	Kグループ (丹保・立浪・佐藤恵)	3	13	15	14	42	177. 21
12	Lグループ (早川・佐藤秀・大滝)	3	8	13	8	29	84. 04
13	Mグループ (早勢・町田・三浦・山)	4	10	9	11	30	181. 5
14	Nグループ (戸田・今田・向・猪爪)	4	13	14	14	41	180. 78
15	Oグループ (郡・山下美・守屋)	3	9	15	14	38	177. 84
16	Pグループ (櫻井・村上・岸本)	3	12	7	9	28	84. 75
17	Qグループ (黒澤・梅田)	2	8	6	5	19	65. 2
18	Rグループ(島森・古田・柳本・坂 東・伊東)	5	7	8	7	22	86. 2
19	Sグループ (野呂瀬・高橋淳・大野 裕・武田・藤本・村岡千)	6	4	0	2	6	43. 46
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
	合 計	62	191	195	180	566	1

実験研究室 + セミナー室

[注] 1 卒業研究を実施している学年にあわせ、欄を増減して作成してください。

- 2 指導教員数には担当する教員(助手を含む)の数を記入してください。
- 3 講座制をとっていない大学は、配属講座名を適宜変更して作成してください。

(基礎資料12-1) 薬学科の教育に使用する施設の状況

	施設 11	座席数	室数	収容人員合計	童 光
	大講義室	250	4	1, 000	固定机(他に車いす対応の可動席6席)内2室は各席に電源・情報コンセントを装備、CBT対応)無線LAN対応
	中講義室	134	T	134	固定机(各席に電源・情報コンセントを装備)無線LAN対応
	中講義室	132	3	396	個人机·無線LAN対応
講義至.演習室 2	中講義室	130	2	260	個人机·無線LAN対応
	小講義室	72	2	360	個人机·無線LAN対応
	演習室	40	2	80	2人掛け長机,無線LAN対応
	B 202多目的演習室	9	24	144	2人掛け長机・無線LAN対応(OSCE対応)
	実習室	128	3	384	各実験室に8人掛け実験台16台設置、クリーンベンチ各6台
	模擬薬局		-		薬歴管理システム15台、薬局模擬カウンター10席、模擬調剤室
	OTC室	24	-	24	
米	シミュレーター室	24	-	24	フィジコ6体、さくら1体 高機能シミュレーター・スタン1体他
	無菌注射剤調製室	20	-	20	クリーンベンチ10台
	TDM室		1		臨床化学自動分析装置(生化学および免疫検査)Cobas 6000< c501>を設置
	セミナー室		22	546	無線LAN対応
自習室等	学習ラウンジ		10か所	268	無線LAN対応
	ラーニングコモンズ (学習室)		4	194	無線LAN対応 (内キャレル 56席)
	※以下の概要を任意の様式で記載 1)設置場所(薬学部キャンパス 別キャンパス・柱岡キャンパ	記載してください。 パス内か別キャンパスか) ンパス(小樽市桂岡町7番1号)	パスか) 岡町7番1号)		
薬用植物園	2) 施設の構成と規模 薬草園:3,290㎡ (管理棟プレハブ)、標本館:500㎡ (生薬標本200点、温室併設)	ハブ)、標本	s館: 500㎡	(生薬標本200点、	温室併設)
	3) 栽培している植物種の数 約300種				
	4) その他の特記事項 例年6月~10月まで一般来園ま	6の園内自由見	学を受け入	8園者の園内自由見学を受け入れ (平日 9:00~16:00	(6:00 土、日、祝日、夏季休日は閉園)。

¹⁾総合大学では薬学部の教育で使用している講義室、演習室、実習室などを対象にしてください。

²⁾講義室・演習室には収容人数による適当な区分を設け、同じ区分での座席数の範囲を示してください。また、固定席か可変席か、その他特記すべき施設などを、例示を参考にして備考に記入してください。

(基礎資料12-2) 卒業研究などに使用する施設

表1. 講座・研究室の施設

施設名	面積 2)	収容人員 3)	室数 4)	備考
教員個室 (教授個室)	21. 44m ²	٨١	26	
教員個室(共同利用小)	42. 06m ²	3人	12	
教員個室(共同利用大)	86. 29m ²	7.9	_	
実験研究室(小)2)	57. 06m ²	7.0	-	B213 (未使用)
実験研究室(大)2)	115. 25m ²	4.	13	B101, B102, B103, B214, B301, B302, B303, B401, B402, B403, B421, B422, B423
実習室 ²⁾	230. 49m ²	128人	s	実験実習室 (3室) B211, B321, B322
実習室(シミュレーター室)	117. 06m ²	24人	-1	B530 フィジコ6体、さくら1体 高機能シミュレーター・スタン1体他
実習室 (OTC室)	57. 06m ²	24. k	_	B528
実習室 (模擬薬局)	173. 07m ²	35人	-	B526 模擬調剤室10人、模擬薬局カウンター10席、薬歴管理システム15台
実習室(無菌注射剤調製室)	114. 11m ²	20.A	1	B509 クリーンベンチ10台
実習室 (TDM)	52. 44m²	30人	1	B507 臨床化学自動分析装置(生化学および免疫検査)Cobas 6000 <c501>を設置</c501>
多目的演習室	401. 32m ²	144人	1	B202 6人収容の個室をパテーションの仕切りで24室設定でき、OSCEに使用。
セミナー室 (大)	63. 69m²	456人	15	B113. B114. B125. B126. B320. B323. B324. B325. B418. B424. B425. B426. B531. B532. B533
セミナー室(中)	42. 53m ²	50人	3	B203、B319、B417
セミナー室 (小)	22. 12m ²	40人	4	B316、B413、B518、B519
個別学習室大(ラーニングユモンズ)	148. 61m ²	48人	1	B210
協働学習室中(ラーニングコモンズ)	127. 44m ²	入08	-	B215
学習支援室(ラーニングュモンズ)	41. 77m ²	26人	_	B217
個人学習室(ラーニングュモンズ)	63. 09m ²	40人	-	B204
共用機器室(質量分析室)	57. 06m ²	7.9	_	B119 (MS室)
共用機器室 (核磁気共鳴室)	59. 43m ²	5人	1	B118 (NMR室)

表1. 講座・研究室の施設

講座・研究室が占有する施設(隣接する2~3講座で共用する施設を含む)を記載してください。 実験室・研究室に広さが異なるものがある場合は、「大・小」、「大・中・小」のように大まかに区分してください。 同じ区分の部屋で面積に若干の違いがある場合、面積には平均値をご記入ください。 1室当たりの収容人数をご記入ください。同じ区分の部屋で若干の違いがある場合は平均値をご記入ください。 薬学科の卒業研究を担当する講座・研究室が占有する部屋の合計数をご記入ください。(ひとつの講座・研究室当たりの数ではありません。) 535

学部で共用する実験施設 表2.

施設の区分が	室数	施設の内容
大型測定器室	5	核磁気共鳴室(B118NMR室1室)、質量分析室(B119MS室1室) その他、LC-MS(B305恒温室)、共焦点レーザースキャン蛍光顕微鏡(B505顕微鏡室)、KT-PCR(B404測 定室)
実験動物施設	12	一般動物飼育室(3室)、遺伝子組換え動物飼育室(1室)、一般動物実験室(2室)、遺伝子組換え 動物実験室(1室)、保管室(2室)、フリーザー室(1室)、作業室(1室)、管理室(1室)
RI実験施設	17	管理室(1室)、汚染検査室(1室)、測定室(1室)、機器室(2室)、準備室(2室)、実験室(5室)、貯蔵室(1室)、保管廃棄室(2室)、暗室(1室)、機械室(1室)
その他の施設。		

1)例示のように、大まかな用途による区分を設け、各区分に含まれる室数と施設の内容を例示のように列記してください。(面積などは不要です) 2)例示以外の実験施設(例えば、培養室など)があれば追加してください。

0	24		6. 5	4, 931	319	<u> </u>
0	24	6.5 グループ学習室	6. 5	4, 931	319	北海道科学大学図書館
その他の 自習室の整備状況 ²⁾	その他の自習室の座席数	その他の自習室の名称	収容定員に対する 座席数の割合(%) A/B*100	学生収容 定員数 (B) ¹⁾	学生閲覧室 座席数 (A)	図書室(館)の名称

- 1) 「学生収容定員数 (B)」欄には、当該施設を利用している全ての学部・大学院学生等を合計した学生収容定員数を記入してください。
- 2) 「その他の自習室の整備状況」欄には情報処理端末をいくつ設置しているか等を記載してください。
- 3) 「備考」欄には「学生収容定員(B)」の内訳を、学部・大学院等ごとに記入してください。

(基礎資料14) 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況

	離れ	開架図書には電子ブック 含む	
入れ状況	平成27年度	951	951
過去3年間の図書受け入れ状況	平成26年度	602	602
過去3年	平成25年度	913	913
電子ジャー	チルの種類 (種類) ³⁾	2, 894	2894
6	<u> </u>	316	316
物の種類	外国書	352	352
定期刊行物の種類	中国	98	98
1 無数	開架図書の 串数(内) 1)	15, 627	15627
図書の冊数	図書の全冊数	41, 502	41502
	図書館の名称	北海道科学大学図書館	alica

[注] 雑誌等ですでに製本済みのものは図書の冊数に加えても結構です。

1) 開架図書の冊数 (内) は、図書の全冊数のうち何冊かを記入してください。

2) 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、スライド、映画フィルム、 CD-ROM等を含め、所蔵数については、タイトル数を記載してください。

3) 電子ジャーナルが中央図書館で集中管理されている場合は、中央図書館にのみ数値を記入し、備考欄にその旨を注記してください。

	教育および研究	活動の業績一覧		
北海道薬科大学		学長	渡泊	D 泰裕
I 教育活動				
教育	『実践上の主な業績	年 月 日	概	要
1 教育内容・方法	法の工夫	2012年4月~	プリント・パ	」において、教材 ワーポイントを作 を促進するための E施
2 作成した教科	書、教材、参考書	2014年4月 2015年4月	して・・・」 監修 「Visual cor	列解析演習 基礎 野から症例を俯瞰 (京都廣川書店): e pharma 薬物治療 は版)」(南山堂):
他3件 3 教育方法・教	育実践に関する発表、講演等	2014年4月23日		師会「6年制薬学 薬科大学の現状と
		2014年6月19日	フォーラム educate stud professiona	薬科大学協会薬学「Curriculum to dents as medical Is who will serve ty and effect of on」
4 その他教育活動 他6件	動上特記すべき事項(FD を含む)	2016年11月11日 2016年12月21日	演「学生を は?」 北海道薬科大	(学 FD 講演会 : 講別きつける授業と (学 FD 講演会 : 講携教育の実践とそ
Ⅱ 研究活動		I	l	
1. 著書・論文等	の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称
metalloproteinas C-reactive prote arthritis in ant	gnostic utility of matrix se-3 and high-sensitivity ein for predicting rheumatoid i-cyclic citrullinated peptide ve patients with recent-onset d arthritis	共著	2013年9月	Rheumatol Int, 33 (9), 2309–231 4

(論文) MMP-9/ANC score as a pr	redictive			Cancer
biomarker for efficacy of bevac			Biomarkers, 15	
platinum doublet chemotherapy in	共著	2015年4月	(4), 433-440	
advanced or recurrent non-squam	nous non-small			
cell lung cancer				
(論文) Ageing-associated infla	ammation			Jacobs J
(inflammageing): multiplex cyto	okine analysis	共著	2015年9月	Gerontol, 1(2),
in healthy Japanese individuals	3			10-14
(論文) Inflammageing assessed	by MMP-9 in			Intractable
normal Japanese individuals and	d the patients	共著	2016年5月	Rare Dis Res,
with Werner syndrome				5(2), 103-108
(著書)次世代の薬剤師		共著	2015年12月	日経 BP 社
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名)Ageing-associated lat	(演題名) Ageing-associated latent herpes viral infection in			10 th European
normal Japanese individuals and	d the patients	with Werner		Congress of
syndrome				Biogerontology
				and 6 th
				Biogerontologic
				Meeting
(演題名)分泌不全型アデノシン -	デアミナーゼ 2 σ)性質と生理機能	2017年3月	日本薬学会第
の解析			2017 — 0 73	137 回年会
Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
2013年4月~2014年3月	2013 年 4 月~2014 年 3 月 日本薬学会 北海道支部長			
2013年4月~2015年3月	日本薬学会 代議員			
2016年6月~	秋山記念生命科学財団 理事			

	教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	応用薬学系・薬剤学分野	副学長	渡辺 一弘		
I 教育活動					
教育	『実践上の主な業績	年月日	概	要	
1 教育内容・方法	法の工夫	2015年~	担当科目「生物薬剤学」「生物薬剤学 II 」の理解を深めるために 教科書の補完のため独自の講 義・演習問題プリントを作成し 学生に配付		
2 作成した教科	書、教材、参考書	2015年12月	「NEW パワー 学」(廣川書	·ブック生物薬剤 店): 共著	
3 教育方法・教	育実践に関する発表、講演等	2013年7月		5薬剤師業務体験学 その評価 (共著)医 7), 413-422	
4 その他教育活動	動上特記すべき事項(FD を含む)	2016年11月11日			
		2016年12月21日	北海道薬科大学 FD 講演会:講演 「専門職連携教育の実践とその 効果」		
他4件					
Ⅱ 研究活動				,	
1. 著書・論文等	の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等の 名称	
	ntal studies on the inhibitory opanax senticosus Harms on ion	共著	2013年9月	J Ethnopharmacol, 132, 193-199	
	ory effect of black tea and its n acarbose on small intestinal activity	共著	2015年3月	J Ethnopharmacol, 161, 147-155	
	ea inhibits small intestinal se activity in db/db mouse	共著	2015年9月	Jpn J Complement Alternat Med, 11(1), 25-33	
	相互作用:薬物代謝酵素(CYP3A4, するエゾウコギの影響(第3報)	共著	2015年11月	日本補完代替医 療学会誌, 11(1), 17-25	
	ory Effects of Eight Green Tea ochrome P450 1A2, 2C9, 2D6, and	共著	2016年5月	J Pharm Pharm Sci, 19(2), 188-197	

2. 学会発表(評価対象年度のみ)				
(演題名) アルミノプロフェンの	2016年5月	日本薬学会北海		
			道支部第 143 回例 会	
(演題名) アルミノプロフェンの	小腸における吸収機構の解明	2016年7月	第 20 回日本地域	
			薬局薬学会年会	
(演題名) 非ステロイド性抗炎症	薬の吸収機構に関する研究	2016年9月	日本社会薬学会	
			第 35 年会	
(演題名) 非ステロイド性抗炎症薬	と生薬成分との相互作用に関す	2016年9月	日本社会薬学会	
る研究			第 35 年会	
(演題名) 非ステロイド性抗炎症	薬の消化管吸収機構の解明	2016年11月	第 23 回日本未病	
			システム学会学	
			術総会	
(演題名)小腸吸収過程におけるア	アルミノプロフェンの薬物動態に	2017年3月	日本薬学会第 137	
関する研究			回年会	
Ⅲ 学会等および社会における主	な活動			
2007年4月~2013年3月	北海道星置養護学校 評議員			
2008年5月~2014年3月	小樽薬剤師会 理事			
2008年5月~2012年5月	日本薬剤学会 評議員			
2011年4月~	日本未病システム学会北海道支	部 幹事		
2013年7月~	日本未病システム学会北海道支	部 副会長		
2011年7月~	日本地域薬局薬学会 理事			
2011 年 7 月~ 日本未病システム学会 評議員				
2011年12月~2013年11月	小樽市健康増進計画推進会議委員	 員		
2013年6月~	北海道薬剤師会公衆衛生検査セ	ンター理事		
2016年7月	第 20 回日本地域薬局薬学会年会	年会頭		

教育および研究活動の業績一覧					
北海道薬科大学	北海道薬科大学 臨床薬学系・臨床薬理学		猪爪	[信夫	
I 教育活動	I 教育活動				
教育	「実践上の主な業績 「実践上の主な業績	年月日	概	要	
1 教育内容・方法	法の工夫	2016年		学関連科目におい デンスを配布して ている。	
	書、教材、参考書	2016年3月	物動態学 I 基	を目指した臨床薬 基礎編およびⅡ治 リング編」(廣川書	
3 教育方法・教	育実践に関する発表、講演等				
4 その他教育活動	動上特記すべき事項(FD を含む)	2016年11月11日	北海道薬科大学FD講演会:講演会:講演会:講演会: 「学生を引きつける授業」 は?」		
		2016年12月21日	日 北海道薬科大学FD講演会:講 「専門職連携教育の実践とそ 効果」		
Ⅱ 研究活動			l		
3. 著書・論文等	の名称	単著・共著の別	発行または 発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称	
	tan competitively inhibits t paclitaxel metabolism in	共著	2014年9月	Biol Pharm Bull, 37(9), 1550-1554	
	interaction between losartan n human liver microsomes with 3 genotypes	共著	2014年11月	Basic Clin Pharmacol Toxicol, 116, 493-498	
epoxyeicosatrien	eous determination method of noic acids and dihydroxy- acids by LC-MS/MS system	共著	2015年10月	Biol Pharm Bull, 38(10), 1673-1679	
	of angiotensin II receptor bolism of arachidonic acid via	共著	2015年12月	Biol Pharm Bull, 38(12), 1975-1979	
in losartan-depe	of CYP2C8 and CYP2C9 genotypes endent inhibition of paclitaxel uman liver microsomes	共著	2016年6月	Basic Clin Pharmacol Toxicol, 118, 408-414	

4. 学会発表(評価対象年度のみ)					
(演題名) アラキドン酸代謝に及る 拮抗薬とフルバスタチン併用の影響		2016年6月	第 33 回日本 TDM 学会・学術大会		
(演題名) 潰瘍性大腸炎が周産期	-	2016年9月	第 26 回医療薬学		
的管理		2010 平 9 万	会年会		
(演題名) アンジオテンシン II 受 イコサノイド類濃度への併用薬の	2016年12月	第37回日本臨床 薬理学会学術総 会			
(演題名)神経栄養性因子、血中-	ナブスタンス P 濃度および電流		第37回日本臨床		
知覚域値の同時測定が、がん化学	療法誘発性末梢神経障害の初期	2016年12月	薬理学会学術総		
症状の評価に有用であった症例			会		
(演題名) Pharmacokinetic-Phar	macodynamic モデルに基づくス	2017年3月	日本薬学会第		
ボレキサントの適正使用に関する	考察	2017年3月	137 年会		
Ⅲ 学会等および社会における主力	は活動				
1999 年 6 月~	日本 TDM 学会 評議員				
2001年12月~					
2011年4月~					
2012 年 5 月~2016 年 6 月 北海道 TDM 研究会 会長					
2015年1月~2016年12月	日本臨床薬理学会編集委員会	委員			
2016年6月~	北海道 TDM 研究会 相談役				

教育および研究活動の業績一覧					
北海道薬科大学	基礎薬学系・医薬化学分野	教授	伊藤 慎二		
I 教育活動	I 教育活動				
教育	実践上の主な業績	年 月 日	概	要	
1 教育内容・方法	去の工夫	2010年~ 2013年~	「医薬化学 I 」「医薬化学 II 」 理解を深めるために、教科書 補完する講義プリント、演習 題を配付した。 「医薬化学 I 」「医薬化学 II 」 講義内容の理解度を確認する めに、講義中にミニ演習を毎 行った。		
2 作成した教科	書、教材、参考書	2016年10月 2014年4月	「北海道薬科大学基礎薬学実習 I実習書」(担当区分:分析化 学):共著 「多面的症例解析演習」(京都履 川書店):共著		
3 教育方法・教	育実践に関する発表、講演等				
4 その他教育活動 他 2 件	動上特記すべき事項(FD を含む)	2013年3月 2015年12月9日	北海道薬科大学カリキュラム作成 FD ワークショップ参加 平成 27 年度学生合同 FD ワークショップ参加		
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等	の名称	単著・共著の 別	発行または 発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称	
gel beads synthe	ion kinetic model of alginate sized micro particle-prussian cesium ions from water	共著	2016年4月	J Water Process Eng, 10, 9-19	
(記事) 医薬品の	化学構造から見えてくるもの-1	単著	2016年10月	道薬誌,33(10), 4-8	
(記事) 医薬品の)化学構造から見えてくるもの-2	単著	2016年11月	道薬誌, 33(11,12), 4-8	
(著書)分析化学	ī · II	共著	2011年9月	廣川書店	
(著書)NEW 薬品	分析化学	共著	2012年3月	廣川書店	

2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名)ライチ由来低分子ポリ の分析と腸管吸収性の検討	2016年5月	第 76 回分析化学 討論会		
(演題名) フラボノイドの小腸上)	皮細胞を介した膜透過性	2016年5月	日本薬学会北海 道支部第 143 回 例会	
(演題名) フラボノイド及びそのする膜透過性の検討.	類縁化合物の小腸上皮細胞に対	2016年9月	日本分析化学会 第 65 年会	
(演題名)カテコールエストロゲンの2)	いの位置選択的アシル化反応 (そ	2017年3月	日本薬学会第 137 年会	
(演題名)小腸上皮様細胞(Caco- 性の分析	(演題名) 小腸上皮様細胞(Caco-2)におけるフラボノイド類透過 性の分析			
(演題名)過酸化水素による細胞 御効果の検討 その1	傷害に対するシラカバ樹液の防	2017年3月	日本薬学会第 137 年会	
(演題名)過酸化水素による細胞 御効果の検討 その2	2017年3月	日本薬学会第 137 年会		
Ⅲ 学会等および社会における主	な活動			
1991年3月~	日本分析化学会北海道支部 幹	事		
2012年6月~2014年5月	日本アイソトープ協会第 27 期加	枚射線取扱主任 者	皆部会 支部委員	
2014年4月	放射線業務従事者等のための教	育訓練講習会	講師	
2014年9月	講師			
2015年2月~				
2016年6月~	年 6 月~ 北海道 泊発電所環境保全監視協議			
2016年10月~	日本薬学会 役員候補者選考委員会委員			
2017年2月~	日本薬学会 代議員			

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	基礎薬学系・生命科学分野	教授	江川 祥子	
I 教育活動			-	
教育写	異践上の主な業績	年 月 日	概	要
1 教育内容・方法	の工夫	2008年~	2008年~ 「機能形態学Ⅱ」の講義におて、演習問題を解く時間を多した。基礎学力の向上を図るとを目的に、課題を提出されて、演習価に反映させた。	
2 作成した教科書	、教材、参考書	2014年4月	「多面的症例 川書店): 共	列解析演習」(京都廣 著
他3件		2015 年8 月		έ形態学−ヒトの成 D働き 第3版」(廣 著
3 教育方法・教育	実践に関する発表、講演等	2015年3月	日本薬学会第 135 回年会:発表 「患者シミュレータを用いた 6 年次のアドバンスト・フィジカ ルアセスメント教育(第3報)」	
		2016年3月	日本薬学会第 136 回年会発表: 「患者シミュレータを用いたフィジカルアセスメント演習の新たな取り組みと課題」	
4 その他教育活動	上特記すべき事項(FD を含む)	2014年11月19日 ~2015年1月25日)C 講座「インタラク ィーチング」受講
		2016年11月11日	北海道薬科大学 FD 講演会:講演 「学生を引きつける授業と は?」	
他 1 件				
Ⅱ 研究活動			T	<i>5</i> 0
1. 著書・論文等の)名称	単著・共著の別	発行または 発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等の 名称
metalloproteinase C-reactive protei arthritis in anti peptide antibody-	ostic utility of matrix -3 and high-sensitivity n for predicting rheumatoid -cyclic citrullinated negative patients with fferentiated arthritis	共著	名称 Rheumatol Int, 33(9), 2309-2314 2013年9月	

(論文) MMP-9/ANC score as a predictive biomarker for efficacy of bevacizumab plus platinum doublet chemotherapy in patients with advanced or recurrent non-squamous non-small cell lung cancer		共著	2015年4月	Cancer Biomarkers, 15(4), 433-440
(論文) Ageing-associated infla (inflammageing): multiplex cyto in healthy Japanese individuals	kine analysis	共著	2015年9月	Jacobs J Gerontol, 1(2), 10-14
(論文) Multiplex cytokine analy syndrome	sis of Werner	共著	2015年11月	Intractable Rare Dis Res, 4(4), 190-197
(論文) Inflammageing assessed by MMP-9 in normal Japanese individuals and the patients 共著 with Werner syndrome			2016年5月	Intractable Rare Dis Res, 5(2), 103-108
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名) Ageing-associated latent herpes viral infection in normal Japanese individuals and the patients with Werner syndrome			2016年9月	10 th European Congress of Biogerontology and 6 th Biogerontologic Meeting
(演題名)ADA2 遺伝子変異を同定した結節性多発動脈炎(PN)の 1 例			2016年10月	第 26 回日本小児 リウマチ学会総 会
(演題名)分泌不全型アデノシンデアミナーゼ2の性質と生理機能 の解析			2017年3月	日本薬学会第 137 回年会
Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
2012年2月~2015年2月 日本薬学会北海道支部幹事				
2013年2月~2014年1月	日本薬学会北海道支部庶務幹事			
2013年2月~2017年2月	日本薬学会 代議員			
2013年4月~2017年3月	公益財団法人秋山記念生命科学振興財団 研究助成選考委員			

	教育および研究	活動の業績一覧			
北海道薬科大学	基礎教育系・語学分野	教授	大野 拓恵		
I 教育活動					
教育	『実践上の主な業績	年月日	概 要		
1 教育内容・方法	法の工夫	2011年4月~	「英語 I 」「英語 II 」「英語 II 」で、スクリーン上に英文の構造を視覚的にわかりやすく示し、学生のメタ的理解を促進している。e-Learning と連動した単語テストの整備を行い、学生に取り組みやすくしている。		
		2014年4月~	3年生「実用英会話」、6年生「演習区」、自由科目セミナーの英会話で、ネイティブ講師をリード、サポートし、授業計画、評価(特にルーブリック評価表の作成、改良)を行い、学生の動機づけを高めている。		
2 作成した教科	書、教材、参考書				
3 教育方法・教	育実践に関する発表、講演等	2015年6月 2015年8月	CAES International Conference:発表「A self-based approach inducing self-learning for University students」 全国英語教育学会(JASELE)シンポジウム:発表「大学英語教育における協同学習を考える — 思い込みからの軌道修正の道のり」		
他3件					
4 その他教育活動	動上特記すべき事項(FD を含む)	2014年4月~	「薬剤師実践英語研究会(PEP)」 にて社会人向けプログラムにて アシスタント		

Ⅱ 研究活動	Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の名称		単著・共著の 別	発行または 発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称	
(論文)薬剤師養成のための ESP プ 向けて -北海道の地域医療をにな 一環としての北海道薬科大学英語	う薬剤師養成の	共著	2012年8月	第62回東北·北 海道地区大学等 高等·共通教育 研究会研究集 録,52-57	
(論文)英語学習に困難を抱える日本人大学生の実 態調査		単著	2012年11月	日本教育心理学 会第54回総会発 表論文集,83	
(論文)大学英語教育における協同学習の実践研究		単著	2013年8月	日本教育心理学 会第55回総会発 表論文集, .621	
(論文)薬科大学における基礎英語学習評価のため の観点		共著	2013年12月	Annual Report of JACET-SIG on ESP, 15, 33-39	
(論文)グループ活動に対する学生の意識変化:国 連 Malala スピーチを教材に		単著	2014年8月	大学英語教育学 会第53回国際大 会抄録	
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)					
(演題名)薬剤師の英語力向上の必要性に関する意識調査		意識調査	2016年5月	第 63 回北海道薬 学大会	
(演題名)薬科大学の英語教育に求められるもの: 続と専門英語への橋渡しとの狭間で(シンポジウム			2016年9月	大学英語教育学 会(JACET) 第 55 回国際学会	
Ⅲ 学会等および社会における主流	 な活動				
2002年7月~	文部科学省後援実用英語技能検定 面接委員				
2011年10月~2014年3月	大部科子有後接美用英語技能模定 面接要員北海道大学大学院文学研究科留学生支援日本語添削プログラム添削員			語添削プログラム	

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	基礎教育系・自然科学分野	教授	加納 誠一朗	
I 教育活動				
教育	実践上の主な業績	年月日	概 要	
1 教育内容・方法	5の工夫	2016年8月	「臨床薬学実習(区分 フィジカルアセスメント)」においてバイタルサイン測定実技の修得にシミュレータを活用し、患者シミュレータで症例検討を実施し病態生理と治療の根拠を把握できるよう工夫した。	
		2011年~	機能形態学の1区分を札幌医科 大学標本館で実施し、人体標本 を見学し、人体の構造・機能に ついて具体的にイメージできる 学修を実施した。	
2 作成した教科書	《 、教材、参考書	2016年8月 2016年9月 ~2017年1月	「臨床薬学実習(区分 フィジカルアセスメント)」実習書作成「機能形態学 I」「機能形態学I」「機能形態学I」において図説付配付プリント作成	
3 教育方法・教育	5実践に関する発表、講演等	2016年9月	第4回日本シミュレーション医療教育学会発表:演習区 (区分 アドバンスト・フィジカルアセスメント)」で6年生を対象に、患者シミュレータの作製と症例シナリオを組み合わせた教育方法の工夫に用いたシナリオを発表	
4 その他教育活動	小上特記すべき事項(FD を含む)	2016年3月20日 2016年7月24日	愛媛大学医学部学生と松山大学 薬学部学生との合同実習:外部 講師「シミュレータを使用した フィジカルアセスメント実習」 第2回薬剤師スキルアップ講座 フィジカルアセスメントと症例 検討〜医薬連携のためのパスポート「バイタルサイン測定」〜: 司会進行・実技指導講師	
他2件				

Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の名称		単著・共著の別	発行または 発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等の 名称
(論文)Comparative effects of az amlodipine on myocardial mortality after ischemia/reperf	function and	共著	2011年6月	J Pharmacol Sci, 116, 181-187
(論文) ラットの肝臓組織形態学 statin 持続静注の影響	的変化に及ぼす	共著	2015年10月	医薬品相互作用研 究, 39(1), 9-16
(論文)薬学生 6 年次における患ョン及び病態シナリオを活用したフィジカルアセスメント学習の試	アドバンスト・	共著	2016年6月	日本シミュレーション医療教育学会 誌,4,71-78
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名) アナフィラキシー誘発ラットに対するカプトプリル・ロサルタンカリウム投与の影響			2016年5月	第 63 回北海道薬 学大会支部例会
(演題名) フルバスタチン持続静注マウスにおける肝酵素検査値 に変化を与える要因の検討			2016年5月	第 63 回北海道薬 学大会支部例会
(演題名) 実務実習直前の 5 年次 けるフィジカルアセスメント実習	に実施した北海道	道薬科大学にお	2016年8月	第1回日本薬学教 育学会
(演題名)松山大学薬学部・愛媛大学医学部学生合同シミュレーション実習パイロット授業			2016年9月	第4回日本シミュ レーション医療教 育学会
(演題名)薬学 6 年次アドバンスト・フィジカルアセスメント演習における症例シナリオに基づく患者シミュレータの作製			2016年9月	第4回日本シミュ レーション医療教 育学会
(演題名)アナフィラキシー誘発ラットの血行動態に対する diphenhydramine・famotidine 投与の影響		2017年3月	日本薬学会 第 137年会	
Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
2004年4月~	日本薬理学会 評議員			
2013年7月~	日本シミュレーション医療教育学会 評議員			
2015年6月~	日本シミュレーション医療教育学会 監事			

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	社会薬学系・医薬情報解析学	教授	黒澤 菜穂子	
I 教育活動				
教育	「実践上の主な業績 「実践上の主な業績	年月日	概	要
1 教育内容・方法	去の工夫	2011年10月~	学教科の教材 の活動を介し	機会において臨床薬 対開発実行委員会で いて医薬品情報学教 対開発を行った。
2 作成した教科	書、教材、参考書	2015年4月 2016年3月	品情報学―ワ 書店): 共著	」田浩 編集「医薬 ークブック」(朝倉
他4件		2010年3月		:修「医薬品情報学 京大学出版会): 共著
3 教育方法・教育	育実践に関する発表、講演等	2013年8月11日	第 16 回日本医薬品情報学会総会・学術大会発表:「クラウド型支援システムを活用した 6 年次医薬品情報演習の取り組み」	
		2014年5月22日		
他2件				
4 その他教育活動	動上特記すべき事項(FD を含む)	2013年5月~ 2016年11月11日	北海道在住の薬剤師向けに実践 英会話教室を主催 北海道薬科大学 FD 講演会:講演 「学生を引きつける授業と は?」	
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等	の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等の 名称
	での医薬品情報に関する学びの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	共著	2015年2月	医薬品情報学, 16(4), 157-168
(論文) 個別薬剤 教材の開発と評価	の医薬品情報に関する自己学習 ī	共著	2015年2月	医薬品情報学, 16(4), 193-200
	師の医薬情報収集に関する二一 一北海道地区における平成 19 比較一	共著	2015年4月	薬局薬学,7(1), 1-11
medicines differ	s increasing public access to between countries? parison of nine countries	共著	2015年10月	J Health Serv Res Policy, 20(4), 231-239

		T	T	
(論文) 抗精神病薬持効性注射剤(的とした薬局薬剤師との情報共有 ート調査研究		共著	2015年12月	社会薬学, 34(2), 108-115
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名)薬剤師の英語力向上の	必要性に関する意	意識調査	2016年5月	第 63 回北海道薬 学大会
(演題名) 在宅でのアロマセラピ 方についての検討	一導入における薬	薬剤師の関わり	2016年5月	第 63 回北海道薬 学大会
(演題名) 北海道在住薬局薬剤師 一ズ調査 - 経営形態別解析 -	の地域による医薬	終情報収集の二	2016年6月	第 19 回日本医薬 品情報学会学術大 会
(演題名) 北海道在住薬局薬剤師 に影響する要因に関する調査研究	の在宅業務への意	意識および意欲	2016年6月	第7回日本プライ マリケア連合学会 学術大会
(演題名) Awareness of home medical care by community pharmacists in Hokkaido, Japan: a comparison of urban and rural locations			2016年9月	76th FIP's World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 2016
Ⅲ 学会等および社会における主	な活動			
2004年8月~	薬剤師認定制度認証機構 薬剤師認定制度委員			
2005年5月~	日本 TDM 学会	評議員		
2009 年 4 月~	日本アプライド	・セラピューテ	ィクス学会	評議員
2009 年 4 月~	私立大学情報教	育協会 薬学教育	育FD/IT 活用研	究委員会 副委員長
2009年6月~	薬学教育評価機	構 基準・要綱	検討委員	
2009年8月~	日本医療薬学会	: 代議員		
2011年9月~	国際薬学連合 Member	(FIP) Acader	nic Pharmacy	Section Executive
2011年11月~		Council for Services Progr	•	
2012年5月~	厚生労働省医薬	食品局 薬剤師	試験委員	
2012年7月~	日本医薬品情報	学会「医薬品情	報学」 編集	委員
2013年5月~	薬学教育評価機	機構 国際対応委		
2013年7月~	日本アプライド・セラピューティクス学会 情報検索・薬物治療 評価・文献評価ワークショップ委員			
2013年8月~	Self Care, an associate editor (Sans Serif Publishing Ltd)			
2014年4月~	薬学教育評価機	構 評価員		
2014年8月~	日本医薬品情報	学会 代議員		
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	臨床薬学系・臨床薬剤学	教授	郡	修德
I 教育活動				
教育	育実践上の主な業績	年月日	概	要
1 教育内容・方法	法の工夫	2016年9月~2017年1月 2015年10月~2016年8月	習・復習問題を ロードし、解 義の理解を 卒業で実験 は ースで実験 化 ナーを開催 ら 究のみな も理解を深め	、月に 1~2 回のペミナーと文献セミ、学生は自分の研他の学生の研究にると同時に、論理
2 作成した教科	書、教材、参考書	2016年4月	的思考のトレーニングになった。た。「実習VI」実習書	
	ー、水川、ショー 育実践に関する発表、講演等	1 - 7 - 7	X11.3 X11	
	動上特記すべき事項(FD を含む)	2016年11月11日 2016年12月21日	「学生を引きつける授業とは?」	
Ⅱ 研究活動		1		
1. 著書・論文等	の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称
(論文) 地膚子と 水型クリーム剤の	: 蛇床子を含む高水分含有率油中)調製	共著	2011年12月	薬 学 雑 誌 , 131(12), 1835-1841
ropivacaine mixt	y and safety of a lidocaine and ture for scalp nerve block and tion anesthesia in patients e craniotomy	共著	2016年1月	J Neurosurg Anesthesiol, 28(1), 1-5
(論文) ヒト官能 用性の実証	記試験における口腔内崩壊錠の服	共著	2016年5月	臨床と研究, 95(5), 759-762
2. 学会発表(評				
(演題名)アンケ	-ートに基づく残薬の発生防止対策	きに関する検討	2016年9月	第 26 回日本医療 薬学会年会

(演題名) 複数医薬品を同時簡易	2016年9月	第26回日本医療薬学会年会	
(演題名)イリノテカン低容量レシ 作用発現と ABCG1 および ABCC5 遺	2017年3月	日本薬学会第 137 年会	
Ⅲ 学会等および社会における主			
2002年1月~2014年3月	2002 年 1 月~2014 年 3 月		
2008年8月~2013年4月	厚生労働省 薬剤師試験委員		
2012年3月~2014年3月	厚生労働省医道審議会 専門委員		
2012年4月~2017年4月	公益財団法人日本高等教育評価機構 評価員		
2016年9月29日	臨床薬学講演会(札幌薬剤師会:	主催) 講演者	

	教育および研究	活動の業績一覧		
北海道薬科大学	臨床薬学系・臨床薬理学	教授	今田 愛也	
I 教育活動				
教育写	実践上の主な業績	年月日	概	要
1 教育内容・方法	の工夫	2012 年~	5年次「緩和薬物療法学」において派遣先の病院で得られた実際の症例を用いてがん患者の疼痛対策を講義している。家族への対応などは、その後の実務実習に応用できている。	
2 作成した教科書	、教材、参考書	2014年4月	「多面的症例解析演習 基礎分野・臨床分野から症例を俯瞰して・・・」(京都廣川書店):共著	
3 教育方法・教育	実践に関する発表、講演等	2011年10月	「アリゾナ大学薬学部における SOAR プロジェクトとその応用」第 21回 日本医療薬学会年会	
	上特記すべき事項(FD を含む)	2010年4月~2011年3月2017年2月11日	アリゾナ大学薬学部 留学 (臨床薬剤師業務の研修) 北海道薬科大学・北海道科学大学合同ワークショップ:「専門職連携教育プログラム作成ワークショップ」	
│他3件 │ ┃ Ⅲ 研究活動				
1. 著書・論文等の)名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称
(論文) Maternal- ritodrine in twin	to-fetal transfer of pregnancy	共著	2012年9月	Jpn J Clin Pharmacol Ther, 43, 339-343
	significance of antenatal ensity ratio in congental nia	共著	2013年3月	北海道産科婦人 科学会会誌, 51 (1), 42-50
	e in in-vivo dynamics of leton and twin pregnancies	共著	2013年9月	Jpn J Clin Pharmacol Ther, 44, 389-394
	n of a novel sensitive method ernal and neonatal serum rations	共著	2013年9月	TDM 研究,30, 134-141

(論文) A case of valproate overdose complicated by severe hyperammonemia that was ameliorated in parallel with the time-course of plasma valproate concentrations		共著	2015年3月	Jpn J Clin Pharmacol Ther, 46, 77-79
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名) 潰瘍性大腸炎が周産期に再燃した切迫早産妊婦の薬学 的管理			2016年9月	第 26 回医療薬学 会年会
Ⅲ 学会等および社会における主	な活動			
1987年4月~2016年6月	北海道 TDM 研究	2会 幹事		
2009年6月~	日本 TDM 学会 評議員			
2012年10月~2013年3月	天使大学看護学部看護薬理学 講師			
2015年3月~2016年3月	日本医療薬学会 委員	※ 薬物療法専門	薬剤師・認定薬	剤師認定試験作成

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	基礎薬学系・生命科学分野	教授	桜爿	光一
I 教育活動				
教育	「実践上の主な業績	年 月 日	概	要
1 教育内容・方法	去の工夫	2016年4月~ 2016年9月~	リントを作成 「生化学 I 」	I 」の学習用プ し、配付 の補完プリント、 成し、学生に配
他2件	事 	2011年2日	「NEW A ル台	/笠り垢>./床
2 作成した教科	吉、 叙প 、	2011年2月	INCW 生化学 川書店): 共	(第2版)」(廣 著
		2016年7月	「薬学基礎実 共著	!習Ⅱ」実習書:
他 1 件 3 教育方法・教育				
	動上特記すべき事項(FD を含む)	2015年12月9日	平成 27 年度: クショップ参	学生合同 FD ワー :加
		2016年2月13日	専門職連携教育(IPE)ワーク ショップ参加	
他2件				
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等	の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称
	n peroxide induces cell cycle myoblast H9c2 cells, which is trophy	共著	2011年4月	Biol Pharm Bull, 34(4), 501-506
3-kinase/Akt pat	ment of phosphatidylinositol Chway in gemcitabine-induced cell death in insulinoma cell	共著	2012年11月	Biol Pharm Bull, 35(11), 1932-1940
therapy on develo	of vancomycin or linezolid opment of renal dysfunction and a in japanese patients	共著	2013年12月	Chemotherapy, 59(5), 319-324
	rotects U937 cells from s via glutathione synthesis	共著	2014年5月	J Biophys Chem, 5(2), 13-23
	ondrial respiration is alloxan-induced mitochondrial ansition	共著	2016年7月	J Biophys Chem, 7(4), 87-97

2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			
(演題名) 3T3-L1 細胞の分化に伴 [・] 変化	うミトコンドリア機能と防御能の	2016年5月	日本薬学会北 海道支部第 143 回例会
(演題名) 有機ラジカル誘導脂質 響	過酸化に対する 3T3-L1 細胞の影	2016年5月	日本薬学会北 海道支部第 143 回例会
(演題名) U937 単球および分化で ドの影響	アクロファージに対するリネゾリ	2016年5月	日本薬学会北 海道支部第 143 回例会
(演題名)有ゲムシタビン処理 IN 誘導と IP3K 系の関与	2016年5月	日本薬学会北 海道支部第 143 回例会	
(演題名) Protective mechanism of hemoglobin on INS-1 cell damages in alloxan and GSH system		2016年6月	Annual Meeting of the Society for Free Radical Research Europe 2016
(演題名)3T3-L1 分化脂肪細胞の類 の役割	亢酸化能におけるオートファジ ー	2017年3月	日本薬学会第 137 年会
(演題名) 3T3-L1 細胞の分化に伴 [・] ートファジー	うミトコンドリア機能の変化とオ	2017年3月	日本薬学会第 137 年会
(演題名)リネゾリドによる INS-1 細胞の傷害とオートファジーの 防御作用		2017年3月	日本薬学会第 137 年会
Ⅲ 学会等および社会における主な活動			
2010年4月~2013年3月	日本薬学会北海道支部 幹事		
2013年2月~2015年1月	日本薬学会 代議員		
2017年2月~	日本薬学会 代議員		

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	社会薬学系・薬事管理学分野	教授	櫻井	- 秀彦
I 教育活動				
教育	『実践上の主な業績	年月日	概	要
1 教育内容・方法	去の工夫	2012年4月	· ·	スキル・国語」に 担任が関る振返り ・実施した。
		2015年4月	員と協同し、特別のよう	において担当教学生自身が本学のマップを作成・確 対材を発案し、授
2 作成した教科	書、教材、参考書	2014年3月	「地域医療薬学 都廣川書店):	学(第2版)」(京 共著
		2016年3月	「これからの社 版増補)」(南江	t会薬学(改訂第2 I堂):共著
3 教育方法・教	育実践に関する発表、講演等	2013年10月	ジウム:「薬学	≩第 32 年会シンポ と社会」の領域で の特徴と体験実習
4 その他教育活動	動上特記すべき事項(FD を含む)	2014年8月		として本学初の学 FD ワークショップ いた。
		2015 年 4 月		薬学概論Ⅱ」にお で活躍する OB・OG E施
他4件				
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等	の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称
management in co	cal study of human resource mmunity pharmacy: analysis of d the job and the organization	共著	2011年12月	J Jpn Soc Health Care Manag, 12(3), 177-185
	対称性の影響を考慮した人的専 品質評価と行動意図:薬剤師の :した実証研究	共著	2013年3月	オペレーション ズ・マネジメン ト&ストラテジ 一学会論文誌 4(1), 76-94

(論文)薬局薬剤師を対象としたお	薬手帳の認識と	共著	2014年6月	社会薬学,
活用実態に関するアンケート調査 (論文) 高齢者住宅・施設における薬剤管理の実 共著			2015 年 7 月	33(1), 15-20 在宅医療薬学会
態調査と薬剤師介入による便益の材 (論文)残薬削減のための実証研究 患者満足と服薬継続意思の影響構造	Z:薬局における	共著	2016年3月	誌, 2(1), 21-30 生活経済学研究 43, 1-12
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)	·			
(演題名) 意図せざる消費行動に 薬行動への影響要因	関する実証研究:	慢性患者の服	2016年6月	生活経済学会第 32 回研究大会
(演題名)外来慢性疾患患者の服 討	薬行動に関する影	影響モデルの検	2016年9月	日本社会薬学会 第 35 年会
(演題名)医療提供組織における職務意識と患者志向の関連性			2016年9月	第 54 回日本医療・病院管理学会学術総会
(演題名)医薬分業制度下におけるアランスへの影響構造	(演題名)医薬分業制度下における外来糖尿病患者の服薬アドヒアランスへの影響構造			第 5 回日本くす りと糖尿病学会 学術集会
(演題名)専門サービスにおける属	(演題名) 専門サービスにおける顧客満足と従業員満足の関連性			第53回消費者行動研究コンファ レンス
Ⅲ 学会等および社会における主力	な活動			
2013 年 4 月~2015 年 3 月 生活経済学会 ホームページ委			員	
2013 年 4 月~2015 年 3 月 生活経済学会 幹事				
2014年4月~	日本社会薬学会 幹事			
2014年5月~	日本社会薬学会 北海道支部長			
2016年9月10日、11日	日本社会薬学会	第 35 年会 年会		

教育および研究活動の業績一覧					
北海道薬科大学	応用薬学系・薬理学分野	教授		佐藤 久美	
I 教育活動					
教育実践	上の主な業績	年 月 日	概	要	
1 教育内容・方法のこ	工夫	2010年~2016年	「薬理学Ⅱ」「薬理学Ⅲ」「英語Ⅷ」 の理解を深めるために、教科書を補 完する講義プリント、演習問題を顧 付した。		
2 作成した教科書、	数材、参考書	2010年~	北海道薬科大 編「薬学英語	∵学 薬学英語Ⅷ担当者 	
		2014年4月	「多面的症例解析演習 基礎分野・ 臨床分野から症例を俯瞰して・・・」 (京都廣川書店): 共著		
3 教育方法・教育実施	銭に関する発表、講演等				
4 その他教育活動上特	特記すべき事項(FD を含む)	2016年11月11日	北海道薬科大学 FD 講演会:講演「学生を引きつける授業とは?」		
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の名	称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称	
amlodipine on myocar	ffects of azelnidipine and dial function and nemia/reperfusion in dogs	共著	2011年5月	J Pharmacol Sci, 116(2), 181-187	
	the TNF- α -induced serine RS-1 at 636/639 by AICAR	共著	2013年5月	J Pharmacol Sci, 122(2), 93-102	
1,200	teration of caveolin-1 picin-induced apoptosis in	共著	2015年9月	Cell Biol Int, 9(9), 1053-1060	
(論文) Cilotazol ir interleukin-1-induce through cAMP independ smooth muscle cells.		共著	2016年3月	Cell Biol Int, 40(3), 269-276	
	terleukin-1 β contributes GLUT4 translocation in	共著	2016年11月	Cell Biol Int, 40(11), 1204-1211	

2. 学会発表(評価対象年度のみ)					
(演題名)L6 骨格筋細胞の GLUT4 細胞膜移行におけるインターロイキン-1 の長時間処置の影響		2016年5月	第 63 回北海道薬学大会		
(演題名) Interluek in-1 長時間処理による GLUT4 トランスロケーションにおける AMPK の関与		2016年9月	第 67 回日本薬理学会 北部会		
(演題名)ERストレス誘導性細胞死におけるYAP1の役割		2017年3月	第 90 回日本薬理学会 年会		
(演題名)血管平滑筋細胞における ER ストレス誘導性細胞死に対する YAP1 の役割		2017年3月	日本薬学会第 137 年会		
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
1996年4月~	日本薬理学会 学術評議員				
2004年4月~	林下病院 治験審査委員				
2008年4月~	時計台記念病院 治験審査委員				
2009年4月~	NTT 東日本札幌病院 治験審査委員				

教育および研究活動の業績一覧						
北海道薬科大学	臨床薬学系・薬物治療学	教授	佐藤 秀紀			
I 教育活動						
教育実践上の主な業績		年月日	概	要		
1 教育内容・方法の工夫		2014年4月	「化学療法学」の講義において、 学生に提供したパワーポイント 資料を課題演習として活用し、さ らに授業終了時に確認テストを 行った。			
2 作成した教科書、教材、参考書		2014年4月	「多面的症例解析演習」(京都廣 川書店):共著			
		2016年3月	「化学療法学」(廣川書店):共著			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
4 その他教育活	動上特記すべき事項(FD を含む)	2016年1月26日	第3回医療人養成としての薬学 教育に関するワークショップ参加			
		2017年1月26日	北海道薬科大学学生合同ワーク ショップ「臨床につながる基礎教育とは?」			
他3件			нск.			
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等	の名称	単著・共著の 別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等の 名称		
	タゾン先発品と後発品の高度催 療法における急性および遅延性)比較検討	共著	2012年6月	医療薬学, 38(6), 365-370		
患者での NK 1 受	テン分割投与時を受ける肺がん容高度催吐リスクがん化学療法:び遅延性悪心・嘔吐効果の比較	共著	2013年6月	癌と化学療法, 40(6), 733-736		
(論文) 肺がん患者におけるカルボプラチンを含む化学療法に対するアプレピタント使用前後の制吐効果の検討		共著	2015年6月	癌と化学療法, 42(6), 725-729		
(論文) The effects of gender and age on serum calcium and phosphorus levels in hemodialysis patients		共著	2015年12月	Jpn J Nephrol Pharmacorher, 4(3), 3-11		

(論文) Cisplatin 分割型多剤併	 用療法を施行し			癌と化学療法,	
た肺がん患者における Palonoset		共著	2016年8月	43 (8) , 967–972	
制吐効果の比較					
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)					
(演題名) 肺癌患者におけるペグ	(演題名) 肺癌患者におけるペグフィルグラスチム使用状況の後				
方視的調査				ラム 2016/第 24 回	
			2016年6月	クリニカルファ	
				ーマシーシンポ	
	100-			ジウム	
(演題名)肺がん患者における:			0010 年 0 日	第 26 回日本医療	
【CBDCA+AMR 併用療法を施行した肺が 】剤の使用実態	Nん忠有の FN 発掘	正率といいの。	2016年9月	薬学会年会	
州の使用美感 (演題名) 北海道地区 3 地区の保	除薬品における終	遅和ケアの取り		笠 40 同口大恋刘	
■ (火米内 この17 の#	及在ファ OJAX フ	2016年10月	第 49 回日本薬剤 師会学術大会	
和67周9·30总战调旦					
Ⅲ 学会等および社会における主	な活動 				
2006年4月~2013年3月	北海道病院薬剤	師会 常務理事	;		
2006年4月~2013年3月	日本薬学会北海	道支部 幹事			
2008年4月~2012年3月	北海道薬剤師会	常務理事			
2008年4月~	北海道薬剤師会	病診委員会 委	員		
2010年4月~2013年3月	札幌病院薬剤師	i会 会長			
2010 年 4 月~	北海道腎と薬剤	研究会 副会長	:		
2010 年 4 月~ 北海道医薬品情報研究会 会長			:		
2010 年 4 月~ 北海道薬剤師臨床感染症研究会 会長					
2010年4月~2014年3月	地域医療支援センター薬局運営協議会 委員				
2012年9月~	日本腎病薬物療	法学会 評議員			
2013年6月~	北海道厚生局	指導薬剤師			

	教育および研究活動の業績一覧					
北海道薬科大学	社会薬学系・地域医療薬学分野	教授	島森	美光		
I 教育活動	I 教育活動					
教	育実践上の主な業績	年月日	概	要		
1 教育内容・方法	去の工夫	2011 年~2016年 2015 年~	実ョ吟で文の大きに、まって、まって、まって、ないのでは、ないのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	の授業において、 、ディスの批判的 、デッタのでは、 、ではないでは、 、ではないでは、 、では、 、では、 、では、 、では、 、では、 、では、 、では、		
2 作成した教科	書、教材、参考書	2011年1月		学」(京都廣川書		
他1件		2014年3月	店): 共著 「薬学のため (京都廣川書	うの医療統計学」 :店): 共著		
	育実践に関する発表、講演等	2013年8月	9回全国大会	アル教育学会第 共同発表 : 「化学 学生に対する学・」		
4 その他教育活	4 その他教育活動上特記すべき事項 (FD を含む) 2011年3月 第 16 回 FD フォー 法人大学コンソー 参加					
他2件			クショップ参			
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等	の名称	単著・共著の別	発行または 発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称		
(論文)地域におの評価	ける薬剤師業務体験学習の実施とそ	共著	2013年7月	医療薬学, 39(7),412-422		

(論文) 精神科入院患者における向精神薬使用と転倒・転落リスク		共著	2013年8月	薬学雑誌, 133(8), 897-903
(論文)卒業延期生の学習状況の実 の検討	態調査と支援方法	共著	2015年4月	医学教育, 46(2),161-170
(論文)慢性閉塞性肺疾患患者の吸 介入による治療効果の上昇	入療法への薬剤師	共著	2015年6月	医療薬学, 41(6),415-423
(論文)高齢者住宅・施設における 査と薬剤師介入による便益の検討	共著	2015年8月	在宅薬学,2, 21-30	
2. 学会発表(評価対象年度のみ)				
Ⅲ 学会等および社会における主流	な活動			
2006 年~2015 年	テム 担当委員			
2013年2月~2015年2月	首支部 幹事			
2014年5月~2015年5月 日本薬学会北海道支部医療薬学貢献賞 選考委員				
2015年2月~2017年1月	日本薬学会 代議			

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	社会薬学系・薬事管理学	教授	多田 均	
I 教育活動				
教育実践	上の主な業績	年月日	概	要
1 教育内容・方法のこ	工夫	2015年9~10月	おいて、法学 演習課題を打	去制論」の授業に 令を説明した後に 是示し、問題の意 ついて解説した。
/b 0 /b		2016年9月~10月	深めるためI 仕組みを理解	去制論」の理解を こ、法令の要点と 解しやすいように 字のカラー化を図
他3件 2 作成した教科書、教	收材、参考書 	2016年8月		実習V」「実習VI」 実習」の実習書の
3 教育方法・教育実践	に関する発表、講演等	2014年9月	平成 26 年度評価者養成講習会(北海道地区調整機構): タスクフォース	
4 その他教育活動上特	寺記すべき事項(FD を含む)	2015年12月9日	平成 27 年度学生合同 FD ワークショップ参加	
		2016年2月13日	専門職連携教育(IPE)ワーク ショップ参加	
他 1 件				
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の名	称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称
fibroblasts (WI-38) incorporated into li truncated basic fibr	posomes modified with oblast growth factor and t on collagen synthesis in	共著	2015年2月	Biol Pharm Bull, 38(2), 270-276
distribution of pirf	tic evaluation of tissue enidone and its pathic pulmonary fibrosis	共著	2015年3月	Biopharm Drug Dispos, 36(4), 205-215

(論文) Alteration in intrapulmonary pharmacokinetics of aerosolized model compounds				J Pharm Sci, 105(3),
due to disruption of the aleveol	·	共著	2016年3月	1327–1334
barriers following bleomycin-induced pulmonary fibrosis in rats				
(論文) Tumor distribution and	anti-tumor			J Drug Deliv
effect of doxorubicin following				Sci Tech,
administration to mice with met	,	共著	2016年4月	33, 143–148
tumor	9			,
(論文) フェキソフェナジンの消ぐ	(論文) フェキソフェナジンの消化管吸収におけ			応用薬理,
る配合薬プソイドエフェドリン及る	び栄養成分の影	共著	2016年11月	91 (3/4), 69-76
響音				
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名) Influence of the accumu	ulation of extra	cellular matrix		第 31 回日本薬
on the intrapulmonary distributi	on of aerosolize	ed drugs in mice	2016年10月	物動態学会
with bleomycin-induced pulmona	ry fibrosis			
(演題名)肺繊維症発症時の肺胞のための上皮間葉移行及び薬物透	(演題名)肺繊維症発症時の肺胞上皮細胞の in vitro モデル確立のための上皮間葉移行及び薬物添過性の評価			日本薬学会第 137 年会
(演題名) 肺繊維症における肺胞閉塞に伴う肺投与型薬物の肺内動態変化			2017年3月	日本薬学会第 137 年会
Ⅲ 学会等および社会における主な活動 				
2005 年 6 月~ 医薬品相互作用研究会 編集委員				
2012年6月~2014年5月	医薬品相互作用	研究会 理事		

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	応用薬学系・公衆衛生学	教授	丹保 好子	
I 教育活動				
教育実践	上の主な業績	年 月 日	概	要
1 教育内容・方法のコ	C.夫	2010年~	身が執筆した また演習問題	・ 会 会 会 会 会 会 会 を 利用 して 学生へ 信 を 図っている。
		2010年~		では、TBL(チーム基 を取り入れて能動的 している。
2 作成した教科書、教	收材、参考書	2011年1月	「地域医療到 店): 共著	薬学」(京都廣川書
		2015年1月	「最新公衆衛 川書店): 共	衛生学(第6版)」(廣 著
3 教育方法・教育実践	桟に関する発表、講演等			
4 その他教育活動上特	詩記すべき事項(FD を含む)	2016年11月11日	北海道薬科大学 FD 講演会 : 講演 「学生を惹きつける講義とは」	
		2016年12月21日	北海道薬科大学 FD 講演会:講演 「専門職連携教育の実践とその 効果」	
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の名	称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等の 名称
(論文) Glycolaldehy and increases glutat multidrug-resistance levels in Schwann ce	-associated protein	共著	2013年7月	Biol Pharm Bull, 36(7), 1111-1117
•	ncreases intracellular n Schwann cells through tion	共著	2013年11月	Redox Biol, 2, 15-21
thioredoxin, and hem	increases glutathione, e oxygenase-1 by nway in endothelial cells	共著	2015年4月	Redox Biol, 4, 87-96
	de induces endoplasmic apoptosis in Schwann cells	共著	2015年11月	Toxicol Rep, 2, 1454-1462
(論文) Epalrestat u oxygenase-1, superox catalase in cells of	ide dismutase, and	共著	2016年9月	Biol Pharm Bull, 39(9), 1523-1530

2. 学会発表(評価対象年度のみ)					
(演題名)カドミウムの細胞毒性に	2016年5月	日本薬学会北海 道支部例会第 143 回			
(演題名)ホモシステイン誘導酸化の影響	(演題名) ホモシステイン誘導酸化ストレスに対するアミノ酸欠乏 の影響				
(演題名)LPS 誘導細胞傷害および ットの影響	(演題名)LPS 誘導細胞傷害および血管新生に対するエパルレスタットの影響				
(演題名)エパルレスタットの Nr る研究	2016年5月	日本薬学会北海 道支部例会第 143 回			
(演題名) エパルレスタットの細胞	2016年9月	フォーラム 2016 薬学・環境トキシ コロジー			
(演題名)エパルレスタットの新規 誘導細胞傷害の抑制作用	2017年3月	日本薬学会第 137 年会			
Ⅲ 学会等および社会における主	な活動				
2008年4月~					
2008 年 4 月~ 北海道毒物及び劇物取扱者試験会					
2010年10月~	小樽市環境審議委員会 委員				
2015 年 5 月	平成 27 年度日本薬学会北海道支	部奨励賞 選	考委員長		

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	応用薬学系・薬剤学分野	教授	-	丁野 純男
I 教育活動				
教育	実践上の主な業績	年月日	概	要
1 教育内容・方法	の工夫	2011年~		授業で演習問題を解く Eの理解を深めている。
2 作成した教科書	、教材、参考書	2013年10月 2014年9月	単著 「新発想製剤	刊学」(京都廣川書店): 刊学厳選演習問題」(京
3 教育方法・教育	実践に関する発表、講演等	2011年7月9日	都廣川書店): 単著 第 19 回クリニカルファーマシーシンポジウム (旭川): 「基礎と臨床る つなぐ CBL 形式による患者ケアプ	
4 その他教育活動	上特記すべき事項(FD を含む)	2014年8月30日 2016年11月11日		
Ⅱ 研究活動				
 1.著書・論文等 <i>の</i>)名称	単著・共著の 別	発行または 発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等の名 称
pharmacokinetics compounds due to epithelial barrie	n in intrapulmonary of aerosolized model disruption of the alveolar rs following pulmonary fibrosis in rats	共著	2016年3月	J Pharm Sci, 105 (3), 1327-1334
effect of doxorubi	tribution and anti-tumor cin following intrapulmonary mice with metastatic lung	共著	2016年6月	J Drug Deliv Sci Tech, 33, 143-148
pushing out by pre	ia, tablet strength, and essing through the package of mipide orally disintegrating	共著	2016年6月	Pharmacometrics, 90 (5/6), 83-85
	distribution of aerosolized es in epithelial lining fluid ce	共著	2016年8月	Drug Deliv Transl Res, 6, 565-571

(論文) Ingestibility and formu	ılation quality			J Pharm, 2016,	
of lansoprazole orally disinteg	, ,	+ 芸	2016年12月	Article ID 6131608,	
or ransoprazore orally districes	rating tablets	共著 	2010年12月	6 pages	
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)					
(演題名)タムスロシンロ腔内崩壊	懐錠の臨床使用に	おける製剤品質	2010 - 5	第 63 回北海道薬学大	
の評価			2016年5月	会	
	スロシンロ腔内	崩壊錠の服用性		第 63 回北海道薬学大	
の実証		777-32 346 07 714 / 17 1	2016年5月	会	
		- 1 18 1			
(演題名)転移性肺ガンモデルマウ		与したドキソル	2016年5月	日本薬剤学会第 31 年	
ビシンの肺組織分布特性及び抗腫	瘍効果		2010 -071	会	
(演題名)肺線維症モデルマウスに	おける薬物の肺	内分布に及ぼす		日本薬物動態学会第	
細胞外マトリックスの影響			2016年10月	31 年会	
(演題名)タムスロシンOD錠5銘析	あの製剤物性およ	7、「服田性 ~PTP		第 10 回日本薬局学会	
押し出し強度・硬度・溶出挙動、「			2016年10月	学術総会	
性~	1 加工 [7] 7月 2成 [7] [9]	小/ 加入门记:/ "自》]	2010 4 10 73	于阿松五	
1 (演題名) 醗酵紅参含有食品の冷。	ラ 性に 及ぼす影響	TR		日本フードファクタ	
(英超石) 既好礼参召有良品切게	人口に及るすが	i e	2016年11月	ロボラードファファ 一学会第 21 年会	
(演題名)肺線維症発症時における	が肺胞閉塞に伴う	肺投与型薬物の	2017年3月	日本薬学会第 137 年	
肺内動態変化			2017 4-0 73	会	
(演題名) 肺線維症発症時の肺胞.	上皮細胞の in vi	itroモデル確立		日本薬学会第 137 年	
のための上皮間葉移行及び薬物透	過性の評価		2017年3月	会	
□□ 学会等および社会における主	な活動				
2012 年 4 月~	Editorial Boar	rd, Journal of F	Pharmaceutics	3	
2013 年 2 月~2015 年 1 月 日本薬学会 代議員					
2013 年 7 月~ 日本 DDS 学会 評議員					
2014年4月~	年4月~ 日本薬剤学会 評議員				
2014年4月~	公私立大学実験	動物施設協議会	代議員		
2015年1月~2016年1月	日本薬物動態学会 評議員				
2016年1月~	日本薬物動態学	会代議員			

教育および研究活動の業績一覧					
北海道薬科大学	臨床薬学系・臨床薬理学分野	教授	戸田 貴大		
I 教育活動					
教育	実践上の主な業績	年月日	概	要	
1 教育内容・方法	の工夫	2008年~	て、「今日の」 することで、 を明確にした ができるよう がわかりやす た。	学」の講義におい 目標」を毎回提示 その日の達成目標 。学生からは「何 うになればいいかい い」との評価を得	
		2008年~	グラフ問題を 視覚的に薬物 るよう工夫し 「わからなか 解できた」と	物動態学)」では、 解かせることで、 効動態を理解でき いた。学生からは いったところが理 の評価を得た。	
2 作成した教科書	、教材、参考書	2013年4月 2013年6月	日本 TDM 学会 TDM ガイドライン 策定委員会 抗てんかん薬ワ ーキンググループ「抗てんかん 薬ガイドライン」, TDM 研究、 第 30 巻 2 号、53-108		
他 2 件		2013年0月	「Applied 臨床薬物動態学」(京都廣川書店):共著		
3 教育方法・教育 	実践に関する発表、講演等	2011年6月	第2回日本アプライド・セラピューティクス学会学術大会:北海道薬科大学における長期の5年次実務実習導入教育による臨床実践力の養成		
4 その他教育活動	上特記すべき事項(FD を含む)	2013年10月 2016年2月13日	日本薬学会「第3回薬学教育者 のためのアドバンストワーク ショップ」参加		
┃ ┃他2件			ショップ参加		
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の		単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称	
	competitively inhibits paclitaxel metabolism in vitro	共著	2014年9月	Biol Pharm Bull, 37(9), 1550-1554	

/=Λ±\ D				D : 01:
(論文) Drug-drug interaction betw				Basic Clin
and paclitaxel in human liver micr	osomes with	共著	2015年6月	Pharmacol
different CYP2C8 genotypes				Toxicol,
				116 (6), 493–498
(論文) Simultaneous determination			Biol Pharm	
epoxyeicosatrienoic acids and		共 著	2015年10月	Bull, 38(10),
dihydroxyeicosatrienoic acids by L	.C-MS/MS	八百	2010 - 107]	1673–1679
system				
(論文) Effects of angiotensin II	receptor			Biol Pharm
blockers on metabolism of arachido	nic acid via	共著	2015年12月	Bull, 38(12),
CYP2C8				1975–1979
(論文) The role of CYP2C8 and CYP2	C9 genotypes			Basic Clin
in losartan-dependent inhibition o	f paclitaxel	共著	2016年6月	Pharmacol
metabolism in human liver microsom	ies	八百		Toxicol, 118(6)
			, 408–414	
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名) アラキドン酸代謝に及ぼす	アンジオテン	シン II 受容体	2010 - 5	第 33 回日本 TDM
拮抗薬とフルバスタチン併用の影響			2016年5月	学会・学術大会
(演題名)アンジオテンシン II 受容	体拮抗薬服用題	患者の血清中エ		第37回日本臨床
イコサノイド類濃度への併用薬の影響	!		2016年12月	薬理学会学術総
				会
(演題名)Pharmacokinetic-Pharmaco	dynamic モデノ	レに基づくスボ	0047 5 0 5	日本薬学会第
レキサントの適正使用に関する考察			2017年3月	137 年会
Ⅲ 学会等および社会における主な活	·動			
2009 年 6 月~ 日本 TDM 学会 評議員				
2010 年 4 月~				
2010年6月26, 27日	010 年 6 月 26, 27 日 第 27 回日本 TDM 学会・学術			Į.
2012年11月~	薬学共用試験センター 総務委員会 委員			
2013年12月16日~2014年5月25日	平成25年度日	日本薬学会北海道	道支部医療薬学	貢献賞 選考委員
2016年10月~	日本臨床薬理	学会 社員		

教育および研究活動の業績一覧					
北海道薬科大学	臨床薬学系・薬物治療学分野	教授	早川 達		
I 教育活動		l			
教育等	実践上の主な業績	年月日	概	要	
1 教育内容・方法の工夫		2014~2016年	における基礎	目「臨床薬学総論」 をから臨床までを統 スペースの授業設計	
2 作成した教科書	、教材、参考書	2013年11月	「図解 臨床堂): 共著	·調剤学」(南山	
		2014年4月		解析演習 基礎分 から症例を俯瞰し 廣川書店):編集、	
3 教育方法・教育	実践に関する発表、講演等	2013年12月8日	8日 48 th ASHP Midyear Clinical Meeting and Exhibition: 「Development of a homecare education program in Japan」 発表		
4 その他教育活動 他 2 件	上特記すべき事項(FD を含む)	2016年12月21日 2017年1月26日	日 北海道薬科大学 FD 講演会:講演 「専門職連携教育の実践とその 効果」		
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等 <i>0</i> .)名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等の 名称	
(論文) Difference in ritodrine pharmacokinetics between singleton and twin pregnancies		共著	2013年5月	Jpn Clin Pharmacol Ther, 44(5), 389-394	
	⊧障害患者における高尿酸血症 スタットの臨床効果と有害事象	共著	2014年2月	日本腎臓病薬物 療法学会誌, 2(3), 27-33	
	competitively inhibits paclitaxel metabolism in	共著	2014年9月	Biol Pharm Bull, 37(9), 1550-1554	

(論文)呼吸困難を有する死期が者に対するコルチコステロイド投		共著	2014年7月	日本緩和医療薬 学雑誌, 7(4), 111-116
(論文) Drug-drug interaction between losartan and paclitaxel in human liver microsomes with different CYP2C8 genotypes		共著	2014年11月	Basic Clin Pharmacol Toxicol, 116, 493-498
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名) セツキシマブ投与患者 び院内 Mg 補充基準の有用性評価に		症発現状況およ	2016年9月	第 26 回日本医療 薬学会年会
(演題名) 高血圧患者へのかかりつけ薬局としての取り組み-成果 基盤型個別フォローアップ体制の構築			2016年9月	第 49 回日本薬剤 師会学術大会
(演題名)中村記念南病院における AST の取り組みと今後の課題			2016年11月	第 64 回日本化学 療法学会西日本 支部総会
(演題名)脳神経外科病院における敗血症診療の現状と qS0FA 活用の課題			2016年11月	第 64 回日本化学 療法学会西日本 支部総会
Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
1999 年 4 月~ 日本 POS 医療学会 評議員				
2009 年 4 月~	日本アプライドセラピューティクス学会 理事、評議員			
2010年4月~	全国薬剤師・在宅療養支援連絡会 理事			

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	臨床薬学系・薬物治療学分野	教授	早	 勢 伸正
I 教育活動				
教育學	実践上の主な業績	年月日	概	要
		2004年~	「薬物治療学Ⅲ」において、各疾患に関する最新情報の把握と整理を目的に最新治療ガイドラインに則した講義内容をプリントにまとめて配付およびWeb配信し、学習成果の向上に役立てている。 「総合演習Ⅱ(病態・薬物治療系)」において、病態が類似した疾患における鑑別を目的に比較表を作成配付し、知識整理に役立てている。	
2 作成した教科書	、教材、参考書	2016年4月	「VISUAL CORE PHARMA 薬物治療学(第5版)」(南山堂):編者・共著	
3 教育方法・教育	実践に関する発表、講演等	2012年7月7日	第9回日本 M&S 医学教育研究会 学術大会:「薬学生における学 年別のシミュレーターの活用」	
4 その他教育活動 他 1 件	上特記すべき事項(FD を含む)	2013年7月6日 2014年8月30日	日 第1回日本医療シミュレーション教育学会学術大会:「患者シミュレーターを活用した薬学部5年次のフィジカルアセスメント教育」	
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の)名称	単著・共著の 別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等の 名称
(論文) オブラートあるいは服薬補助ゼリーで包 んだ錠剤及びカプセル剤における溶出挙動		共著	2011年1月	薬学雑誌, 131(1), 161-168
a lipophilic 14-m	e effects of clarithromycin, embered macrolide, on by lysophosphatidylcholine ytes	共著	2012年10月	Jpn J Pharm Health Care Sci, 38(10), 617-627

(論文)マクロライド系抗菌薬の処方実態に基づ く慢性炎症性疾患に対する少量長期投与療法の有 共著 効性に関する再検証ー常用量投与との比較			2014年10月	薬局薬学, 6(2), 157-166	
(論文) ラットの肝臓組織形態学的				医薬品相互作用	
statin 持続静注の影響 		共著	2015年1月	研究,39(1), 9-16	
(著書)「薬剤師・薬学生のための	フィジカルアセ			南江堂	
スメントハンドブック一医薬品適፤	正使用のため	共著	2014年4月		
[:]					
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)					
(演題名) 模擬患者参加型ロール	プレイ実習の学び	に影響を与え		第 10 回日本ファ	
る要因				ーマシューティ	
			2016年5月	カルコミュニケ	
				ーション学会大	
				会	
(演題名)実務実習直前の5年次	こ実施した北海道	1薬科大学にお	2016年8月	第1回日本薬学	
けるフィジカルアセスメント実習				教育学会大会	
(演題名)第一世代抗ヒスタミン 伝型との関連性	薬による眠気と C	YP2D6・2C19 遺	2017年3月	日本薬学会第 137年会	
(演題名)月経周期と酸化ストレス	ス・うつ傾向と <i>の</i>)関連性	2017年3月	日本薬学会第 137 年会	
Ⅲ 学会等および社会における主力	Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
2009年8月~	日本医療薬学会 代議員				
2011年3月~2011年7月	一般社団法人日本医療薬学会主催医療薬学フォーラム 2011 組織 委員会 委員				
2014年5月~2014年11月	一般社団法人日本医療薬学会主催第56回医療薬学公開シンポジウム実行委員会 委員				
2015 年 4 月~	北海道登録販売	者試験委員会	 委員		

	教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	社会薬学系・地域医療薬学分野	教授	古	田 精一	
I 教育活動					
教育	教育実践上の主な業績 年月日 概 要				
1 教育内容・方法	法の工夫	2009年4月~	「地域医療学」の講義では、 北海道医療計画や北海道の病 削減目標などを学生に示し、 域医療が抱える問題の理解を している。		
2 作成した教科	書、教材、参考書	2013年4月 2014年3月	「地域医療薬学(第2版)」(京都廣川書店):編著、共著「多面的症例解析演習」(京都廣川書店):共著		
3 教育方法・教	育実践に関する発表、講演等				
4 その他教育活動	動上特記すべき事項(FD を含む)	2016年2月13日	専門職連携教ョップ参加	な育(IPE)ワークシ	
		2016年11月11日			
Ⅱ 研究活動			-		
1. 著書・論文等	の名称	単著・共著の別	発行または 発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等の 名称	
	師の医薬情報収集に関するニーズ 北海道地区における平成 19 年と	共著	2015年4月	薬局薬学, 7(1), 52-56	
	宅・施設における薬剤管理の実態 による便益の検討	共著	2015年8月	在宅薬学, 2(1), 21-30	
	めための実証研究 : 薬局における 送続意思の影響構造の比較	共著	2016年3月	生活経済学研究, 43, 1-12	
の服薬アドヒアラ	下における外来慢性しっかん患者 シスと医療サービス評価の関連 かりつけ薬局を志向した実証研究	共著	2016年6月	社会薬学 35(1), 23-33	
	地震・火山災害の医療支援」ライ ルた被災地での計量調剤の実践ポ リ	単著	2016年12月	薬局, 67(13), 3515-3518	

2. 学会発表 (評価対象年度のみ)			I
(演題名)「北海道在住薬局薬剤師	の地域による医薬情報収集の二一		第 19 回日本医薬
ズ調査」一経営形態別解析ー		2016年6月	品情報学会総会学
		術大会	
(演題名) 北海道在住薬局薬剤師(の在宅業務への意識および意欲に		第7回日本プライ
影響する要因に関する調査		2016年6月	マリケア連合学会
			学術大会
(演題名) 在宅ケアにおける多職	種連携に求められる薬局薬剤師の	001C & 7 B	第 18 回日本在宅
コミュニケーションスキルに関すん	る調査研究	2016年7月	医学会大会
(演題名) Awareness of hom	e medical care by community		76th FIP's World
pharmacists in Hokkaido, Japan: A	A comparison of urban and rural		Congress of
locations		2016年8月	Pharmacy and
			Pharmaceutical
			Sciences 2016
(演題名) 北海道薬科大学在宅医療	療研究会 「平成 27 年度バイタルサ		日本社会薬学会第
イン・フィジカルアセスメント講	習会」の成果報告	2016年9月	35 年会
(演題名)北海道在住の保険薬局	薬剤師の在宅業務への意識および		日本社会薬学会第
意欲に関する調査一都市部と地方で	での比較	2016年9月	35 年会
(演題名) 北海道在住薬局薬剤師			第 26 回日本医療
ズ調査」一経営形態別解析ー		2016年9月	薬学会年会
(演題名) 在宅訪問経験薬剤師の	実施業務および現場での薬物療法		日本薬学会 137 年
に関する意識調査研究		2017年3月	会
Ⅲ 学会等および社会における主	な活動		
2011年3月	東日本大震災 宮城県医療班とし	て石巻市にて	活動
2013年4月~	查委員		
2013年11月~	日本未病システム学会 評議員		
2014年6月~	札幌薬剤師会在宅医療福祉委員会委員		
2015年4月~2018年3月	日本プライマリ・ケア連合学会	代議員	
2015年11月~2017年7月	日本在宅薬学会 評議員		

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	基礎薬学系・生命科学分野	教授	前田 伸司	
I 教育活動				
教育写	ミ践上の主な業績	年 月 日	概	要
1 教育内容・方法	の工夫	2015年10月~	通常の講義だ プでの話し合 表会等を取り ている。	論Ⅱ」において、 けでなく、グルー い、調査結果の発 入れた授業を行っ 教科書内容を補完
他 1 件 2 作成した教科書	数		するために	: 講 義 に 合 せ た ライドの作成
	実践に関する発表、講演等			
4 その他教育活動 	上特記すべき事項(FD を含む)	2016年11月11日	演会 「学生	学合同 FD 特別講 を惹き付ける講義
		2016年12月8日	とは」出席 北海道科学大学全学 FD 研修会 「玉川大学における教育改革」 出席	
Ⅱ 研究活動		<u> </u>		
1. 著書・論文等の)名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称
	idolipid of <i>Mycobacterium</i> ffects morphology and cells	共著	2015年5月	PLoS One, 10, e0126813
of definite Mycob disease: the esta	and microbiological features acterium gordonae pulmonary blishment of diagnostic virulence mycobacteria	共著	2015年9月	Trans R Soc Trop Med Hyg, 109, 589-593
Mycobacterium tub	tic assignment of erculosis Beijing clinical by maximum a posteriori	共著	2015年10月	Infect Genet Evol, 35, 82-88
heterogeneity of the bacillus Calm	encing analysis of the seed and commercial lots of ette-Guérin (BCG) ine substrain Tokyo-172	共著	2015年12月	Sci Rep, 5, 17827

(論文) Influence of the polymor DUSP14 gene on the expression of in genes and development of pulmona tuberculosis	mmune-related #薬	2016年6月	Genes and Immunity, 17, 207-212	
2. 学会発表(評価対象年度のみ)				
(演題名)ベトナムハノイ市で検出 連性にについて	される結核菌の特徴と再発の	の関 2016 年 5 月	第91回 日本結 核病学会総会	
(演題名)ハノイ地区の結核再治療 系統と型別	群から分離された結核菌のi	遺伝 2016 年 5 月	第91回 日本結 核病学会総会	
(演題名)次世代シークエンサーを ロットおよび市販ロットにおけるへ	•	ード 2016年5月	第91回 日本結 核病学会総会	
(演題名) <i>M. smegmatis</i> J15cs 株l 損による形態変化と宿主内生存	こおける glycopeptidolipi	d 欠 2016 年 5 月	第 91 回 日本結 核病学会総会	
(演題名) Mycobacter ium avium の 研究	酸性環境下での適応能に関 ^っ	する 2016年5月	第 91 回 日本結 核病学会総会	
(演題名)結核菌の遺伝系統と型別	法	2016年9月	第 28 回 微生物 シンポジウム	
(演題名) The characterization of a novel serotype-specific glycopeptidolipid from clinical nontuberculous mycobacteria			16th Asia- Pacific Congress of Clinical Microbiology and Infection	
(演題名)非結核性抗酸菌臨床分離 ド脂質抗原	プチ 2017年3月	第90回 日本細菌学会総会		
Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
2009年6月~	実験結核研究会 幹事			

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	臨床薬学系・薬物治療学分野	教授	三浦 淳	
I 教育活動				
教育	育実践上の主な業績	年月日	概	要
1 教育内容・方法	法の工夫	2016年4月~	理学」「健康との理解を深め 完するような	高床薬理学」「病態生 ニ運動」「医療倫理学」 かるため、教科書を補 は独自の講義資料を に配付している。
2 作成した教科	書、教材、参考書			
3 教育方法・教	育実践に関する発表、講演等			
4 その他教育活動	動上特記すべき事項(FD を含む)	2011年6月	室蘭工業大学教育 FD 講演会講師:講演「学生のメンタルヘルスへの対応について」	
他3件		2016年2月13日	日 専門職連携教育(IPE)ワークショ ップ参加 	
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等	の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等の 名称
non-genetic fact dose in Japanese	ce of genetic polymorphisms and cors upon warfarin maintenance e elderly patients	共著	2011年9月	Jpn J Clin Pharmacol Ther, 42(5), 333-340
	弱照度光療法が大うつ病エピソー - 双極 Ⅱ 型障害の一例	共著	2012年5月	精神医学, 54(5),509-512
	3ける休・退学, 留年学生に関す 8-平成 25 年度分集計結果から	共著	2016年5月	Campus Health 53(2), 157-162
	ine in the severity or the nizophrenia in Japan: a survey tudents	共著	2016年8月	Jpn J Clin Pharmacol Ther, 42(5), 333-340
(著書)大学生に	三多い睡眠障害の理解と対応	共著	2015年8月	全国大学メンタル ヘルス研究会事務 局編「大学のメン タルヘルスの現状 と課題、そして対 策」

2. 学会発表(評価対象年度のみ)				
(演題名) 青色光を低減したゴー と有効性.	2016年7月	日本睡眠学会第 41 回定期学術集会		
(演題名)第一世代抗ヒスタミン 伝型との関連性	薬による眠気と CYP2D6・2C19 遺	2017年3月	日本薬学会第 137年会	
(演題名)月経周期と酸化ストレ	ス・うつ傾向との関連性	2017年3月	日本薬学会第 137 年会	
Ⅲ 学会等および社会における主	な活動			
2008 年~	日本臨床精神神経薬理学会 専	門医		
2009 年~	日本臨床薬理学会 専門医			
2016年9月~	日本時間生物学会 評議員			
2011 年~	北海道性差医学・医療研究会	世話人		
2012年4月~2016年3月	北海道精神医療審査会 委員			
2012年9月~2015年3月	全国大学メンタルヘルス研究会	運営委員		
2012年9月~2015年3月	国立大学法人保健管理施設協議	会メンタルへ	ルス委員会 委員	
2013年4月~2015年3月	全国大学休・退学、留年学生調	查事務局		
2013 年 4 月~	西胆振精神科医会 世話人			
2014年4月~2015年3月	国立大学法人保健管理施設協議会学生の健康白書に関する特別 委員会 委員			
2015年10月~2016年3月	北海道精神科病院実地審査委員	会 委員		
2016年1月~2017年3月	札幌花園病院睡眠医療センター	設置準備委員	会顧問	

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	基礎教育系・自然科学分野	教授	吉岡 忠夫	
I 教育活動				
教育	実践上の主な業績	年 月 日	概	要
1 教育内容・方法の工夫		2016年4月~2016年4月~	回、高校教科 付・説明後に 授業プリント 要点解説+済 パワーポイン	「化学反応論」は毎 料書のコピーを配 で授業を行った。 (内容は教科書の 質習問題) あるいは シトのハンズアウト で毎回作成・配付し
			た。	は 毎日 下次 能内 し
2 作成した教科書	、教材、参考書			
3 教育方法・教育	実践に関する発表、講演等			
4 その他教育活動	上特記すべき事項(FD を含む)	2015年12月9日	平成 27 年度 ショップ参加	学生合同 FD ワーク ロ
「専門			≒学 FD 講演会 : 講演 表教育の実践とその	
他1件			>>> 1	
Ⅱ 研究活動				
1.著書・論文等 <i>0</i>)名称	単著・共著の 別	発行または 発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称
oselectivity in e hydrolytic deprot	ization of chemo- and regi- nzyme-catalyzed consecutive ection of methyl aceyl b-0-acyl glucuronides	共著	2011年2月	J Mol Catal B-Enzym, 69 (1-2), 74-82
enzyme-catalyzed		共著	2012年2月	J Org Chem, 77(4), 1675-1684
(著書)コンパス	新生薬学	共著	2011年4月	南江堂
(著書)食品衛生	Ž	共著	2011年4月	南江堂

(著書) 薬学基礎化学		単著	2013年3月	京都廣川書店	
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)	2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名)アシルグルクロニドと血清アルブミンの相互作用における種差			2016年5月	第 63 回北海道薬 学大会	
(演題名) アシルグルクロニドの消失過程に及ぼすヒト血清 アルブミンの影響			2016年6月	第 43 回日本毒性 学会学術年会	
(演題名)アリール酢酸系アシルグルクロニドの研究(1) ヒト血清アルブミンとの相互作用			2017年3月	日本薬学会第 137 年会	
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
2015 年 4 月~ 公益社団法人日本高等教育評価			機構評価員		
2016年6月	毒物劇物取扱者	試験受験対策講	習会 講師		

	教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	基礎薬学系・医薬化学分野	教授	和田	浩二	
I 教育活動					
教育	実践上の主な業績	年月日	概	要	
1 教育内容・方法	の工夫	2011~2016年 2014~2015年	論」「機器分材 ス 大 業 が を は に し 、 課 習 取 し と 習 題 し 、 課 習 関 と で 、 課 習 題 り に り に り ま ま に し 、 ま ま に し 、 ま ま に し 、 ま に し 、 ま に し 、 ま に し 、 と ま と し 、 と し と と し と と と と と と と と と と と と	」「日本薬局方各 で単1」の配している。 で配していたでで配したいでで配していた。 はずかがでいたがででででででででででででででででででいた。 はいまする。 はいまするでは、 といまするでは、 といまるでは、 といまるでは、 といまるでは、 といまるでは、 といまるでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでも	
2 作成した教科書 他 2 件	、教材、参考書	2013~2016年 2014年4月	を実施した。 3年次「実習V:薬剤師業務体験学習」において体験学習活動報告書の作成を分担担当「多面的症例解析演習 基礎分野・臨床分野から症例を俯瞰して・・・」(京都廣川書店)共著		
	実践に関する発表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事項(FDを含む) 2015年12月9		2015年12月9日 2016年11月11日	クショップ参 北海道薬科大	学生合同 FD ワー加 学 FD 講演会 : 講 きつける授業と	
他1件					
Ⅱ 研究活動 —————				70.7==-	
1. 著書・論文等の)名称	単著・共著の別	発行または 発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称	
alkaloid derivati selectivity again cell line	esterified diterpenoid ves with increased st a drug-resistant cancer	共著	2012年1月	Bioorg Med Chem Lett, 22(1), 249- 252	
(論文) Chemistry diterpenoid alkal	and biological activity of oids	単著	2012年8月	Studies Nat Pro Chem, 38, 191-223	

(論文) Evaluation of aconitum diterpenoid alkaloids as antiproliferative agents					T
EGFR-TKI lung adenocarcinoma drug resistance and reduce EGFR-TKI-induced GI adverse effects (論文) Four new norditerpenoid alkaloids from pelphinium elatum 共著 2016 年 9 月 には、17、190-193 2. 学会発表(評価対象年度のみ) 2016 年 5 月 薬・63 回北海道薬学大会 第 63 回北海道薬学大会 (演題名) オクトリカブトの塩基成分の探索研究(5) 2016 年 5 月 菜・グス会 (演題名) Polphinium 属植物の塩基成分の探索研究(5) 2016 年 5 月 菜・グス会 (演題名) Four new diterpenoid alkaloids from Aconitum Japonicum 2016 年 7 月 に演題名) オクトリカブトの塩基成分の探索研究(7) 2016 年 7 月 に対しています。 2016 年 9 月 日本生薬学会第 63 回北海道薬学大会 第 63 回北海道薬学大会 (演題名) オクトリカブトの塩基成分の探索研究(7) 2016 年 9 月 日本生薬学会第 63 回北海道、薬学大会 第 63 回北海道、薬学大会 9th Joint Natural Products (演題名) オクトリカブトの塩基成分の探索研究(7) 2016 年 9 月 日本生薬学会第 137 年会 日本生薬学会第 137 年会 日本生薬学会第 137 年会 日本生薬学会第 137 年会 日本生薬学会第 137 年会 日本生薬学会第 60 年会 シンポジウム オーガナイザー 2014 年 12 月 日本生薬学会第 60 年会 シンポジウム オーガナイザー 2014 年 4 月~2015 年 3 月 日本生薬学会北海道支部 委員 2015 年 4 月~ 日本生薬学会北海道支部 委員 2015 年 4 月~ 日本生薬学会北海道支部 数書長 2015 年 4 月~ 日本生薬学会・北海道支部 教育長 2015 年 5 月、2016 年 5 月 日本生薬学会・北海道支部 例会主催 日本生薬学会・北海道支部 例会主催 2017 年 2 月~ 日本生薬学会・代議員		共著	2015 年 4 月	25 (7), 1525-	
2. 学会発表 (評価対象年度のみ) (演題名) オクトリカブトの塩基成分の探索研究(6) 2016 年 5 月 第 63 回北海道 薬学大会 (演題名) Delphinium 属植物の塩基成分の探索研究(5) 2016 年 5 月 第 63 回北海道 薬学大会 (演題名) Four new diterpenoid alkaloids from Aconitum japonicum 2016 年 7 月 9th Joint Natural Products Conference 2016 (演題名) オクトリカブトの塩基成分の探索研究(7) 2016 年 9 月 日本生薬学会第 63 回年会第 63 回来要学会第 63 回来要学会第 63 回来要学会表表演通支部 委員 2012 年 12 月 日本生薬学会北海道支部・学生優秀発表賞 選考委員 2013 年 5 月 ~ 2014 年 3 月 日本生薬学会北海道支部 委員 2015 年 4 月~ 日本生薬学会北海道支部 支部長 2015 年 4 月~ 日本生薬学会北海道支部 支部長 2015 年 5 月、2016 年 5 月 日本生薬学会 代議員	EGFR-TKI lung adenocarcinoma dr and reduce EGFR-TKI-induced GI a	rug resistance dverse effects	共著	2015 年 4 月	Chem, 23(7), 1507-1514
(演題名) オクトリカブトの塩基成分の探索研究(6) 2016 年 5 月 第 63 回北海道 薬学大会 (演題名) Delphinium 属植物の塩基成分の探索研究(5) 2016 年 5 月 第 63 回北海道 薬学大会 (演題名) Four new diterpenoid alkaloids from Aconitum japonicum 2016 年 7 月 9th Joint Natural Products Conference 2016 年 7 月 日本生薬学会第 63 回年会 第 63 年 第 62 年 9 月 日本薬学会第 137 年会 第 60 年会 第 63 回年会 第 63 回年会 第 63 回北海道東学会第 60 年会 東行委員 2013 年 5 月~2014 年 3 月 日本生薬学会第 60 年会 シンポジウム オーガナイザー 2014 年 4 月~2015 年 3 月 日本生薬学会北海道支部 委員 2015 年 4 月~ 日本生薬学会北海道支部 支部長 2015 年 4 月~ 日本生薬学会北海道支部 支部長 第 62 63 回北海道薬学大会 組織委員 2015 年 5 月 2016 年 5 月 日本生薬学会北海道支部 例会主催 日本生薬学会北海道支部 例会主催 2017 年 2 月~ 日本生薬学会北海道支部 例会主催		alkaloids from	共著	2016年9月	Let, 17,
(演題名) Delphinium属植物の塩基成分の探索研究(5)	2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名) Four new diterpenoid alkaloids from Aconitum japonicum 2016年7月 2016年7月 9th Joint Natural Products Conference 2016 (演題名) オクトリカブトの塩基成分の探索研究(7) 2016年9月 日本生薬学会第63回年会 (演題名) Delphinium 属植物の塩基成分の探索研究(6) 2017年3月 日本薬学会第137年会 2017年3月 日本薬学会第の成分研究 2017年3月 日本薬学会第137年会 2017年3月 日本薬学会第137年会 2017年3月 日本生薬学会第60年会 実行委員 2013年5月~2014年3月 日本生薬学会第60年会 実行委員 2013年5月~2014年3月 日本生薬学会第60年会シンポジウム オーガナイザー 2014年4月~2015年3月 日本生薬学会北海道支部 委員 2015年4月~ 日本生薬学会北海道支部 支部長 2015年4月~ 日本生薬学会北海道支部 支部長 2015年4月~ 日本生薬学会北海道支部 対部長 2015年4月~ 日本生薬学会北海道支部 対部長 2015年4月~ 日本生薬学会北海道支部 対部長 2015年4月~ 日本生薬学会北海道支部 対部長 2015年4月~ 日本生薬学会北海道支部 対部長 2015年5月、2016年5月 日本生薬学会北海道支部 例会主催 2017年2月~ 日本生薬学会北海道支部 例会主催 2017年2月~ 日本生薬学会 代議員	(演題名) オクトリカブトの塩基原	成分の探索研究(6)	2016年5月	
Japonicum 2016 年 7 月 Natural Products Conference 2016 日本生薬学会第63 回年会	(演題名) <i>De ph i n i um</i> 属植物の塩	基成分の探索研究	宪 (5)	2016年5月	
(演題名) Delphinium属植物の塩基成分の探索研究(6) (演題名) キタコブシ (Magnolia kobus DC. var. borealis Sarg.) の成分研究 ロ 学会等および社会における主な活動 2017 年 3 月 日本薬学会第 137 年会	·			2016年7月	Natural Products Conference
2017 年 3 月 137 年会 137 年会 137 年会 2017 年 3 月 日本薬学会第 の成分研究 2017 年 3 月 日本薬学会第 137 年会 137 年会 2017 年 3 月 日本薬学会第 137 年会 2012 年 12 月 日本薬学会北海道支部・学生優秀発表賞 選考委員 2013 年 5 月~2014 年 3 月 日本生薬学会第 60 年会シンポジウム オーガナイザー 2014 年 4 月~2015 年 3 月 日本生薬学会北海道支部 委員 2015 年 4 月~ 日本生薬学会北海道支部 支部長 2015 年 4 月~ 日本生薬学会北海道支部 支部長 2015 年 4 月~2017 年 3 月 第 62,63 回北海道薬学大会 組織委員 2015 年 5 月,2016 年 5 月 日本生薬学会北海道支部 例会主催 2017 年 2 月~ 日本生薬学会 代議員	(演題名) オクトリカブトの塩基原	(演題名) オクトリカブトの塩基成分の探索研究(7)			
の成分研究	(演題名) Delphinium 属植物の塩	(演題名) Delphinium 属植物の塩基成分の探索研究(6)			
2012 年 12 月 日本薬学会北海道支部・学生優秀発表賞 選考委員 2013 年 5 月~2014 年 3 月 日本生薬学会第 60 年会 実行委員 2013 年 5 月~2014 年 3 月 日本生薬学会第 60 年会シンポジウム オーガナイザー 2014 年 4 月~2015 年 3 月 日本生薬学会北海道支部 委員 2015 年 4 月~ 日本生薬学会 理事 2015 年 4 月~ 日本生薬学会北海道支部 支部長 2015 年 4 月~2017 年 3 月 第 62, 63 回北海道薬学大会 組織委員 2015 年 5 月, 2016 年 5 月 日本生薬学会北海道支部 例会主催 2017 年 2 月~ 日本薬学会 代議員		<i>kobus</i> DC. var. <i>k</i>	<i>borealis</i> Sarg.)	2017年3月	
2013 年 5 月~2014 年 3 月日本生薬学会第 60 年会 実行委員2013 年 5 月~2014 年 3 月日本生薬学会第 60 年会シンポジウム オーガナイザー2014 年 4 月~2015 年 3 月日本生薬学会北海道支部 委員2015 年 4 月~日本生薬学会 理事2015 年 4 月~日本生薬学会北海道支部 支部長2015 年 4 月~2017 年 3 月第 62, 63 回北海道薬学大会 組織委員2015 年 5 月, 2016 年 5 月日本生薬学会北海道支部 例会主催2017 年 2 月~日本薬学会 代議員	Ⅲ 学会等および社会における主力	な活動			
2013 年 5 月~2014 年 3 月 日本生薬学会第 60 年会シンポジウム オーガナイザー 2014 年 4 月~2015 年 3 月 日本生薬学会北海道支部 委員 2015 年 4 月~ 日本生薬学会 理事 2015 年 4 月~ 日本生薬学会北海道支部 支部長 2015 年 4 月~2017 年 3 月 第 62, 63 回北海道薬学大会 組織委員 2015 年 5 月, 2016 年 5 月 日本生薬学会北海道支部 例会主催 2017 年 2 月~ 日本薬学会 代議員	2012年12月	日本薬学会北海	·道支部·学生優秀	秀発表賞 選考	·委員
2014年4月~2015年3月 日本生薬学会北海道支部 委員 2015年4月~ 日本生薬学会 理事 2015年4月~ 日本生薬学会北海道支部 支部長 2015年4月~2017年3月 第62,63回北海道薬学大会 組織委員 2015年5月,2016年5月 日本生薬学会北海道支部 例会主催 2017年2月~ 日本薬学会 代議員	2013年5月~2014年3月	日本生薬学会第	560年会 実行委	員	
2015 年 4 月~ 日本生薬学会 理事 2015 年 4 月~ 日本生薬学会北海道支部 支部長 2015 年 4 月~2017 年 3 月 第 62, 63 回北海道薬学大会 組織委員 2015 年 5 月, 2016 年 5 月 日本生薬学会北海道支部 例会主催 2017 年 2 月~ 日本薬学会 代議員	2013 年 5 月~2014 年 3 月 日本生薬学会第 60 年会シンポシ			ウム オーガ	ナイザー
2015 年 4 月~ 日本生薬学会北海道支部 支部長 2015 年 4 月~2017 年 3 月 第 62, 63 回北海道薬学大会 組織委員 2015 年 5 月, 2016 年 5 月 日本生薬学会北海道支部 例会主催 2017 年 2 月~ 日本薬学会 代議員	2014年4月~2015年3月 日本生薬学会北海道支部 委員				
2015 年 4 月~2017 年 3 月 第 62, 63 回北海道薬学大会 組織委員 2015 年 5 月, 2016 年 5 月 日本生薬学会北海道支部 例会主催 2017 年 2 月~ 日本薬学会 代議員	2015 年 4 月~ 日本生薬学会 理事				
2015 年 5 月, 2016 年 5 月 日本生薬学会北海道支部 例会主催 2017 年 2 月~ 日本薬学会 代議員	2015 年 4 月~ 日本生薬学会北海道支部 支部			툿	
2017 年 2 月~ 日本薬学会 代議員	2015 年 4 月~2017 年 3 月 第 62, 63 回北海道薬学大会 組				
	2015年5月,2016年5月	015年5月,2016年5月 日本生薬学会北海道支部 例会			
2017年2月~ 日本薬学会北海道支部 幹事	2017年2月~	日本薬学会 代議員			
	2017年2月~	日本薬学会北海	道支部 幹事		

教育および研究活動の業績一覧						
北海道薬科大学	基礎教育系・語学分野	准教授	板倉	宏予		
I 教育活動	I 教育活動					
教育图	実践上の主な業績	年月日	概	要		
1 教育内容·方法	の工夫	2011年~	語学習:「英語 での医学用語 e-learing オ ンツを Newto	を用いた医学用 AIV」「英語 V」 学習を支援する リジナルコンテ In 社との共同プ して開発・改善		
2 作成した教科書	、教材、参考書	2013年~	e-learning で覚える医学用語 英語IV~V (2015~2016): 2015 年度「英語IV」と 2016 年度「英語IV」と 2016 年度「英語 V」で使用する e-learning に添付するテキストを作成			
3 教育方法・教育	実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FD を含む) 2016年11月11日 北海道薬科大学 FD 記演「学生を引きつけは?」 2016年12月21日 北海道薬科大学 FD 記演「専門職連携教育その効果」		きつける授業と 学 FD 講演会:講				
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等 <i>の</i>)名称	単著・共著の別	発行または 発表の年月	発行所、発表雑 誌 (巻・号数)等 の名称		
	learner self-contained zing E-learning in the	共著	2012年9月	JACET (51st International Convention (DVD-ROM))		
(著書) 現代イギリ	Jス読本	共著	2012年7月	丸善出版		
(著書) イギリスス	文化事典	共著	2014年11月	丸善出版		
2. 学会発表(評価	2. 学会発表(評価対象年度のみ)					
(演題名) 薬科大学の英語教育に求められるもの: 学習意欲の持続と専門英語への橋渡しとの狭間で(シンポジウム)			2016年9月	大学英語教育 学会(JACET) 第 56 回国際学 会		
Ⅲ 学会等および社	土会における主な活動					

2012 年~	大学英語教育学会	会員
---------	----------	----

教育および研究活動の業績一覧						
北海道薬科大学	応用薬学系・薬理学分野	准教授	今非	‡ 伸一		
I 教育活動	I 教育活動					
教育写	実践上の主な業績	年 月 日	概	要		
1 教育内容・方法	その工夫	2016年4月 2016年4月	振り返りのた に復習問題を	において、当日の めに、講義の最後 実施した。 の講義資料を作成		
2 作成した教科書	数材 参考書		し配付した。			
3 教育方法・教育 	実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動	上特記すべき事項(FD を含む)	2016年11月11日	「学生を引き	学 FD 講演会 : 講演 つける授業と		
		2016年12月21日	は?」 北海道薬科大学 FD 講演会:講演 「専門職連携教育の実践とその 効果」			
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の	9名称	単著・共著の別	発行または 発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称		
correlates with s	ession of plasma CCL8 closely urvival rate host disease in mice	共著	2011年11月	Exp Hematol, 39(11), 1101-1102		
injured periphera	ionein deficiency in the I nerves of complex regional revealed by proteomics	共著	2012年3月	Pain, 153(3), 532-539		
	n of annexin A5 as a biomarker sease and dementia with lewy	共著	2013 年 4 月	Front Aging Neurosci, 5(15), doi 10.3389/fnagi. 2013.00015		
	nt increase of plasma x mice as defined by is	共著	2014年9月	J Orthop Sci, 19(5), 809-819		
(論文)Cilostazo interleukin-1-ind	l inhibits uced ADAM17 expression pendent signaling in vascular	共著	2016年3月	Cell Biol Int, 40(3), 269-276		
2. 学会発表(評価	i対象年度のみ)					
Ⅲ 学会等および社	t会における主な活動			,		

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	臨床薬学系・薬物治療学	准教授	大活	康一
I 教育活動				
教育等	実践上の主な業績	年月日	概	要
1 教育内容・方法				リント配付や医療 適宜紹介していく
2 作成した教科書	、教材、参考書	2014年4月		解析演習 基礎分 いら症例を俯瞰し 都廣川書店): 共著
3 教育方法・教育	実践に関する発表、講演等			
4 その他教育活動	上特記すべき事項(FD を含む)			
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等 <i>0</i> .)名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称
(論文)薬剤師によ おける薬剤施用準値	- る麻酔科医支援業務−手術室に #-	共著	2012年1月	医療薬学, 38(1), 34-42
a lipophilic 14-m	e effects of clarithromycin, embered macrolide, on by lysophosphatidylcholine ytes	共著	2012年10月	Jpn J Pharm Health Care Sci, 38 (10), 617-627
(論文)薬学的介 業務の効果検証	、記録票解析による病棟薬剤師	共著	2014年8月	医療薬学, 40(8), 463-470
く慢性炎症性疾患に	イド系抗菌薬の処方実態に基づ に対する少量長期療法の有効性 常用量投与との比較-	共著	2014年9月	薬局薬学, 6(2), 157-166
	kる継続的な吸入指導がもたら 端息コントロール改善効果	共著	2016年9月	医療薬学, 42(9), 620-625

2. 学会発表(評価対象年度のみ)					
(演題名) QR コードによる院外処方箋内への検査値表示システム の構築 第 26 回日本図 薬学会年会					
Ⅲ 学会等および社会における主	Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
2010年6月~	北海道病院薬剤師会病院実習委	員会 地方連絡	·員		
2011 年 4 月~ 旭川医科大学病院肝疾患相談支援室一般市民向け講座 講師			け講座 講師		
2014 年 7 月~ 日本病院薬剤師会編集委員会 委員					
2016年6月~	2016 年 6 月~ 旭川病院薬剤師会実務実習 担当理事				

教育および研究活動の業績一覧					
北海道薬科大学	薬学教育系・	薬学教育分野	准教授	大	野裕昭
I 教育活動					
教育写	実践上の主な業績	績	年月日	概	要
1 教育内容・方法の工夫			2015年9月	ラーニング: ステムでの! をフィード/	足進するための e- システムの設計:シ 問題演習で、総得点 バックすることによ 量による正解を排除 深めさせた。
2 作成した教科書	、教材、参考書	<u> </u>			
3 教育方法・教育	実践に関する発	表、講演等	2011年9月	私立大学情報教育協会平成 23 年度教育改革 I C T 戦略大会: 「LMS (mood le) を用いた問題演習~自習促進の試み」	
4 その他教育活動	上特記すべき事	·項(FD を含む)	2015年11月17日	お海道薬科大学特別講演会「学修成果の評価に対する教学 IR の取り組み」	
他 1 件	2016年12月8日 北海道科学大学全学 FD 研 玉川大学の教育改革につい				
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等 <i>の</i>)名称		単著・共著の別	発行また は発表の 年月	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の 名称
(論文) 卒業延期5 方法の検討	生の学習状況の ⁹	実態調査と支援	共著	2015年4月	医学教育, 46(2), 161-170
(論文) 北海道薬科大学学生のサプリメントに対する意識調査と薬学教育に関する考察 (第1報)		共著	2015年4月	日本未病システム 学会雑誌, 21(2), 37-46	
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)					
Ⅲ 学会等および社	Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
1983 年~		日本薬学会	美		

教育および研究活動の業績一覧					
北海道薬科大学	基礎教育系・語学分	野	准教授	加	藤 隆治
I 教育活動					
教育等	実践上の主な業績		年月日	概	要
1 教育内容・方法	の工夫		2015年4月~		を使用した効果的 是示方法の構築
			2015年4月~	テストを授 用い、それる トを作成する	I 」において、小 業始めと終わりに と連動したテキス ることで、学生の ョンをあげること
2 作成した教科書	、教材、参考書		2016年4月		文法)のテキスト
3 教育方法・教育	実践に関する発表、講演	[等			
4 その他教育活動	上特記すべき事項(FD を	(含む)	2016年11月11日 2016年12月21日	演「学生を引きつける授業。は?」	
				その効果」	
Ⅱ 研究活動					
1.著書・論文等 <i>の</i>)名称		単著・共著の 別	発行また は発表の 年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称
(論文) Aztlan:W border crossed us	e didn't cross the borde	r. The	単著	2011年3月	北海道アメリカ 文学, 27, 33-48
(論文)文学作品のテレビドラマ化ーマッシュアップ化された現代の『スリーピー・ホロウ(Sleepy Hollow)』			単著	2014年3月	北海道アメリカ 文学, 30, 57-78
2. 学会発表(評価	2. 学会発表(評価対象年度のみ)				
薬科大学の英語教育に求められるもの:学習意欲の持 への橋渡しとの狭間で(シンポジウム)			持続と専門英語	2016年9月	大学英語教育学 会(JACET) 第 56 回国際学会
Ⅲ 学会等およびネ	土会における主な活動				
2009年4月~	日本スタ	タインベ	ック協会 理事	・ホームペー	ジ委員

2009年4月~2016年3月	日本アメリカ文学会北海道支部	幹事
2009年4月~	日本アメリカ文学会北海道支部	ホームページ委員
2016年4月~	日本アメリカ文学会北海道支部	編集委員

教育および研究活動の業績一覧					
北海道薬科大学	社会薬学系・薬事管理学分野	准教授	岸本 桂子		
I 教育活動					
教育多	実践上の主な業績	年月日	概 要		
1 教育内容・方法	の工夫	2015年~	6年次「演習IX(社会調査とデータ解析)」において、学生自身がアンケート調査を実施し、報告書を作成する講義を構築した。 4年次「薬事関連法制論」において理解を深めるために教科書を補完する講義プリント、演習問題を作成し、		
他 1 件			講義を行った。		
2 作成した教科書	、教材、参考書	2016年3月	「これからの社会薬学(改訂第2版増		
		2016年10月	補)」(南江堂): 共著 「OTC 医薬品学」(南江堂): 共著		
他6件					
3 教育方法・教育	実践に関する発表、講演等	2014年6月7日	The 7th international conference for interprofessional education and collaborative practice 発表: 「Student experiences in laos study tour: an evaluation of the interprofessional education program」		
		2015年3月26日	日本薬学会第 135 年会発表:「実務実 習事前学習におけるヒューマニティ 教育実施の試み」		
他 14 件					
4 その他教育活動	上特記すべき事項(FD を含む)	2016年2月13日	専門職連携教育(IPE)ワークショップ参加		
他 1 件		2016年12月21日			
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等 <i>の</i>)名称	単著・共著の 別	発行または 発表の年月 発表の年月 (巻・号数)等の名称		

(論文)薬局薬剤師を対象とした道師への支援体制に関する全国調査	過誤当事者薬剤	共著	2015年12月	社会薬学,34(2), 63-71	
(論文) 高齢者の薬物治療における 期化の要因に関する質的研究	2016年6月	社会薬学, 35(1), 2-9			
(論文) 50 歳以上の薬局来局者の利 剤師関与の希望と在宅医療における 対する認識との関連性		共著	2016年8月	医療薬学, 42(8), 582-595	
(論文)薬局薬剤師のマスク着用に 覚的情報減少は援助要請者の抱く信 るのか?.		共著	2016年10月	薬学雑誌,136(10), 1401-1413	
(論文) うつ病患者に対する薬局薬 関与する要因の検討	薬剤師の応対に	共著	2016年12月	医療薬学,42(12), 795-808	
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)					
(演題名)残薬発生・長期化に関わ	つる高齢者に内在	Eする思い	2016年6月	第 58 回日本老年社会 科学会	
(演題名) 50歳以上の薬局来局者(望と薬剤師業務に対する認識との関		薬剤師関与の希	2016年7月	第 20 回日本地域薬局 薬学会	
(演題名) 患者がメリットを感じる	2016年8月	第2回日本混合研究法 学会年次大会			
(演題名)サービス品質評価からみ 点の比較	た院外処方賛否	判断に関わる視	2016年9月	日本社会薬学会第 35 年会	
(演題名)ネットフリマにおける医	2016年9月	日本社会薬学会第 35 年会			
(演題名)医薬品個人輸入代行業者 ィング広告の現状	の未承認医薬品	に関するリステ	2016年9月	日本社会薬学会第 35 年会	
(演題名)セルフメディケーションについての知識に関する調査	2016年9月	日本社会薬学会第 35 年会			
(演題名) こどものくすり教育に関	関する調査研究		2016年9月	日本社会薬学会第 35 年会	
(演題名)被験者に応じた説明の有とその実験デザインの検討	無がプラセボ効	果に与える影響	2016年9月	日本社会薬学会第 35 年会	
(演題名) 国民の院外処方賛否に関連する要因の検討			2017年3月	日本薬学会第第137年 会	
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
2012年4月~2014年3月	員				
2014年4月~2016年3月 日本社会薬学会編集委員会 委			員		
2014年4月~	日本社会薬学会				
2016年1月~	日本老年薬学会				
2016年1月~					

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	応用薬学系・薬理学分野	准教授	小松 健一	
I 教育活動				
教育	実践上の主な業績	年月日	概	要
1 教育内容・方法	の工夫	2016年9月~2017年1月	「薬用植物学」の授業において 講義前に薬草園で採取した実 の植物や標本館の標本を、講義 に回覧しながらその特徴を説 した。	
2 作成した教科書	、教材、参考書	2011年12月 2013年8月	· ·	
3 教育方法・教育	実践に関する発表、講演等			
4 その他教育活動	上特記すべき事項(FD を含む)	2015年11月 2015年12月	赤十字救急法救助員継続講習(E 本赤十字社北海道支部) 学生・教員合同 FD ワークション プ参加	
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等 <i>0</i>)名称	単著・共著の 別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等の 名称
amlodipine on myc	ve effects of azelnidipine and cardial function and schemia/reperfsusion in dog	共著	2011年5月	J Pharmcol Sci, 116(2), 181-187
(論文) 肝傷害モー 七人参エキス及び	デルマウスの肝機能に対する田 その成分の作用	共著	2012年7月	薬学雑誌, 132(7), 831-836
biological evalua 5-hydroxymethyl-2	, structural elucidation, and tion of a -furfural derivative, vme-treated Asparagus extract	共著	2013年8月	J Agric Food Chem, 61 (38), 9155-9159
agglomerans preve	entiator from Pantoea nts atopic dermatitis induced es farinae extract in NC/Nga	共著	2015年8月	Anticancer Res, 35(8), 4501-4508

(論文) Perilla leaf extract p dermatitis induced by an extrac		共著	2016年3月	Asian Pac J Allergy Immunol,
Dermatophagoides farinae in NC/	Nga mice	N.E	2010 - 7 0 71	34 (4), 272–277
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名)桑葉粉末投与メタボリ	ックシンドローム	ュモデルマウス		日本生薬学会北
の肝臓遺伝子網羅的解析			2016年5月	海道支部第 41 回 例会
(演題名)DNA array による AHCC	経口投与時のマワ	ウス肝臓遺伝子		統合医療機能性
に対する影響探索			2016年7月	食品国際学会第 24 回年会
(演題名)0ligonolはヒト毛乳頭線	田胞遺伝子の FGF	-7,WNT10a mRNA		統合医療機能性
発現を促進する。 			2016年7月	食品国際学会第 24 回年会
(演題名) RNAseq を用いた Oligor		タボリックシ		統合医療機能性
ンドロームおよび関連疾患の予防 ⁻ 	予測解析		2016年7月	食品国際学会第 24 回年会
(演題名)米発酵抽出物(ONO-B)	の消化管ホルモニ	ン自然免疫、皮		第 23 回日本未病
膚バリア機能に与える影響			2016年11月	システム学会学
	\ 0. *\\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \			術総会
(演題名)植物発酵エキス(OM-X® ジ、肝臓遺伝子に対する効果)の成分探案及(ンマクロファー	2016年11月	第 23 回日本未病 システム学会学
			2010 # 11 月	術総会
(演題名)生薬の抗グリケーション	ン活性のスクリ−	-ニング	2017年3月	日本薬学会第137年会
(演題名)SMP30/GNL ノックアウト 体内の炎症反応と皮膚老化を促進す		ンC不足は生	2017年3月	日本薬学会第 137年会
(演題名)薬剤師の喫煙状況(1)		2017年3月	日本薬学会第 137年会	
(演題名) タバコに関する薬剤師の意識調査(1)		2017年3月	日本薬学会第 137年会	
Ⅲ 学会等および社会における主力	な活動			
2004年4月~	日本薬剤師研修センター漢方薬・生薬研修会薬用植物園実習研修 講師			《用植物園 実習研修
2005 年 4 月~ 日本生薬学会北海道支部 役員				

教育および研究活動の業績一覧					
北海道薬科大学	基礎教育系・自然科学分野	准教授	齊藤 貴士		
I 教育活動					
教育等	実践上の主な業績	年 月 日	概 要		
1 教育内容・方法	の工夫	2014年8月~ 2016年4月~	国内外の大学院生を対象とした Hokkaido サマーインスティチュートにおいて、バイオ医薬品の研究開発に関する講義を英語で実施した。 物理化学分野の理解を深めるために、教科書を補完する講義プリ		
			ントの配付、小テストを実施し た。		
2 作成した教科書	、教材、参考書	2014年1月	「実験医学」(羊土社)(増刊号): 共著		
		2016年1月	ス者 「Essential タンパク質科学」 (南江堂): 共訳		
3 教育方法・教育	実践に関する発表、講演等	2013年2月18日	第 1 回北大創薬センターシンポジウム「アカデミア発の創薬をめざして」講演:「大学で行うインシリコスクリーニングと物理化学的手法を組み合わせた化合物スクリーニングの試みについて」		
		2014年8月1日	「GE Life Sciences Day2014」講演:「大学において創薬を目指した化合物スクリーニング運用を進めるなかで見えてきた「アカデミアならでは」の問題点について」		
4 その他教育活動	上特記すべき事項(FD を含む)	2014年7月	大学院生を対象とした英国オックスフォード大学へのインターンシッププログラムの構築		
他3件		2016年3月	小学校におけるアウトリーチ活動:小学校5年生を対象に、「大学で新しいお薬の開発を目指す」の演目で授業を実施		

Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の名称		単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称
(論文) Crystallographic snapsh Tom20-mitochondrial presequence with disulfide-stabilized pepti	e interactions	共著	2011年1月	Biochemistry, 50(24), 5487- 5496
(論文) Blockade of inflammator a small-molecule inhibitor of the DOCK2		共著	2012 年 4 月	Chem Biol, 19(4), 488-497
(論文) Crystallographic and NMR evidence for flexibility in oligosaccharyltransferases and its catalytic significance		共著	2013年1月	Structure, 21(1), 32-41
(論文) Structural basis for the binding of the membrane-proximal C-terminal region of chemokine receptor CCR2 with the cytosolic		共著	2014年12月	FEBS Journal, 281(24), 5552- 5566
regulator FROUNT (論文) Non-RVD mutations that enhance the dynamics of the TAL repeat array along the superhelical axis improve TALEN genome editing efficacy.		共著	2016年11月	Scientific Reports, 6, 37887
2. 学会発表(評価対象年度のみ)				
(演題名)免疫受容体 Mincle によ	構の NMR 解析	2016年11月	第 55 回 NMR 討論 会	
(演題名) マラリア原虫 Tic22 によるアピコプラス 識機構		スト蛋白質の認	2017年3月	日本薬学会第137回年会
Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
2013 年 7 月	2013 年 7 月 国際構造ゲノム会議サテライトワークショップ 主催			[°] 主催
2014年6月	2014 年 6 月 第 15 回日本蛋白質科学会年会 ファシリテーター			

教育および研究活動の業績一覧					
北海道薬科大学	応用薬学系・薬剤学分野	准教授	佐藤 隆司		
I 教育活動					
教育到	実践上の主な業績	年月日	概	要	
1 教育内容・方法の工夫		2012年~	講義において る資料をパワ め、また、資料	」「反応速度論」の 、教科書を補完す ーポイントにまと は MPU-moodle に が復習できるよう	
	2012 年~ 自由科目セミナー「医薬性に関わる理論と計算に ンジ」を開講し、医薬品に関わる理論と計算を演で学ぶ内容とした。		論と計算にチャレ し、医薬品の物性 と計算を演習形式		
2 作成した教科書	、教材、参考書	2012年~	「物理薬剤学」の演習問題と解 説を作成し、自習できるようエ 夫した。		
		解析演習 基礎分 から症例を俯瞰し 書店):共著			
3 教育方法・教育	実践に関する発表、講演等				
4 その他教育活動	上特記すべき事項(FD を含む)	2015年12月9日	平成 27 年度学 ショップ参加	生合同 FD ワーク	
他1件		2016年11月11日	北海道薬科大学 FD 講演会: 講演 「学生を引きつける授業と は?」		
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の)名称	単著・共著の別	発行所、 発行または 発表雑誌 発表の年月 (巻・号数)等 の名称		
	ctive effect of 3-gallate on oral anticancer fensin reduction in Caco-2	共著	Biol Pharm Bull, 37(3), 490-492		
1,000	inhibits small intestinal activity in db/db mouse	共著	Jpn J Complement Alternt Med, 11(1), 25-33		

			1
(論文) Inhibitory efect of black tea and its combination with acarbose on small intestinal 共著			J Ethnopharmacol
α-glucosidase activity			, 161, 147–155
構について			日本未病システ
	共著	2015年4月	ム学会誌,
			21 (1), 111–116
ight green tea			J Pharm Pharm
, 2C9, 2D6, and	共著	2016年5月	Sci, 19(2),
			188–197
小腸における吸収	2機構		日本薬学会北海
		2016年5月	道支部第 143 回
			例会
小腸における吸収	!機構の解明	2016 年 7 日	第 20 回日本地域
		2010 4 7 7	薬局薬学会年会
薬の吸収機構に関	する研究	2016年0日	日本社会薬学会
		2010年9月	第 35 年会
と生薬成分との	相互作用に関す	2010 - 0 -	日本社会薬学会
		2016年9月	第 35 年会
相互作用:安全性	の視点から		第 23 回日本未病
		2016年11月	システム学会学
			術総会
薬の消化管吸収機	機構の解明		第23回日本未病
		2016年11月	システム学会学
			術総会
アルミノプロフェ)	ンの薬物動態に	2017 年 3 日	日本薬学会第
関する研究			137 回年会
Ⅲ 学会等および社会における主な活動			
2012 年 4 月~ 小樽市薬剤師会 理事			
2013 年 4 月~ 日本未病システム学会北海道支		部 理事	
2014年11月~ 日本未病システム学会 評議員			
115年4月~2016年3月 日本薬学会北海道支部 幹事			
	all intestinal 構について ight green tea , 209, 2D6, and 小腸における吸収 小腸における吸収 様性 では 中間 では では では では では では では では では では では では では	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	## 2015 年 3 月

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	応用薬学系・薬理学分野	准教授	高栗 郷	
I 教育活動				
教育等	実践上の主な業績	年 月 日	概	要
1 教育内容・方法	の工夫	2015年~	「薬理学 I」「薬理学 II」「演習での授業プリントを作成し、単元とに演習課題を取り入れ学生の動的学習を促した。	
2 作成した教科書	、教材、参考書	2015年8月	平成 28 年度 理学実習書)	「実習 V (薬剤学・薬 」
3 教育方法・教育	実践に関する発表、講演等			
4 その他教育活動	上特記すべき事項(FD を含む)	2015年12月9日	平成 27 年度学 ョップ参加	学生合同 FD ワークシ
		2016年11月11日	北海道薬科大学 FD 講演会:講演「学生を引きつける授業とは?」	
他 1 件				
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の)名称	単著・共著の別	発行または 発表の年月	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名 称
encoding miRNA-em essential signal	ilencing by adenovirus bedded siRNA revealed transduction by angiotensin ooth muscle cells	共著	2013年5月	J Mol Cell Cardiol, 62, 1-7
	on of the TNF- $lpha$ -induced ation of IRS-1 at 636/639 by	共著	2013年9月	J Pharmacol Sci, 122(2),93-102
	f alteration of caveolin-1 rubicin-induced apoptosis in s	共著	2015年9月	Cell Biol Int, 39(9), 1053-1060
	uced ADAM17 expression pendent signaling in vascular	共著	2016年3月	Cell Biol Int, 40(3), 269-276
stimulation with	vation by prolonged interleukin-1 eta contributes of GLUT4 translocation in ells	共著	2016年11月	Cell Biol Int, 40(11), 1204-12011

2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名)L6 骨格筋細胞の GLUT4 細胞膜移行におけるインターロイ キン−1 の長時間処置の影響		2016年5月	第 63 回北海道薬学大会	
(演題名) Interluek in-1 長時間処理による GLUT4 トランスロケーションにおける AMPK の関与		2016年9月	第67回日本薬理学会北部会	
(演題名)ERストレス誘導性細胞死におけるYAP1の役割		2017年3月	第 90 回日本薬理学 会年会	
(演題名)血管平滑筋細胞における ER ストレス誘導性細胞死に対する YAP1 の役割		2017年3月	日本薬学会第 137 年 会	
Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
2012年4月~	日本薬理学会 評議員			

教育および研究活動の業績一覧					
北海道薬科大学	基礎薬学系・医薬化学分野	准教授		高梨 香織	
I 教育活動					
教育	実践上の主な業績	年月日	概	要	
1 教育内容・方法	の工夫	2013年~ 担当講義(「日本薬局方概論」「分析II」)において、板書を大き寧に、配布プリントには余白をとり、書き込みができるように学生からの質問に対しては考えら導くように心がけた。		おいて、板書を大きく丁 プリントには余白を多く 込みができるようにし、 質問に対しては考え方か	
2 作成した教科書	、教材、参考書	2015年9月~	「薬学基礎書)」	実習 I (分析化学実習	
		2016年7月	「薬学基礎実習Ⅱ (生薬学・有機 (学Ⅱ)」		
3 教育方法・教育	実践に関する発表、講演等	2014年3月	日本薬学会第 134 年会発表: 「1 年 生の化学に対する理解度を向上させ るための学習支援の効果について」		
		2014年8月	第 10 回日本リメディアル教育学会 発表:「化学に不安を持つ学生の学 習支援」		
他7件	上特記すべき事項(FD を含む)	2013年6月	学業 かんこ-	ナー(コミュニケーショ	
4 ての他教育活動	工付記すべき事項(「D を含む)	2013年0月	呂未堂じミ /		
		2016年11月11日		大学 FD 講演会 : 講演「学 ナる授業とは?」	
他 1 件					
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の)名称	単著・共著の 別	発行または 発表の年月	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	
	ナー「もやもや化学を晴れ晴れ化 る1年生の学習支援の試み	単著	2016年12月	リメディアル教育研 究, 11(2), 1-7	
2. 学会発表(評価	T対象年度のみ)				
(演題名) ライチ由来低分子ポリフェノール中の抗腫瘍活性成分の 分析と腸管吸収性の検討		2016年5月	第 76 回分析化学討論会		
(演題名)フラボノ	ノイドの小腸上皮細胞を介した膜	透過性	2016年5月	第 63 回北海道薬学大 会	

(演題名) フラボノイド及びその教 る膜透過性の検討	2016年9月	日本分析化学会第 65 年会	
(演題名)小腸上皮様細胞(Caco- 性の分析	2017年3月	日本薬学会第 137 年会	
(演題名)過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御 効果の検討 その1		2017年3月	日本薬学会第 137 年会
(演題名)過酸化水素による細胞的 効果の検討 その2	(演題名)過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御 効果の検討 その2		日本薬学会第 137 年会
Ⅲ 学会等および社会における主	な活動		
2001 年 5 月~ 日本社会薬学会北海道支部 幹事		-	
2014年10月~2015年8月 日本リメディアル教育学会第11		年会 実行委員	
2015年10月~2016年10月	日本社会薬学会第 35 年会 実行	委員	

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	薬学教育系・薬学教育分野	准教授	高	橋 淳
I 教育活動				
教育写	ミ践上の主な業績	年 月 日	概	要
1 教育内容・方法	の工夫	2014年10月	_	事前学習に KJ法 経習の意義や各自 にさせた。
		2016年5月	学習にジグン や不自由体験 の意義や施設	験実習」の事前 一法による SGD を導入し、実習 対利用者と関わる 手具体的に想起さ
他2件	# 11	0014 - 4 -	せた。	1
2 作成した教科書	、教材、参考書	2014年4月		解析演習 基礎 予から症例を俯 (京都廣川書店):
/4 1 /4·		2016年5月	「介護福祉体	験実習ノート」(
他1件 3 教育方法・教育	実践に関する発表講演等	2016年3月	ソー学習法で	: 136 年会:ジグ : グループ学習の : てから PBL に取 共同演者
4 その他教育活動	上特記すべき事項(FD を含む)	2015年11月17日	「学修成果の 学 IR の取り約	
		2016年11月11日		学合同 FD 特別講 を惹き付ける講義
他1件				
Ⅱ 研究活動		<u>, </u>		
1. 著書・論文等の		単著・共著の 別	発行または 発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称
	of mitochondrial swelling in se from mitochondria treated alloxan	共著	2011年2月	J Biophys Chem, 2(1), 10-18

(論文)Hydrogen peroxide induces cell cycle			Biol Pharm
arrest in cardiomyoblast H9c2 cells, which is	共著	2011年4月	Bull, 34(4),
related to hypertrophy			501-506
(論文)Involvement of phosphatidylinositol			Biol Pharm
3-kinase/Akt pathway in gemcitabine-induced	共著	2012年11月	Bull, 35(11),
apoptosis-like cell death in insulinoma cell	六石	2012年11月	1932-1940
line INS-1			
(論文)ジグソー法と PBL を組み合わせた協働学習			大学教育学会
の学習効果の検証	共著	2016年5月	誌, 38(1),
			144-153
(著書)多面的症例解析演習		2014年4月	京都廣川書店
2. 学会発表(評価対象年度のみ)			
Ⅲ 学会等および社会における主な活動			

	教育および研究活動の業績一覧			
北海道薬科大学	応用薬学系・公衆衛生学分野	准教授	立浪	良介
I 教育活動				
教育家	ミ践上の主な業績	年月日	概	要
1 教育内容・方法の	り工夫	2010年~2015年 2010年~	学」の講義に 題を利用する の定着を図っ 「実習IV」に	おいて、PBL を取 一プによる発表
2 作成した教科書、	教材、参考書			
3 教育方法・教育等	実践に関する発表講演等			
4 その他教育活動_	L特記すべき事項(FD を含む)	2015年12月9日		学FD ワークショ 引FD ワークショ
		2016年11月11日		学 FD 講演会 : 講 きつける講義と
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の	名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌(巻・ 号数)等 の名称
increases glutathi	hyde induces cytotoxicity and one and ce-associated protein levels	共著	2013年7月	Biol Pharm Bull, 36(7), 1111-1117
-	increases intracellular in Schwann cells through lation	共著	2013年11月	Redox Biol, 2, 15-21
-	increases glutathione, me oxygenase-1 by stimulating dothelial cells	共著	2015年4月	Redox Biol, 4, 87-96

(論文) Glycolaldehyde induces reticulum stress and apoptosis		共著	2015年11月	Toxicol Rep, 2, 1454-1462
(論文)Epalrestat upregulates he superoxide dismutase, and catal the nervous system		共著	2016年9月	Biol Pharm Bull, 39(9), 1523-1530
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名)カドミウムの細胞毒性	に対するエパルレス	スタットの影響	2016年5月	日本薬学会北 海道支部第 143 回例会
(演題名) ホモシステイン誘導酸化ストレスに対するアミノ酸欠乏 の影響		2016年5月	日本薬学会北 海道支部第 143 回例会	
(演題名)LPS 誘導細胞傷害および血管新生に対するエパルレスタットの影響		2016年5月	日本薬学会北 海道支部第143 回例会	
(演題名)エパルレスタットの Nrf2 活性化/GSH 合成誘導に関する 研究		2016年5月	日本薬学会北 海道支部第143 回例会	
(演題名)エパルレスタットの細胞傷害抑制作用に関する研究		2016年9月	フォーラム 2016 薬学・環 境トキシコロ ジー	
(演題名)エパルレスタットの新規作用に関する研究:カドミウム 誘導細胞傷害の抑制作用		2017年3月	日本薬学会第 137 年会	
Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
2013 年 11 月~ 小樽市学校給食センター運営委員		センター運営委員	会 委員長	

	教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	薬学教育系・薬学教育分野	准教授	野呂	瀬 崇彦	
I 教育活動					
教育実	選送上の主な業績	年月日	概	要	
1 教育内容・方法(の工夫	2013年4月~	「演習Ⅷ」に システムを導	おいて、ピア評価 入した。	
		2015年4月~	「演習Ⅷ」に ックを導入し	おいて、ルーブリ た。	
2 作成した教科書、	教材、参考書	2013年3月	「医薬看クロ (京都廣川書	コスオーバー演習」 はた)・#薬	
		2014年4月	「ファーマミ	シューティカルケ 医療コミュニケー	
3 教育方法・教育3	実践に関する発表講演等	2016年2月	(教育學術新動とふり返り	はが大学を変える」 f聞): ジグソー活 りによって自己学 を促す「能動的学	
		2016年8月27日	表:「初年次 カリキュラム の実践―ディ	「学会第1回大会発教育科目におけるムマップ作成体験ィプロマポリシー年間一貫教育の可、	
4 その他教育活動。	上特記すべき事項(FD を含む)	2010年10月~	「北海道薬和 会」運営	斗大学模擬患者の	
		2016年2月13日	学合同ワーク 連携教育プロ	学・北海道科学大 ショップ「専門職 コグラム作成ワー 企画・運営、タス	
他 11 件					
Ⅱ 研究活動		<u> </u>	T	2 4 √− =r	
1. 著書・論文等の	名称	単著・共著の 別	発行または 発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称	
(論文)外来片頭痛 用いた介入効果の検	語者に対するパンフレットを 討	共著	2013年4月	日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会誌, 11(1), 43-45	

(論文) 1 年次薬剤師実務体験 Team-based Learning(TBL)の導入。		共著	2014年2月	薬学雑誌, 134(2), 179-183
(論文) 臨床対応能力の向上を目 プログラムの実践とその評価	的とした統合型	共著	2014年4月	アプライド・セ ラピューティク ス, 5(2), 22-27
(論文) OTC販売時での薬剤師 情報授受に関する意識の比較検討	と登録販売者の	共著	2015年4月	日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会誌, 13(1), 6-18
(著書)次世代薬剤師		共著	2015年12月	日経 BP
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名)模擬患者参加型ロールプレイ実習の学びに影響を与える 要因			2016年5月	第 10 回日本ファ ーマシューティ カルコミュニケ ーション学会
(演題名)保険薬局を利用する外来患者が認識する、医師および薬剤師の役割と関係性〜相互補完モデル			2016年6月	第 7 回日本プラ イマリ・ケア連 合学会学術大会
(演題名)薬剤師業務におけるコーチング活用の可能性〜対人支援 介入分析の視点から〜			2016年7月	第11回日本臨床 コーチング研究 会
(演題名)「模擬患者」と「標準模 模擬患者の認識	(演題名)「模擬患者」と「標準模擬患者」の関係に関する教育者、 模擬患者の認識		2016年7月	第 48 回日本医学 教育学会
(演題名)熊本地震災害支援活動(活用と課題	こおける「災害薬	等支援記録」の	2016年9月	第 35 回日本社会 薬学会
Ⅲ 学会等および社会における主	な活動			
2010 年 4 月~	日本薬剤師会北	海道支部 幹事		
2010年4月~2016年6月	北海道薬剤師会 学術・情報委員		1	
2010年10月~	日本ファーマシューティカルコミ		ミュニケーション学会 理事	
2015年6月~2016年1月	医療人養成としての薬学教育に関する WS 実行委員			
2016年6月~2016年8月	薬学教育指導者のためのワークショップ タスクフォース			
2016年6月~2016年12月	医道審議会薬剤	師分科会薬剤師国	国家試験出題基	準改定部会委員
2016年7月~	北海道薬剤師会	災害対策特別委	美員会	

	教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	社会薬学系・地域医療薬学分野	准教授	坂	東勉	
I 教育活動					
教	育実践上の主な業績	年月日	概	要	
1 教育内容・方法	去の工夫	2010年~2016年	論理的展開が ステップの重 に問題を提起	の講義において、 多いことから、各 要ポイントで学生 し、3分程度の学 スカッションを行	
2 作成した教科	書、教材、参考書	2014年3月 2014年4月	「地域医療薬 都廣川書店): 「多面的症例: 野・臨床分野:	-	
3 教育方法・教	育実践に関する発表講演等	2012年3月31日 2014年6月19日	ウム:「薬剤師 あり方」 第3回アジア フォーラム「(educate stude professionals	132 年会シンポジ 教育の現状とその 薬科大学協会薬学 Curriculum to ents as medical s who will serve and effect of the	
	動上特記すべき事項(FD を含む)	2016年2月13日 2017年2月11日	ョップ参加 北海道薬科大: 学合同ワーク	育(IPE)ワークシ 学・北海道科学大 ショップ「専門職 グラム作成ワーク	
Ⅱ 研究活動		<u> </u>			
1. 著書・論文等	の名称	単著・共著の 別	発行または 発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称	
(論文)薬剤師教	で育の現状とそのあり方	単著	2013年4月	薬学雑誌, 133(3), 343-348	

(論文)地域における薬剤師業務係 その評価	本験学習の実施と	共著	2013年7月	医療薬学, 39(7), 413-422
(論文)慢性閉塞性肺疾患患者の 師介入による治療効果の上昇	及入療法への薬剤	共著	2015年6月	医療薬学, 41(6), 415-423
(論文)薬剤師介入による糖尿病の 重症化防止の試み	D発症予防および	共著	2016年11月	日本地域薬局薬 学会誌, 4(2), 34-43
(論文) Utilization of 'care man collaboration sheet' in medicati home-care patients in Tokai vi	on assessment of	共著	2016年11月	日本地域薬局薬 学会誌, 4(2), 44-55
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名)薬剤師の慢性閉塞性肺病の上昇	疾患患者への介入(こよる治療効果	2016年7月	第 20 回日本地域 薬局薬学会
(演題名) 3 大学・6 学科連携によ の教育効果	る地域参加型体験:	学習の実践とそ	2016年7月	第 20 回日本地域 薬局薬学会
(演題名)薬剤師の処方設計関与による薬剤数および薬剤費の減少		2016年9月	日本社会薬学会 第 35 年会	
(演題名)「平成 27 年度バイタルサイン・フィジカルアセスメント 講習会」の成果報告		2016年9月	日本社会薬学会 第 35 年会	
(演題名) 内服がん化学療法における薬薬連携阻害要因の解析		2016年9月	日本社会薬学会 第 35 年会	
(演題名)健康フェアにおける自己採血による HbA1c 測定に関する 調査		2016年9月	第 26 回日本医療 薬学会	
(演題名) 6 学科連携による地域参加型体験学習の教育効果		2017年3月	日本薬学会第 137年会	
Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
2005年4月~	日本薬理学会	平議員		

	教育および研究活	動の業績一覧	
北海道薬科大学	臨床薬学系・薬物治療学分野	准教授	町田 麻依子
I 教育活動			
教育	実践上の主な業績	年 月 日	概要
1 教育内容・方法	の工夫	2010年4月~	「悪性腫瘍学」の講義において、イラストや画像を多く利用したパワーポイントによる視覚的教育を実施。また、がん指導薬剤師による、チーム医療の実態についての特別講義を実施した。 「臨床コニケーション論」「演習呱」において、がん患者の在宅緩和ケアの場面を設ファレンス、模擬患者インタビュー、ケアプラン作成を行った。
2 作成した教科書	:、教材、参考書	2014年4月 2016年3月	「多面的症例解析演習 基礎 分野・臨床分野から症例を俯瞰 して・・・」(京都廣川書店): 共著 「個別化医療を目指した臨床 薬物動態学」(廣川書店):共著
3 教育方法・教育	実践に関する発表講演等	2011年10月 2013年3月	第 21 回日本医療薬学会年会発表:「リアルタイム症例ディスカッションによる日米薬学生の国際交流プロジェクト」日本薬学会第 133 年会発表:「6年次アドバンストカリキュラムとしての医薬品情報の収集・加工・提供に関する演習~Google ドキュメントを活用して~」
4 その他教育活動	」上特記すべき事項(FD を含む)	2016年7月	指導薬剤師を対象とした薬学 教育アドバンストワークショ ップ参加

他8件		2017年1月26日	北海道薬科大学学生合同ワークショップ「臨床につながる基礎教育とは?」	
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の名称		単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称
(論文) カンデサルタンシレキセラ 圧疾患患者の尿中タンパク排泄に		共著	2011年1月	医療薬学, 37(3), 173-178
(論文) Carvedilol improves upta with systolic congestive heart	-	共著	2012年2月	J Cardiovasc Pharmacol, 59, 175-181
(論文) Administration of olanz antiemetic agent changes glucos cisplatin-treated rats	•	共著	2015年3月	Biol Pharm Bull, 38(4), 1-7
(論文) A patient developing chemotherapy-induced periphera which development correlated w current perception threshold an neurotrophins and substance P	ith changes in nd plasma	共著	2016年3月	Jpn J Clin Pharmacol Ther, 47(2), 43-47
(著書) 個別化医療を目指した臨	床薬物動態学	共著	2016年3月	廣川書店
┣━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━		<u> </u>		
(演題名) メトトレキサートは腸が進する		スPの代謝を亢	2016年5月	第63回北海道薬学大会
(演題名)がん化学療法誘起性末 神経栄養性因子、サブスタンス P の 同時測定が有用であった症例			2016年12月	第37回日本臨床 薬理学会学術総 会
(演題名)Methotrexate counter inducing GLP-2 dynamics in rat		nal damage by	2017年3月	第 90 回日本薬理 学会年会
(演題名)メトトレキサートによるラット回腸 glucagon-like peptide-2 発現の変動について		2017年3月	日本薬学会第 137年会	
(演題名) 第一世代抗ヒスタミン薬による眠気と CYP2D6・2C19 遺 伝型との関連性		2017年3月	日本薬学会第 137年会	
(演題名) 月経周期と酸化ストレス・うつ傾向との関連性		2017年3月	日本薬学会第 137年会	
Ⅲ 学会等および社会における主	 な活動			
2011 年 5 月~	北海道 TDM 研究会 役員			
2015年4月~2016年3月	日本臨床腫瘍薬学	学会認定制度委員	会 研修小委	員会委員

	教育および研究	教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	基礎薬学系・医薬化学分野	准教授	水.	上 徳美		
I 教育活動						
教育実	践上の主な業績	年月日	概	要		
1 教育内容・方法(の工夫	2010年4月~	射性壊変の様- イメージしや	の講義において、放 子などを、視覚的に すいようアニメーシ 理解を促している。		
		2012年4月~	単元毎に演習	の講義において、 問題を行い、解答用 学生の理解度をチェ		
2 作成した教科書、	教材、参考書	2012年4月 ~2015年9月	「有機化学 I ₋ ントを作成した	」の講義の補足プリ ∵。		
		2015年11月 ~2016年1月	ントを作成した	」の講義の補足プリた。プリントでは有 り用し、多数ある反 是示した。		
3 教育方法・教育	実践に関する発表講演等					
4 その他教育活動.	L特記すべき事項(FD を含む)	2014年9月	合同 FD ワーク 動的学習を支	学、北海道薬科大学、 ショップ「学生の能 爰するために、教員 支援において何がで 参加		
		2015年12月9日	平成 27 年度学 ョップ参加	生合同 FD ワークシ		
他1件						
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等の	名称	単著・共著の 別	発行または 発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等の 名称		
five membered-ring	em cyclization consisting of s selective Prins reaction edel-Crafts reaction	共著	2012年3月	Tetrahedron Lett, 53(11), 1337-1340		
tetrahydro-1-benza tetrahydro-2-benza	nod for construction of Exepine and Exepine based on 7- <i>endo</i> Crafts cyclization of	共著	2013 年 5 月	Tetrahedron, 69 (20), 4120-4138		

/=A \ T 				0 1 40(44)
(論文) Iotal synthesis and struction of Sekothrixide	(論文)Total synthesis and structural revision of Sekothrixide		2014年5月	Org Lett, 16(11), 2794-2797
(論文) Synthetic study of are	enicolide C:			Tetrahedron
stereoselective synthesis of th	ne C19-C36	共著	2015年12月	Lett, 56(48),
segment				6693-6695
(論文) スピロ型アレーニウムイス 環化反応および骨格変換反応	オンを経由する	共著	2016年1月	有機合成化学協会 誌, 74(1), 18-30
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名) 20 員環マクロライド V	'enturicidin の ්	セグメント結合		第 60 回 香料・テ
に関する検討			2016年10月	ルペンおよび精油
			2010 11 10 <i>H</i>	化学に関する討論
			会	
Ⅲ 学会等および社会における主	な活動			
2014年4月~2014年12月	平成 26 年放射線安全取扱部会年次大会実行委員会 委員			
2014年7月、2014年9月	北海道余市紅志高等学校、北海道富良野緑峰高等学校薬物乱用防止			
	教室 講演			
2016年5月~2016年5月	第 143 回日本 選考委員	薬学会北海道支	部例会学生優秀	秀発表賞選考委員会

	教育および研究	活動の業績一覧		
北海道薬科大学	基礎薬学系・生命科学分野	准教授	村	岡早苗
I 教育活動				
教育	育実践上の主な業績	年 月 日	概	要
1 教育内容・方法	去の工夫	2011年4月~2014年4月	「実習Ⅱ」において TBL による実習を実施した。学生の自己学習を 促し、個人学習とグループ学習を 通じて、勉学意欲を高めている。	
		2016年4月~	「生化学Ⅲ」 において、復 終了後·次回 た演習問題を	「生化学IV」の講義 習テストや各区分の 講義の始めに関連し 実施し、学生が理解 なうことで、自己学
2 作成した教科	書、教材、参考書	2012年4月~	義用プリント	の講義において、講 トおよびパワーポイ 講義用教材を使用し
3 教育方法・教	育実践に関する発表講演等			
4 その他教育活動 他3件	動上特記すべき事項(FD を含む)	2014年9月 2016年12月8日	FD ネットワークつばさ 学生 FD 会議(札幌大学、山形大学共催)に参加 北海道科学大学全学 FD 研修会 玉川大学の教育改革について	
Ⅱ 研究活動		I	I	
1. 著書・論文等	の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等の 名称
(著書)「多面的 野から症例を俯瞰		共著	2014年4月	京都廣川書店
2. 学会発表(評	価対象年度のみ)			
(演題名) 3T3-L1 細胞の分化に伴うミトコンドリア機能と防御能の変化		2016年5月	日本薬学会北海道 支部第 143 回例会	
(演題名) 有機ラジカル誘導脂質過酸化に対する 3T3-L1 細胞の影響		2016年5月	日本薬学会北海道 支部第 143 回例会	
(演題名) U937 の影響	単球および分化マクロファージにタ	けするリネゾリド	2016年5月	日本薬学会北海道 支部第 143 回例会

(演題名) ゲムシタビン処理 INS-1 と IP3K 系の関与	2016年5月	日本薬学会北海道 支部第 143 回例会	
(演題名)3T3-L1 分化脂肪細胞の の役割)抗酸化能におけるオートファジー	2017年3月	日本薬学会第 136 年会
(演題名) 3T3-L1 細胞の分化に伴 ートファジー	≐うミトコンドリア機能の変化とオ	2017年3月	日本薬学会第 136 年会
(演題名) リネゾリドによる INS-1 細胞の傷害とオートファジーの防御作用		2017年3月	日本薬学会第 136 年会
Ⅲ 学会等および社会における主	な活動		
2012年11月~	日本赤十字社救急法 指導員		
2014年5月24日	日本薬学会北海道支部第 141 例会 3 部門責任者	学生優秀発表賞	選考委員、第2・
2014年7月19日	全国政令指定都市薬剤師会第2回3	薬物乱用防止キ	テャンペーン参加
2015年3月8日	札幌薬剤師会第9回薬物乱用防止=	キャンペーン参	····································
2015年7月18日	全国政令指定都市薬剤師会第3回薬物乱用防止キャンペーン参加		
2016年3月6日	札幌薬剤師会第 10 回薬物乱用防止キャンペーン参加		
2016年5月14日	第 143 回日本薬学会北海道支部例会 頭発表部門)選考委員	会 学生優秀 発	表賞選考委員会(ロ
2016年7月23日	全国政令指定都市薬剤師会第4回	 薬物乱用防止キ	ーャンペーン参加

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	社会薬学系・薬事管理学分野	准教授	村上	主美穂
I 教育活動				
教育	「実践上の主な業績 「実践上の主な業績	年月日	概	要
1 教育内容・方法の工夫		2016年4~7月	の講義演習と 例」に対する	ィケーション学」 して、「来局者事 対応策をスモール スカッションによ
		2016年9~10月	り作成し、次 ることを3回 「実習VII(区 ィケーション ョン)」のロー 録画し、学生 した。	回の講義で解説す 実施した。 分V セルフメデ ・コミュニケーシ ルプレイをビデオ の振り返りに活用
2 作成した教科	書、教材、参考書	2016年10月	「OTC 医薬品 著	学」(南江堂): 共
3 教育方法・教	育実践に関する発表講演等			
4 その他教育活	動上特記すべき事項(FD を含む)	2016年11月11日 2016年12月21日	「字生を引きつける授業とは?」	
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等	の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称
	薬剤師実務体験実習における ning(TBL)の導入とその成果	共著	2014年2月	YAKUGAKU ZASSHI , 134 (2) , 179-183
(論文)OTC 薬肌 情報授受に関する	克売時での薬剤師と登録販売者の 意識の比較検討	共著	2015年4月	日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会誌, 13(1), 6-18
(論文)慢性閉塞 剤師介入による治	些性肺疾患患者の吸入療法への薬 ☆療効果の上昇	共著	2015年6月	医療薬学, 41(6), 415-423

(論文)薬剤師介入による糖尿病の び重症化防止の試み	の発症予防およ	共著	2016年11月	日本地域薬局薬 学会誌, 4(2), 34-43
(著書)OTC 医薬品学-薬剤師にで リ・ケア	ごきるプライマ	共著	2016年10月	南江堂
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名)健康フェアにおける検	体測定室運営に関	する調査	2016年5月	第 63 回北海道薬 学大会
(演題名) 被験者に応じた説明の教 響と、その実験デザインの検討	有無が、プラセボ	効果に与える影	2016年9月	日本社会薬学会 第 35 年会
(演題名)セルフメディケーション についての知識に関する調査	/推進に向けた子	供と保護者の薬	2016年9月	日本社会薬学会 第 35 年会
(演題名) こどものくすり教育に	関する調査研究		2016年9月	日本社会薬学会 第 35 年会
(演題名)健康フェアにおける自己採血による HbA1c 測定に関する 調査			2016年9月	日本医療薬学会 第 26 回年会
(演題名) セルフメディケーション推進に向けた「くすり教育」イベントに関する調査研究			2017年3月	日本薬学会第 137年会
Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
2004年5月~	日本社会薬学会	北海道支部 幹	事 事	
2006年7月~	札幌薬剤師会 総務会計委員			
2010年7月~2016年5月	日本ファーマシ	・ューティカル コ	ミュニケーショ	ョン学会 理事

教育および研究活動の業績一覧					
北海道薬科大学	基礎薬学系・医薬化学分野	准教授	山下 浩		
I 教育活動					
教育	実践上の主な業績	年 月 日	概	要	
1 教育内容・方法	法の工夫	2010年~2016年		精義において、視覚教材、 生薬標本を用い効果的 た。	
2 作成した教科	書、教材、参考書	2010年~2016年	臨床で用いられている漢方・生薬およ び健康食品などの最新トピックスに 関するハンドアウトを作成した。		
		2014年4月	「多面的症例解析演習 基礎分野・臨床分野から症例を俯瞰して・・・」(京都廣川書店): 共著		
3 教育方法・教育	育実践に関する発表講演等				
4 その他教育活動	動上特記すべき事項(FD を含む)	2011年~ 2015年12月9日	薬用植物園内に「薬草研究部」用の圃場を確保し、発芽から結実・収穫まで部員の手で行うことを支援している。テキストでは判らない形態・性状の理解を深めた。平成27年度学生合同FDワークショップ参加		
他2件					
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等	の名称	単著・共著の 別	発行または 発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等の名称	
	ea inhibits small intestinal se activity in db/db mouse	共著	2015年3月	Jpn J Complement Alternat Med, 11(1), 25-33	
(論文) Six new n Delphinium elatu	norditerpenoid alkaloids from um	共著	2015年5月	Phytochem Lett, 12, 75-78	
(論文) Four ne <i>Delphinium elatu</i>	w diterpenoid alkaloids from um	共著	2016年6月	Phytochem. Lett, 17, 190–193	
(著書)薬草ガイ	ドブック 野外編	共著	2014年3月	日本植物園協会	

(著書)新訂生薬学 改訂第日	3版	共著	2017年3月	南江堂	
2. 学会発表(評価対象年度のみ)					
(演題名) Delphinium 属植物	の塩基成分の探索研	究 (5)	2016年5月	日本薬学会北海道支 部第 143 回例会	
(演題名) オクトリカブトの均	塩基成分の探索研究	(6)	2016年5月	日本薬学会北海道支 部第 143 回例例会	
(演題名)キタコブシ(<i>Magno</i>	olia kobus)の成分も	研究	2017年3月	日本薬学会第137年会	
(演題名) Delphinium属植物	『の塩基成分の探索研	开究(6)	2017年3月	日本薬学会第137年会	
Ⅲ 学会等および社会における	る主な活動				
2008年4月~	日本生薬学会北海流	道支部 庶務幹	事		
2008年4月~	北海道薬学大会実行	行委員会 委員			
2008年8月~2012年3月	日本東洋医学会	第 62 回学術総会	組織委員		
2011年4月~2013年3月	日本生薬学会 評詞	義員			
2012年1月	日本分析化学会北沟	毎道支部 セミ	ナー講師		
2012年4月~2014年3月	日本生薬学会第	60 回年会 組織	実行委員		
2013年1月~2013年9月	日本薬学会北海道	支部薬学の有機の	化学を考えるシ	ンポジウム 実行委員	
2013年4月~2015年6月	日本生薬学会 理	<u></u>			
2014年4月~2015年3月	日本生薬学会北海	直支部 監事			
2014年9月	天使大学・北海道	薬科大学連携公園	開講座 講師		
2015年8月	(医)美田内科循環器科クリニック 第4回健康 Festa 市民公開講座 講師				
2016年1月	北海道科学大学・北海道薬科大学・小樽市主催 第 1 回 市民公開講座 :1月 講師				
2016年10月	北海道手稲高校	薬物乱用防止教	室 講師		
2016年12月	2016 年 12 月 北海道小樽潮陵高校 薬物乱用防止教室 講師				

	教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	臨床薬学系・臨床薬剤学分野	准教授	山下 美妃		
I 教育活動					
教育実	践上の主な業績	年月日	概 要		
1 教育内容・方法の	工夫	2011年~ 2015年~	「薬物治療学 I 」において、毎回の授業で復習テストを実施し、結果のフィードバックを行い、学習効果を向上させた。担当授業ごとにティーチングポートフォリオを作成することで、毎回、自身の授業を振り返り、授業のペース配分や内容のボリュームなどを調整した。		
他 3 件					
2 作成した教科書、 他3件	教材、参考書	2014年4月 2015年3月	「多面的症例解析演習 基礎分野・臨床分野から症例を俯瞰して・・・」(京都廣川書店):共著「処方提案につなげる薬物療法ハンドブック」(南江堂):共著		
	践に関する発表講演等	2015年3月 2016年3月	日本薬学会第 134 年会シンポジウム:「統合型プログラムの限界を打ち破る新たな展開 -ジグソー法による教授と学習の一体的改革-」「薬学雑誌」誌上シンポジウム:「薬物療法における実践的能力の向上を目的とした統合型プログラムの導入とその評価」薬学雑誌, 136(3), 361-367		
4 その他教育活動上 他 17 件	特記すべき事項(FD を含む)	2015年12月9日 2017年2月11日	「平成27年度学生合同FDワークショップ」タスクフォース 北海道薬科大学・北海道科学大学合同ワークショップ「専門職連携教育プログラム作成ワークショップ」		

Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の名称		単著・共著の 別	発行または 発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称
(論文) 地膚子と蛇床子を含む高た型クリーム剤の調製	水分含有率油中水	共著	2011年12月	薬学雑誌, 131(12), 1835-1841
(論文) Simultaneous determinate epoxyeicosatrienoic acids and dihydroxyeicosatrienoic acids b system		共著	2015年10月	Biol Pharm Bull, 38(10), 1673-1679
(論文) Effects of angiotensin blockers on metabolism of arach CYP2C8		共著	2015年12月	Biol Pharm Bull, 38(12), 1975-1979
(論文) Efficacy and safety of ropivacaine mixture for scalp r local infiltration anesthesia undergoing awake craniotomy	nerve block and	共著	2016年1月	J Neurosurg Anesthesiol, 28(1),1-5
(著書)コンパス医薬品情報学		共著	2015年9月	南江堂
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名)Results of a questionnaire regarding und and how pharmacists can help improve compliance			2016年9月	76th FIP's World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 2016
(演題名) ST合剤の飲みやすさの	D改善と安定性に関	する研究	2016年9月	第 26 回日本医療薬学会年会
(演題名)イリノテカン低用量レケ 作用発現と ABCG1 および ABCC5 遺		される重篤な副	2017年3月	日本薬学会第 137 年会
Ⅲ 学会等および社会における主	な活動			
2011年2月	第 11 回 21 世紀症	病院薬剤師フォー	-ラム 講師	
2011年8月	震災復旧ボランラ	ティア活動		
2012年5月~	北海道 TDM 研究会	会 役員		
2012年6月~2013年3月	日本薬学会薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に関する調査 研究チーム 委員			
2012年8月~	北海道薬剤師会生涯学習委員会 委員			
2012年9月 他2回	北海道認定実務実習指導薬剤師養成 WS タスクフォース			
2013 年 2 月	薬剤師臨床セミナー 講師			
	楽剤師臨床セミブ	一一講師		
2013年10月、2014年7月	楽剤師臨床セミオ 登録販売者資質に		i	

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	応用薬学系・薬理学分野	准教授	若	命 浩二
I 教育活動				
教育実	選送上の主な業績	年 月 日	概	要
1 教育内容・方法(の工夫	2016年~	「サプリメント概説」の講義にないて、外部講師を招き、学生たるにサプリメントの社会的意義について理解を促した。 「免疫学」の講義において、DV (医学教育センター)を放映した。 学生に理解を促した。	
2 作成した教科書、	教材、参考書			
3 教育方法・教育	実践に関する発表講演等	2015年4月	メントに対す	大学学生のサプリ る意識調査と薬学 考察」(未病システ 共著
4 その他教育活動.	上特記すべき事項(FD を含む)	2015年12月9日 2016年11月11日	ョップ参加 日 北海道薬科大学 FD 講演会:講演	
 他 1 件			「子工でかる	つける授業とは?」
Ⅱ 研究活動		l		
1. 著書・論文等の	名称	単著・共著の 別	発行または 発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等の 名称
lymphocytes via ge changes to an adhe	ation and selection of human enotypic and phenotypic erent cell type: a possible T cell activation	共著	2015年12月	Evid Based Complement Alternat Med, Article ID 508746
	ose correlated compound and h hind-limb-unloaded BALB/c	共著	2016年1月	Int J Surg Res, 2(5), 32-35
agglomerans 1(IP-F	entiator from Pantoea PA1) promotes murine hair dermal papilla cell gene	共著	2016年7月	Anticancer Res, 36(7), 3687-3692

(論文) DNA microarray analysis expression changes in ICR mouse I treatment with active hexose co compound	iver following	共著	2016年8月	Integr Mol Medi, 3(3), 739-744	
(論文) Global liver gene expre on a murine metabolic syndrome by low-molecular-weight lych polyphenol (Oligonol®)	model treated	共著	2016年8月	Anticancer Res, 36(7), 3705-3714	
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)					
(演題名)桑葉粉末投与メタボリッ 肝臓遺伝子網羅的解析	ァクシンドローム	モデルマウスの	2016年5月	第 63 回北海道薬 学大会	
(演題名) Prevention predictive and its related disease by OI RNA-seq	-		2016年7月	The 24th International congress on nutrition and integrative medicine	
(演題名)LPS のアトピー性皮膚ジャー	&、育毛に対する	効果	2016年7月	第 50 回自然免疫 賦活技術研究会	
(演題名)Oligonol® enhances the expression of FGF-7 and WNT10amRNA in human follicle dermal papilla cells			2016年7月	The 24th International Congress on Nutrition and Integrative Medicine	
(演題名)メタボリックシンドロー 対する桑葉粉末投与による影響	-ムモデルマウス	の肝臓遺伝子に	2016年7月	第 16 回 日本抗 加齢医学会	
(演題名)健康食品イムノリンク(る影響探索	の腸管、自然免疫	、肝機能に対す	2016年9月	第5回eBIM研究会	
(演題名)米発酵抽出物 (ONO-B) の消化管ホルモン自然免疫、皮膚バリア機能に与える影響			2016年11月	第 19 回日本未病 システム学会	
(演題名)RNA-seq 解析によるビタミン C の不足が毛周期に与える 影響			2016年12月	第 19 回バイオ治 療法研究会	
(演題名)グラム陰性菌パントエアの生体調節機能に関する今後の 展望			2016年12月	第 51 回自然免疫 賦活技術研究会	
Ⅲ 学会等および社会における主	Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
International congress on nu (ICNIM) 幹事			rition and in	tegrative medicine	
2016年6月~2018年5月 Evidence based nutrition (EBN)推進委員会			委員		

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	基礎薬学系・生命科学分野	講師	伊藤 萌子	
I 教育活動				
教育実	践上の主な業績	年 月 日	概	要
1 教育内容・方法の	の工夫	2013~2014年		において動画を利用 上の理解度向上に役 画を受けた。
		2013~2015年	「機能形態学II」において毎時間の問題演習の実施(講義終了時)や、図表を多用した配布資料が学生の理解度向上に役立ったとの評価を受けた。	
2 作成した教科書、	教材、参考書	2014年4月 2015年8月	野・臨床分野から症例を俯瞰して …」(京都廣川書店): 共著	
3 教育方法・教育	実践に関する発表講演等			
	L特記すべき事項(FD を含む)	2014年9月 2015年12月	北海道科学大学・北海道薬科大学 合同 FD ワークショップ 平成 27 年度学生合同 FD ワークショップ参加	
世1件 Ⅲ 研究活動				
1. 著書・論文等の	名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等の 名称
	XD/H box helicase, is a novel promoting RIG-I-like signaling	共著	2011年7月	Mol Cell Biol, 31 (18), 3802-3819
superoxide dismuta	intradermal delivery of use using a combination of cophoresis for protection askin damage	共著	2012年3月	Biol Pharm Bull, 35(5), 781-785
K63-linked polyubi	role of riplet-mediated quitination of the RIG-I n human antiviral innate	共著	2013年8月	PLoS Pathog, 9(8), e1003533

(論文) Cell type-specific subcellular localization of phospho-TBK1 in response to 共著 cytoplasmic viral DNA			2013年12月	PLoS One, 8(12), e83639
(論文) DDX60 is involved in RIG-I-dependent and independent antiviral responses, and its function is attenuated by virus-induced EGFR activation			2015年5月	Cell Rep, 11(8), 1193-1207
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名) ADA2 遺伝子変異を同気の1例	(演題名) ADA2 遺伝子変異を同定した結節性多発動脈炎(PN) の1例			平成 28 年第 26 回 日本小児リウマ チ学会
(演題名)分泌不全型アデノシンラ 能の解析	(演題名)分泌不全型アデノシンデアミナーゼ2の性質と生理機能の解析			日本薬学会第 137 年会
Ⅲ 学会等および社会における主	な活動			
2008 年~	日本分子生物学会 会員			
2009 年~	日本免疫学会	会員		
2013 年~	日本薬学会 会	員		
2013 年~	日本リウマチ学	会 会員		

	教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	社会薬学系・地域医療薬学分野	講師	伊東 佳美		
I 教育活動					
教育	ラ 実践上の主な業績	年月日	概要		
1 教育内容・方	法の工夫	2010年~ 2015年~	「地域医療学」の講義で使用するパワーポイント資料、およびその内容に関連する補助資料を毎回の講義で配付した。「地域医療学」の講義において、学生により具体的な理解を促すために現場(夕張市)で撮影したビデオを使用した。		
2 作成した教科	書、教材、参考書	2010年4月 2014年3月	「症例まるごと基礎から解析 (第2版) -臨床薬学総論患者 ケアへのアプローチー」(京都廣 川書店):共著 「地域医療薬学(第2版)」(京 都廣川書店):共著		
他2件		0014 5 0 5 10 5			
3 教育方法・教	育実践に関する発表講演等	2014年6月19日 2016年3月27日	第3回アジア薬科大学協会薬学フォーラム「Curriculum to educate students as medical professionals who will serve the community and effect of the education」日本薬学会第136年会発表:「地域社会に役立つ医療人の育成を目指した3大学・6学科連携による地域参加型体験学習の実践とその教育効果」		
他 5 件	71 1 1 1 1	2010 - 0 - 10 -			
4 その他教育活 	動上特記すべき事項(FD を含む)	2016年2月13日	専門職連携教育(IPE)ワークショップ参加		
他 1 件		2016年12月21日	北海道薬科大学 FD 講演会:講演 「専門職連携教育の実践とその 効果」		
他工件					

Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の名称		単著・共著の別	発行または 発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称
(論文)保険薬局における後発医 対する患者意識調査	薬品への変更に	共著	2011年5月	医薬品情報学, 12(4), 2-10
(論文) 地域における薬剤師業務 とその評価	本験学習の実施	共著	2013年7月	医療薬学, 39(7), 413-422
(論文)慢性閉塞性肺疾患患者の 剤師介入による治療効果の上昇	吸入療法への薬	共著	2015年6月	医療薬学, 41(6), 415-423
(論文)薬剤師介入による糖尿病の び重症化防止の試み	の発症予防およ	共著	2016年11月	日本地域薬局薬 学会誌, 4(2), 34-43
	manager-pharmacist collaboration sheet' in medication assessment of home-care patients in		2016年11月	日本地域薬局薬 学会誌, 4(2), 44-55
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名)薬剤師の慢性閉塞性肺療 の上昇	₹患患者への介入	による治療効果	2016年7月	第 20 回日本地域 薬局薬学会
(演題名) 3 大学・6 学科連携によ その教育効果	る地域参加型体	験学習の実践と	2016年7月	第 20 回日本地域 薬局薬学会
(演題名)薬剤師の処方設計関与に	よる薬剤数およ	び薬剤費の減少	2016年9月	日本社会薬学会 第 35 年会
(演題名) 「平成 27 年度バイタル ト講習会」の成果報告	サイン・フィジ	カルアセスメン	2016年9月	日本社会薬学会 第 35 年会
(演題名) 内服がん化学療法における薬薬連携阻害要因の解析			2016年9月	日本社会薬学会 第 35 年会
(演題名)健康フェアにおける自己採血による HbA1c 測定に関する 調査			2016年9月	第 26 回日本医療 薬学会
(演題名) 6 学科連携による地域参加型体験学習の教育効果			2017年3月	日本薬学会第 137 年会
Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
2004年4月~	日本社会薬学会北海道支部 幹事			
2013 年 4 月~	日本社会薬学会	北海道支部 企區	画委員	

	教育および研究活	動の業績一覧			
北海道薬科大学	社会薬学系·医薬情報解析学分野	講師	梅田 純代		
I 教育活動					
教	教育実践上の主な業績 年月日 概 要				
1 教育内容・方法	去の工夫	2010年~	「演習班(区分:調剤計算)」「医薬情報学」において、学生の理解を促すために演習問題とその解説を行った。 「演習区(区分:医薬情報)」ではクラウド型教育を実施し、一元管理により学習効果を上げた。		
	書、教材、参考書	2011年1月	「地域医療変	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
Z TFIX した教件	音、软材、参与音	2011年1月	」□・□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	《子』 (尔印度川音	
3 教育方法・教	育実践に関する発表講演等	2014年9月	店): 共者 日本社会薬学会第 33 回年会発 表:「薬剤師の英語カ向上を目 指した実践英語教育プログラ		
他5件		2016年3月	ム構築の試み」 第 13 回北海道医薬品情報研究 会発表:「北海道薬科大学にお けるデータベースの活用と4年		
	 動上特記すべき事項(FD を含む)	2013年9月28日	生 DI 実習の 薬士 FD 「Tea		
他5件	切上が心が、とず失(ルとロ仏)	2016年2月13日	薬大FD「Team-based Learning の考え方と進め方」参加 北海道薬科大学・北海道科学大 学「専門職連携教育(IPE)ワー クショップ」参加		
Ⅱ 研究活動					
1.著書・論文等	の名称	単著・共著の別	発行または 発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称	
(論文)薬系大学 マセラピー」の取	における自由科目セミナー「アロ はり組み	単著	2011年6月	日本アロマセラ ピー学会誌, 10(1), 52-62	
	情報と個別化医療」教育における -開局薬局薬剤師に対するアンケ	共著	2014年4月	薬局薬学, 6(1), 28-36	

(論文)薬局薬剤師の医薬情報収算の変化について-北海道地区におけ		共著	2015年4月	薬局薬学, 7(1), 52-62
成 23 年の比較-				
	(著書) 今日の OTC 薬 改訂第3版 共著		2015年3月	南江堂
(著書)アロマセラピーの精油ハン	ンドブック	共著	2016年11月	丸善
2. 学会発表(評価対象年度のみ)				
(演題名)薬剤師の英語力向上の劇	必要性に関する意	哉調査	2016年5月	第63回 北海道 薬学大会
(演題名) 在宅でのアロマセラピー について	-導入における薬剤	削師の関わり方	2016年5月	第63回 北海道 薬学大会
(演題名)北海道在住薬局薬剤師の ズ調査ー経営形態別解析ー	D地域による医薬 [†]	青報収集の二一	2016年6月	第 19 回日本医薬 品情報学会総会 学術大会
(演題名)北海道在住薬局薬剤師の 影響する要因に関する調査	の在宅業務への意記	哉および意欲に	2016年6月	第7回日本プラ イマリケア連合 学会学術大会
(演題名) Awareness of home medical care by community pharmacists in Hokkaido, Japan: a comparison of urban and rural locations			2016年8月	76th FIP's World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 2016
(演題名)北海道在住の保険薬局 意欲に関する調査-都市部と地方-		への意識および	2016年9月	日本社会薬学会第 35 年会
(演題名)北海道在住薬局薬剤師の ズ調査ー業務形態別解析ー	の地域による医薬ヤ	青報収集のニー	2016年9月	第 26 回 日本医療薬学会年会
(演題名)薬局薬剤師の在宅患者 用の意識並びに現状に関する調査	・顧客に対するアロ	コマセラピー使	2016年11月	第 19 回日本アロマセラピー学会学術総会
(演題名)薬局薬剤師がアロマセラ に関する調査	ラピーを活用する剤	意識および現状	2017年3月	日本薬学会第 137 回年会
Ⅲ 学会等および社会における主力	な活動			
2006 年 7 月~ 国際プロフェッショナルアロマー		ショナルアロマセ	zラピスト連盟	正会員
2008年4月~2013年9月	年9月 朝里川温泉地域クラスタープロシ		ジェクト アド	バイザー
2008 年 4 月~	北海道医薬品情報研究会 幹事			
2013年1月~	薬剤師実践英会話研究会 事務局			
2013 年 4 月~	日本アロマセラピー学会 評議員、同学会認定証薬剤師			
2016年9月	日本社会薬学会第	第 35 年会 実行 委	-	

	教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	基礎薬学系・医薬化学分野	講師	金田	3 京介	
I 教育活動					
教育実	践上の主な業績	年月日	概	要	
1 教育内容・方法の	の工夫	2015年6月 2016年4月	「立体構造化学」の理解を深めるために、分子模型を用いて立体を示す講義を展開した。 「有機化学II」の理解を深めるために、教科書を補完する講義 プリント、演習問題を配付した		
他 1 件					
2 作成した教科書、	教材、参考書	2014年4月	「実習Ⅱ(区分 有機化学)」実 習書作成		
3 教育方法・教育	実践に関する発表講演等				
4 その他教育活動」 他 2 件	L特記すべき事項(FD を含む)	2016年11月11日 北海道薬科大学 FD 講演会: 講 「学生を引きつける授業と は?」 2017年1月26日 北海道薬科大学学生合同ワー ショップ「臨床につながる基 教育とは?」		つける授業と 学学生合同ワーク	
Ⅱ 研究活動		l			
1. 著書・論文等の	名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称	
	oriented synthesis: concise ivatives of Yohimbine and ds	共著	2012年2月	Tetrahedron Letters, 53, 477-479	
	onent assembly processes for diverse Yohimbine and d analogues	共著	2013年7月	ACS Comb Sci, 15, 379-386	
1,411,00	cholas and Pauson-Khand nitroarene reduction	共著	2015年8月	Tetrahedron Letters, 56, 4674–4677	

(論文) Experimental investigat tetracyclic compounds containir nine-membered sultam via cobalt complexs	ng a	共著	2016年2月	Heterocycles, 92, 291-304
(論文) Synthesis of tetracyclic molecules containing medium-sized heterocycles: scope expansion of cascade Nicholas and Pauson-Khand methodology		2016年11月	Synthesis, 48, 3931-3940	
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名)クリック反応を指向したヘテロ 9 員環アルキンの合成研究		2016年5月	日本薬学会北海 道支部第 143 回 例会	
(演題名)スルホンアミドを含む 9 員環アルキンの合成とクリック 反応の検討			2017年1月	化学系協会北海 道支部冬季研究 発表会
(演題名)クリック試薬の開発を目指したベンゼンスルホンアミド型シクロノニンの創製		2017年3月	日本化学会第 97 回春季年会	
Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
2012 年 3 月~ 日本薬学会 会員				
2012年10月~	10月~ 日本化学会 会員			
2012年10月~	有機合成化学協	3会 会員		

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	応用薬学系・公衆衛生学分野	講師	佐原	
I 教育活動		<u>.</u>		
教育學	教育実践上の主な業績 年月日			要
1 教育内容・方法	の工夫	2015年~ 2015年~	概 要 「地球環境学」の授業では、演習問題を利用して学生の知識の対策を図った。 「演習V」では、TBL (チーム基盤型学習)を取り入れて能動的な学修を促している。	
2 作成した教科書	、教材、参考書			
3 教育方法・教育	実践に関する発表講演等			
4 その他教育活動	上特記すべき事項(FD を含む)	2016年11月11日		学 FD 講演会 : 講演 つける講義とは」
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の)名称	単著・共著の別	発行または 発表の年月	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の 名称
and increases glu	nce-associated protein	共著	2013年7月	Biol Pharm Bull, 36(7), 1111-1117
	t increases intracellular s in Schwann cells through gulation	共著	2014年1月	Redox Biol, 2, 15-21
thioredoxin, and	t increases glutathione, heme oxygenase-1 by pathway in endothelial cells	共著	2015年4月	Redox Biol, 4, 87-96
•	lehyde induces endoplasmic and apoptosis in Schwann cells	共著	2015年11月	Toxicol Rep, 2, 1454-1462
(論文) Epalrestat upregulates heme oxygenase-1, superoxide dismutase, and catalase in cells of the nervous system		共著	2016年9月	Biol Pharm Bull, 39(9), 1523-1530
2. 学会発表(評価	T対象年度のみ)			
(演題名) カドミウムの細胞毒性に対するエパルレスタットの影響		2016年5月	日本薬学会北海道 支部第 143 回例会	
(演題名) ホモシス の影響	、テイン誘導酸化ストレスに対す	るアミノ酸欠乏	2016年5月	日本薬学会北海道 支部第 143 回例会

(演題名)LPS 誘導細胞傷害およ ットの影響	び血管新生に対するエパルレスタ	2016年5月	日本薬学会北海道 支部第 143 回例会
(演題名)エパルレスタットの Ni 研究	rf2 活性化/GSH 合成誘導に関する	2016年5月	日本薬学会北海道 支部第 143 回例会
(演題名)カドミウムの細胞毒性	2016年5月	日本薬学会第 143 回北海道支部例会	
(演題名)エパルレスタットの細胞傷害抑制作用に関する研究		2016年9月	フォーラム 2016 薬学・環境トキシ コロジー
(演題名)エパルレスタットの新規作用に関する研究:カドミウム 誘導細胞傷害の抑制作用		2017年3月	日本薬学会第 137 年会
Ⅲ 学会等および社会における主な活動			
2010年12月~	日本薬学会 会員		

	教育および研究活動の業績一覧			
北海道薬科大学	基礎薬学系・医薬化学分野	講師	鈴才	大 裕治
I 教育活動				
教育実践上の主な業績 年月日 概 要				
1 教育内容・方法の	の工夫	2012年~	て、おおいったので、いるので、いるのでで、いるがのでででででででいる。では、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、い	化イオのとは、 学のとはない。 が表示をはいる。 が表示をはいる。 が表示をはいる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、
2 作成した教科書、	4.++		ント作成	
3 教育方法・教育9 	実践に関する発表講演等			
4 その他教育活動」	4 その他教育活動上特記すべき事項 (FD を含む)		北海道科学大学との合同 FD ワークショップにて、学生の能動的学習について報告した後、学力の不足する学生に対する支援や方策をそれぞれ検討した。 平成 27 年度学生合同 FD ワーク	
他5件			ショップ参加	
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の	名称	単著・共著の 別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称
stereoselective sy	etudies of Venturicidins: onthesis of the C15-C27 two types of stereospecific eactions	共著	2011年11月	Tetrahedron Lett, 52, 6948-6951
	e membered-ring selective H Friedel-Crafts reaction	共著	2012年3月	Tetrahedron Lett, 53, 1337–1340

2. 学会発表 (評価対象年度のみ)					
(演題名)20 員環マクロライド Venturicidin のセグメント結合に 関する検討		2016年10月	第 60 香料・テル ペンおよび精油 化学に関する討 論会		
Ⅲ 学会等および社会における主	な活動				
2009年11月~	日本化学会 会員				
2011年10月~	日本薬学会 会員				
2012年4月~	有機合成化学協会 会員				
2013年4月~2014年3月	日本薬学会北海道支部 薬学の)有機化学を考え	える 実行委員		
2015年 5月	日本薬学会北海道支部 第 142	 !例会 口頭発表	長・座長		

	教育および研究	活動の業績一覧		
北海道薬科大学	応用薬学系・薬剤学分野	講師	髙村	喬 夏子
I 教育活動				
教育実	践上の主な業績	年 月 日	概	要
1 教育内容・方法の	の工夫	2016年4月~2017年1月	学」の講義 point を使用 よう視覚に訴 心がけた。「自 は、少人人組む る科学に 取り入れるこ	R論I I power を は、power を は、な は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、
2 作成した教科書、	教材、参考書	2016年4月~2017年1月	教科書だけでは理解しにくい項 目もあるため、図に書き込む形 式のプリントを作成し、学生の 理解に役立つよう工夫した。	
3 教育方法・教育	実践に関する発表講演等			
4 その他教育活動」	上特記すべき事項(FD を含む)	2016年11月11日 2017年1月26日	北海道薬科大学 FD 講演会: 講演 「学生を引きつける授業と は?」 北海道薬科大学学生合同ワーク ショップ「臨床につながる基礎 教育とは?」	
他 1 件				
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の	名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等の 名称
(論文)Crucial residue involved in L-lactate recognition by human monocarboxylate transporter 4 (hMCT4)		共著	2013年7月	PLoS One, 8(7), e67690
	of pharmacokinetics of cype 2 diabetic rats	共著	2014年2月	J Pharm Pharm Sci, 17(1), 25-33

(論文)Immunoprotective effect o	of			Biol Pharm Bull,
epigallocatechin-3-gallate on o	ral anticancer	# **	0014 & 0 8	37 (3), 1–3
drug-induced $lpha$ -defensin reduct	tion in Caco-2	共著	2014年3月	
cells				
(論文)Involvement of monocarbox	kylate			J Pharm Sci,
transporter 4 expression in sta	atin-induced	共著	2016年4月	105 (4) ,
cytotoxicity				1544-1549
(論文)Characterization of loxop	orofen			Biopharm Drug
transport in Caco-2 cells: the	involvement of	共著	2016年11月	Dispos, 37(8),
a proton-dependent transport sy	ystem in the	八省	2010 4 11 7	447–455
intestinal transport of loxopro	ofen			
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名)経口抗がん剤が腸管免疫(に与える影響		2016年9月	第 26 回日本医療
			2010 平 9 月	薬学会年会
(演題名)食品成分による腸管免疫の	の維持・改善に関	する研究	0017 = 0 =	日本薬学会第137
			2017年3月	年会
Ⅲ 学会等および社会における主な活動				,
2008年10月~	日本薬学会 会員			
2009年5月~	日本医療薬学会 会員			
2009年9月~	健康食品管理士	会 会員		

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学薬学教育系・薬学教育分野		講師	武田 香陽子	
I 教育活動				
教育実	践上の主な業績	年月日		概要
1 教育内容・方法 <i>0</i>	1 教育内容・方法の工夫 2015年4月~		グソー法と F た SGD 学習を	引」において、ジ PBL を組み合わせ F用いた授業転換 Eの SGD への取り こ。
2 作成した教科書、				
3 教育方法・教育写	ミ践に関する発表講演等	2016年3月	ポジウム発表 活用とその意 でグループ学 してから PBL の検証』	136 回年会シン ま:質的データの 意義『ジグソー法 全習の意義を実感 に取り組む効果
		2016年5月	薬学教育懇話会第5回 教育 ピアレビュー授業者:1年次 「薬学生入門(能動的学習 法)」:	
4 その他教育活動」	:特記すべき事項(FD を含む)	2016年7月17日、18日 2016年11月19日、20日	指導薬剤師を対象とした薬学 教育アドバンストワークショ ップ研修タスク担当	
他5件				
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の:	名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称
	of Lgr5, an intestinal stem g each stage of colorectal	共著	2011年1月	Anticancer Res, 31(1), 263-270
protein 4 as a marke	some maintenance (MCM) er for proliferation and its copathological significance lung cancer	共著	2011年3月	Lung Cancer, 72(2), 229-237
(論文)卒業延期生 支援方法の検討	の学習状況の実態調査と	共著	2015年3月	医学教育, 46(2), 161-169

(論文) ジグソー法と P の学習効果の検証	BL を組み合わせた協働学習	共著	2016年4月	大学教育学会 誌, 38(1),
				144–153
2. 学会発表(評価対	象年度のみ)			
(演題名) 初年次教育課目におけるカリキュラムマップ作成体験の			2016年8月	第1回日本薬学
実践			2010年0月	教育学会
Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
2015 年 3 月~ 実務実習指導薬剤師養成ワークショップワーキンググループ 委員			プ 委員	
2016 年 3 月 第 136 回日本薬学会年会 シンポジスト演者				

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	応用薬学系・薬剤学分野	講師	戸-	上 紘平
I 教育活動				
教育実	践上の主な業績	年 月 日	概	要
1 教育内容・方法の	の工夫	2013年9月~2016年11月	講義進行にお ないよ う 、繰	「生物薬剤学 I 」の いて、一方的になら り返し演習を行い、 度を確認すること 習を促した。
2 作成した教科書、	教材、参考書	2013年4月	「徹底解説 薬2版)」(廣川書	整物動態の数学(第 書店): 共著
3 教育方法・教育	実践に関する発表講演等			
4 その他教育活動。	上特記すべき事項(FD を含む)	2013年9月	Team-based Le	earningに関するFD プ参加
他 1 件		2014年9月	Team-based Learning を「演習 V」の中に取り入れて実習を行った。また、高校教員と合同で開催された能動的学習の支援についてのFD ワークショップに参加した。高校教育の現状を知り、互いの問題点を認識し、改善策を検討した。	
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の	名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等の 名称
fibroblasts (WI-38 incorporated into truncated basic fi	liposomes modified with broblast growth factor and ect on collagen synthesis in	共著	2015 年 2 月	Biol Pharm Bull, 38(2), 270-276
(論文) Pharmacoki distribution of pi	netic evaluation of tissue	共著	2015年5月	Biopharm Drug Dispos, 36(4), 205-215

(論文) Alteration in intrapulm pharmacokinetics of aerosolized compounds due to disruption of epithelial barriers following bleomycin-induced pulmonary fib	l model the alveolar	共著	2016年3月	J Pharm Sci, 105 (3), 1327-1334
(論文) Tumor distribution and effect of doxorubicin following administration to mice with met tumor	intrapulmonary	共著	2016年6月	J Drug Deliv Sci Tech, 33, 143-148
(論文) Sustained distribution of aerosolized PEGylated liposomes in epithelial lining fluid 共著 on alveolus surface		2016年10月	Drug Deliv Transl Res, 6, 565-571	
2. 学会発表(評価対象年度のみ)	ı			
(演題名) 転移性肺ガンモデルマウスにおける肺投与したドキソ ルビシンの肺組織分布特性及び抗腫瘍効果			2016年5月	日本薬剤学会第 31 年会
(演題名) Influence of the accumulation of extracellular matrix on the intrapulmonary distribution of aerosolized drugs in mice with bleomycin-induced pulmonary fibrosis		2016年10月	第 31 回日本薬物 動態学会	
(演題名)肺線維症発症時の肺胞_ のための上皮間葉移行及び薬物透過		tro モデル確立	2017年3月	日本薬学会第 137 年会
(演題名) 肺線維症における肺胞閉塞に伴う肺投与型薬物の肺内 動態変化		2017年3月	日本薬学会第 137 年会	
Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
2005年12月~	日本薬学会 会	· 員		
2005年12月~	日本薬剤学会 会員			
2006年6月~	日本薬物動態学会 会員			
2007年2月~	日本 DDS 学会 会員			

	教育および研究	活動の業績一覧		
北海道薬科大学	基礎薬学系・生命科学分野	講師	中日	田章史
I 教育活動				
教育実		年月日	概	要
1 教育内容・方法の	の工夫	2015年10月2016年4月	において、理解 聴覚資料を用い 「ゲノム薬学」 物学・遺伝子	「生物学」「分子生 エ学」の講義におい 解度をはかるため、
2 作成した教科書	、教材、参考書	2015年2月		査学講座 遺伝子・ (医歯薬出版):共
3 教育方法・教育	実践に関する発表講演等			
4 その他教育活動.	上特記すべき事項(FD を含む)	2016年2月		回生体応答科学研 寅:「環境変異原と染 けるセミナー」
他 6 件		2016年8月	ー「化学汚染・ LaMer セミナー 細胞培養の可能	環境科学研究センタ 沿岸環境研究拠点」 -講演:「野生動物の 能性:イルカ・クジ かての今後の展望」
Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の	名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等の 名称
progression index,	ameter, cell-cycle for radiation dose absorbed premature chromosome	共著	2014年6月	Radiat Prot Dosimetry, 159 (1-4), 52-60
morphology and the	asonal changes on testicular e expression of circadian panese wood mice (Apodemus	共著	2015年12月	J Biol Regul Homeost Agents, 29(3), 589-600
agglomerans 1 (IP-	tiator from Pantoea -PA1) promotes murine hair ermal papilla cell gene	共著	2016年7月	Anticancer Res, 36(7), 3687-3692

ression of the e model treated fruit	共著	2016年7月	Anticancer Res, 36(7), 3705-3714
of gene liver following orrelated	共著	2016年8月	Integr Mol Med, 3(4), 739-744
)			
ザによる被災アカ	コネズミ精巣の	2016年10月	日本放射線影響学 会第 59 大会
生に関与する染色	色体異常の解析	2016年10月	日本放射線影響学 会第 59 大会
息するノネズミ <i>の</i>)被ばく線量推	2016年10月	日本放射線影響学 会第 59 大会
(演題名)未成(早期)熟凝縮染色体(PCC)法とFISH法を併用した二動原体染色体線量推定法の検討			日本放射線影響学 会第 59 大会
(演題名) Disorders of sexual development in a common minke whale (Balaenoptera acutorostrata) from Japan			The 9th International Meeting of Asian Society of Conservation Medicine in Taipei
(演題名)RNA-seq 解析によるビタミン C の不足が毛周期に与える 影響			第 20 回バイオ治 療法研究会
(演題名) In vitro cytotoxicity assessment of environmental pollutants on finless porpoise fibroblasts		2016年12月	7th Bilateral Seminar Italy-Japan,
Ⅲ 学会等および社会における主な活動			
福島県被ばく状況調査隊 隊員			
福島県被災住民一時立入りプロジェクト 支援員			
ISO/TC85/SC2 放射線防護国内対策委員会 委員			
	e model treated fruit of gene iver following prelated がに関与する染色 は、PCC)法とFI はするノネズミの は、PCC)法とFI velopment in a ata) from Japan ミンCの不足が毛 assessment of e fibroblasts な活動 福島県被災住民	# model treated fruit of gene iver following prrelated ## ## ## ## ## ## ## ## ##	# model treated fruit 共著 2016年7月 of gene iver following prrelated

教育および研究活動の業績一覧					
北海道薬科大学	基礎教育系・自然科学分野	講師	馬場	暁子	
I 教育活動					
教育	ラ 実践上の主な業績	年月日	概	要	
1 教育内容・方法	去の工夫	2016年	て、説明は PP 配付資料は別議 資料はノートラ 活用できる穴は	等の講義におい「を用いて行い、金作成した。配付テイク兼復習に 関め式で学生のなイラスト等を	
2 作成した教科	書、教材、参考書	2015年	書き込み式の資義で配付した。	資料を毎回の講	
3 教育方法・教育	育実践に関する発表講演等				
	動上特記すべき事項(FD を含む)	2015年9月 2017年1月26日	参加 北海道薬科大	ーニング導入 WS 学学生合同ワー a床につながる基	
世3件					
1. 著書・論文等	の名称	単著・共著の 別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称	
regioselectivity consecutive hydr	erization of chemo- and in enzyme-catalyzed colytic deprotection of methyl wes of 1-b-0-acyl glucuronides	共著	2011年2月	J Mol Catal B- Enzym, 69(1-2), 74-82	
enzyme-catalyzed		共著	2012年2月	J Org Chem, 77(4), 1675-1684	
	2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名)アシル る種差	·グルクロニドと血清アルブミンのキ 	相互作用におけ	2016年5月	第 63 回北海道 薬学大会	

(演題名) アシルグルクロニドの ミンの影響	肖失過程に及ぼすヒト血清アルブ	2016年6月	第 43 回日本毒性学会学術年会
(演題名) アリール酢酸系アシル・ ヒト血清アルブミンとの相互作用	グルクロニドの研究(1)	2017年3月	日本薬学会第 137 年会
Ⅲ 学会等および社会における主	な活動		
2015 年~	日本薬学会 会員		
2015 年~	米国化学会 会員		

	教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	薬学教育系・薬学教育分野	講師	藤本 哲也		
I 教育活動					
教育	実践上の主な業績	年月日	概要		
1 教育内容・方法	去の工夫	2016年4月~	「病態生理学」の授業において、ミニッツペーパーで、毎回、学生の意見を収集し授業改善に役立てた。また、動画資料を提示し、学生の理解を促した。「自由科目(病態と薬物治療の基礎)」において、インタラク		
他9件			ティブティーチングを実施し、 学生の主体的学修を推進した。		
2 作成した教科	書、教材、参考書	2016年4月	「病態生理学」授業資料の作成		
他 13 件		2016年4月	「演習哑(臨床コミュニケーション演習)」授業資料の作成		
	育実践に関する発表講演等	2016年3月 2016年8月	第4回日本シミュレーション医療教育学会学術大会発表:「薬学領域におけるシミュレータを活用したフィジカルアセスメント教育」第1回日本薬学教育学会大会発表:薬学生に対するフィジカルアセスメント教育の新プログラム」		
	動上特記すべき事項(FD を含む)	2017年1月26日	北海道薬科大学学生合同ワー		
		2017年2月11日	クショップ「臨床につながる基礎教育とは?」 北海道薬科大学・北海道科学大学合同ワークショップ「専門職連携教育プログラム作成ワークショップ」		
他10件					

Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の名称		単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称
(論文) カンデサルタンシレキセー 血圧患者の尿中蛋白排泄に与える		共著	2011年3月	医療薬学, 37(3), 173-178
(論文) Carvedilol improves upt patients with systolic congest failure		共著	2012年2月	J Cardiovasc Pharmacol, 59(4), 175-181
(論文) 薬学生 6 年次における患 及び病態シナリオを活用したアドル ジカルアセスメント学習の試み		共著	2016年6月	日本シミュレー ション医療教育 学会誌, 4,71-78
(著書)多面的症例解析演習―基体 野から症例を俯瞰して…―	礎分野・臨床分	共著	2014年4月	京都廣川書店
(著書)Visual core pharma 薬物 5版)	治療学(改訂第	共著	2016年4月	南山堂
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)				
(演題名)マニキュアが経皮的動脈響	脈血酸素飽和度測	定に及ぼす影	2016年7月	第9回日本在宅 薬学会学術大会
(演題名) 実務実習直前の5年次に実施した北海道薬科大学におけるフィジカルアセスメント実習			2016年8月	第1回日本薬学 教育学会大会
(演題名) 北海道薬科大学在宅医療サイン・フィジカルアセスメント		2016年9月	日本社会薬学会 第 35 年会	
(演題名)薬学6年次アドバンス 習における症例シナリオに基づく。		2016年9月	第4回日本シミュレーション医療教育学会学術 大会	
Ⅲ 学会等および社会における主	な活動			
2010年4月~2012年7月	北海道薬科大学	生涯学習スキル	アップ講座(詞	調剤) 講師
2011年2月・2013年4月	日本在宅薬学会バイタルサイン講習会ディレクター取得・エヴァンジェリスト取得			クター取得・エヴ
2011 年 4 月~ 日本在宅薬学会バイタルサイン講習会 講師				
2011年11月~	北海道薬科大学生涯学習ステップアップ/スキルアップ講座 (フィジカルアセスメント) 講師			
2012年4月~	北海道薬科大学在宅医療研究会 講師			
2013年9月~	薬学共用試験 OSCE 評価者養成講習会 講師			
2014年9月	第27回北海道認定実務実習指導薬剤師ワークショップ タスク フォース			
2016年3月	愛媛大学医学部 習パイロット授		部学生合同シ	ミュレーション実

	教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	基礎薬学系・医薬化学分野	講師	三原	· 義広	
I 教育活動					
教育実	践上の主な業績	年月日	1	概要	
1 教育内容・方法の	の工夫	2015年~ 2015年~	「定量分析化学」では学生の事前・事後学修が円滑に行えるように HPU-Moodle を活用し、講義フリント及び演習問題を提供している。 「卒業研究」において、原則1週間に1時間以上のディスカッションまたは論文指導の時間を設けることで、学生が演者となる学会発表を5件行うことができた。		
2 作成した教科書、	教材、参考書	2016年4月 2016年9月	「定量分析化学」講義プリント 「基礎薬学実習 I 」実習書:分析 化学実験		
他1件					
3 教育方法・教育3	実践に関する発表講演等				
4 その他教育活動 ₋ 他 5 件	上特記すべき事項(FD を含む)	2016年12月8日 2017年1月26日	玉川大学の教育改革について		
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□					
1. 著書・論文等の	名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称	
that can be collect	ent of a new type of adsorbent ted easily on the surface of tion at the bottom of water	共著	2013年12月	J Environ Chem, 23, 187-194	
chitosan-caboxymet entrapped nano zer	on and characterization of hyl-β-cyclodextrin o-valent iron composite for ') removal from wastewater	共著	2014年1月	Chem Eng J, 236, 378-387	

(議定义) Determination of key components and adsorption capacity of a low cost adsorbent based on sludge of drinking water treatment plant to adsorb cadmium ion in water (論文) Adsorption kinetic model of alginate gel beads synthesized micro particle-prussian blue to remove cesium ions from water (論文) Global liver gene expression analysis on a murine metabolic syndrome model treated by low-molecular weight lychee fruit polyphenol (別ignon!) 2. 学会発表 (評価対象年度のみ) (演題名) フラボノイドの小腸上皮細胞を介した膜透過性 (演題名) アラボノイドの小腸上皮細胞を介した膜透過性 (演題名) Prevention predictive analysis of metabolic syndrome and its related disease by Oligonole administration using RNA-seq (演題名) フラボノイド及びその類線化合物の小腸上皮細胞に対する設置と随物発酵工キス (OM-X) の成分分析及び細胞、生体への影響探索 (演題名) 小腸上皮精細胞(Caco-2)におけるフラボノイド類透過性の分析 (演題名) 小腸上皮精細胞(Caco-2)におけるフラボノイド類透過性の分析 (演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御外の検討 その 2 正学会等および社会における主な活動 2017年3月 日本薬学会第 137年会 (演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御外の検討 その 2 正学会等および社会における主な活動 2017年3月 日本薬学会第 137年会 (演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御外の検討 その 2 正学会等および社会における主な活動 2017年3月 日本薬学会第 137年会 (演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御外の検討 その 2 正学会等および社会における主な活動 2017年3月 日本薬学会第 137年会 (対理など) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御外の検討 その 2 正学会等および社会における主な活動 2017年3月 日本薬学会第 137年会 (対理を含め) 自体・学会 会員					
gel beads synthesized micro particle-prussian blue to remove cesium ions from water (論文) Global liver gene expression analysis on a murine metabolic syndrome model treated by low-molecular weight lychee fruit polyphenol (01igonol*) 2. 学会発表 (評価対象年度のみ) (演題名) フラボノイドの小腸上皮細胞を介した膜透過性 (演題名) アevention predictive analysis of metabolic syndrome and its related disease by 01igonol* administration using RNA-seq (演題名) フラボノイド及びその類縁化合物の小腸上皮細胞に対する設護過性の検討 (演題名) フラボノイド及びその類縁化合物の小腸上皮細胞に対する場践過性の検討 (演題名) フラボノイド及びその類縁化合物の小腸上皮細胞に対する場践過性の検討 (演題名) 加腸上皮様細胞(Caco-2)におけるフラボノイド類透過 性の分析 (演題名) 小腸上皮様細胞(Caco-2)におけるフラボノイド類透過 性の分析 (演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御 カチャックを発達を発達を発達を発達を発達を発達を発達を発達を発達を発達を発達を発達を発達を	adsorption capacity of a low cost adsorbent based on sludge of drinking water treatment 共著			2014年8月	
on a murine metabolic syndrome model treated by low-molecular weight lychee fruit polyphenol (01igonol*) 共著 2016 年 7 月 36 (7)、3705-13. 2016 年 7 月 36 (7)、3705-13. 2016 年 7 月 36 (7)、3705-13. 2016 年 7 月 37 (6 回分析化学の分析と陽管吸収性の検討 2016 年 5 月 36 (演題名) フラボノイドの小腸上皮細胞を介した膜透過性 2016 年 5 月 36 (3 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	gel beads synthesized micro par	ticle-prussian	共著	2016年4月	Eng, 10(C),
(演題名) ライチ由来低分子ボリフェノール中の抗腫瘍活性成分 の分析と腸管吸収性の検討 に演題名) フラボノイドの小腸上皮細胞を介した膜透過性 2016 年 5 月 道支部第 143 回 例金 (演題名) Prevention predictive analysis of metabolic syndrome and its related disease by Oligonol® administration using RNA-seq 2016 年 7 月 2016 年 7 月 2016 年 7 月 2016 年 7 月 2016 年 7 月 2016 年 7 月 2016 年 7 月 2016 年 7 月 2016 年 7 月 2016 年 9 月 日本分析化学会 する膜透過性の検討. 2016 年 9 月 日本分析化学会 第 65 年会 第 23 回日本未病 の影響探索 2016 年 11 月 2017 年 3 月 137 年会 (演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防 2017 年 3 月 137 年会 (演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防 2017 年 3 月 日本薬学会第 137 年会 (演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防 2017 年 3 月 日本薬学会第 137 年会 第 2017 年 3 月 日本薬学会 会員 8 日本 第 2018 年 5 日本 第 2018 日本 5 日本 5 日本 5 日本 5 日本 5 日本 5 日本 5 日本	on a murine metabolic syndrome molecular weight lychee from	odel treated by	共著	2016年7月	•
の分析と陽管吸収性の検討 (演題名) フラボノイドの小腸上皮細胞を介した膜透過性 (演題名) Prevention predictive analysis of metabolic syndrome and its related disease by 01 igonol® administration using RNA-seq (演題名) フラボノイド及びその類縁化合物の小腸上皮細胞に対する腹透過性の検討. (演題名) 植物発酵エキス (OM-X) の成分分析及び細胞. 生体への影響探索 (演題名) 小腸上皮様細胞(Caco-2)におけるフラボノイド類透過性の分析 (演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御効果の検討 その1 (演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御効果の検討 その2 (演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御効果の検討 その2 (演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御効果の検討 その2 (演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御効果の検討 その2 (演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御効果の検討 その2 (演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御効果の検討 その2 (演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御効果の検討 その2 (演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御効果の検討 その2	2. 学会発表(評価対象年度のみ))			
2016年5月 道支部第143回 例会		フェノール中の批	亢腫瘍活性成分	2016年5月	
syndrome and its related disease by Oligonol® administration using RNA-seq 2016年7月 2016年7月 2016年7月 2016年7月 2016年7月 2016年7月 2016年7月 2016年7月 2016年7月 2016年7月 2016年7月 2016年7月 2016年7月 2016年7月 2016年7月 2016年7月 2016年9月 日本分析化学会第65年会第65年会第2016年11月 システム学会学術総会(演題名)小腸上皮様細胞(Caco-2)におけるフラボノイド類透過性の分析 (演題名)小腸上皮様細胞(Caco-2)におけるフラボノイド類透過性の分析 (演題名)過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御効果の検討その1 (演題名)過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御効果の検討その2 ロ学会等および社会における主な活動 2017年3月 日本薬学会第137年会 137年会 2017年3月 日本薬学会第137年会 137年会 日本薬学会第137年会	(演題名) フラボノイドの小腸上皮細胞を介した膜透過性			2016年5月	道支部第 143 回
する膜透過性の検討.2016 年 9 月第 65 年会(演題名) 植物発酵エキス (OM-X) の成分分析及び細胞、生体への影響探索第 23 回日本未病システム学会学術総会(演題名) 小腸上皮様細胞(Caco-2)におけるフラボノイド類透過性の分析2017 年 3 月日本薬学会第137 年会(演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御効果の検討 その 1日本薬学会第137 年会(演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御効果の検討 その 22017 年 3 月日本薬学会第137 年会町学会等および社会における主な活動日本化学会会員2014年4月~日本薬学会会員2015年2月~日本薬学会会員	syndrome and its related disease by Oligonol® administration		2016年7月	International Congress on Nutrition and Integrative	
の影響探索 2016 年 11 月 システム学会学 術総会 (演題名) 小腸上皮様細胞(Caco-2)におけるフラボノイド類透過 性の分析 2017 年 3 月 137 年会 (演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防 御効果の検討 その 1 2017 年 3 月 137 年会 (演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防 御効果の検討 その 2 2017 年 3 月 日本薬学会第 137 年会 エ 学会等および社会における主な活動 2014 年 4 月~ 日本化学会 会員 日本薬学会 会員		類縁化合物の小腸	場上皮細胞に対	2016年9月	
性の分析 2017 年 3 月 137 年会 (演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御効果の検討 その 1 2017 年 3 月 137 年会 137 年会 (演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御効果の検討 その 2 日本薬学会第 137 年会 137 年会 2017 年 3 月 日本薬学会第 137 年会 137 年 137)の成分分析及び	が細胞、生体へ	2016年11月	システム学会学
御効果の検討 その12017 年 3 月137 年会(演題名) 過酸化水素による細胞傷害に対するシラカバ樹液の防御効果の検討 その2日本薬学会第 137 年会町学会等および社会における主な活動日本化学会 会員2014 年 4 月~日本薬学会 会員			ドノイド類透過	2017年3月	
御効果の検討 その2 2017年3月 137年会 Ⅲ 学会等および社会における主な活動 2014年4月~ 日本化学会 会員 2015年2月~ 日本薬学会 会員				2017年3月	
2014 年 4 月~ 日本化学会 会員 2015 年 2 月~ 日本薬学会 会員			2017年3月		
2015 年 2 月~ 日本薬学会 会員	Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
	2014年4月~	日本化学会 会員			
2016 年 3 月~ 日本分析化学会北海道支部 幹事	2015 年 2 月~ 日本薬学会 会員		 :員		
	2016年3月~ 日本分析化学会北海道支部 草		北海道支部 幹	事	

	教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学	薬学教育系・薬学教育分野	講師	村岡 千種		
I 教育活動					
教育実	践上の主な業績	年月日	概要		
1 教育内容・方法の	の工夫	2015年4月	「薬学生入門 (区分IV コミュニケーション)」にて自己概念探索の		
			ための授業を設計した。学習内容はその後の関連科目での活用を促した。		
		2016年9月	「薬剤師実務体験実習(区分V 患者とのコミュニケーション)」に て処方せん受付場面の患者応対の 実習を行った。180分で模擬患者 と面接できる実習設計を行った。		
2 作成した教科書、	教材、参考書	2016年9月	「薬剤師実務実習(区分V 患者とのコミュニケーション)」実習書		
3 教育方法・教育	実践に関する発表講演等	2015年6月25日	北薬特別講演会発表:「薬剤師ー患者関係の再構築:ロールプレイ実習によるコミュニケーションプロセスの検討」		
		2015年6月21日	北海道薬科大学生涯学習スキルアップ講座講師:「薬局リーダーのためのファシリテーションスキル」		
4 その他教育活動」	上特記すべき事項(FD を含む)	2016年6月19日	生涯学習スキルアップ講座「患者協働型医療実践ワークショップ とま者協働の医療へ向けて、薬剤ができること・するべき事とは? ~」グループファシリテーター 北海道薬科大学・北海道科学 大学 合同プログラム作成ワークショップ 2000 で 要 スクフォース		
他5件			77.20		

Ⅱ 研究活動				
1. 著書・論文等の名称		単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等の 名称
(論文)模擬患者用ストレス調査乳 年度版の開発と信頼性・妥当性の様の健康と継続参加を志向したストリ 的測定	_{灸証:模擬患者}	共著	2014年3月	看護科学研究, 12, 1-23
(論文)施設を超える,職種を超え 同学生向け多職種連携教育課外セミ んだ3年間		共著	2015 年 4 月	医学教育, 46(2), 178-184
(著書)初年次における地域基盤 医学教育の挑戦	型教育:日本の	共著	2012年7月	篠原出版新社
2. 学会発表(評価対象年度のみ)				
(演題名) ロールプレイ実習において入院時患者役を演じた薬学 生の学び		2016年5月	第 10 回日本ファ ーマシューティ カルコミュニケ ーション学会大 会	
(演題名)薬学生がロールプレイ! との学びの構造	(演題名)薬学生がロールプレイ実習において患者役を演じるこ 第 48 回日本 2016 年 7 月			第 48 回日本医学 教育学会
(演題名) ロールプレイ実習におい の学び	ハて在宅患者役を	を演じた薬学生	2016月10月	第 49 回日本薬剤 師会学術大会
(演題名)一般用医薬品(OTC)販 者役を演じた薬学生の学び	名)一般用医薬品(OTC)販売場面のロールプレイ実習で患 演じた薬学生の学び			日本薬学会 137年会
Ⅲ 学会等および社会における主力	Ⅲ 学会等および社会における主な活動			
2008年4月~	日本ファーマシューティカル コミュニケーション学会 会員			
2009年7月~	日本医学教育学会 会員			
2015年5月~	日本ファシリテーション協会北海道支部 副支部長			
2016年4月~	日本薬学会 会員			

教育および研究活動の業績一覧				
北海道薬科大学 臨床薬学系・臨床薬剤学分野		講師	守屋 寛之	
I 教育活動				
教育等	実践上の主な業績	年月日	t t	既要
1 教育内容・方法の工夫		2010年6月~2010年9月~	「実務実習事前学 習」の散剤実習にままでででいる。 割調剤時における手技を視め、 模がしたのでででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	
2 作成した教科書、教材、参考書		2010年6月~	「実習VI」において、調剤の基本的な手技等を理解するための実習書を作成 「薬剤師実務体験実習」において、薬剤師の実務を体験するにあたり、これらの手技等を理解するための実習書を作成	
3 教育方法・教育	実践に関する発表講演等			
4 その他教育活動 他 1 件	上特記すべき事項(FD を含む)	2016年2月13日 2016年12月21日	専門職連携教育(IPE)ワークショップ参加 北海道薬科大学 FD 講演会:講演「専門職連携教育の実践とその効果」	
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□				
1. 著書・論文等の	名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称
for UGT1A1*6, UGT1	ation between heterozygosity A1*28, and variation in the bin level in healthy young	共著	2013年6月	Genet Test Mol Biomarkers, 17(6), 464-469

			1	T	
(論文) Single nucleotide polymorphisms and copy				Biomed Rep,	
number variations at the FCGR2A an	nd FCGR3A genes	共著	2014年2月	2(2), 265–269	
in healthy Japanese subjects					
(論文) The relationship between				Oncol Lett,	
irinotecan regimen-induced occur	rence of grade	共著	2014年4月	7 (6),	
4 neutropenia and genetic variant	s of UGT1A1 in	八日	2014 + 4 /3	2035-2040	
Japanese patients with gynecolog	ic cancers				
(論文)「ゲノム情報と個別化医療」	教育における			薬局薬学,	
取り組みの検討―開局薬局薬剤師に	対するアンケ	共著	2014年4月	6(1), 28-36	
一ト調査—					
(論文) Association of μ -opioid	receptor gene			Exp Brain Res,	
(OPRM1) haplotypes with postoperat	tive nausea and	共著	2014年7月	232 (8),	
vomiting				2627-2635	
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)					
(演題名) 簡易懸濁後の医薬品と経腸栄養剤との配合変化			2016年9月	日本医療薬学	
				会第 26 回年会	
(演題名) アンケートに基づく残薬	の発生防止対策に	こ関する検討	2016年9月	日本医療薬学	
				会第 26 回年会	
(演題名) ST 合剤の飲みやすさの	改善と安定性に関	する研究	2016年9月	日本医療薬学	
				会第 26 回年会	
(演題名)複数医薬品を同時簡易懸濁した際の医薬品の安定性			2016年9月	日本医療薬学	
				会第 26 回年会	
(演題名)調剤薬局における処方監査業務の有用性に関する評価研			2016年9月	日本医療薬学	
究				会第 26 回年会	
(演題名) イリノテカン低用量レジメンにより誘発される重篤な副			2017年3月	日本薬学会第	
作用発現と ABCG1 および ABCC5 遺伝子変異との関連				137 年会	
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
2010 年 7 月~					

教育および研究活動の業績一覧						
北海道薬科大学 社会薬学系・地域医療薬学		講師	柳本 ひとみ			
I 教育活動	I 教育活動					
教育到	実践上の主な業績	績	年 月 日	概要		
1 教育内容・方法	の工夫					
2 作成した教科書、教材、参考書		2014年3月	「地域医療薬学(第2版)」(京 都廣川書店):共著			
			2014年4月	「多面的症例解析演習」(京都 廣川書店):共著		
3 教育方法・教育	実践に関する発	表講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事項(FD を含む)		2013年5月~	北海道在住の薬剤師向けに実 践英会話教室を運営。本学サ テライトキャンパスを活用し 外国人による発音指導を含む ロールプレイ演習を実施し、 使用英語教材の立案を行って いる。			
他 1 件			2016年12月21日	出 北海道薬科大学 FD 講演会:講演「専門職連携教育の実践とその効果」		
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等 <i>の</i>)名称		単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌(巻・ 号数)等の名称	
(論文) ~保険薬原 携の取り組みのポイ		参加~他職種連	共著	2013年1月	Proprietor No 3.	
(論文)社会薬学と か-	は何か? -一	緒に考えません	共著	2015年4月	社会薬学 34(1), 42-45	
(論文)薬局薬剤 ズの変化について- 年と平成23年			共著	2015年4月	薬局薬学, 7(1), 52-62	
(論文) 医薬分業 7 アドヒアランスと 8 薬削減とかかりつい	医療サービス評値	画の関連性:残	共著	2016年6月	社会薬学, 35(1), 23-33	
(著書)「多面的症 野から症例を俯瞰し		礎分野・臨床分	共著	2014年4月	京都廣川書店	

2. 学会発表 (評価対象年度のみ)		
(演題名) 薬剤師の英語力向上の必要性に関する意識調査		2016年5月	第 63 回北海道 薬学大会
(演題名)在宅でのアロマセラヒ 方についての検討	『一導入における薬剤師の関わり	2016年5月	第 63 回北海道 薬学大会
(演題名) 北海道在住薬局薬剤師 ズ調査 - 経営形態別解析 -	の地域による医薬情報収集の二一	2016年6月	第 19 回日本医 薬品情報学会総 会・学術大会
(演題名)北海道在住薬局薬剤師 影響する要因に関する調査研究	の在宅業務への意識および意欲に	2016年6月	第7回日本プラ イマリケア連合 学会学術大会
(演題名)在宅ケアにおける多職種連携に求められる薬局薬剤師の コミュニケーションスキルに関する調査研究		2016年7月	第 18 回在学医 学大会、第 21 回日本在宅ケア 学会学術集会合 同大会
(演題名) Awareness of home medical care by community pharmacists in Hokkaido, Japan: a comparison of urban and rural locations		2016年9月	76th FIP's World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 2016
(演題名) 北海道在住の保険薬局薬剤師の在宅業務への意識および 意欲に関する調査 一都市部と地方での比較-		2016年9月	日本社会薬学会 第 35 年会
(演題名)薬局薬剤師の在宅患者・顧客に対するアロマセラピー使用 の意識並びに現状に関する調査		2016年11月	第 19 回日本ア ロマセラピー学 会学術大会総会
(演題名)在宅訪問経験薬剤師の実施業務および現場での薬物療法 に関する意識調査研究		2017年3月	日本薬学会第 137 年会
(演題名)薬局薬剤師がアロマセラピーを活用する意識および現状 に関する調査		2017年3月	日本薬学会第 137 年会
Ⅲ 学会等および社会における主な活動			
2013年1月~2015年12月	北海道在宅医療研究会 講師		
2014年8月	認知症サポーター養成講座 講師		

教育および研究活動の業績一覧						
北海道薬科大学 臨床薬学系・臨床薬理学分野		助教	向 祐志			
I 教育活動	I 教育活動					
教育	実践上の主な業績	年月日	概要			
1 教育内容・方法の工夫		2015年8月 2015年9月	「臨床薬学実習-薬剤師実務演習-」において、実務実習直前の5年生を対象に、在宅医療に関する実習を行った。ロールプレイにおいて、患者像を具現化できるように適宜学生を誘導し、報告書や記録作成の重要性について指導した。 「臨床薬物動態学I」において、前年度の授業アンケートの結果を踏まえ、問題演習の時間を多くとるように意識した。			
他 4 件 2 作成 L. た 教科書		2014年4月~	「多面的症例解析演習 基码			
2 作成した教科書、教材、参考書他 1 件		2016年3月~	分野・臨床分野から症例を俯瞰 して・・・」(京都廣川書店): 共著 「個別化医療を目指した臨床 薬物動態学」(廣川書店):共著			
3 教育方法・教育	実践に関する発表講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項(FDを含む)		2016年2月13日	専門職連携教育(IPE)ワーク ショップ参加			
Ⅱ 研究活動						
1. 著書・論文等 <i>0</i> .)名称	単著・共著の別	発行または 発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称		
(論文)電子化チュ 品質管理体制向上の	:ックリストを用いた治験データ D試み	共著	2012年9月	臨床薬理, 43(5), 353-360		
	competitively inhibits paclitaxel metabolism in vitro	共著	2014年9月	Biol Pharm Bull, 37(9), 1550-1554		

(論文) Drug-drug interaction b and paclitaxel in human liver m different CYP2C8 genotypes		共著	2015年6月	Basic Clin Pharmacol Toxicol, 116 (6),	
(論文) Simultaneous determinat epoxyeicosatrienoic acids and dihydroxyeicosatrienoic acids b LC- MS/MS system		共著	2015年10月	493-498 Bio Pharm Bull, 38(10), 1673-1679	
(論文) The role of CYP2C8 and C in losartan-dependent inhibitio metabolism in human liver micro	n of paclitaxel	共著	2016年6月	Basic Clin Pharmacol Toxicol, 118(6), 408-414	
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)					
(演題名)アラキドン酸代謝に及ぼすアンジオテンシン II 受容体 拮抗薬とフルバスタチン併用の影響			2016年5月	第 33 回日本 TDM 学会·学術 大会	
(演題名) アンジオテンシン II 受容体拮抗薬服用患者の血清中エイコサノイド類濃度への併用薬の影響			2016年12月	第 37 回日本臨 床薬理学会学 術総会	
(演題名)Pharmacokinetic-Pharmacodynamic モデルに基づくスボレキサントの 適正使用に関する考察			2017年3月	日本薬学会第 137 回年会	
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
2014年4月~	北海道 TDM 研究会	会 役員			

教育および研究活動の業績一覧					
北海道薬科大学	臨床薬学系・薬物治療学分野	助教	山 佳織		
I 教育活動					
教育	実践上の主な業績	年月日	概要		
1 教育内容・方法	の工夫	2016年~	おける調剤技 し、調剤技術 「薬剤師実務体 て、注射剤調 やすいように	いて、実に 実に で で で で で で で で で で に が も し に お り に い い り に い り に い り い り に り い り し い り し い り し い し し し し し し し し し	
2 作成した教科書	、教材、参考書				
3 教育方法・教育実践に関する発表講演等 4 その他教育活動上特記すべき事項 (FD を含む)		2015年11月19日~2月12日	東京大学大学総合教育研究センター提供インタラクティブ・ティーチング講座を受講 北海道薬科大学FD講演会:講演「専門職連携教育の実践と		
他 2 件			その効果」		
Ⅱ 研究活動					
1. 著書・論文等の	名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、 発表雑誌 (巻・号数)等 の名称	
increases glutath	ehyde induces cytotoxicity and ione and multidrug-resistance in levels in Schwann cells	共著	2013年7月	Biol Pharm Bull, 36(7), 1111-1117	
•	t increases intracellular s in Schwann cells through ulation	共著	2013年11月	Redox Biol, 2, 15-21	
•	t increases glutathione, eme oxygenase-1 by stimulating ndothelial cells	共著	2015 年 4 月	Redox Biol, 4, 87-96	
	ehyde induces endoplasmic and apoptosis in Schwann cells	共著	2015年11月	Toxicol Rep, 2, 1454-1462	
	upregulates heme oxygenase-1, ase, and datalase in cells of m	共著	2016年9月	Biol Pharm Bull, 39(9),1523-15 30	

2. 学会発表(評価対象年度のみ)				
(演題名) 月経周期と酸化ストレ	2017年3月	日本薬学会第 137 年会		
(演題名)第一世代抗ヒスタミン 伝型との関連性	2017年3月	日本薬学会第 137 年会		
Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
2010年5月~	日本薬学会 会員			